

三木市人権に関する 市民意識調査報告書

令和 6 (2024) 年 3 月

三 木 市

【目 次】

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査対象および調査期間	2
3. 抽出方法	2
4. 調査方法	2
5. 回収件数および回収率	2
6. 本報告書の留意点	2
第2章 調査の結果	3
1. あなた自身の事について	4
2. 人権などに対する考え方について	9
3. 人権侵害についておたずねします	18
4. 過去に経験した事柄についておたずねします	45
5. 個別の「人権」についておたずねします	61
6. 同和問題についておたずねします。	85
7. 人権学習・啓発についておたずねします	110
8. LGBTQ+についておたずねします。	114
9. 市の条例等についておたずねします	118
第3章 調査結果に関する考察	127
第4章 参考資料	139
調査票	140

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成30年度から令和6年度を計画期間とする「三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第3次）」の改定にあたり、人権に関する市民の意識や意向、ニーズを調査分析し、次期計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象および調査期間

調査対象：18歳（令和5年11月1日現在）以上の市民3,000人

調査期間：令和5年11月1日～12月15日

3. 抽出方法

性別、年齢層及び居住地域に配慮した、無作為抽出

4. 調査方法

郵送による配付、郵送もしくはインターネットによる回答を回収

5. 回収件数および回収率

配付数	有効回答数	有効回収率
3,000	1,048	34.9%

6. 本報告書の留意点

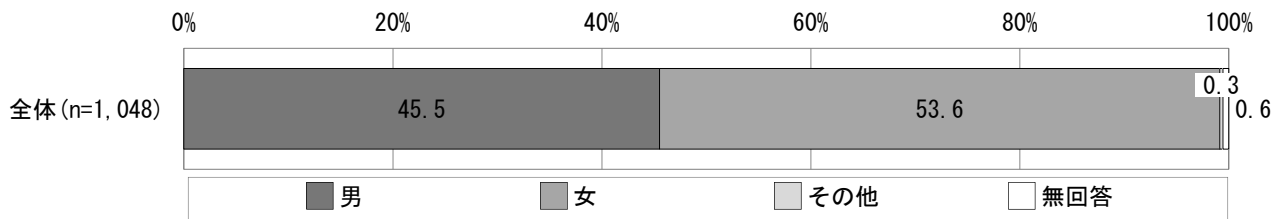
- (1) 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって合計が100.0％を上下する場合もある。
- (2) 基数となるべき実数（回収者数）は、“全体（n=〇〇）”として掲載し、各比率は回答者数を100.0％として算出した。なお、「n」はnumber of caseの略であり、設問の回答数である。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100.0％を超える場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

第2章 調査の結果

1. あなた自身の事について

問1 あなたの性別を教えてください。

全体では、「女」が53.6%と最も高く、「男」が45.5%、「その他」が0.3%と続いている。



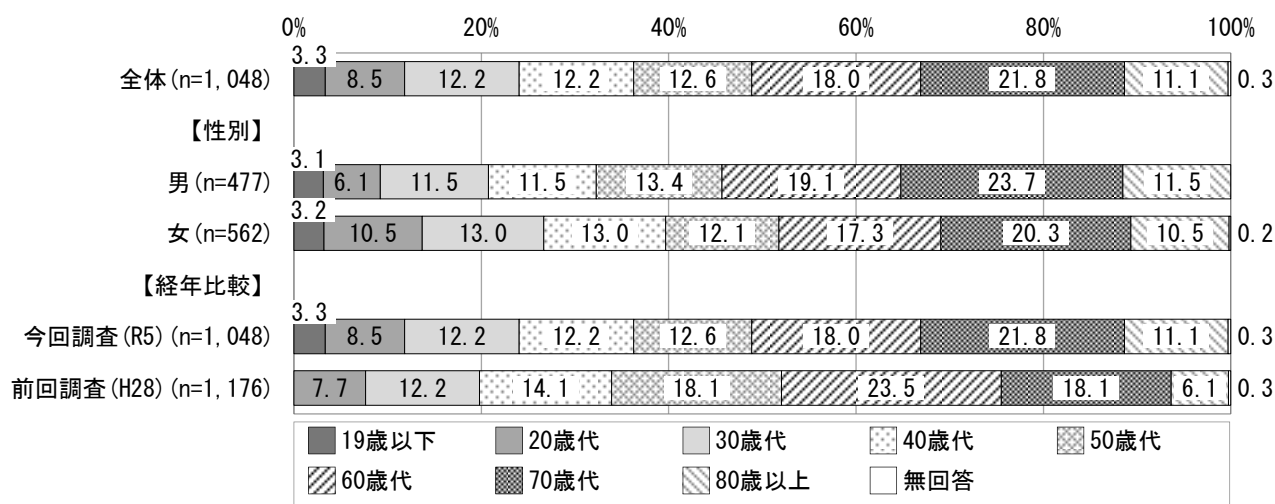
問2 あなたのお住まいの地域を教えてください。

全体では、「三木」が27.7%と最も高く、「自由が丘」が16.6%、「緑が丘」が13.1%と続いている。

(%)	三木	自由が丘	緑が丘	別所	吉川	志染	青山	細川	口吉川	三木南	無回答
全体 (n=1,048)	27.7	16.6	13.1	10.5	9.7	5.7	5.2	3.9	3.4	3.1	1.0
【性別】											
男 (n=477)	27.0	16.4	11.3	12.2	10.3	4.8	6.9	4.4	3.4	2.9	0.4
女 (n=562)	28.3	16.9	14.8	9.3	9.3	6.6	3.7	3.6	3.6	3.2	0.9
【年齢別】											
20歳代以下 (n=124)	31.5	11.3	14.5	10.5	9.7	10.5	3.2	4.8	1.6	2.4	0.0
30歳代 (n=128)	28.9	16.4	14.1	10.2	9.4	7.8	4.7	3.1	3.9	0.8	0.8
40歳代 (n=128)	22.7	24.2	13.3	7.0	11.7	5.5	4.7	2.3	4.7	3.9	0.0
50歳代 (n=132)	30.3	18.2	9.1	7.6	9.8	3.0	6.1	5.3	4.5	5.3	0.8
60歳代 (n=189)	30.7	12.2	14.8	11.6	9.0	6.9	4.8	4.8	3.7	1.1	0.5
70歳代 (n=228)	25.0	17.5	13.6	13.2	10.5	3.1	5.3	2.6	3.5	4.4	1.3
80歳以上 (n=116)	25.9	18.1	11.2	11.2	7.8	5.2	8.6	5.2	1.7	4.3	0.9
【経年比較】											
今回調査 (R5) (n=1,048)	27.7	16.6	13.1	10.5	9.7	5.7	5.2	3.9	3.4	3.1	1.0
前回調査 (H28) (n=1,176)	24.0	18.6	12.9	9.7	6.6	9.8	7.0	3.1	2.6	5.1	0.6

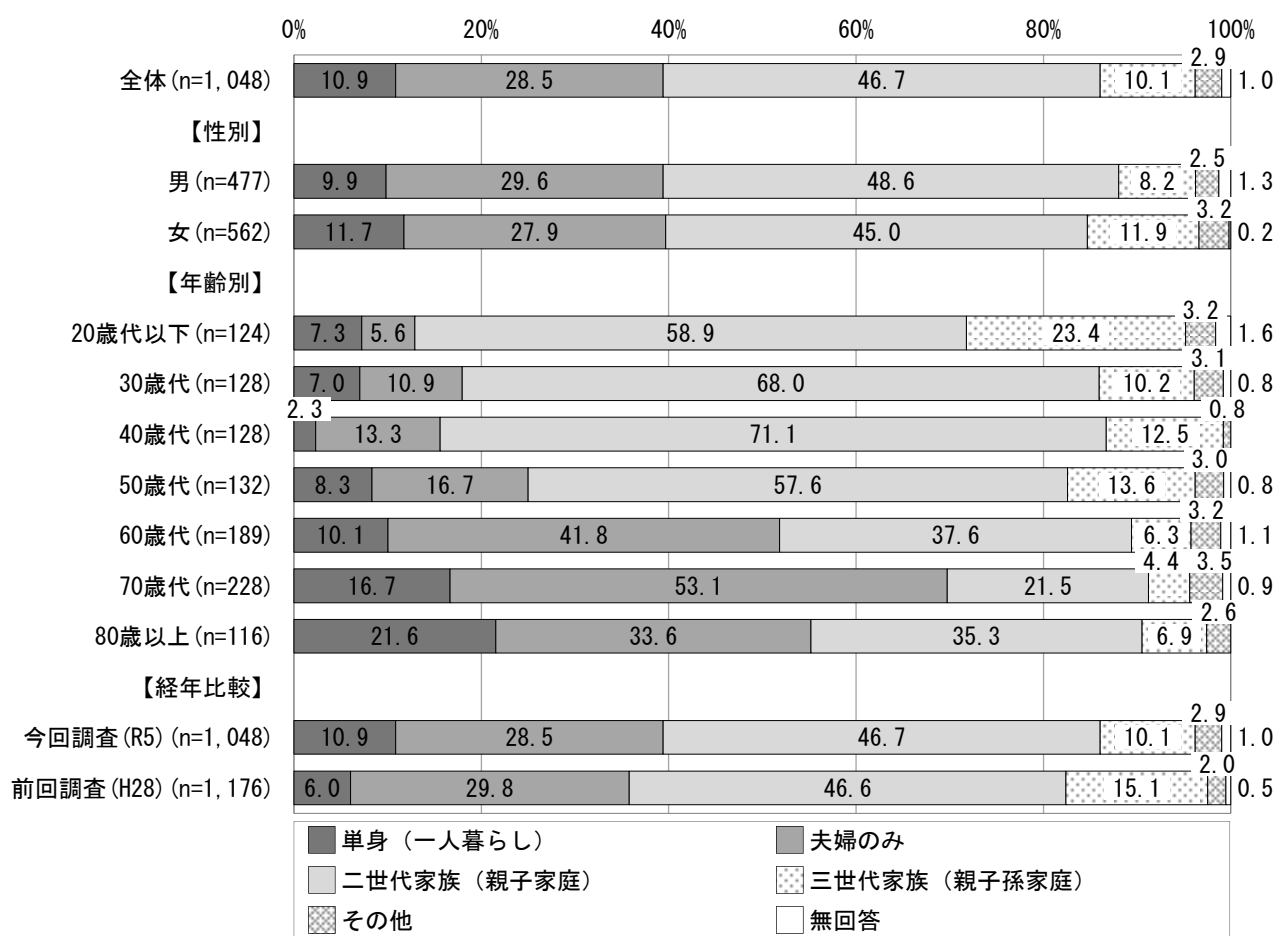
問3 あなたの年齢を教えてください。(令和5[2023]年11月1日現在)

全体では、「70歳代」が21.8%と最も高く、「60歳代」が18.0%、「50歳代」が12.6%と続いている。



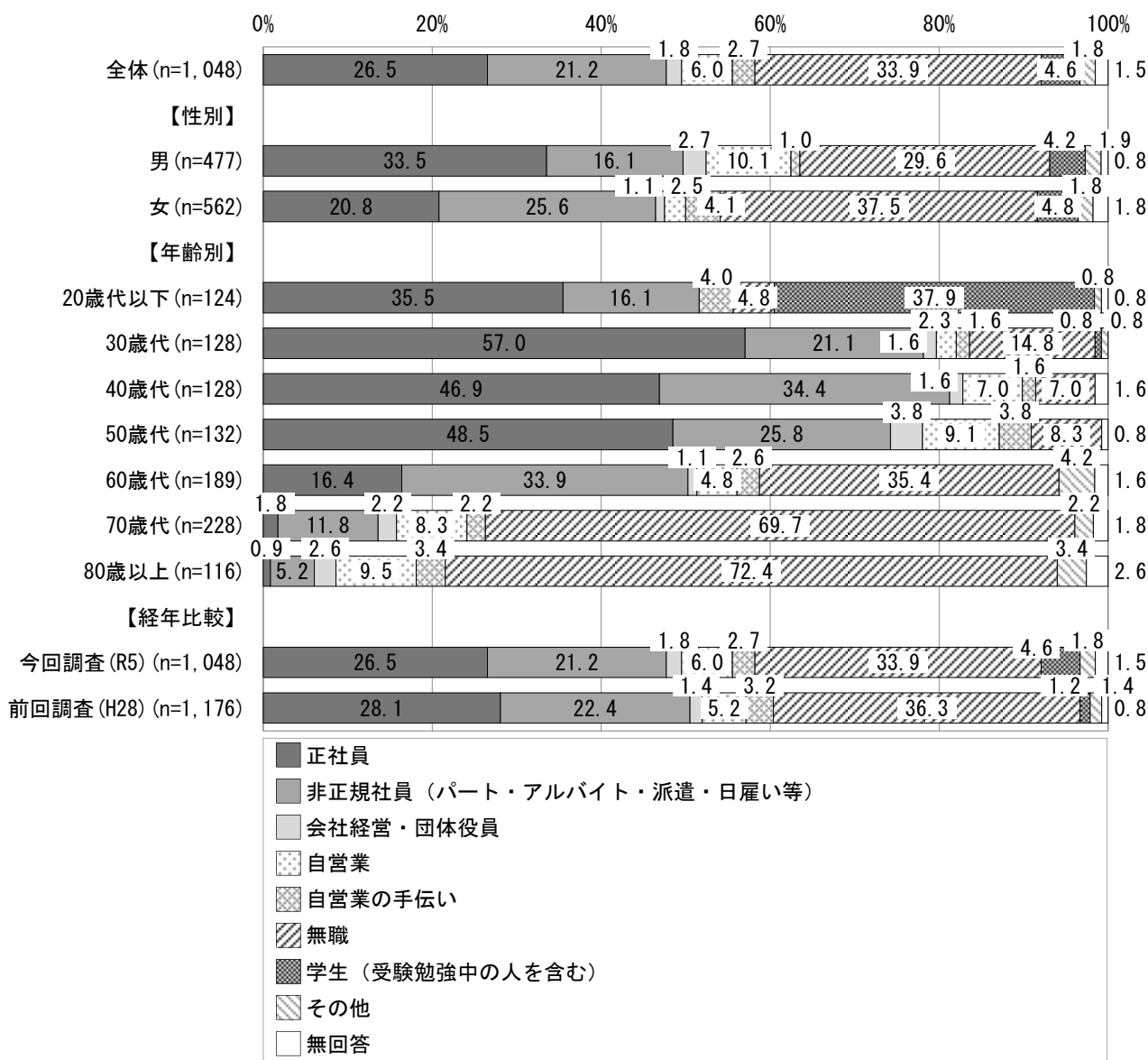
問4 あなたの家族構成について教えてください。

全体では、「二世世代家族（親子家庭）」が46.7%と最も高く、「夫婦のみ」が28.5%、「単身（一人暮らし）」が10.9%と続いている。



問5 どのような形態で働いていますか？

全体では、「無職」が33.9%と最も高く、「正社員」が26.5%、「非正規社員（パート・アルバイト・派遣・日雇い等）」が21.2%と続いている。



問6 どのような仕事をしていますか？

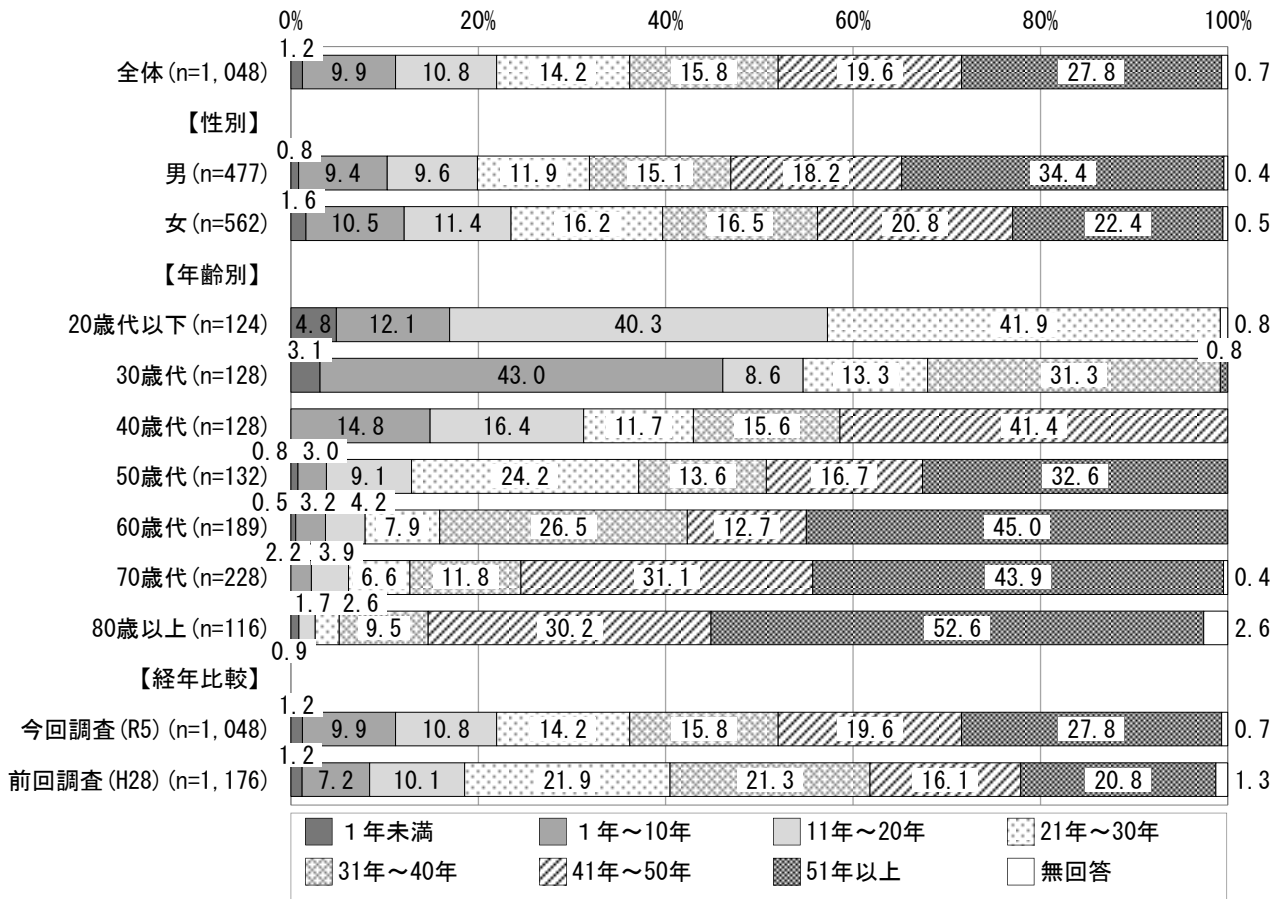
※問5で「正社員」「非正規社員（パート・アルバイト・派遣・日雇い等）」「会社経営・団体役員」「自営業」「自営業の手伝い」「その他」と回答した方に質問

全体では、「製造業」が17.3%と最も高く、「卸・小売業・飲食業」が15.1%、「サービス業」が14.9%と続いている。

(%)	製造業	卸・小売業・飲食業	サービス業	福祉・医療関係職員	公務員	農林水産・鉱業	運輸・通信業	建設業	教育職員	専門技術職（医師、弁護士、会計士等）	金融・保険業	不動産業	その他	無回答
全体 (n=629)	17.3	15.1	14.9	12.9	6.0	5.2	4.3	4.1	4.0	2.2	1.4	0.6	9.1	2.7
【性別】														
男 (n=312)	22.4	14.1	12.8	4.8	5.1	8.3	7.4	7.1	3.5	1.6	1.3	0.3	9.3	1.9
女 (n=314)	12.1	15.9	17.2	21.0	7.0	2.2	1.3	1.3	4.5	2.9	1.6	1.0	8.6	3.5
【年齢別】														
20歳代以下 (n=70)	17.1	20.0	18.6	11.4	2.9	0.0	1.4	2.9	8.6	5.7	1.4	0.0	7.1	2.9
30歳代 (n=108)	24.1	16.7	7.4	13.0	11.1	0.9	6.5	3.7	2.8	2.8	1.9	0.9	4.6	3.7
40歳代 (n=117)	22.2	17.9	17.9	12.8	6.8	0.9	2.6	3.4	3.4	0.0	1.7	0.0	9.4	0.9
50歳代 (n=120)	22.5	8.3	15.0	14.2	6.7	4.2	6.7	5.0	3.3	2.5	0.8	0.0	6.7	4.2
60歳代 (n=119)	5.9	15.1	17.6	15.1	6.7	6.7	4.2	4.2	5.9	3.4	2.5	1.7	8.4	2.5
70歳代 (n=65)	12.3	12.3	12.3	12.3	0.0	20.0	3.1	7.7	1.5	0.0	0.0	0.0	16.9	1.5
80歳以上 (n=29)	10.3	20.7	17.2	0.0	0.0	17.2	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	24.1	3.4
【経年比較】														
今回調査 (R5) (n=629)	17.3	15.1	14.9	12.9	6.0	5.2	4.3	4.1	4.0	2.2	1.4	0.6	9.1	2.7
前回調査 (H28) (n=735)	18.8	13.5	18.0	12.4	5.9	3.1	3.7	3.8	4.4	3.7	1.1	0.5	6.8	4.5

問7 あなたは三木市に住んで何年になりますか？

全体では、「51年以上」が27.8%と最も高く、「41年～50年」が19.6%、「31年～40年」が15.8%と続いている。



2. 人権などに対する考え方について

問8 あなたは「人権が尊重される」ということは、どのようなことだと思いますか。(いくつでも)

全体では、「いろいろな生き方が認められること」が65.2%と最も高く、「一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと」が63.7%、「権利が保障され、自由に生活できること」が60.9%と続いている。

性別では、男で「一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと」が64.6%と高くなっている。

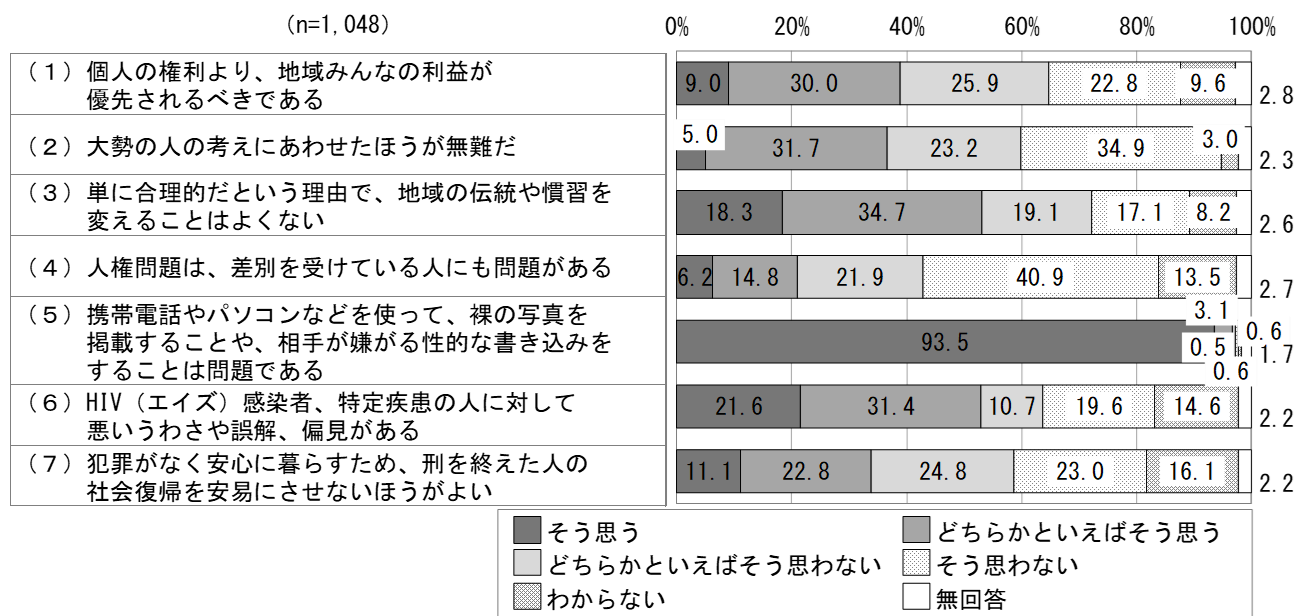
年齢別では、70歳代で「一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと」が79.4%と高くなっている。

(%)	いろいろな生き方が認められること	一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと	権利が保障され、自由に生活できること	個人の持つ可能性を発揮する機会を与えられること	差別に対する救済の手だてがあること	みんなと仲良くできること	その他	無回答
全体 (n=1,048)	65.2	63.7	60.9	42.4	37.0	27.3	2.0	3.1
【性別】								
男 (n=477)	61.8	64.6	63.5	39.8	37.5	30.6	2.5	3.6
女 (n=562)	68.7	63.3	59.3	45.0	36.7	24.4	1.4	2.3
【年齢別】								
20歳代以下 (n=124)	68.5	46.0	62.9	44.4	38.7	19.4	2.4	3.2
30歳代 (n=128)	66.4	57.0	55.5	32.8	34.4	18.8	2.3	6.3
40歳代 (n=128)	72.7	53.9	57.0	43.0	38.3	18.0	2.3	2.3
50歳代 (n=132)	62.9	66.7	65.2	41.7	34.1	21.2	0.8	2.3
60歳代 (n=189)	64.6	61.4	61.4	41.3	35.4	21.7	2.1	2.1
70歳代 (n=228)	66.2	79.4	62.3	47.4	41.2	39.9	1.8	1.8
80歳以上 (n=116)	54.3	72.4	62.1	43.1	34.5	47.4	2.6	4.3
【経年比較】								
今回調査 (R5) (n=1,048)	65.2	63.7	60.9	42.4	37.0	27.3	2.0	3.1
前回調査 (H28) (n=1,176)	59.4	63.7	56.9	37.8	32.0	26.8	1.2	2.2

問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(1) ～ (7) について、あてはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

「そう思う」が最も高いのは、＜(5) 携帯電話やパソコンなどを使って、裸の写真を掲載することや、相手が嫌がる性的な書き込みをすることは問題である＞で、93.5%となっている。

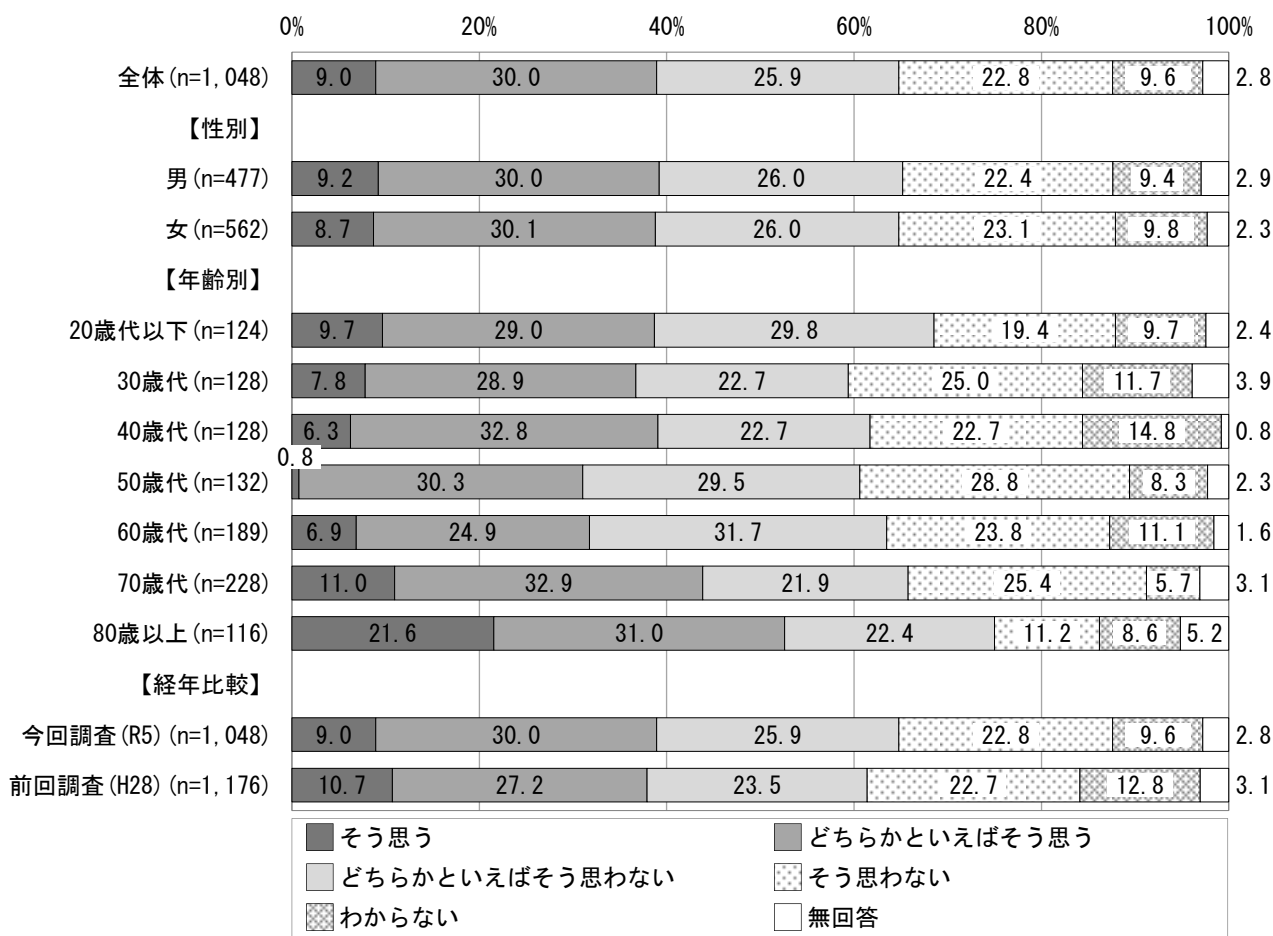


問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(1) 個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 30.0%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が 25.9%、「そう思わない」が 22.8%と続いている。

年齢別では、80歳以上で「そう思う」が 21.6%と高くなっている。

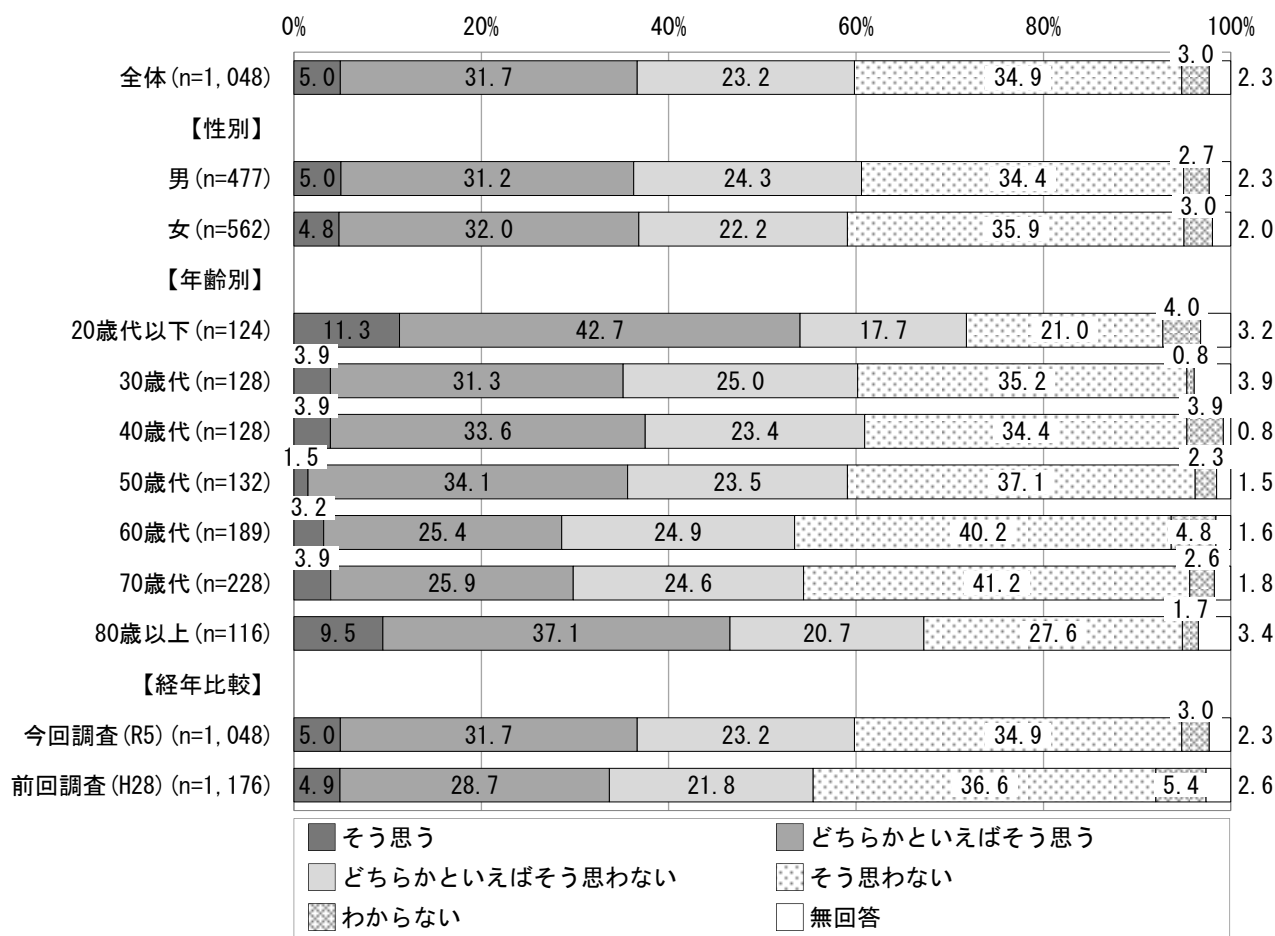


問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(2) 大勢の人の考えにあわせたほうが無難だ

全体では、「そう思わない」が34.9%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が31.7%、「どちらかといえばそう思わない」が23.2%と続いている。

年齢別では、20歳代以下で「そう思う」が11.3%と高くなっている。



問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

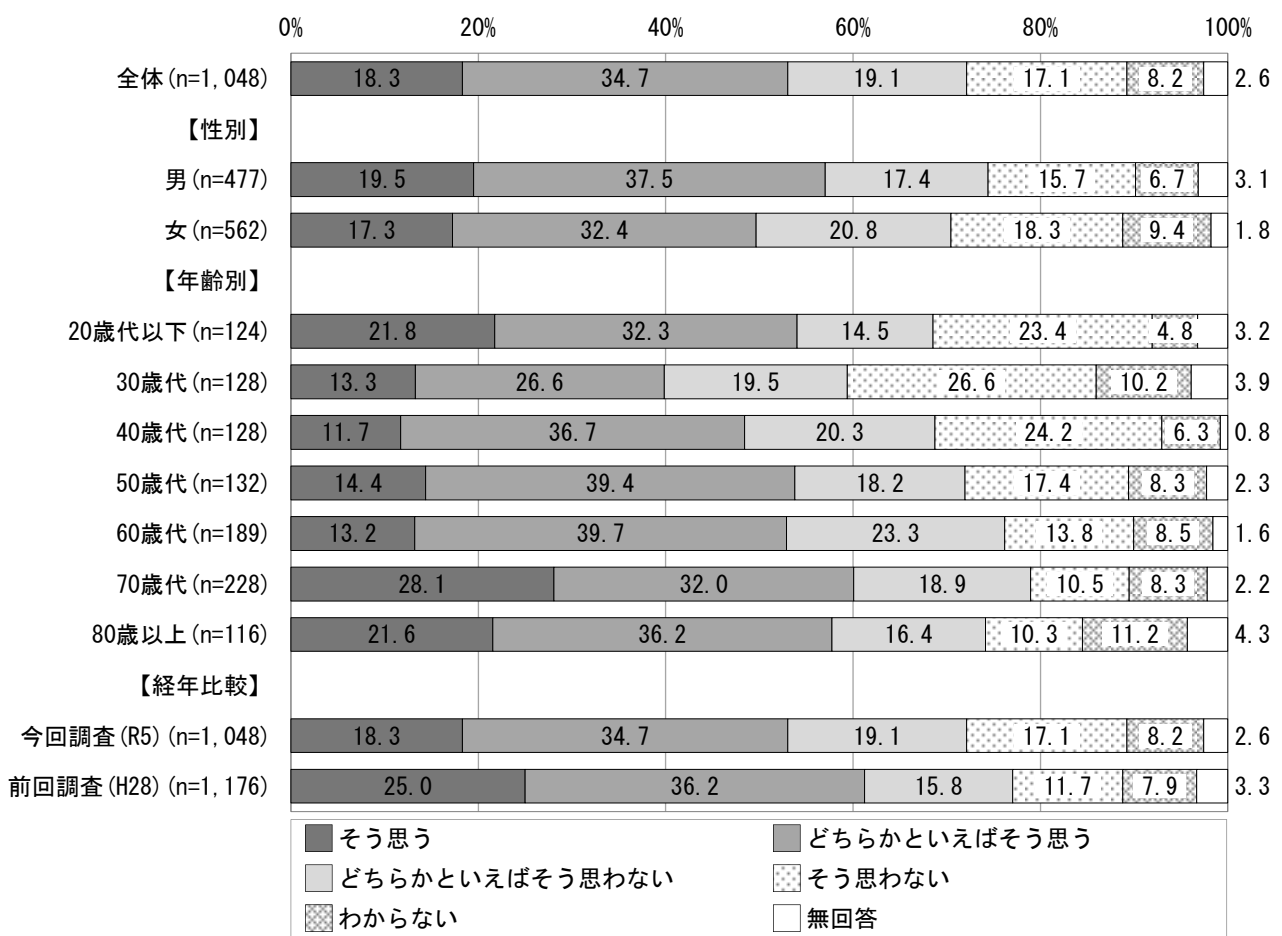
(3) 単に合理的だという理由で、地域の伝統や慣習を変えることはよくない

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 34.7%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が 19.1%、「そう思う」が 18.3%と続いている。

性別では「そう思う」は、男（19.5%）が女（17.3%）を 2.2 ポイント上回っている。

年齢別では、70 歳代で「そう思う」が 28.1%と高くなっている。

経年比較では「そう思う」は、前回調査(H28)（25.0%）から今回調査(R5)（18.3%）で 6.7 ポイント減少している。



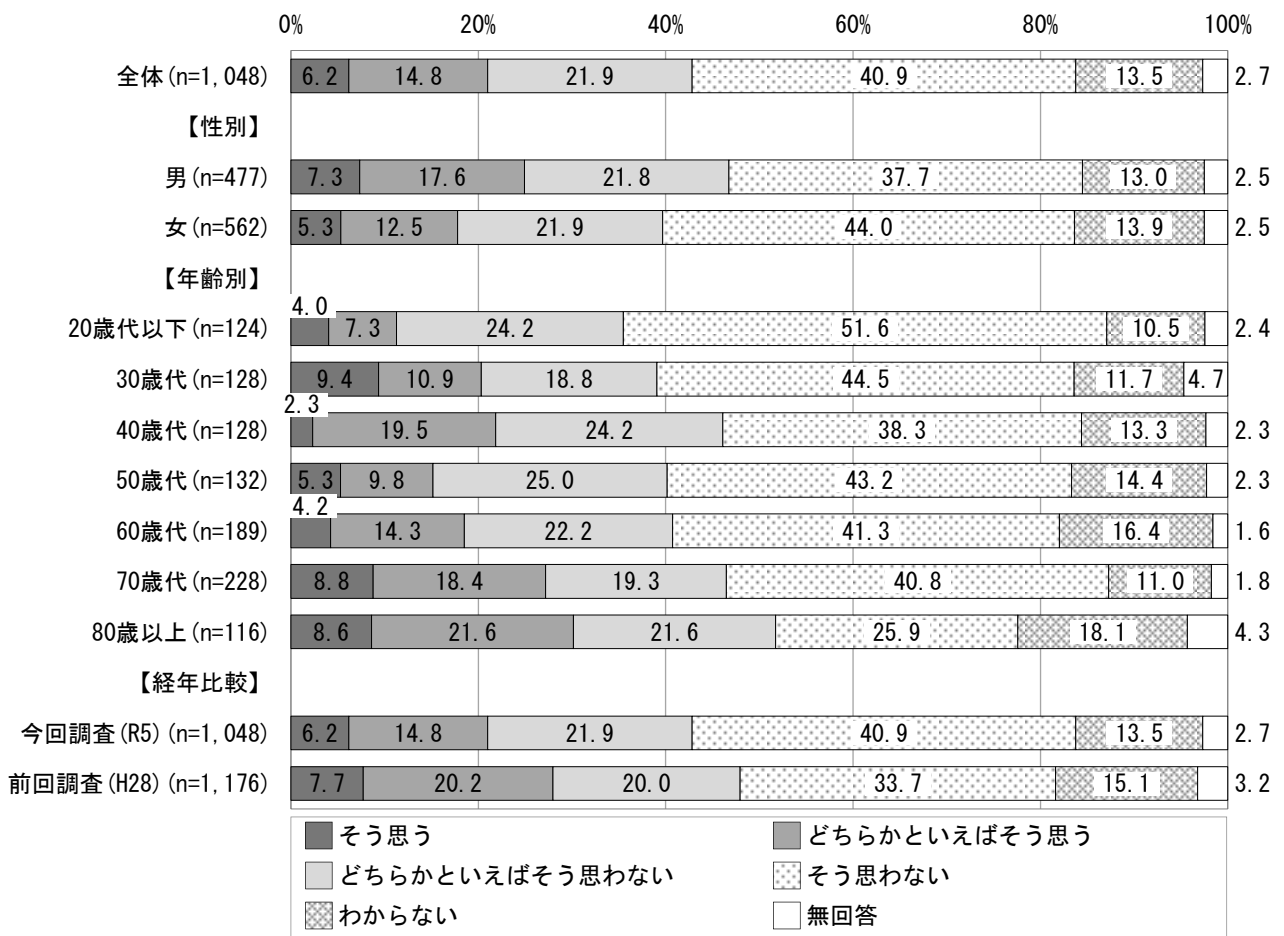
問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(4) 人権問題は、差別を受けている人にも問題がある

全体では、「そう思わない」が40.9%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が21.9%、「どちらかといえばそう思う」が14.8%と続いている。

年齢別では、30歳代で「そう思う」が9.4%と高くなっている。

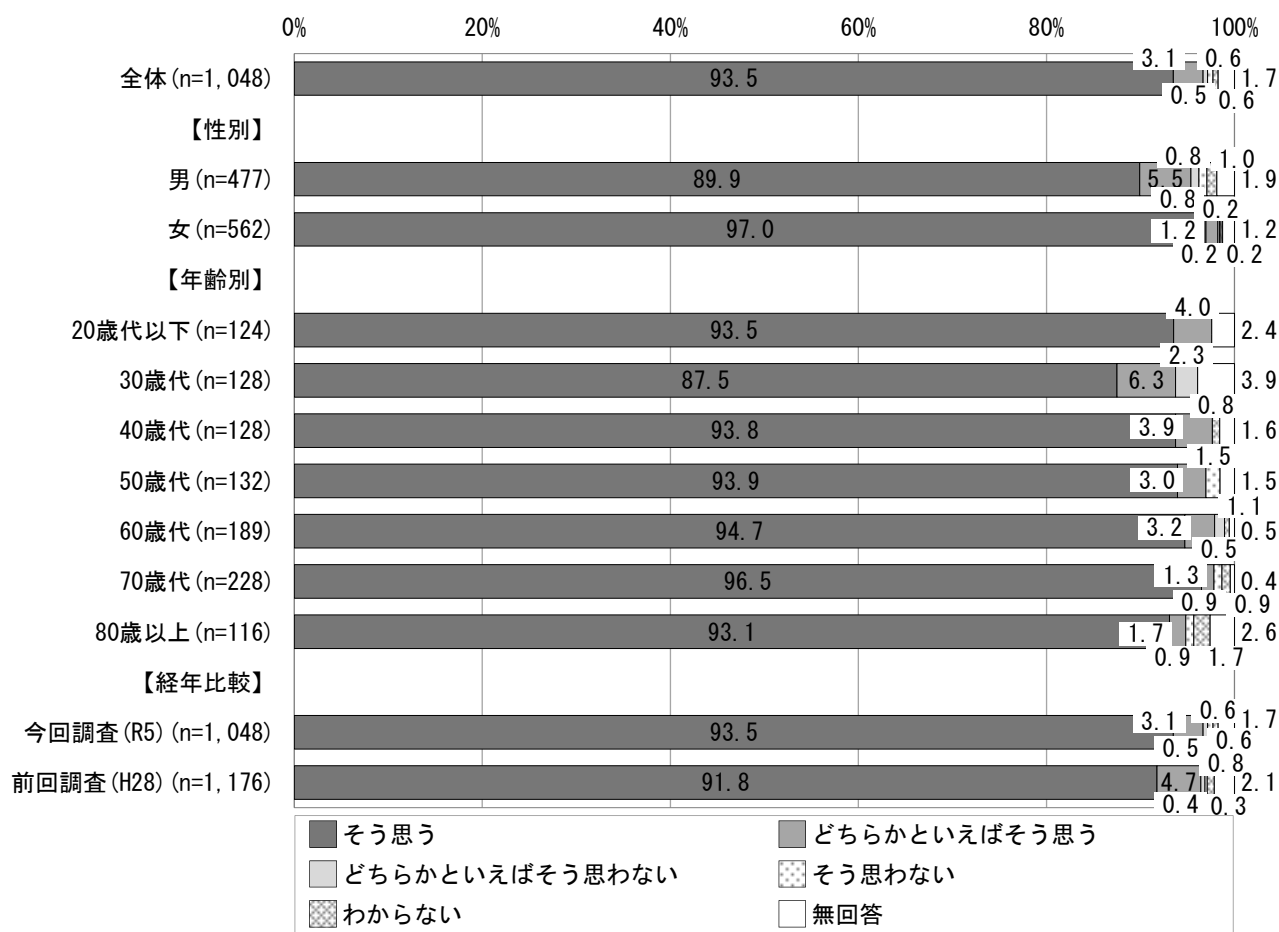
経年比較では「そう思う」は、前回調査(H28)(7.7%)から今回調査(R5)(6.2%)で1.5ポイント減少している。



問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(5) 携帯電話やパソコンなどを使って、裸の写真を掲載することや、相手が嫌がる性的な書き込みをすることは問題である

全体では、「そう思う」が 93.5%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 3.1%、「そう思わない」と「わからない」が、それぞれ 0.6%と続いている。

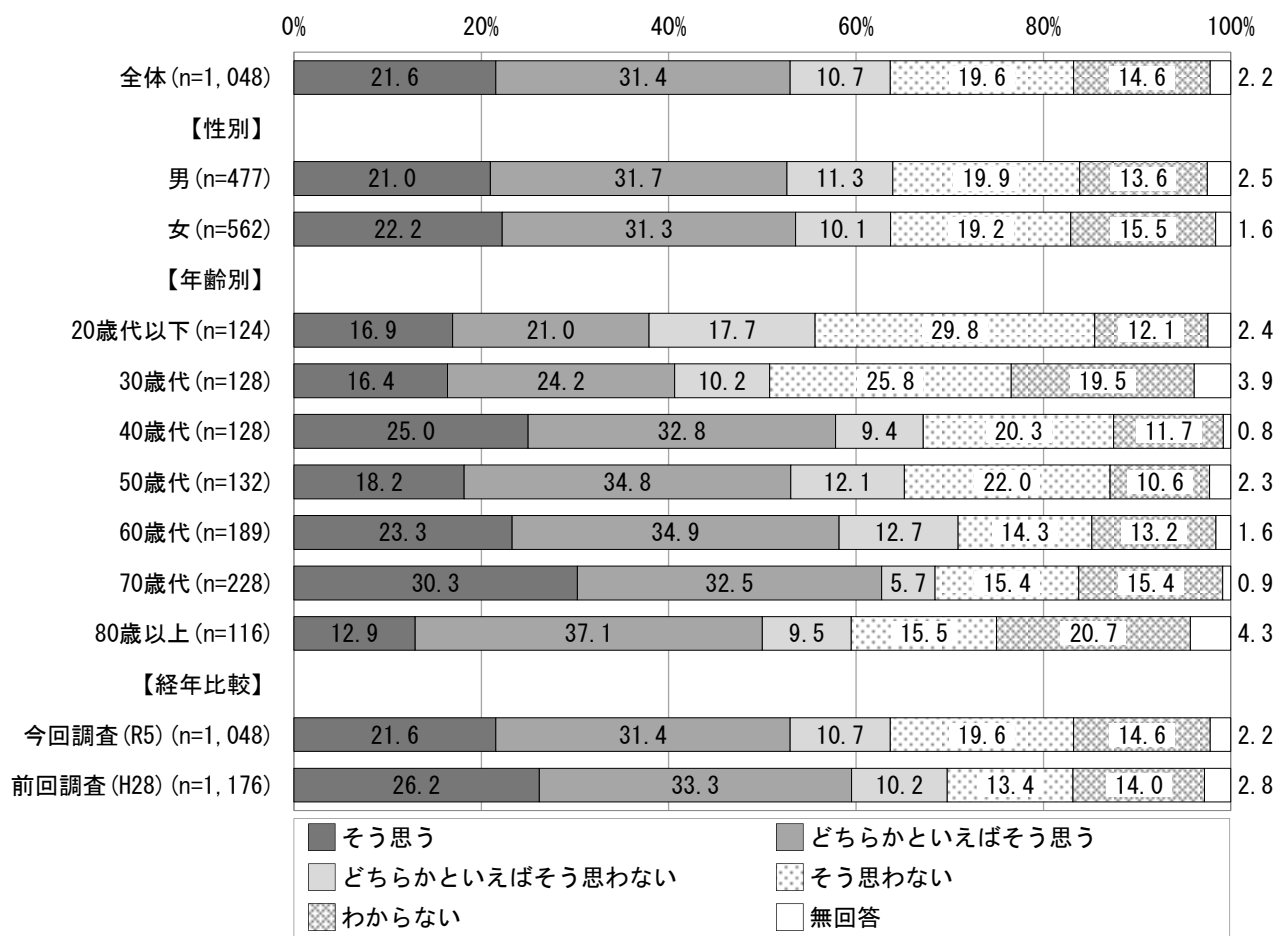


問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(6) HIV（エイズ）感染者、特定疾患の人に対して悪いうわさや誤解、偏見がある

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 31.4%と最も高く、「そう思う」が 21.6%、「そう思わない」が 19.6%と続いている。

年齢別では、70 歳代で「そう思う」が 30.3%と高くなっている。

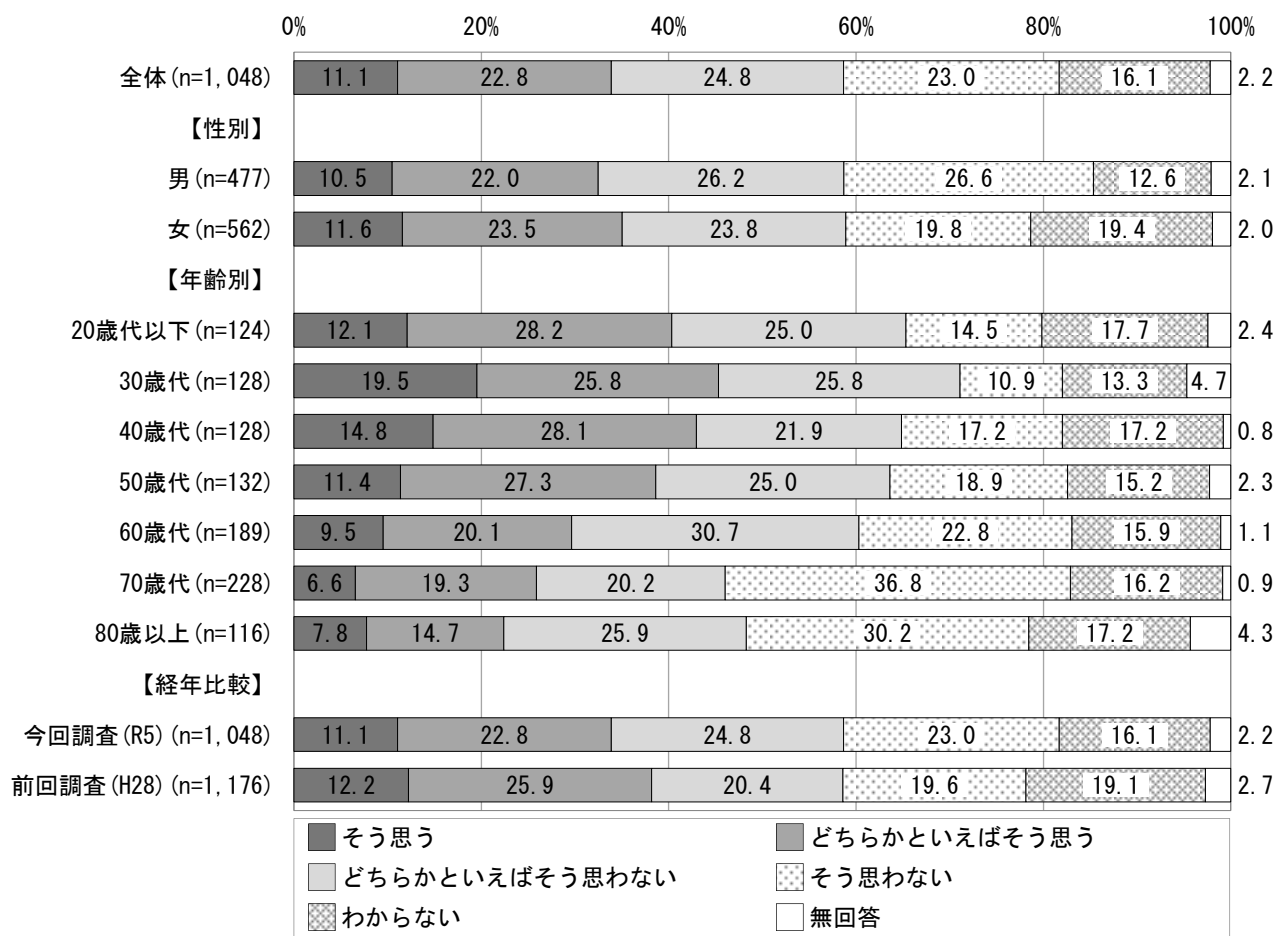


問 9 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがよい

全体では、「どちらかといえばそう思わない」が 24.8%と最も高く、「そう思わない」が 23.0%、「どちらかといえばそう思う」が 22.8%と続いている。

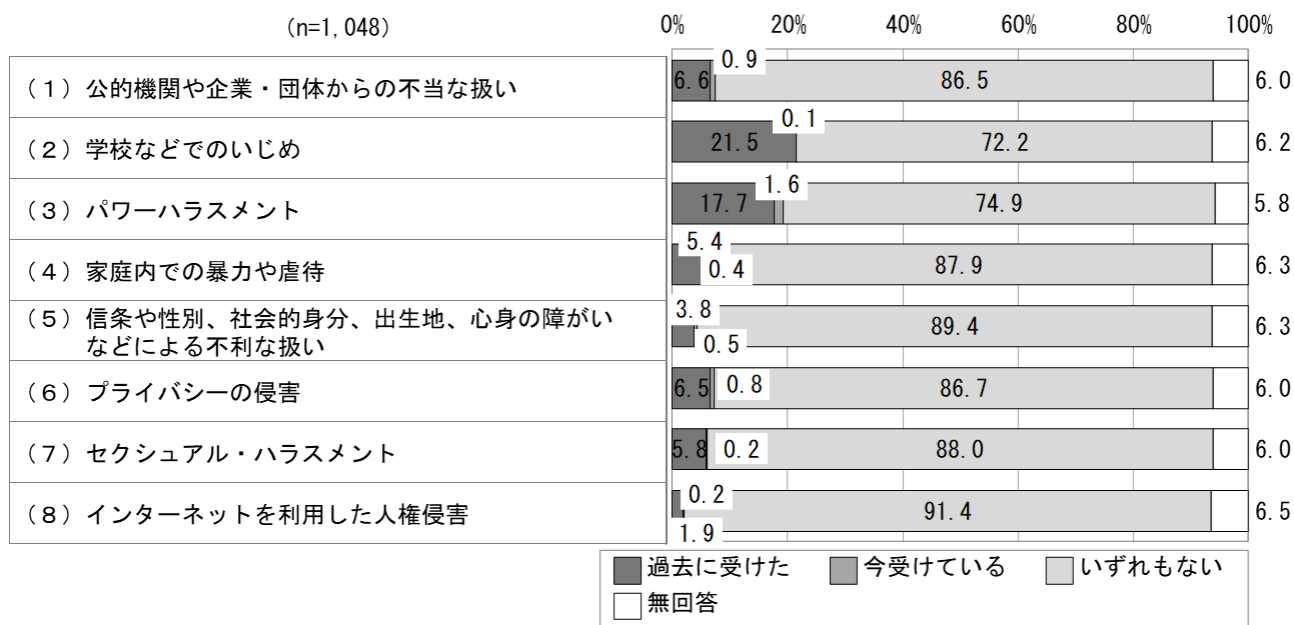
年齢別では、年齢が下がるほど「そう思う」の割合が高くなる傾向にある。



3. 人権侵害についておたずねします

問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

人権侵害の経験で「過去に受けた」が最も高いのは、＜（２）学校などでのいじめ＞で、21.5%となっている。



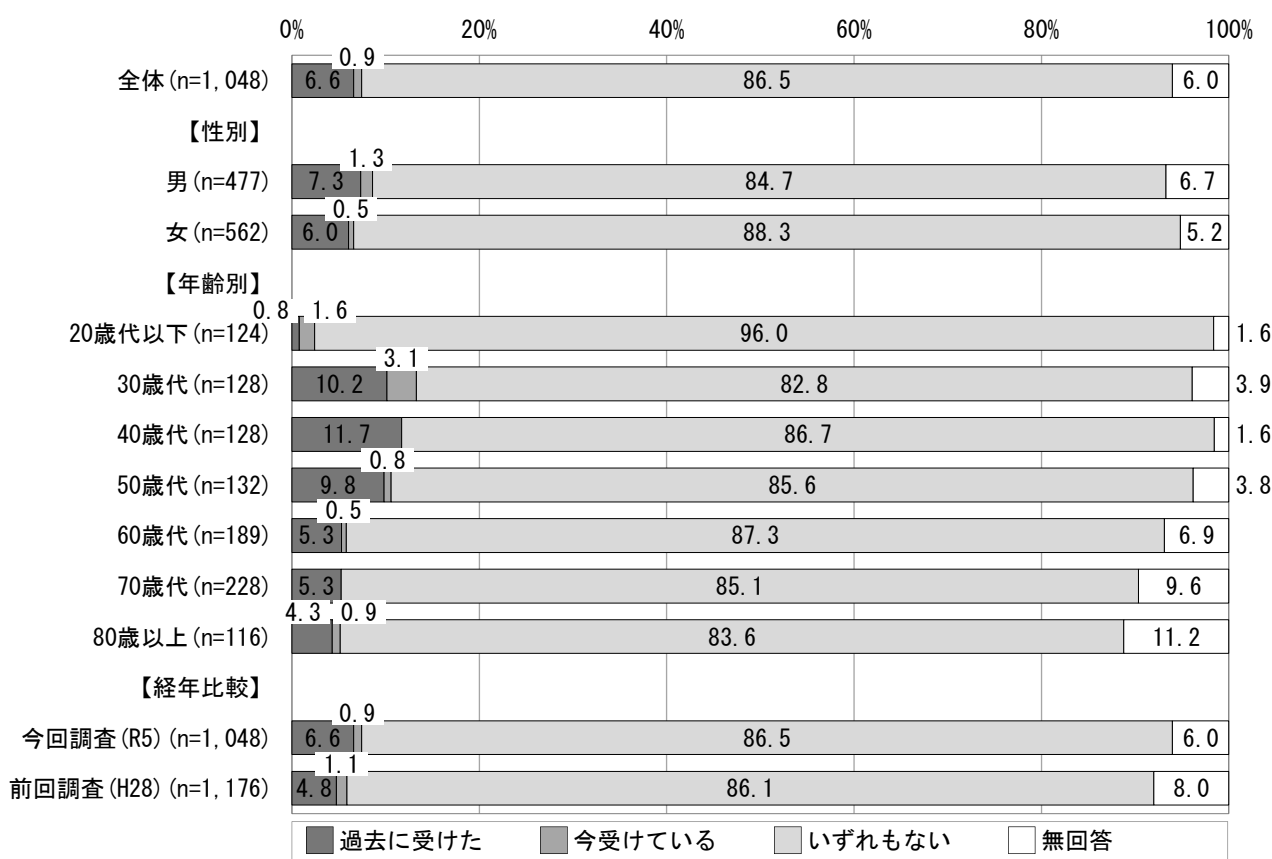
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(1) 公的機関や企業・団体からの不当な扱い

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が86.5%と最も高く、「過去に受けた」が6.6%、「今受けている」が0.9%と続いている。

年齢別では、40歳代で「過去に受けた」が11.7%と高くなっている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

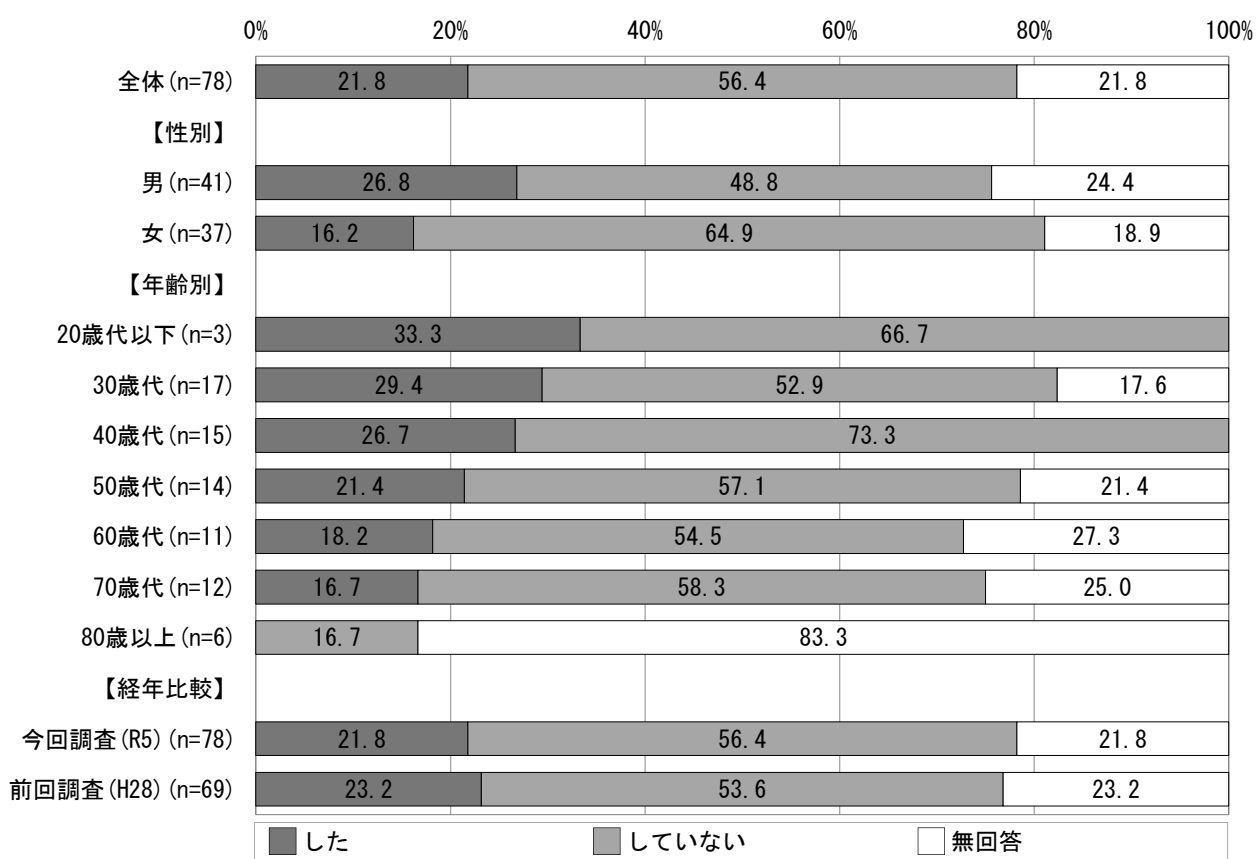
(1) 公的機関や企業・団体からの不当な扱い

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が21.8%、「していない」が56.4%となっている。

性別では「した」は、男（26.8%）が女（16.2%）を10.6ポイント上回っている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

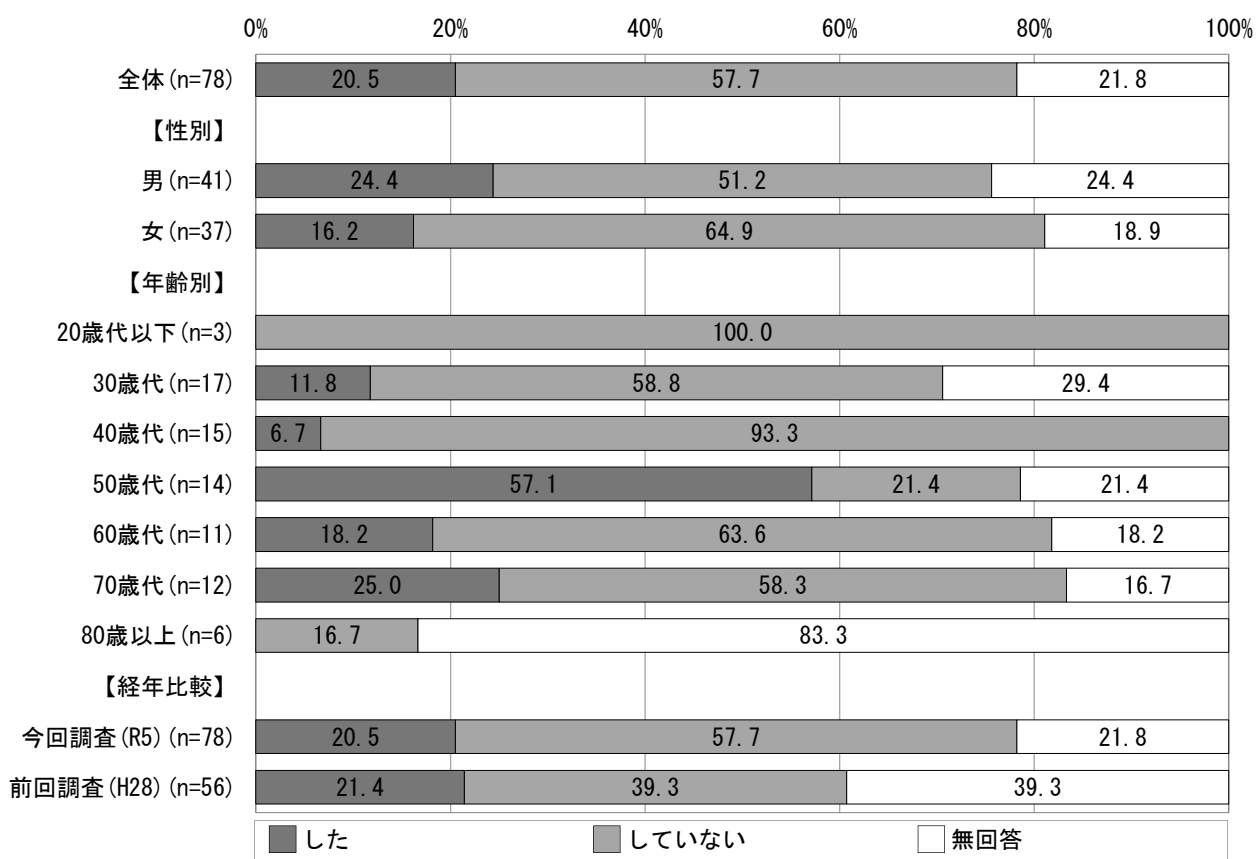
(1) 公的機関や企業・団体からの不当な扱い

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 20.5%、「していない」が 57.7%となっている。

性別では「した」は、男（24.4%）が女（16.2%）を 8.2 ポイント上回っている。



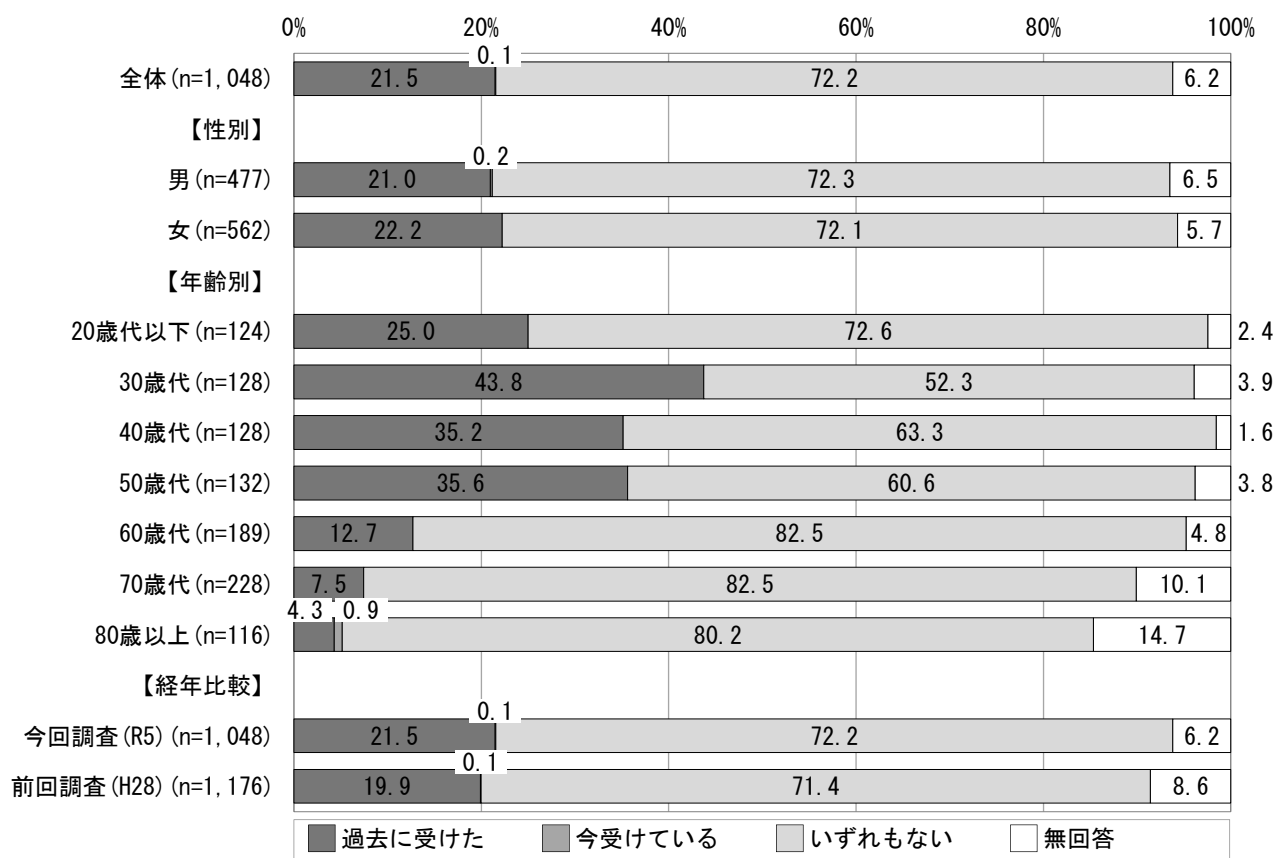
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(2) 学校などでのいじめ

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が72.2%と最も高く、「過去に受けた」が21.5%、「今受けている」が0.1%と続いている。

年齢別では、30歳代で「過去に受けた」が43.8%と高くなっている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

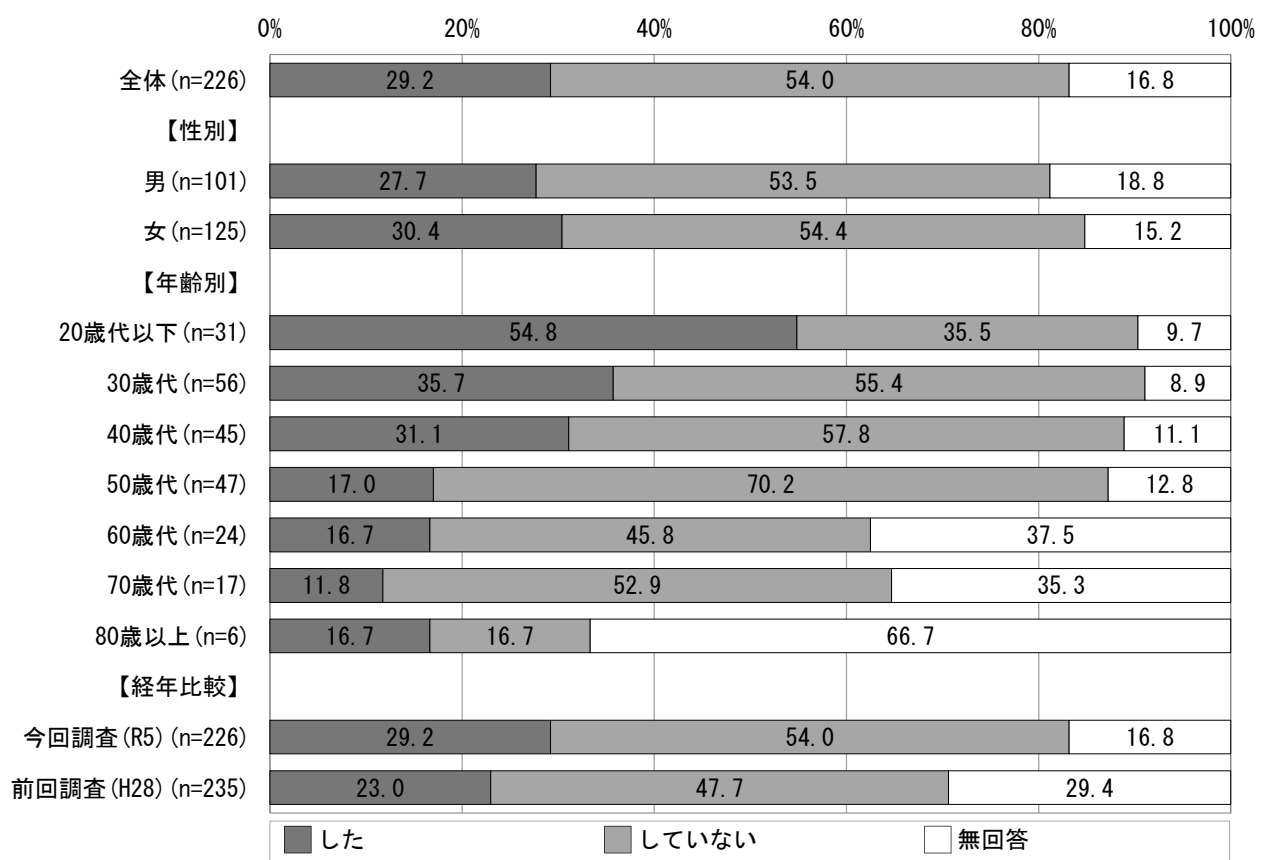
(2) 学校などでのいじめ

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 29.2%、「していない」が 54.0%となっている。

経年比較では「した」は、今回調査(R5) (29.2%) が前回調査(H28) (23.0%) を 6.2 ポイント上回っている。



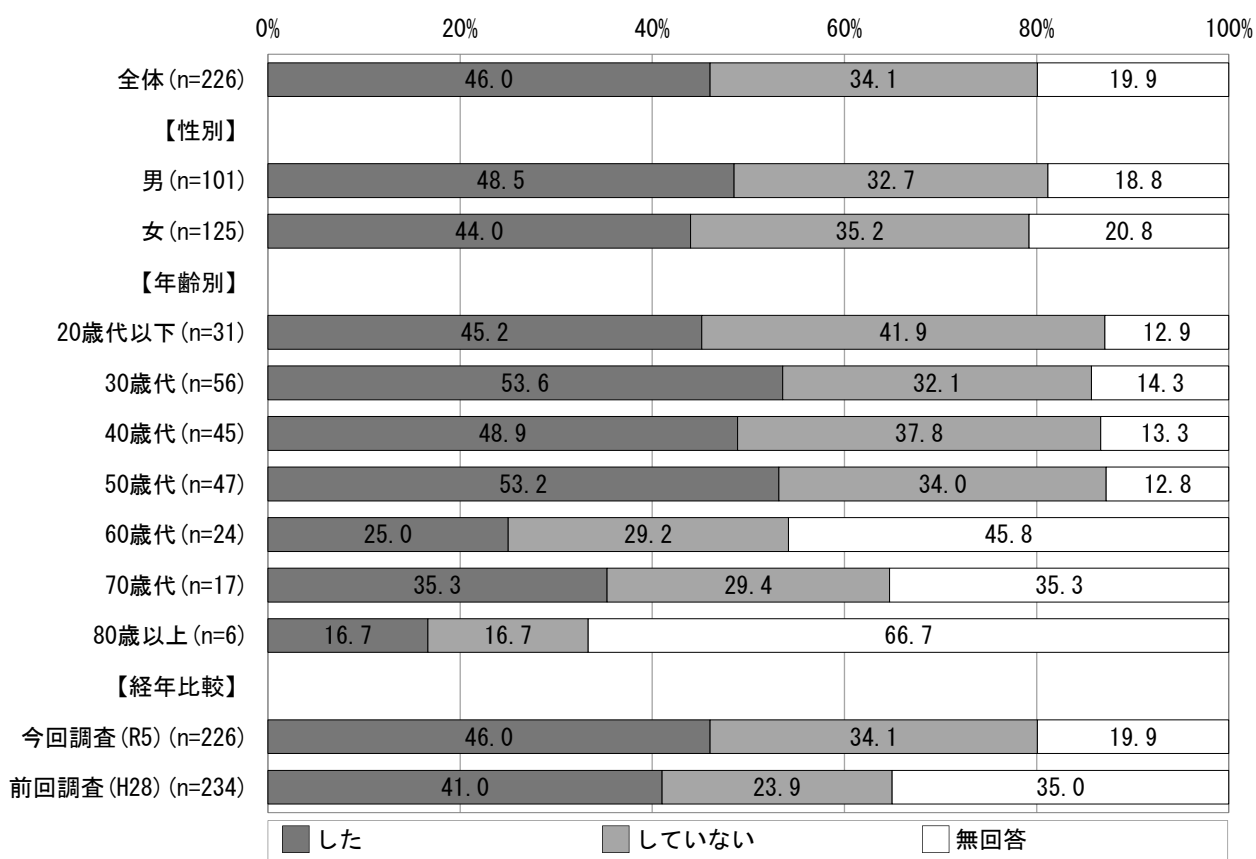
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。
 (2) 学校などでのいじめ

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 46.0%、「していない」が 34.1%となっている。

年齢別では、30 歳代で「した」が 53.6%と高くなっている。

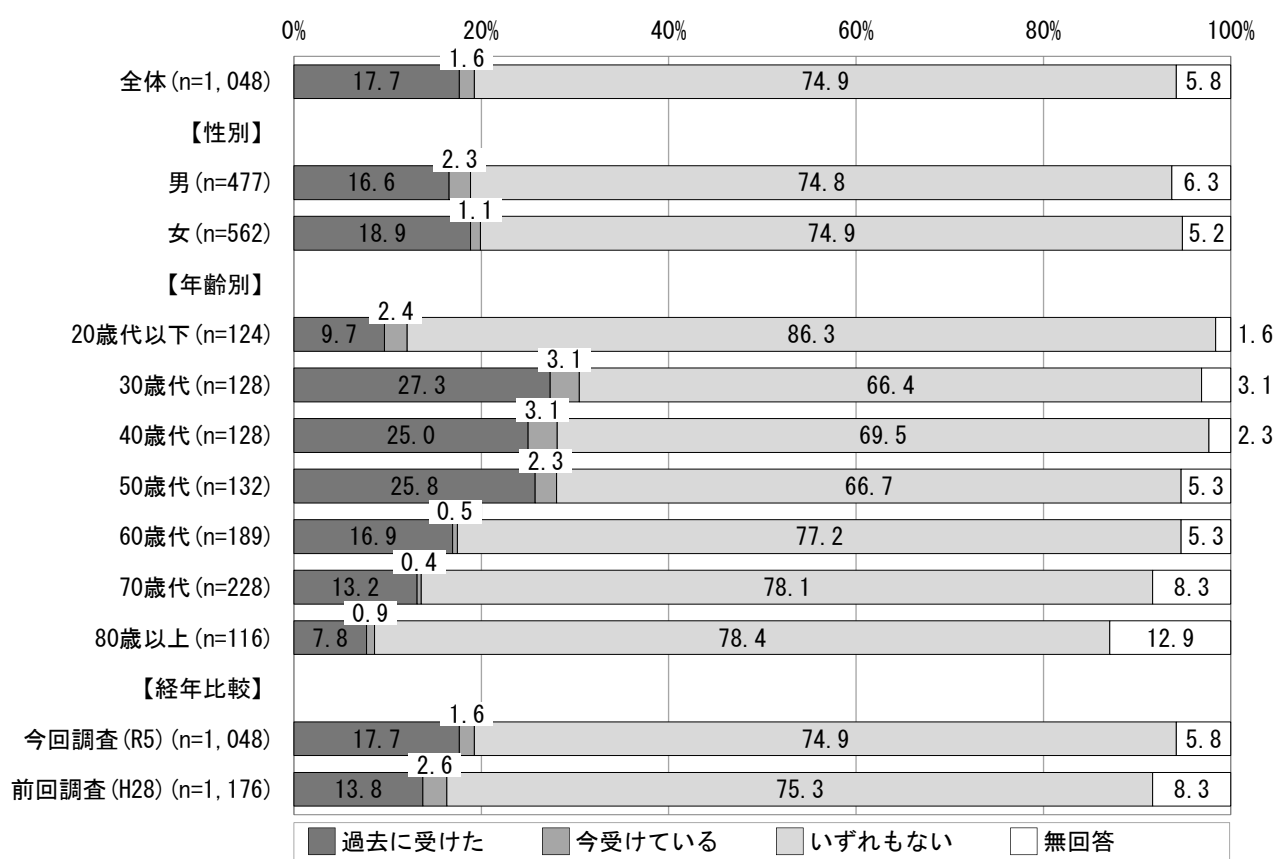


問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。
 (3) パワーハラスメント（職務権限などの力を利用して行ういやがらせやいじめ）

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が74.9%と最も高く、「過去に受けた」が17.7%、「今受けている」が1.6%と続いている。

年齢別では、30歳代で「過去に受けた」が27.3%と高くなっている。



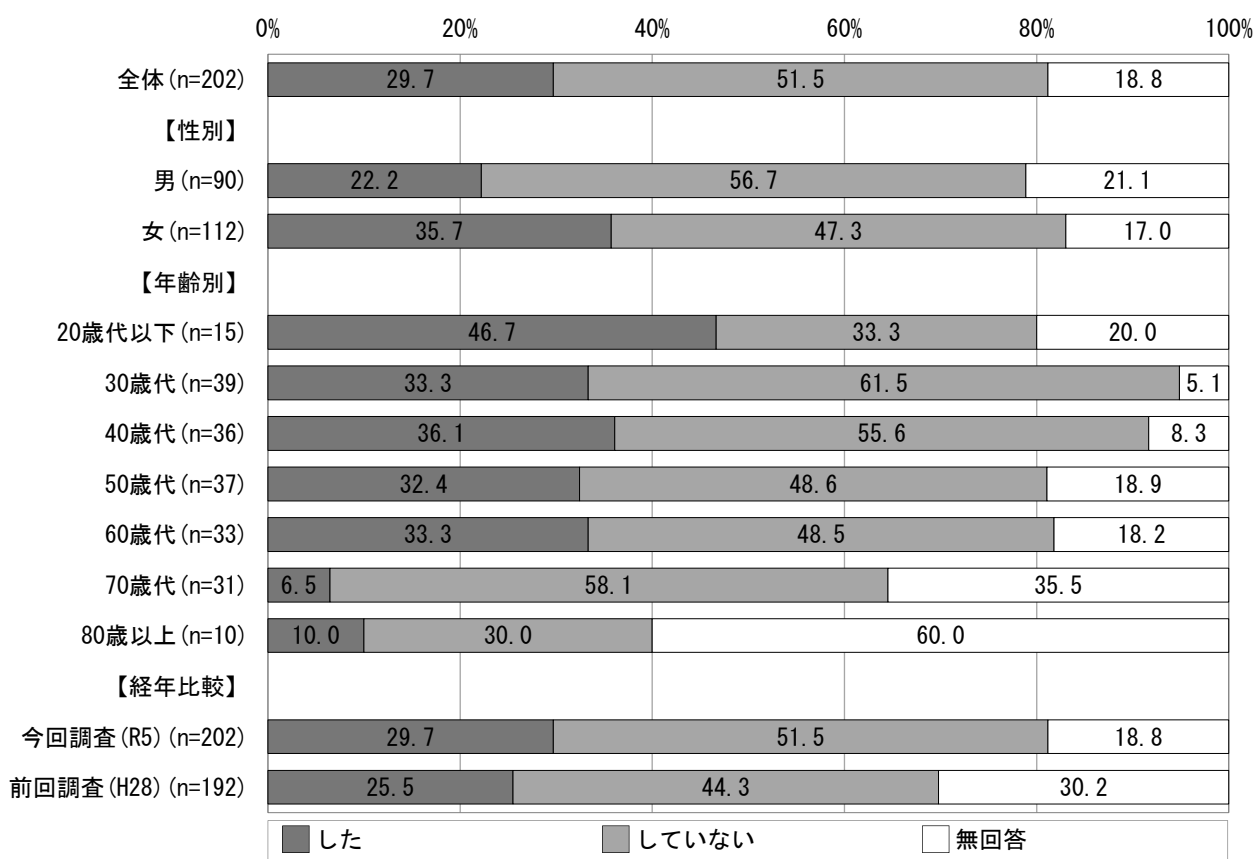
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。
 (3) パワーハラスメント（職務権限などの力を利用して行ういやがらせやいじめ）

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 29.7%、「していない」が 51.5%となっている。

性別では「した」は、女（35.7%）が男（22.2%）を 13.5 ポイント上回っている。



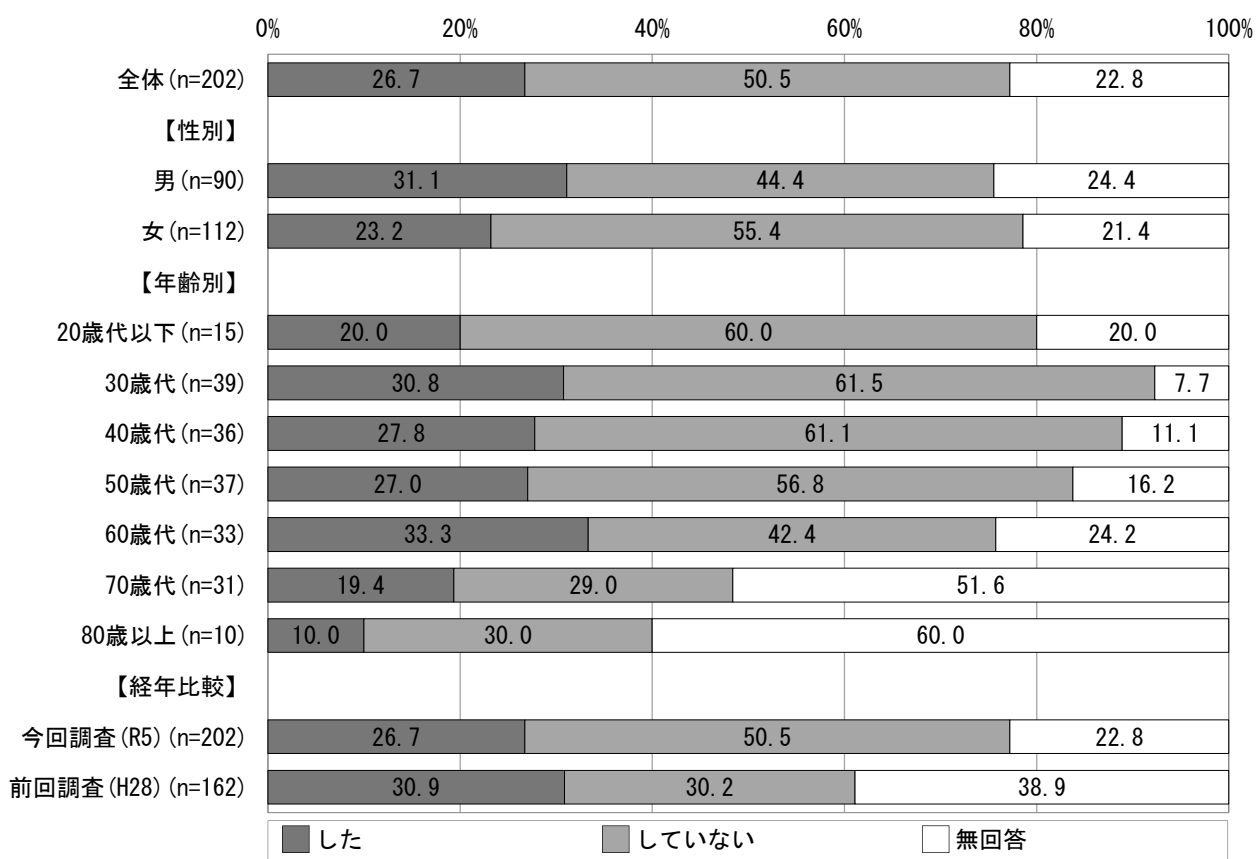
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。
 (3) パワーハラスメント（職務権限などの力を利用して行ういやがらせやいじめ）

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 26.7%、「していない」が 50.5%となっている。

性別では「した」は、男（31.1%）が女（23.2%）を 7.9 ポイント上回っている。



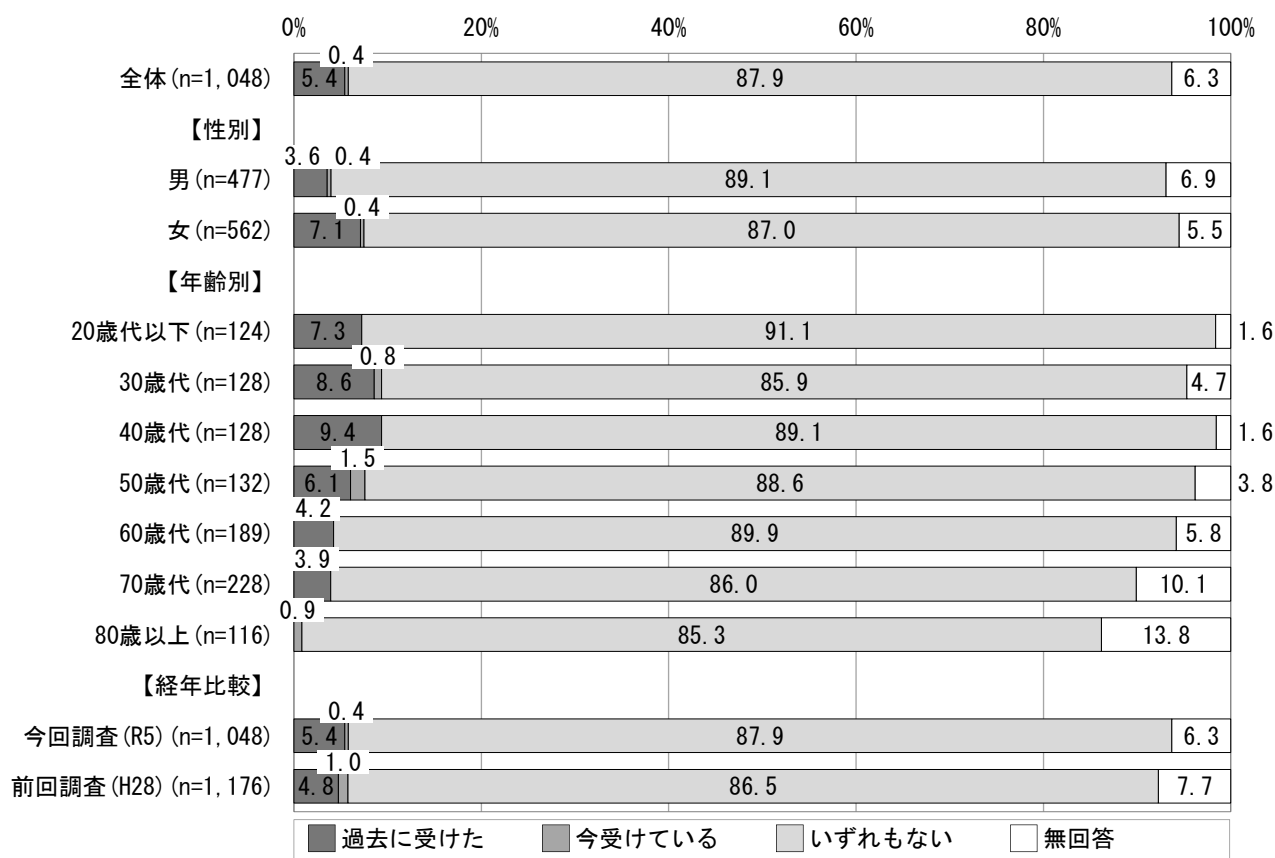
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(4) 家庭内での暴力や虐待

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が87.9%と最も高く、「過去に受けた」が5.4%、「今受けている」が0.4%と続いている。

年齢別では、40歳代で「過去に受けた」が9.4%と高くなっている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

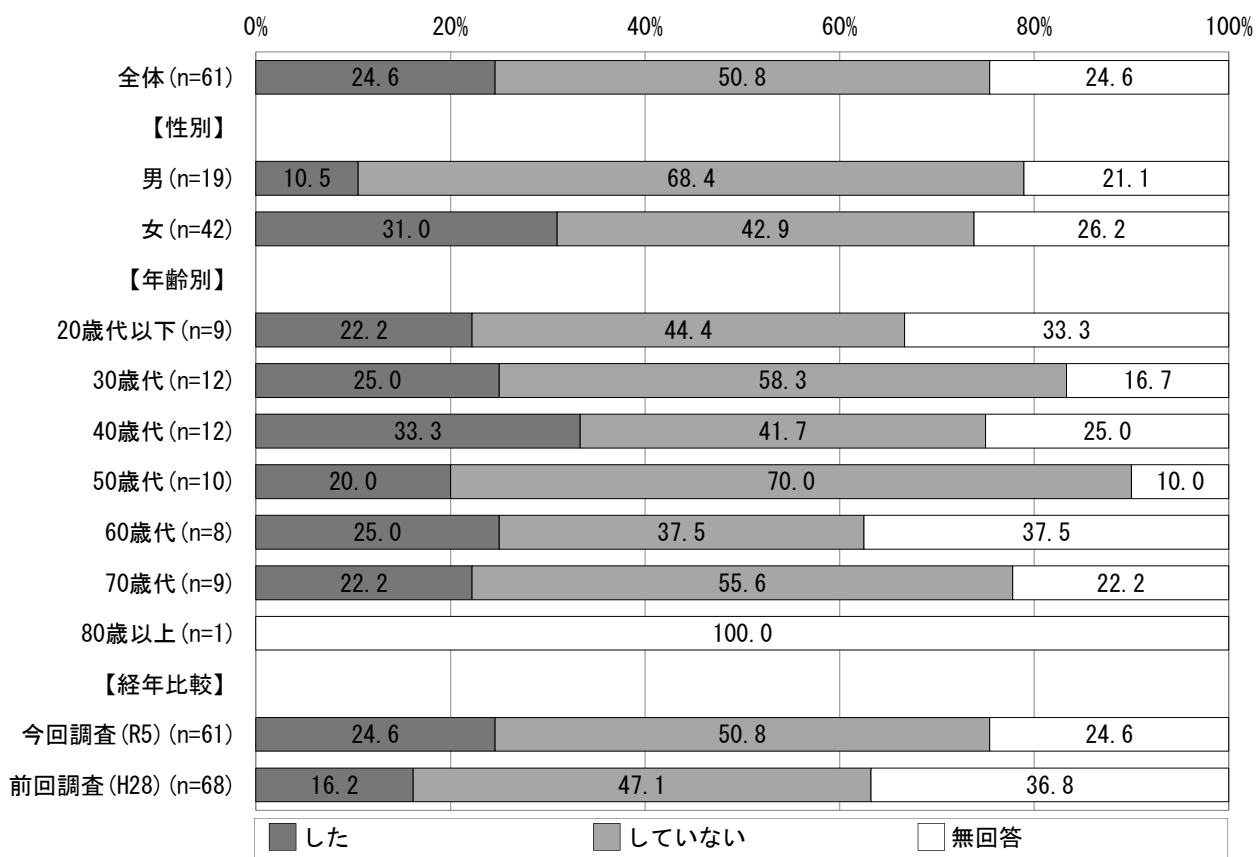
(4) 家庭内での暴力や虐待

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が24.6%、「していない」が50.8%となっている。

経年比較では「した」は、今回調査(R5) (24.6%) が前回調査(H28) (16.2%) を8.4ポイント上回っている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

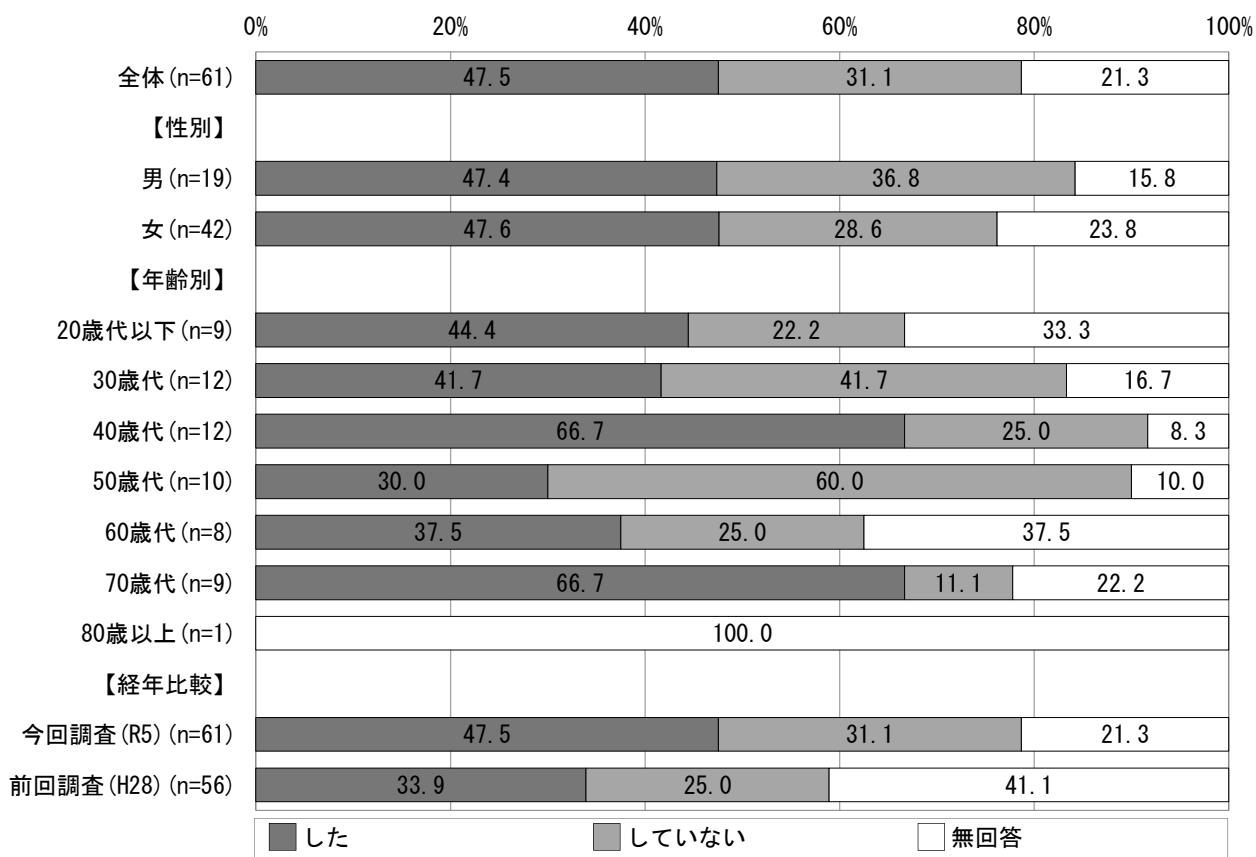
(4) 家庭内での暴力や虐待

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が47.5%、「していない」が31.1%となっている。

経年比較では「した」は、今回調査(R5) (47.5%)が前回調査(H28) (33.9%)を13.6ポイント上回っている。



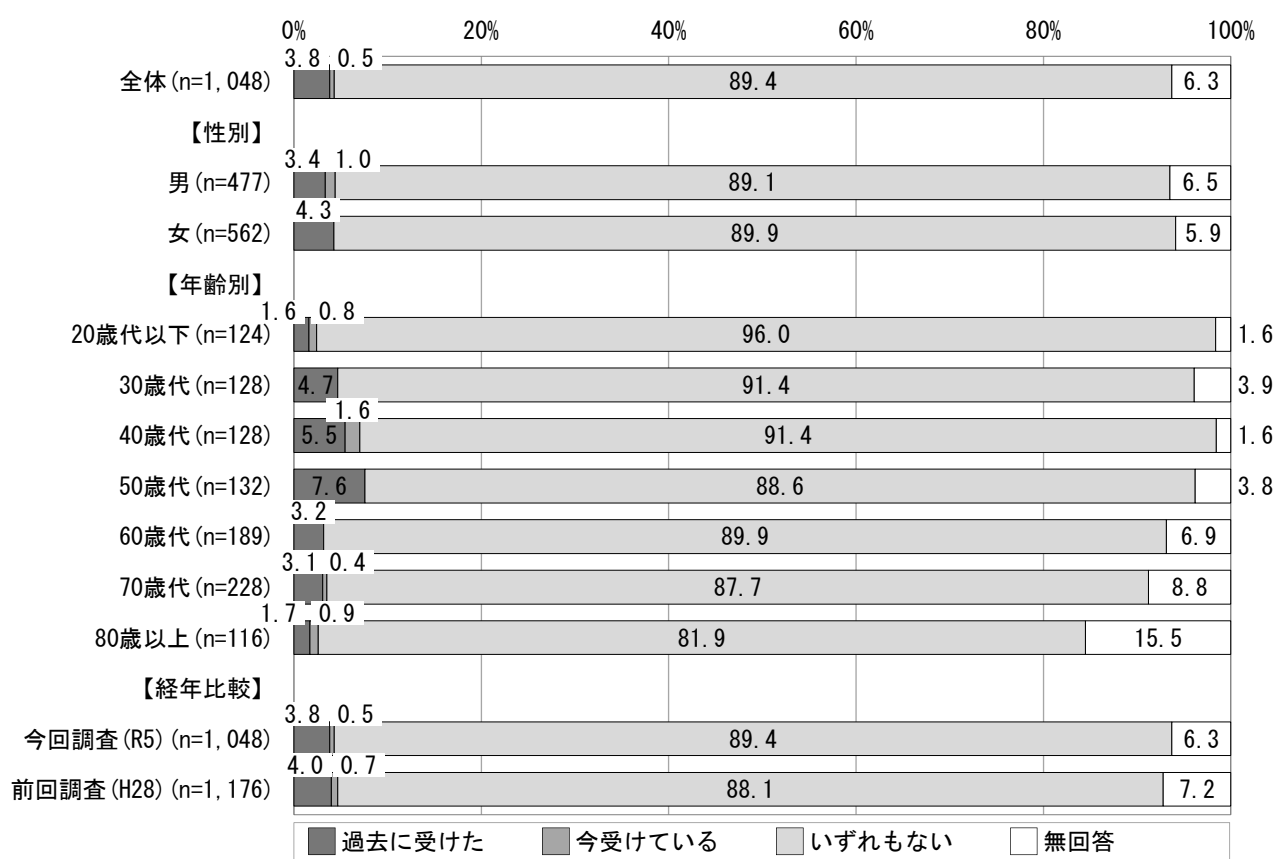
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(5) 信条や性別、社会的身分、出生地、心身の障がいなどによる不利な扱い（人権侵害の経験）

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が89.4%と最も高く、「過去に受けた」が3.8%、「今受けている」が0.5%と続いている。

年齢別では、50歳代で「過去に受けた」が7.6%と高くなっている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

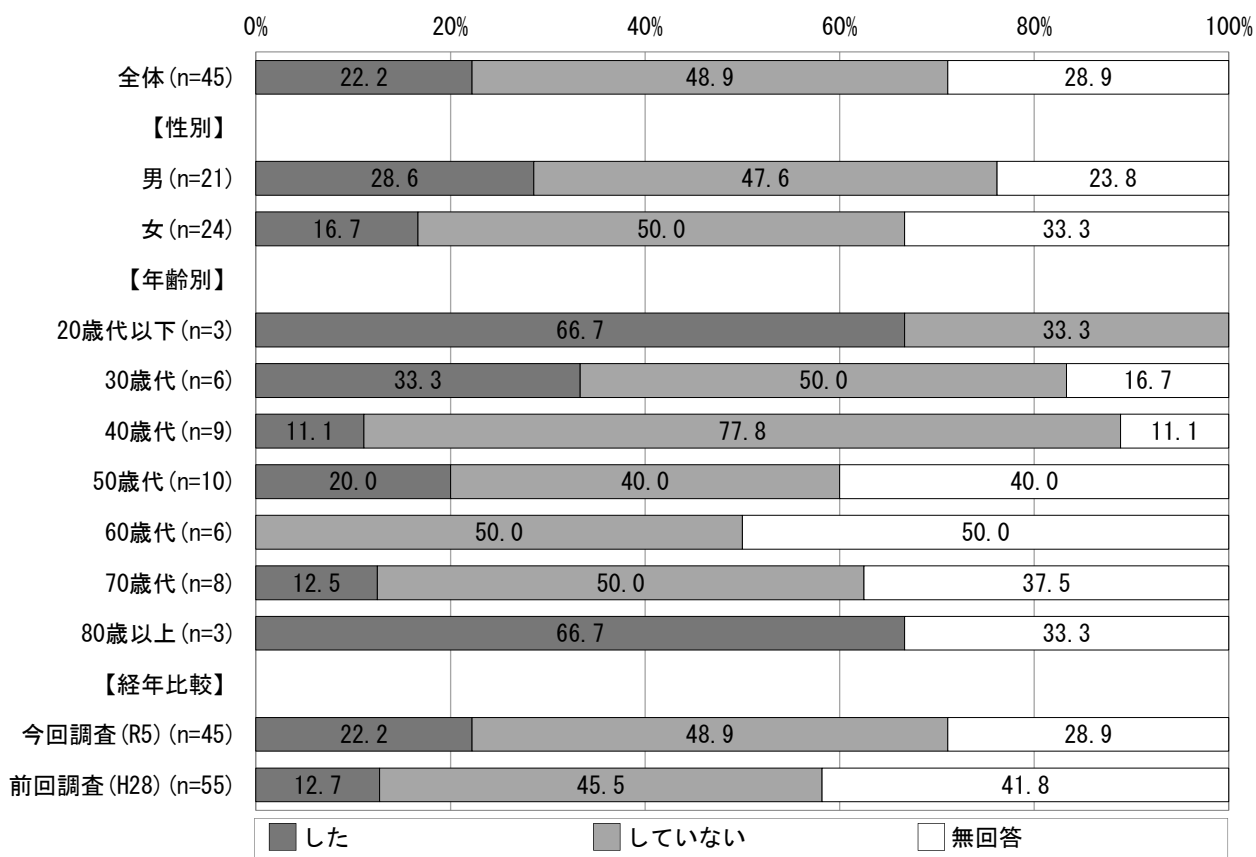
(5) 信条や性別、社会的身分、出生地、心身の障がいなどによる不利な扱い(人権侵害の経験)

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が22.2%、「していない」が48.9%となっている。

経年比較では「した」は、今回調査(R5)(22.2%)が前回調査(H28)(12.7%)を9.5ポイント上回っている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

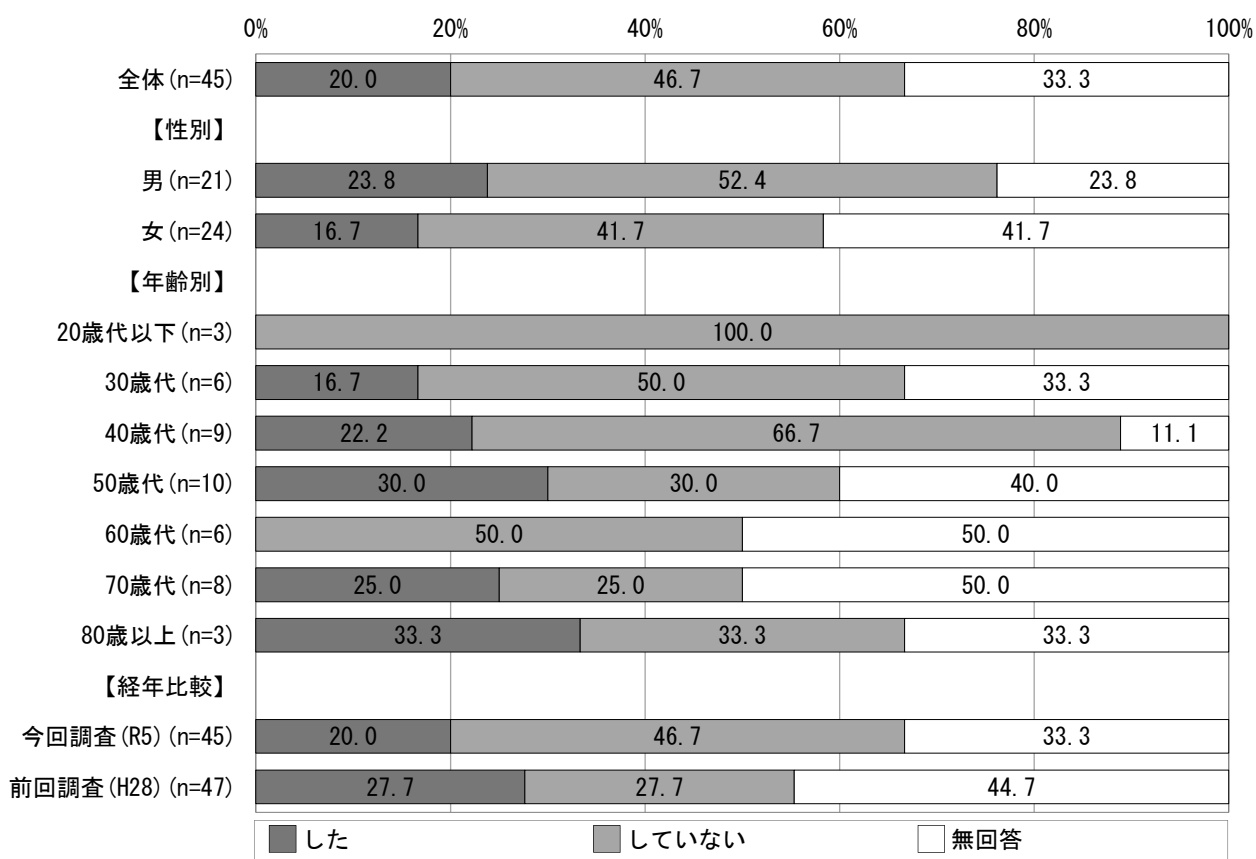
(5) 信条や性別、社会的身分、出生地、心身の障がいなどによる不利な扱い（人権侵害の経験）

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 20.0%、「していない」が 46.7%となっている。

経年比較では「した」は、前回調査(H28) (27.7%) が今回調査(R5) (20.0%) を 7.7 ポイント上回っている。



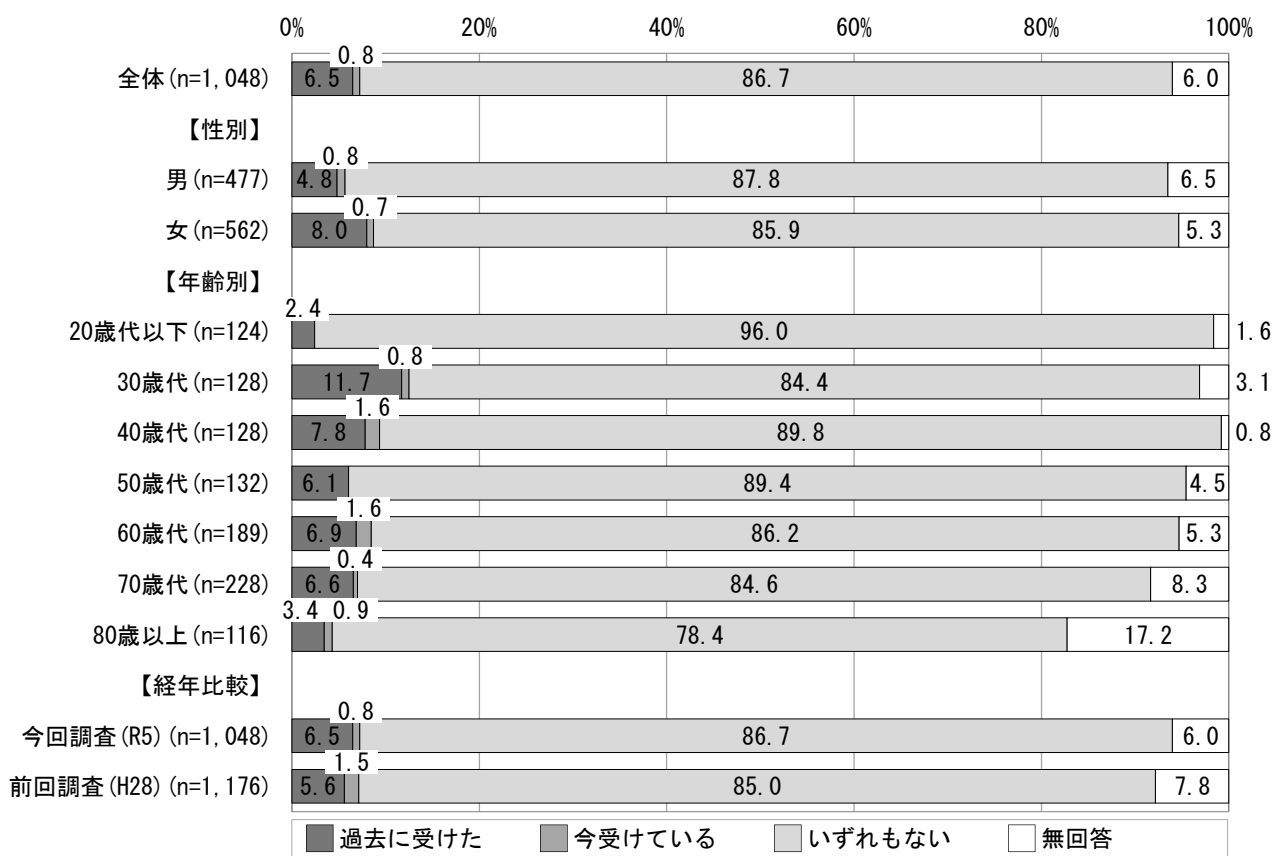
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(6) プライバシーの侵害

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が86.7%と最も高く、「過去に受けた」が6.5%、「今受けている」が0.8%と続いている。

年齢別では、30歳代で「過去に受けた」が11.7%と高くなっている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

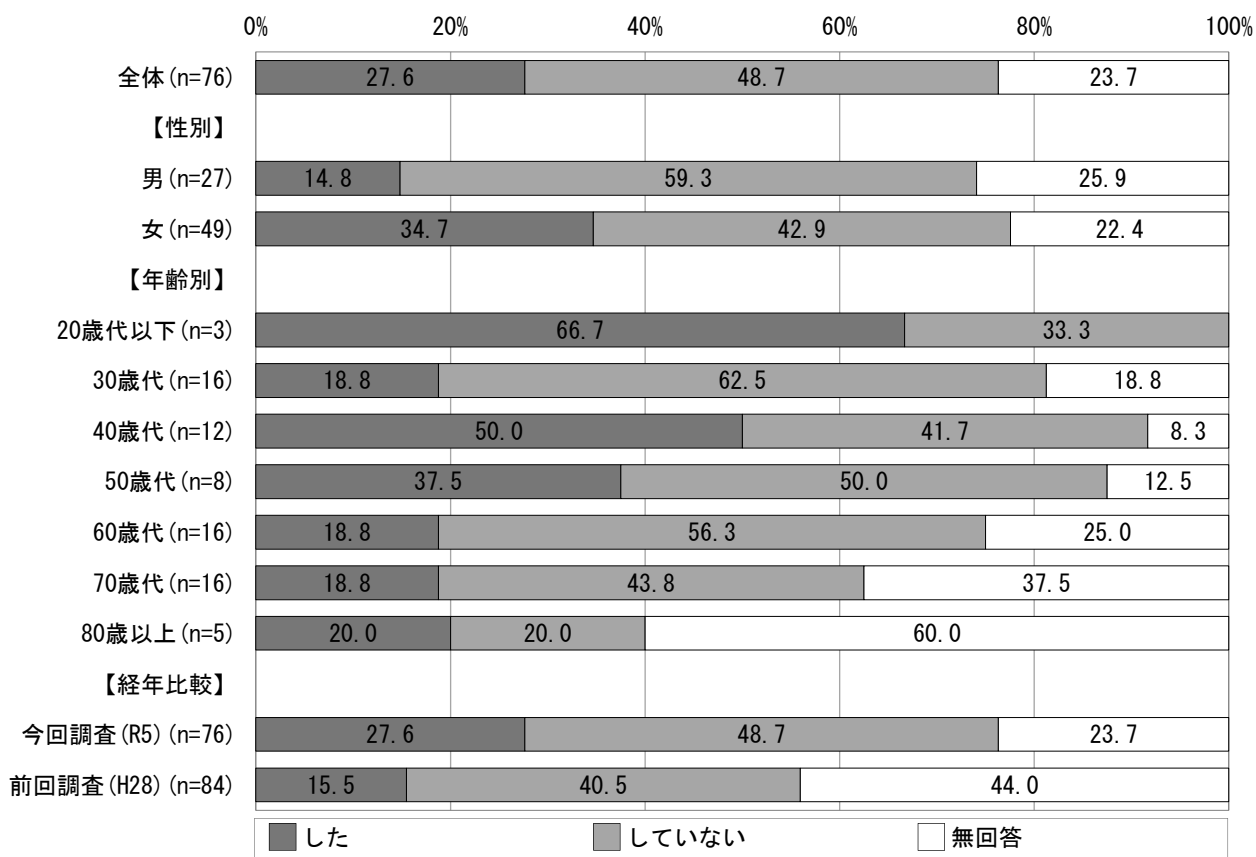
(6) プライバシーの侵害

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 27.6%、「していない」が 48.7%となっている。

経年比較では「した」は、今回調査(R5) (27.6%)が前回調査(H28) (15.5%)を 12.1 ポイント上回っている。



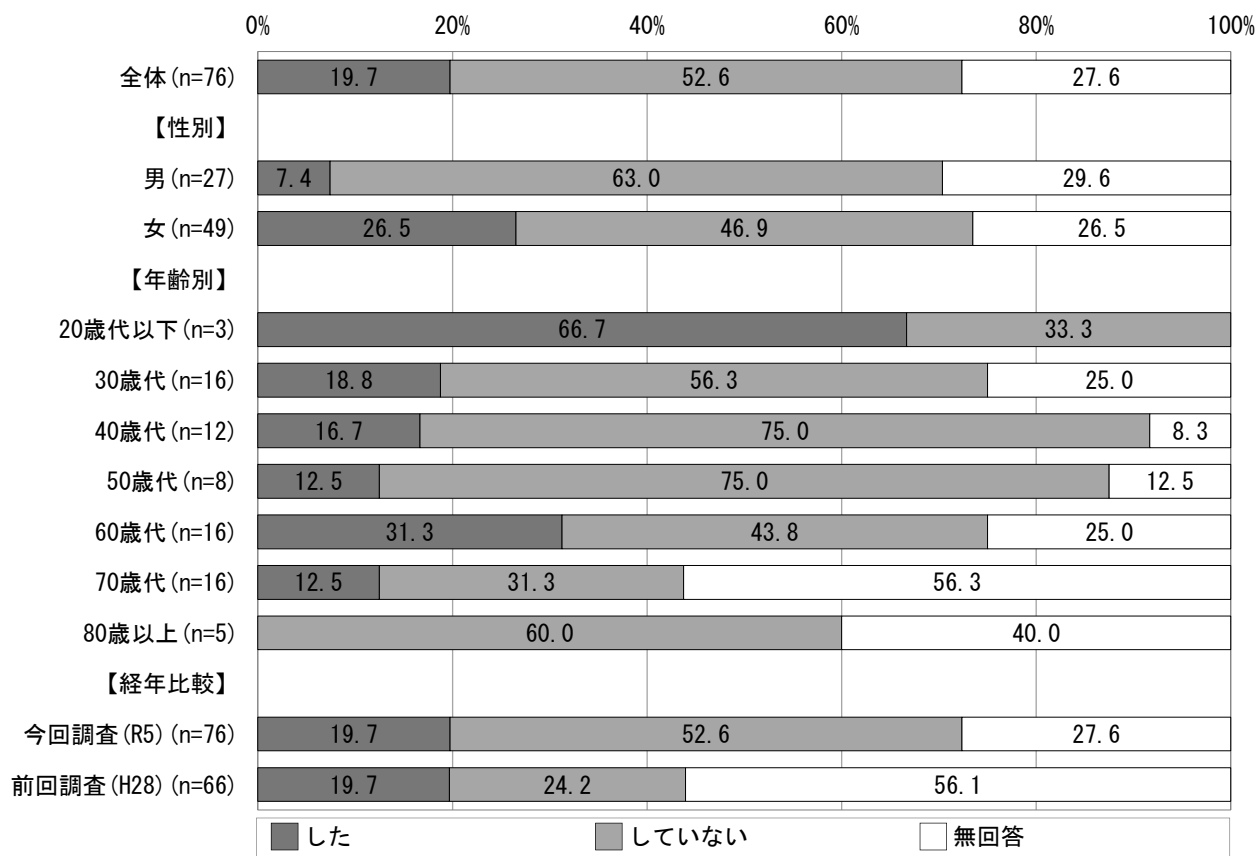
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(6) プライバシーの侵害

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 19.7%、「していない」が 52.6%となっている。



問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

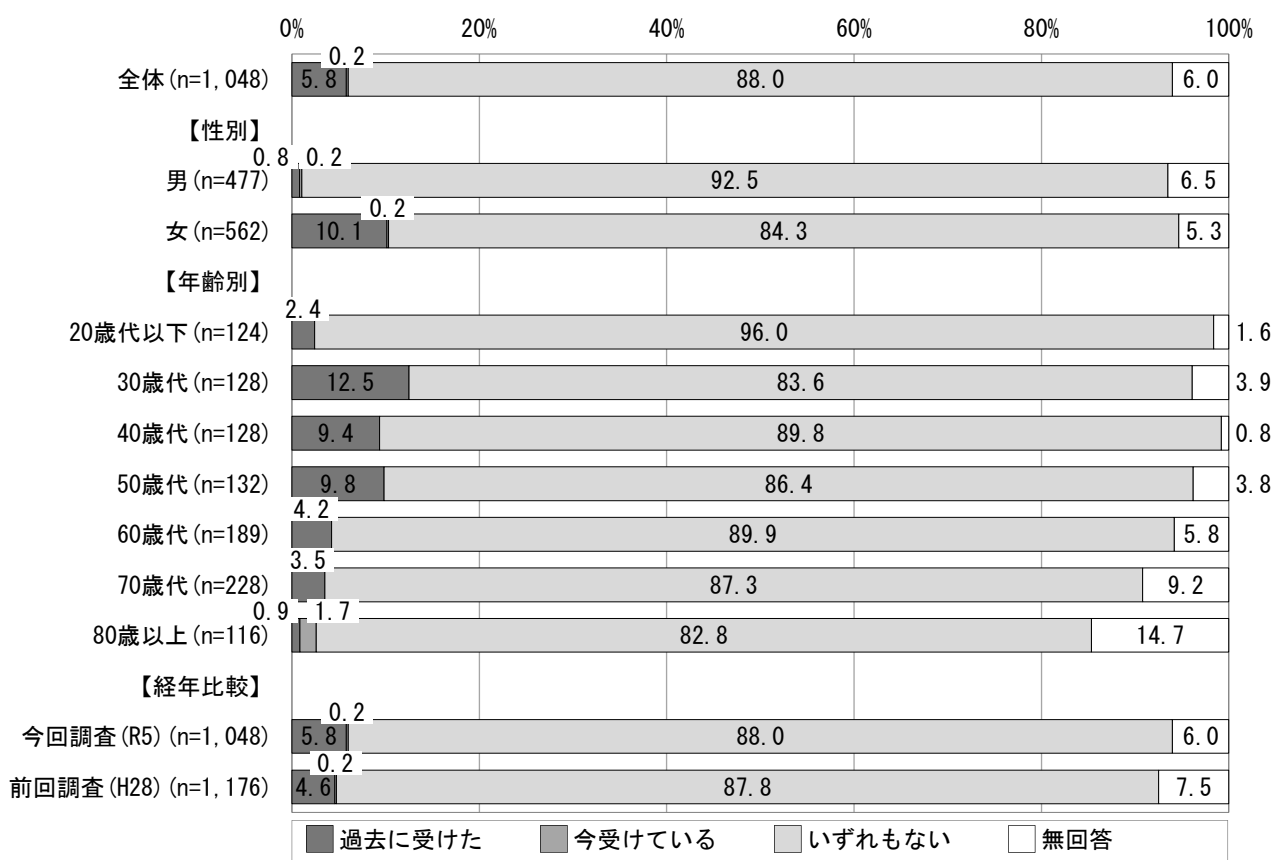
(7) セクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ)

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が88.0%と最も高く、「過去に受けた」が5.8%、「今受けている」が0.2%と続いている。

性別では「過去に受けた」は、女(10.1%)が男(0.8%)を9.3ポイント上回っている。

年齢別では、30歳代で「過去に受けた」が12.5%と高くなっている。



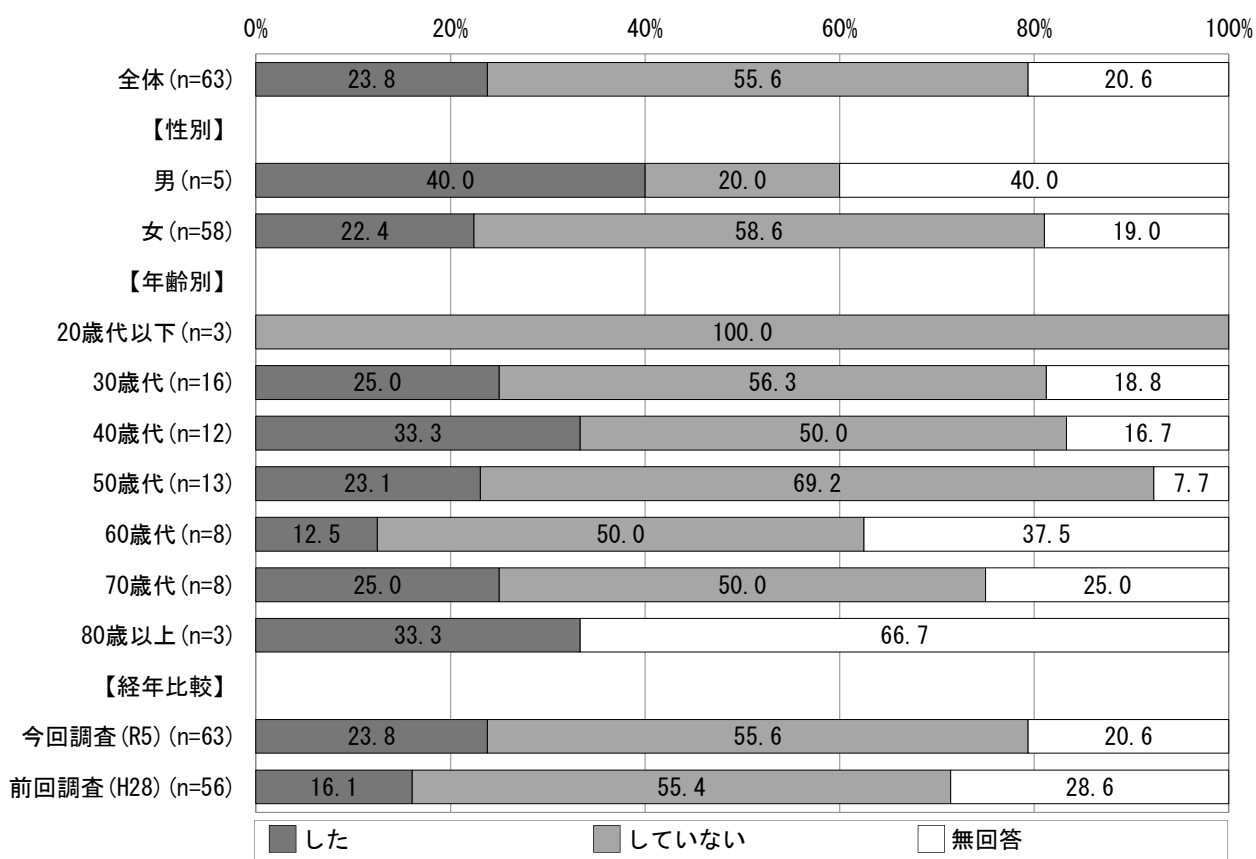
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。
 (7) セクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ)

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 23.8%、「していない」が 55.6%となっている。

経年比較では「した」は、今回調査(R5) (23.8%) が前回調査(H28) (16.1%) を 7.7 ポイント上回っている。

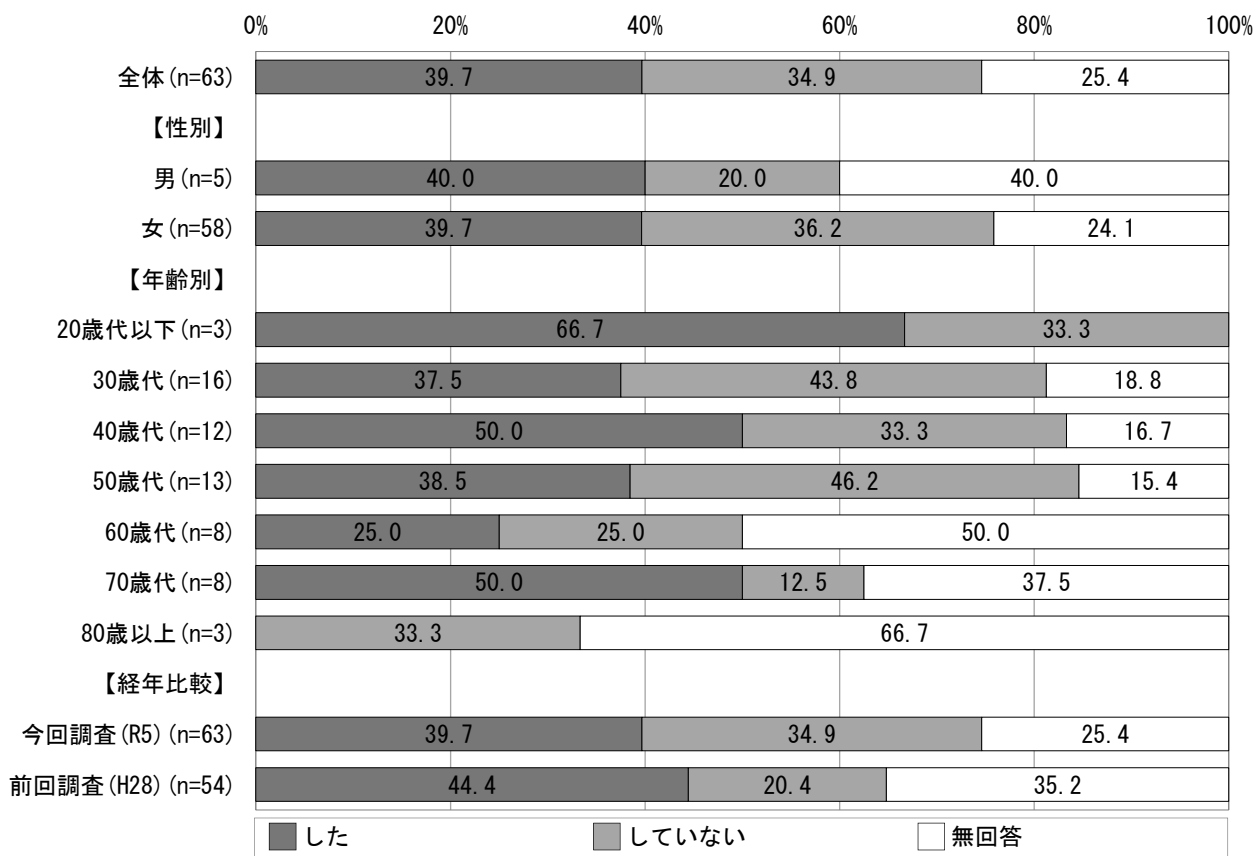


問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。
 (7) セクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ)

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が 39.7%、「していない」が 34.9%となっている。

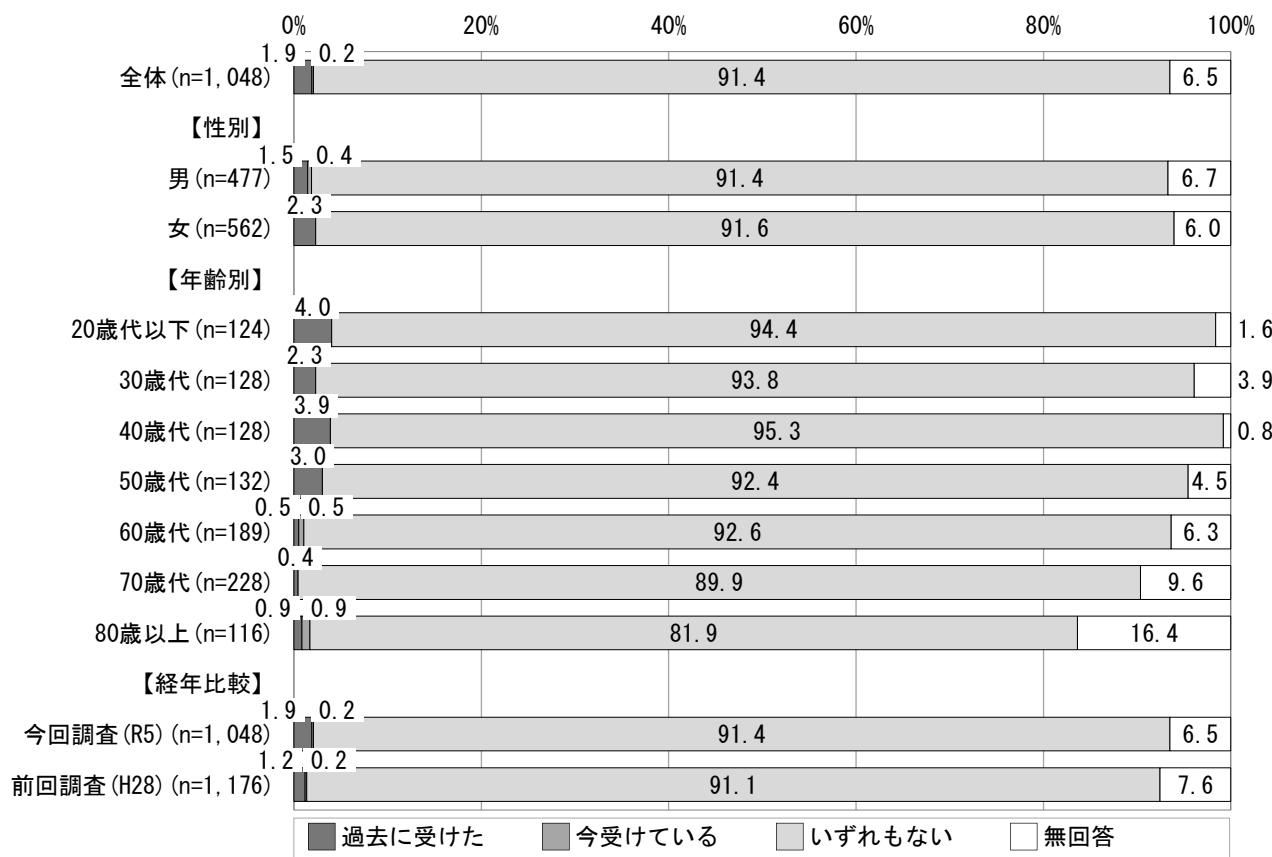


問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(8) インターネットを利用した人権侵害

①人権侵害の経験

全体では、「いずれもない」が91.4%と最も高く、「過去に受けた」が1.9%、「今受けている」が0.2%と続いている。



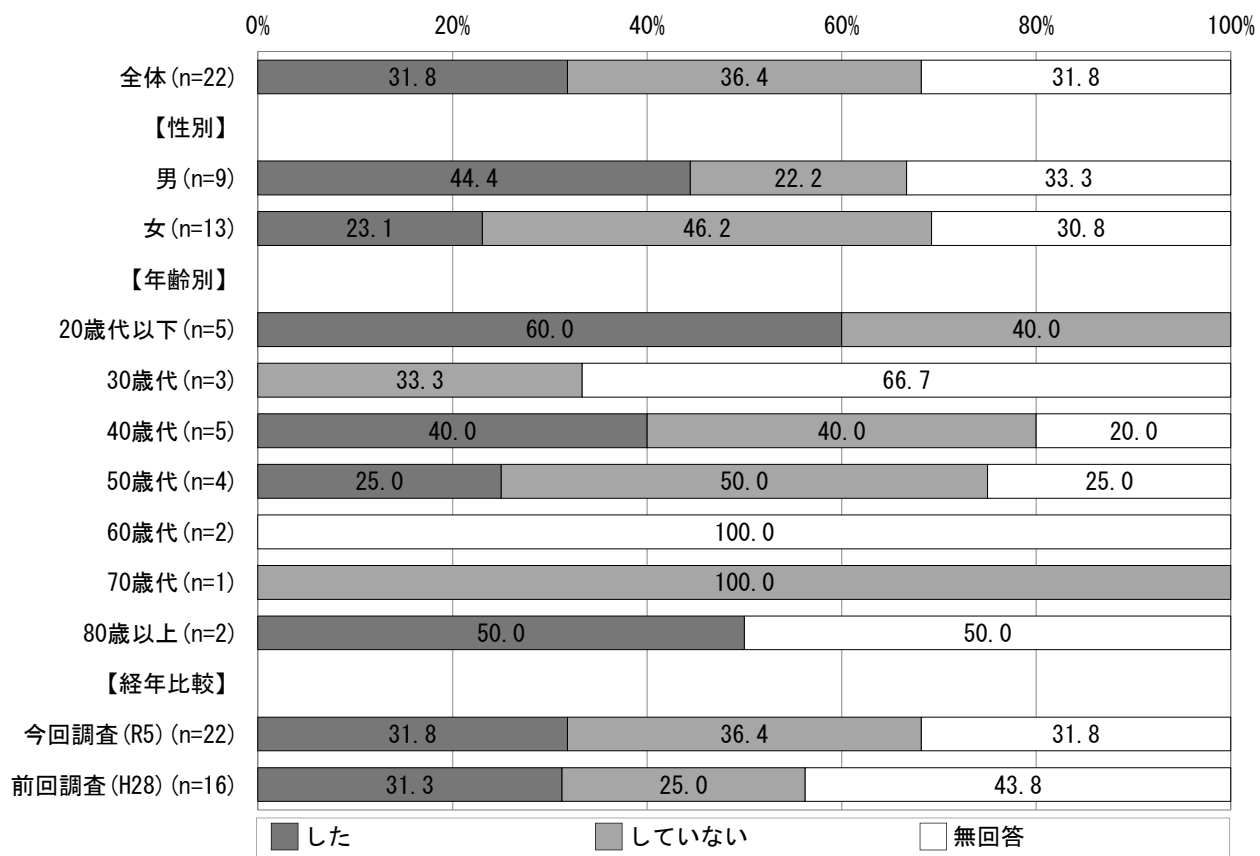
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(8) インターネットを利用した人権侵害

②相談したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

全体では、「した」が31.8%、「していない」が36.4%となっている。



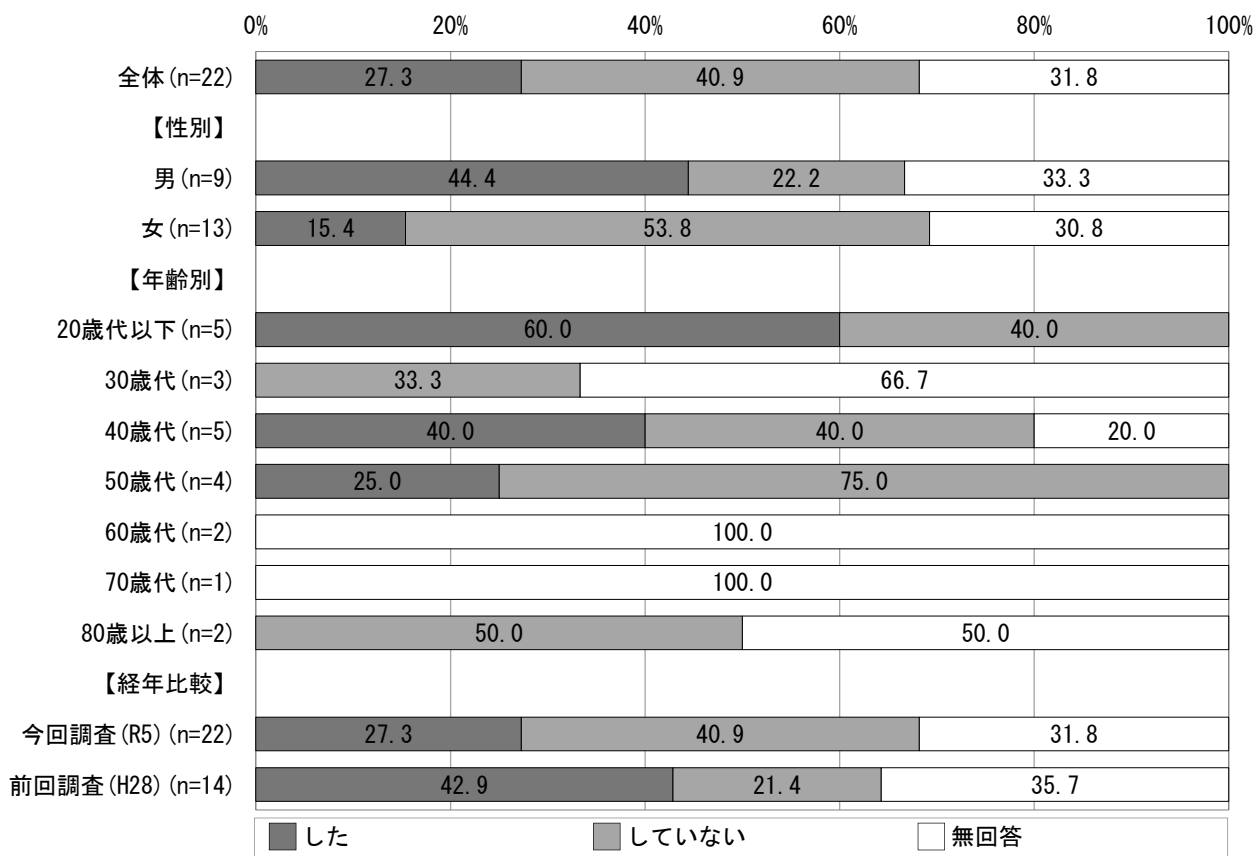
問 10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(8) インターネットを利用した人権侵害

③解決したか

※①で「過去に受けた」「今受けている」と回答した方に質問

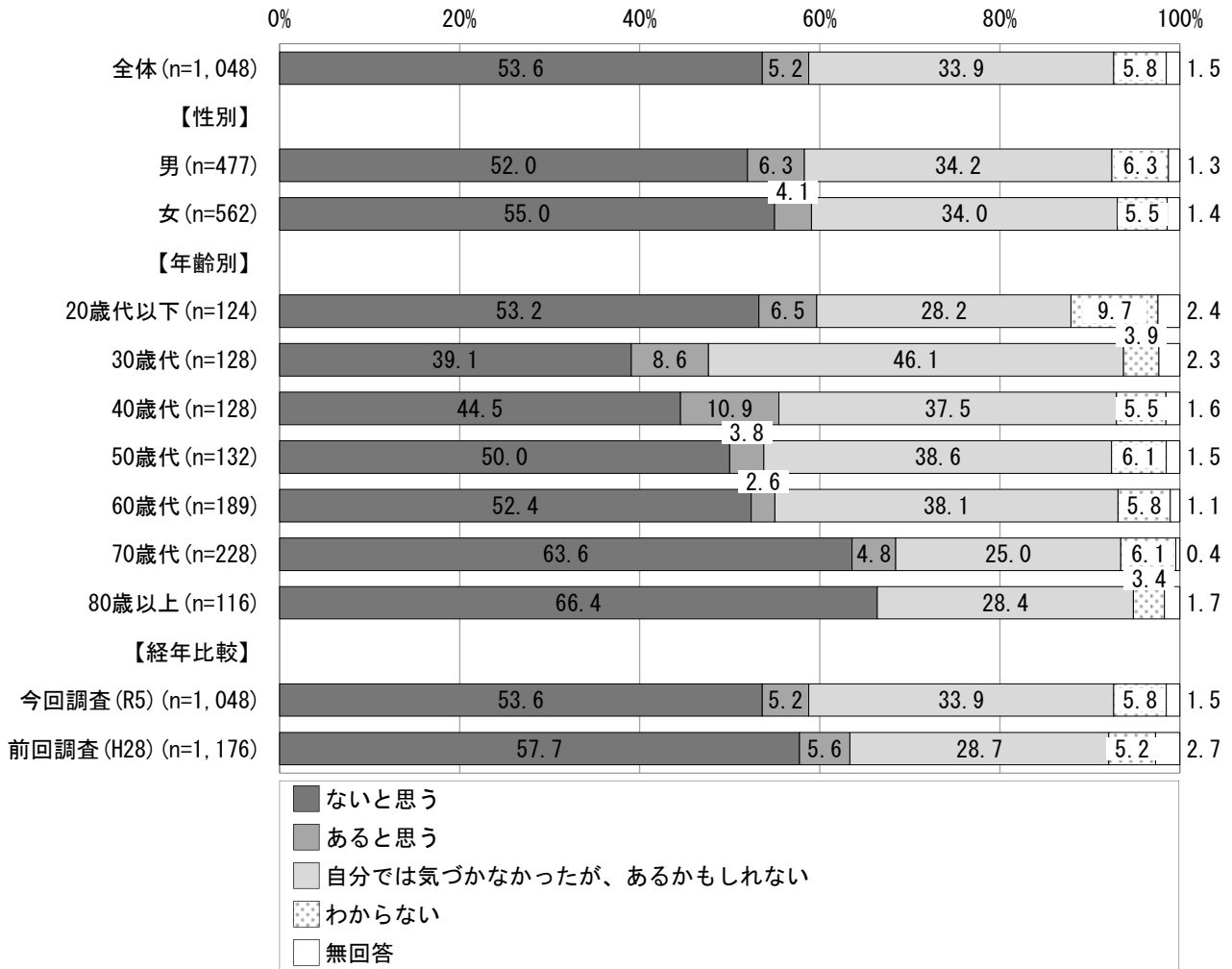
全体では、「した」が 27.3%、「していない」が 40.9%となっている。



問 11 あなたは今までに他の人の人権を侵害したことがありますか。

全体では、「ないと思う」が 53.6%と最も高く、「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」が 33.9%、「わからない」が 5.8%と続いている。

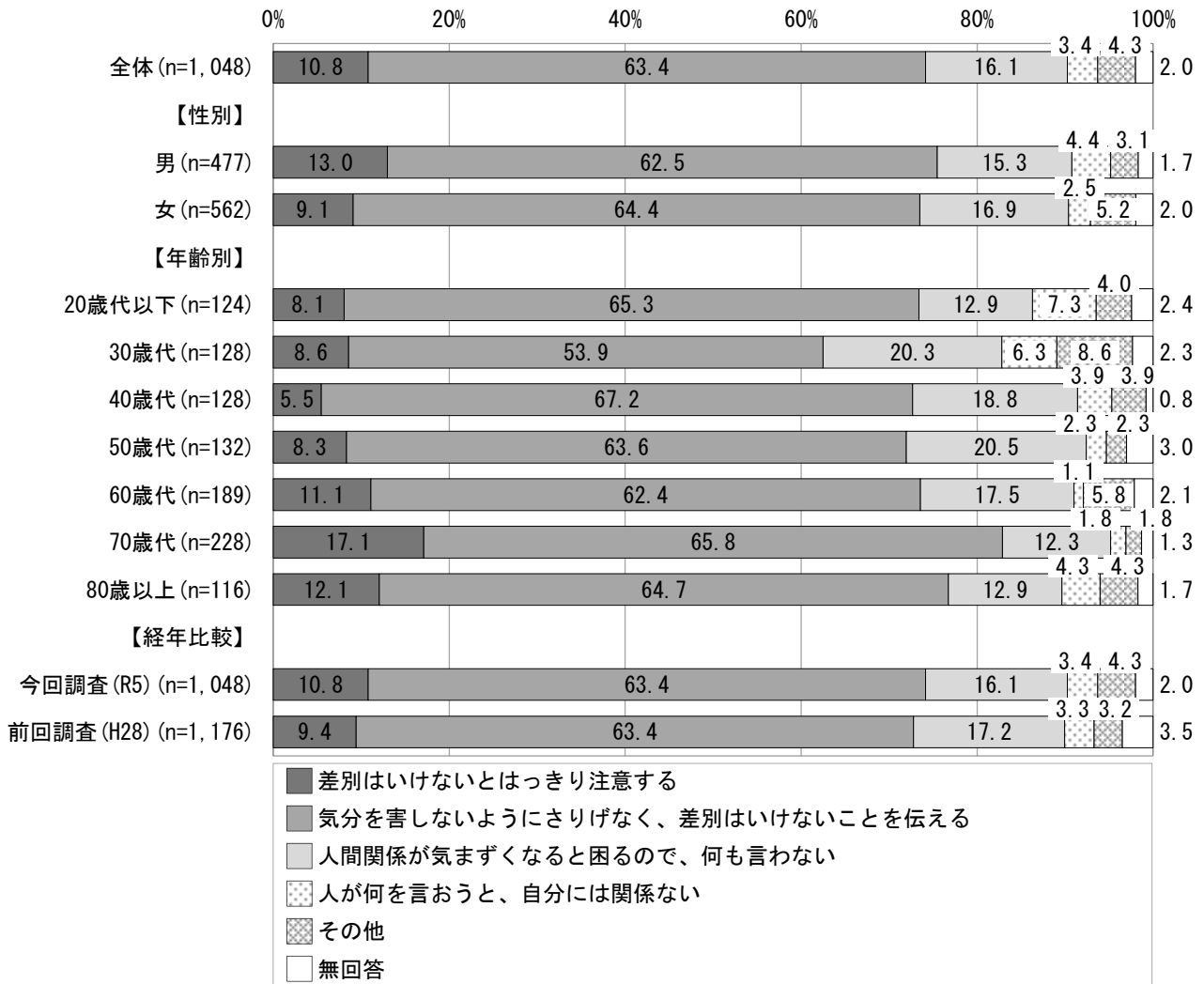
年齢別では、30 歳代で「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」が 46.1%と高くなっている。



問 12 あなたは、目の前で、知人が他の人を差別するような言動をとった時、どうしますか。

全体では、「気分を害しないようにさりげなく、差別はいけないことを伝える」が 63.4%と最も高く、「人間関係が気まづくなると困るので、何も言わない」が 16.1%、「差別はいけないとはっきり注意する」が 10.8%と続いている。

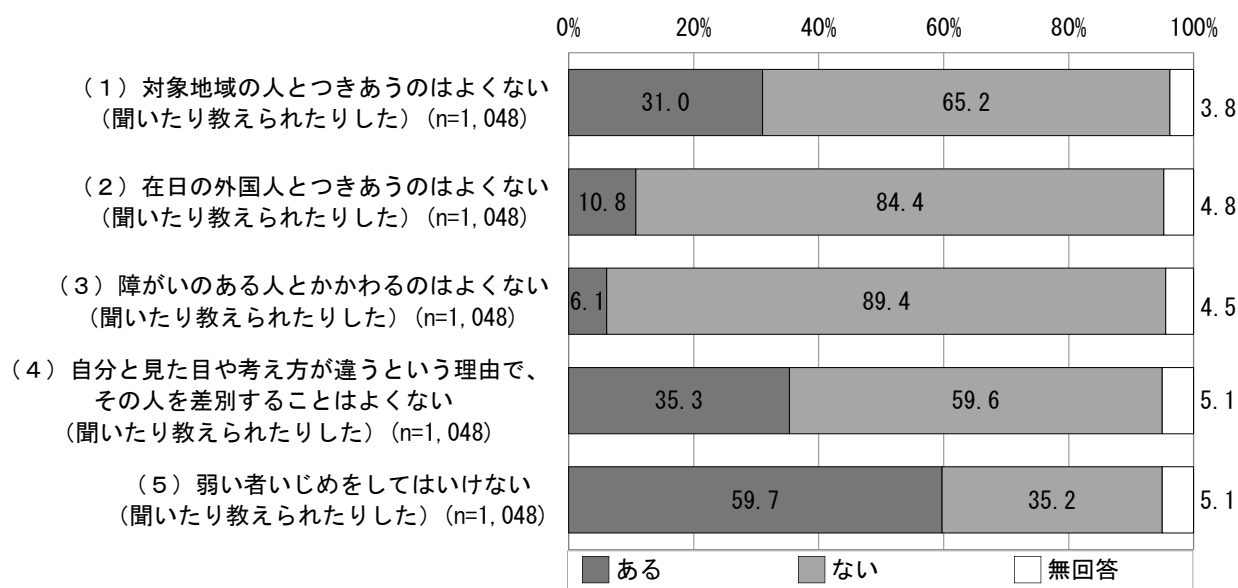
年齢別では、70 歳代で「差別はいけないとはっきり注意する」が 17.1%と高くなっている。



4. 過去に経験した事柄についておたずねします

問 13 あなたは、これまでに身近な人から次のような発言を聞いたり、教えられたりしたことがありますか。

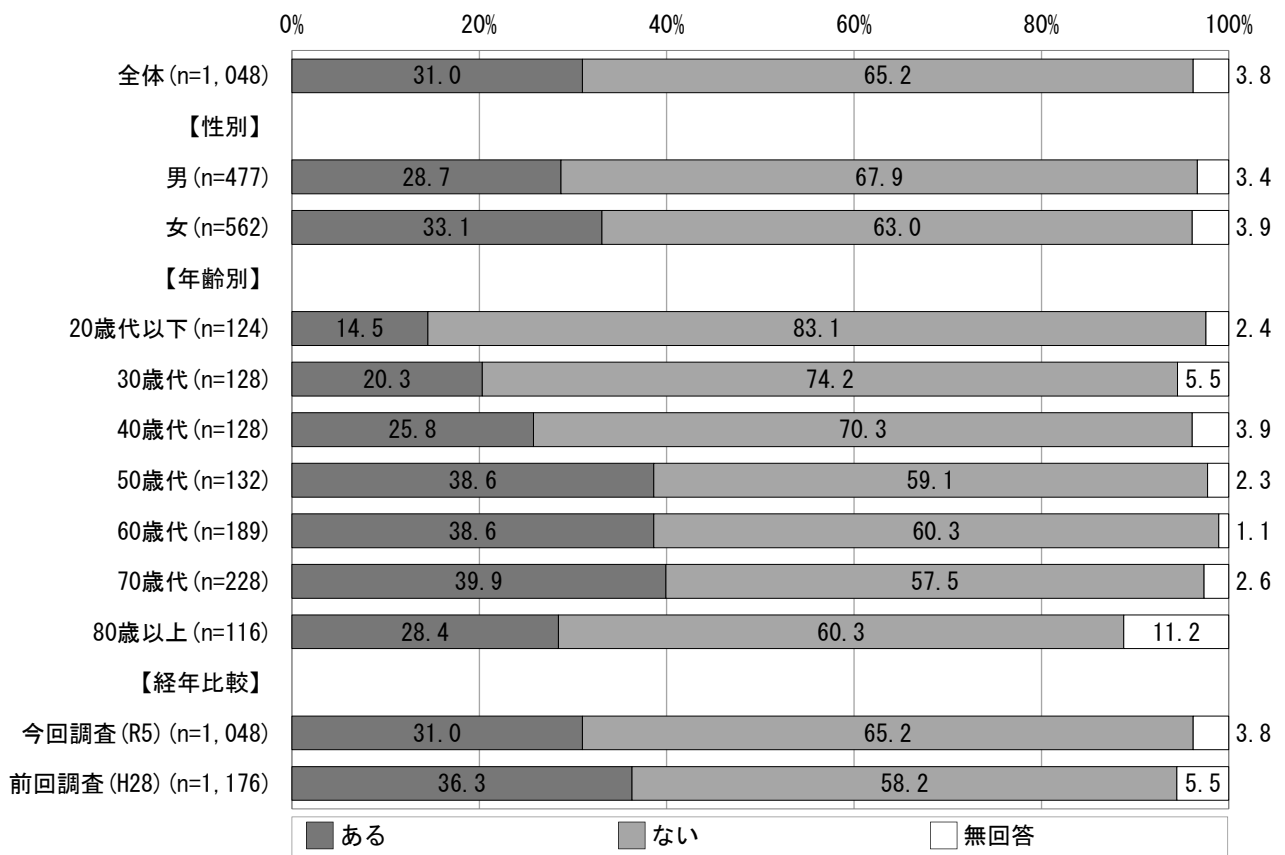
「ある」が最も高いのは、＜（５）弱い者いじめをしてはいけない（聞いたり教えられたりした）＞で、59.7%となっている。



(1) 対象地域の人とつきあうのはよくない

①聞いたり教えられたりした

全体では、「ある」が31.0%、「ない」が65.2%となっている。
年齢別では、70歳代で「ある」が39.9%と高くなっている。



(1) 対象地域の人とつきあうのはよくない

②誰からか

※①で「ある」と回答した方に質問

全体では、「家族」が43.4%と最も高く、「近所の人」が21.8%、「友人」が20.0%と続いている。

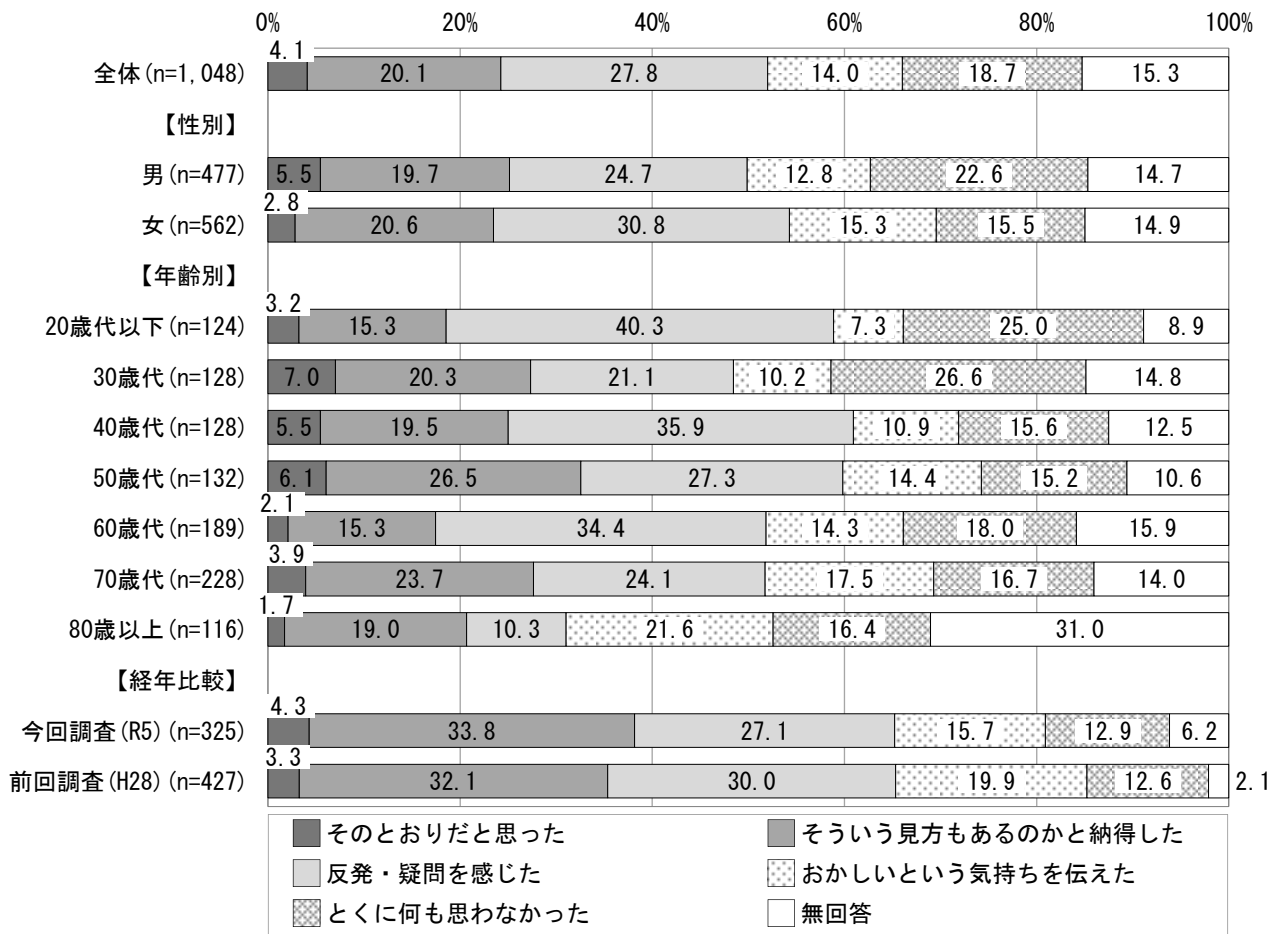
(%)	家族	近所の人	友人	親戚の人	職場の人	学校の先生	その他	無回答
全体 (n=325)	43.4	21.8	20.0	13.5	8.9	5.2	7.1	3.1
【性別】								
男 (n=137)	42.3	24.1	27.0	11.7	10.9	4.4	6.6	3.6
女 (n=186)	43.5	20.4	14.5	15.1	7.5	5.9	7.5	2.7
【年齢別】								
20歳代以下 (n=18)	44.4	5.6	11.1	5.6	16.7	27.8	11.1	0.0
30歳代 (n=26)	53.8	19.2	19.2	7.7	3.8	0.0	7.7	0.0
40歳代 (n=33)	51.5	21.2	18.2	9.1	9.1	18.2	3.0	3.0
50歳代 (n=51)	51.0	17.6	25.5	13.7	7.8	7.8	9.8	2.0
60歳代 (n=73)	49.3	19.2	9.6	19.2	6.8	1.4	9.6	4.1
70歳代 (n=91)	34.1	27.5	25.3	14.3	11.0	1.1	4.4	2.2
80歳以上 (n=33)	27.3	30.3	27.3	12.1	9.1	0.0	6.1	9.1
【経年比較】								
今回調査 (R5) (n=325)	43.4	21.8	20.0	13.5	8.9	5.2	7.1	3.1
前回調査 (H28) (n=427)	44.3	21.3	14.5	16.2	9.6	6.3	6.3	1.9

(1) 対象地域の人とつきあうのはよくない

③ どう感じたか

全体では、「反発・疑問を感じた」が27.8%と最も高く、「そういう見方もあるのかと納得した」が20.1%、「とくに何も思わなかった」が18.7%と続いている。

年齢別では、30歳代で「そのとおりだと思った」が7.0%と高くなっている。



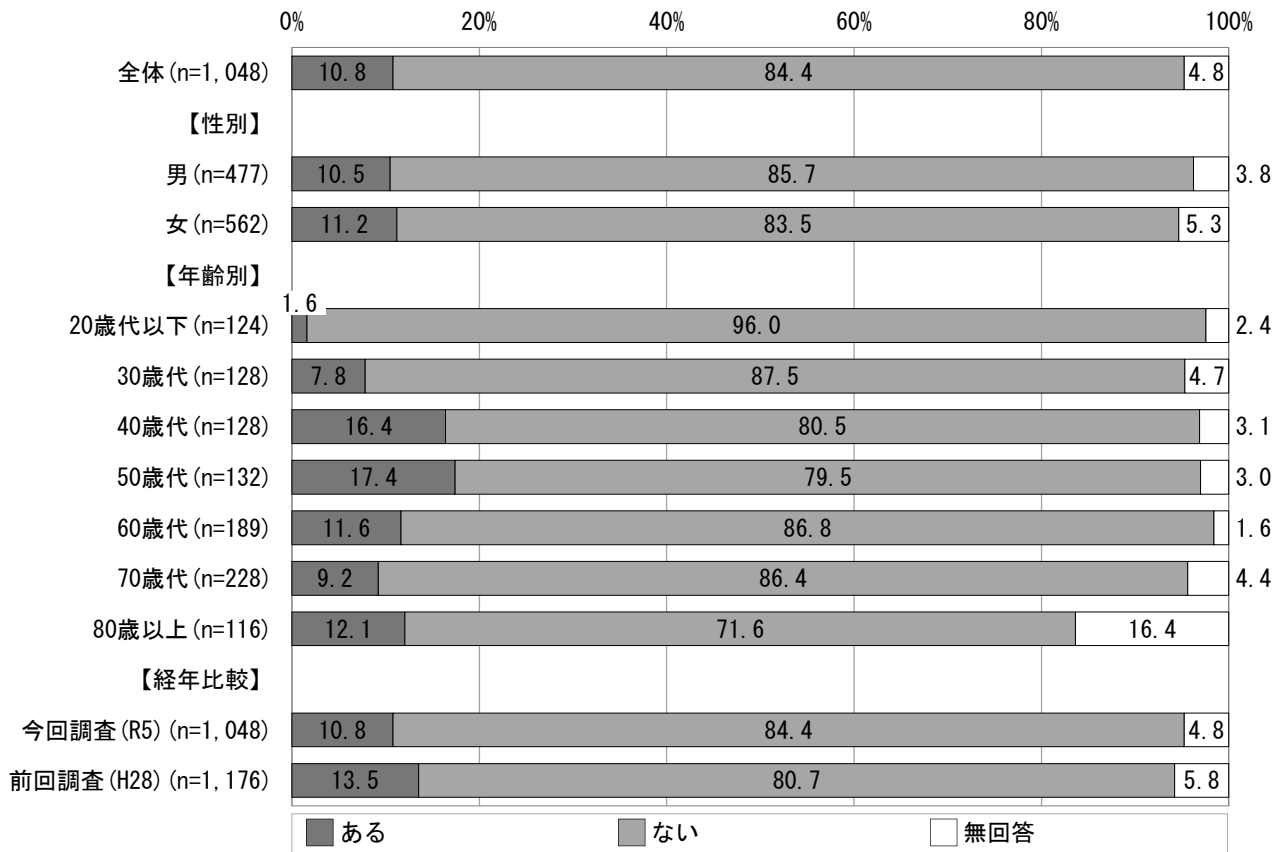
※今回調査(R5)は、「聞いたり教えられたりした」で「ある」と回答した方のみ抜粋

(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない

①聞いたり教えられたりした

全体では、「ある」が10.8%、「ない」が84.4%となっている。

年齢別では、50歳代で「ある」が17.4%と高くなっている。



(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない

②誰からか

※①で「ある」と回答した方に質問

全体では、「家族」が31.9%と最も高く、「近所の人」が28.3%、「友人」が20.4%と続いている。

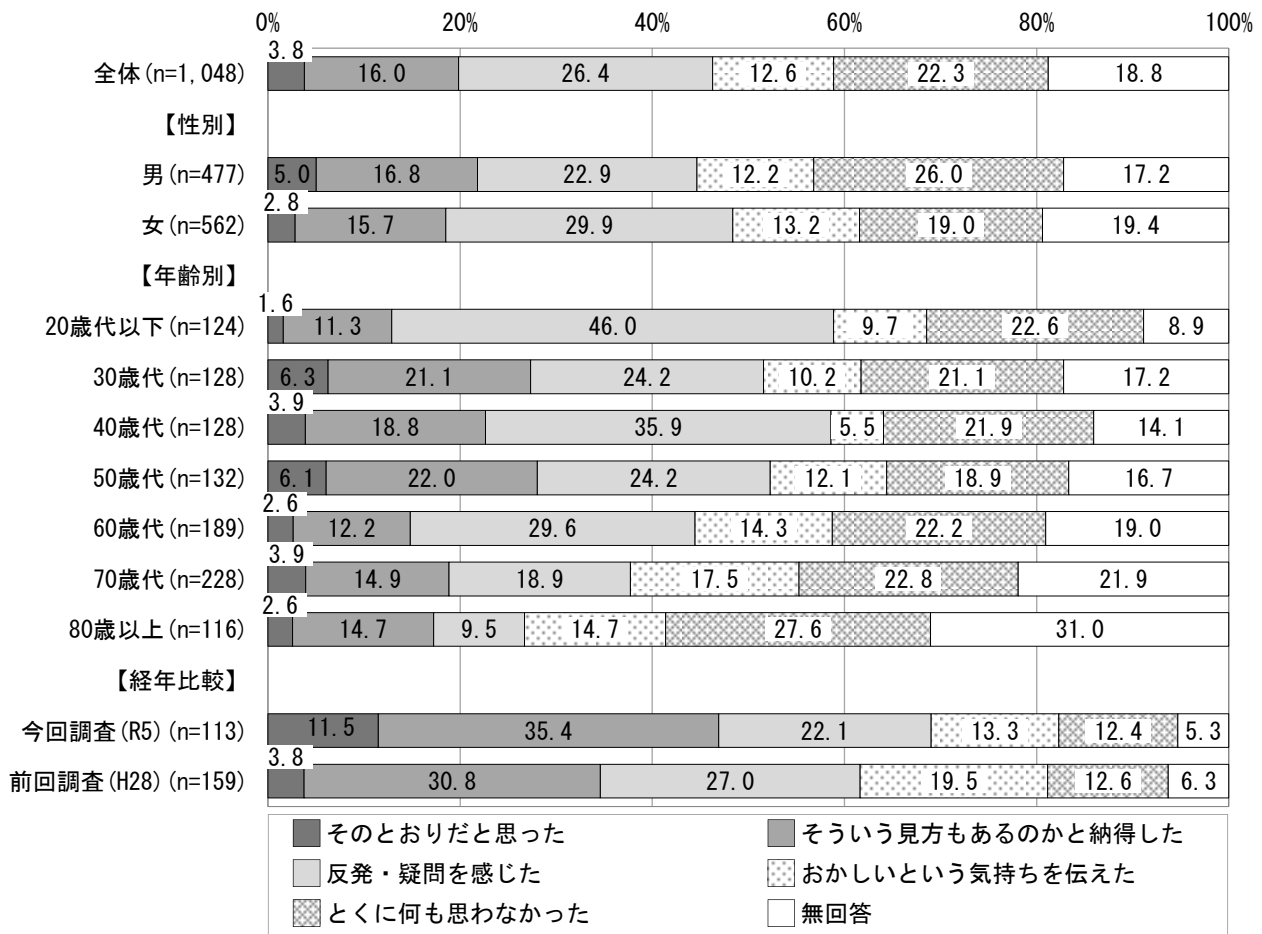
(%)	家族	近所の人	友人	職場の人	親戚の人	学校の先生	その他	無回答
全体 (n=113)	31.9	28.3	20.4	15.9	9.7	5.3	9.7	5.3
【性別】								
男 (n=50)	30.0	26.0	24.0	22.0	2.0	4.0	18.0	4.0
女 (n=63)	33.3	30.2	17.5	11.1	15.9	6.3	3.2	6.3
【年齢別】								
20歳代以下 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
30歳代 (n=10)	40.0	10.0	30.0	30.0	10.0	10.0	20.0	0.0
40歳代 (n=21)	42.9	42.9	14.3	4.8	14.3	9.5	9.5	4.8
50歳代 (n=23)	43.5	13.0	30.4	26.1	4.3	8.7	0.0	4.3
60歳代 (n=22)	31.8	18.2	27.3	22.7	13.6	0.0	22.7	0.0
70歳代 (n=21)	23.8	42.9	14.3	4.8	4.8	0.0	0.0	14.3
80歳以上 (n=14)	0.0	42.9	7.1	14.3	14.3	0.0	14.3	7.1
【経年比較】								
今回調査 (R5) (n=113)	31.9	28.3	20.4	15.9	9.7	5.3	9.7	5.3
前回調査 (H28) (n=159)	34.6	19.5	22.6	12.6	10.1	4.4	9.4	7.5

(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない

③ どう感じたか

全体では、「反発・疑問を感じた」が26.4%と最も高く、「とくに何も思わなかった」が22.3%、「そういう見方もあるのかと納得した」が16.0%と続いている。

年齢別では、20歳代以下で「反発・疑問を感じた」が46.0%と高くなっている。



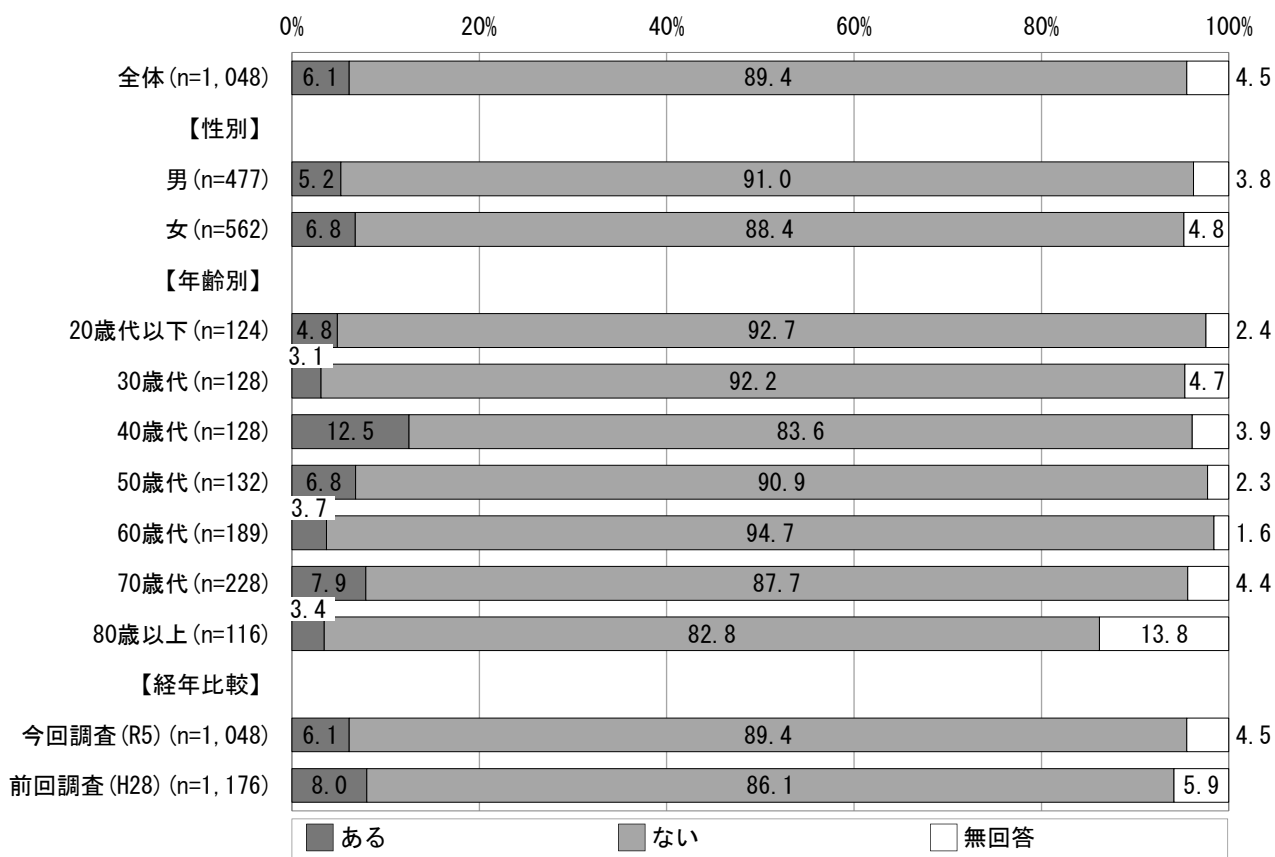
※今回調査(R5)は、「聞いたり教えられたりした」で「ある」と回答した方のみ抜粋

(3) 障がいのある人とかかわるのはよくない

①聞いたり教えられたりした

全体では、「ある」が 6.1%、「ない」が 89.4%となっている。

年齢別では、40 歳代で「ある」が 12.5%と高くなっている。



(3) 障がいのある人とかかわるのはよくない

②誰からか

※①で「ある」と回答した方に質問

全体では、「友人」が25.0%と最も高く、「家族」が23.4%、「近所の人」が20.3%と続いている。

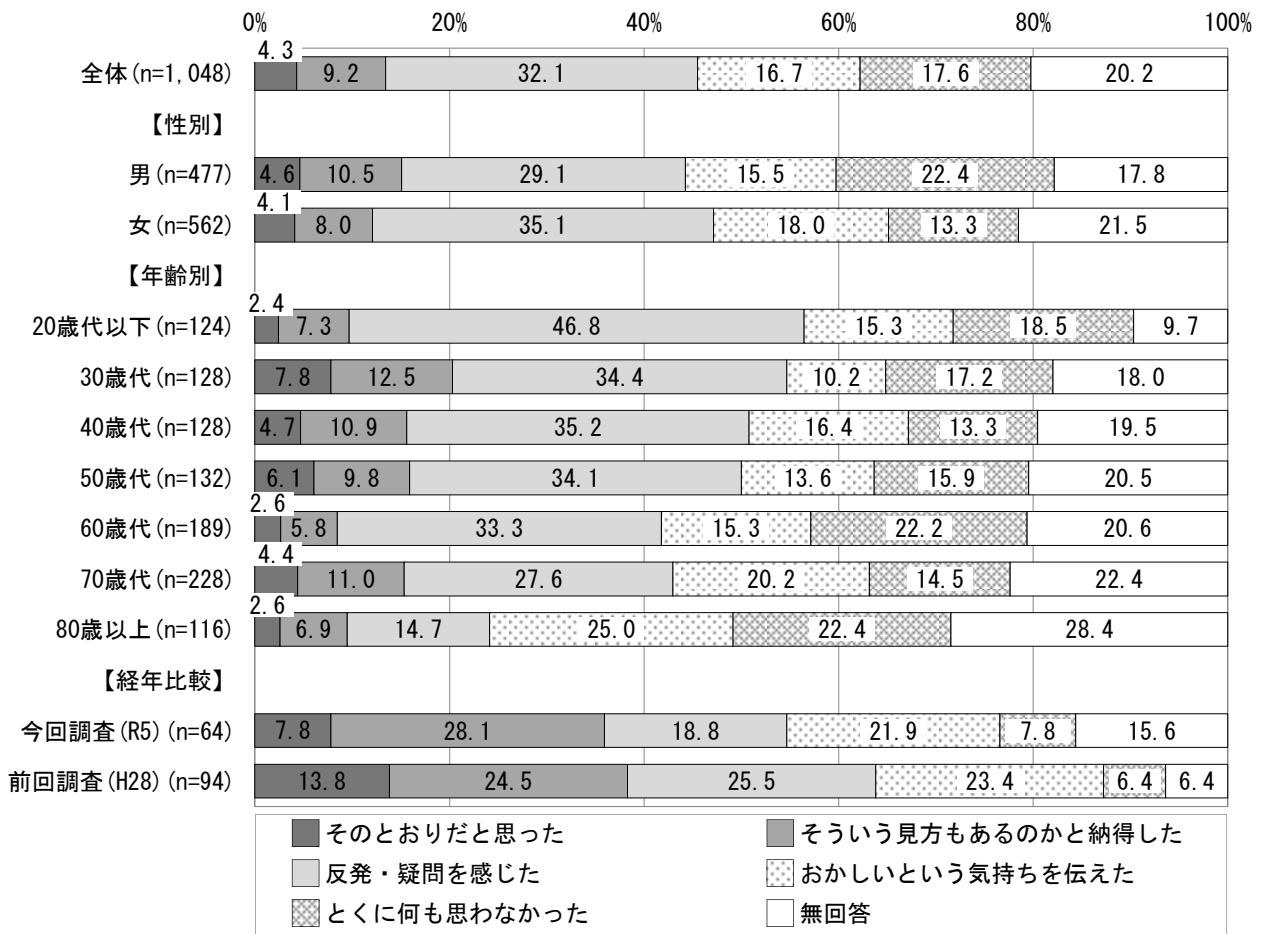
(%)	友人	家族	近所の人	職場の人	親戚の人	学校の先生	その他	無回答
全体 (n=64)	25.0	23.4	20.3	9.4	7.8	6.3	4.7	12.5
【性別】								
男 (n=25)	40.0	8.0	20.0	12.0	8.0	8.0	8.0	4.0
女 (n=38)	15.8	34.2	21.1	7.9	7.9	5.3	2.6	15.8
【年齢別】								
20歳代以下 (n=6)	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3
30歳代 (n=4)	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代 (n=16)	31.3	18.8	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5
50歳代 (n=9)	33.3	44.4	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0
60歳代 (n=7)	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
70歳代 (n=18)	16.7	16.7	22.2	16.7	11.1	0.0	0.0	16.7
80歳以上 (n=4)	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
【経年比較】								
今回調査 (R5) (n=64)	25.0	23.4	20.3	9.4	7.8	6.3	4.7	12.5
前回調査 (H28) (n=94)	20.2	31.9	29.8	8.5	3.2	11.7	9.6	6.4

(3) 障がいのある人とかわるのはいくつ

③どう感じたか

全体では、「反発・疑問を感じた」が 32.1%と最も高く、「とくに何も思わなかった」が 17.6%、「おかしいという気持ちを伝えた」が 16.7%と続いている。

年齢別では、20 歳代以下で「反発・疑問を感じた」が 46.8%と高くなっている。



※今回調査(R5)は、「聞いたり教えられたりした」で「ある」と回答した方のみ抜粋

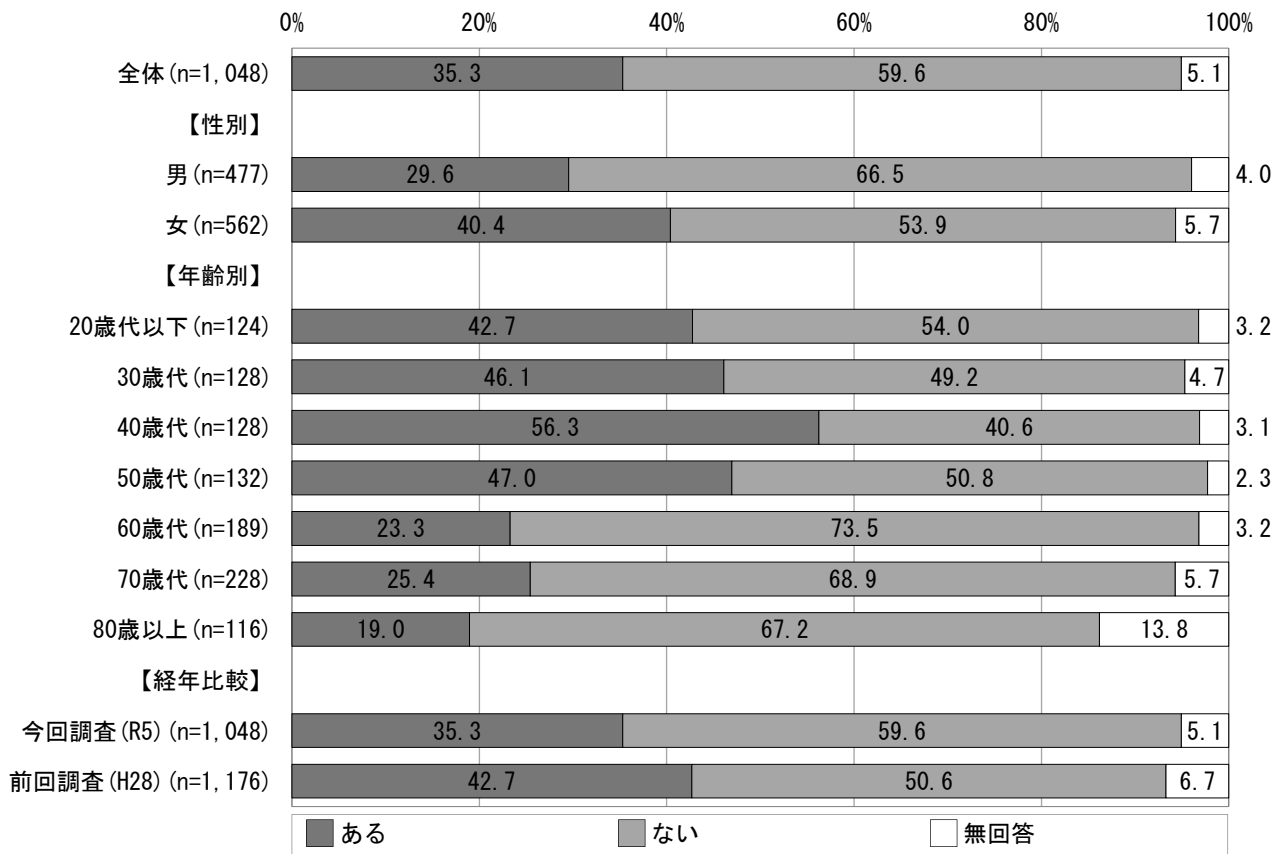
(4) 自分と見た目や考え方が違うという理由で、その人を差別することはよくない

①聞いたり教えられたりした

全体では、「ある」が 35.3%、「ない」が 59.6%となっている。

性別では「ある」は、女 (40.4%) が男 (29.6%) を 10.8 ポイント上回っている。

年齢別では、40 歳代で「ある」が 56.3%と高くなっている。



(4) 自分と見た目や考え方が違うという理由で、その人を差別することはよくない

②誰からか

※①で「ある」と回答した方に質問

全体では、「学校の先生」が50.0%と最も高く、「家族」が43.8%、「友人」が13.5%と続いている。
性別では「学校の先生」は、女（56.8%）が男（39.7%）を17.1ポイント上回っている。
年齢別では、50歳代で「家族」が54.8%と高くなっている。

(%)	学校の先生	家族	友人	職場の人	近所の人	親戚の人	その他	無回答
全体 (n=370)	50.0	43.8	13.5	9.5	5.9	4.1	5.9	3.8
【性別】								
男 (n=141)	39.7	39.7	14.2	14.9	7.8	4.3	8.5	3.5
女 (n=227)	56.8	45.8	12.8	6.2	4.8	4.0	4.4	4.0
【年齢別】								
20歳代以下 (n=53)	71.7	47.2	7.5	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8
30歳代 (n=59)	61.0	50.8	8.5	5.1	5.1	10.2	6.8	1.7
40歳代 (n=72)	55.6	45.8	9.7	6.9	4.2	2.8	11.1	2.8
50歳代 (n=62)	50.0	54.8	16.1	9.7	4.8	6.5	3.2	1.6
60歳代 (n=44)	50.0	43.2	15.9	11.4	2.3	2.3	2.3	2.3
70歳代 (n=58)	19.0	27.6	19.0	19.0	15.5	3.4	8.6	8.6
80歳以上 (n=22)	31.8	22.7	27.3	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1
【経年比較】								
今回調査 (R5) (n=370)	50.0	43.8	13.5	9.5	5.9	4.1	5.9	3.8
前回調査 (H28) (n=502)	50.8	42.6	13.7	7.8	7.4	3.6	4.8	6.6

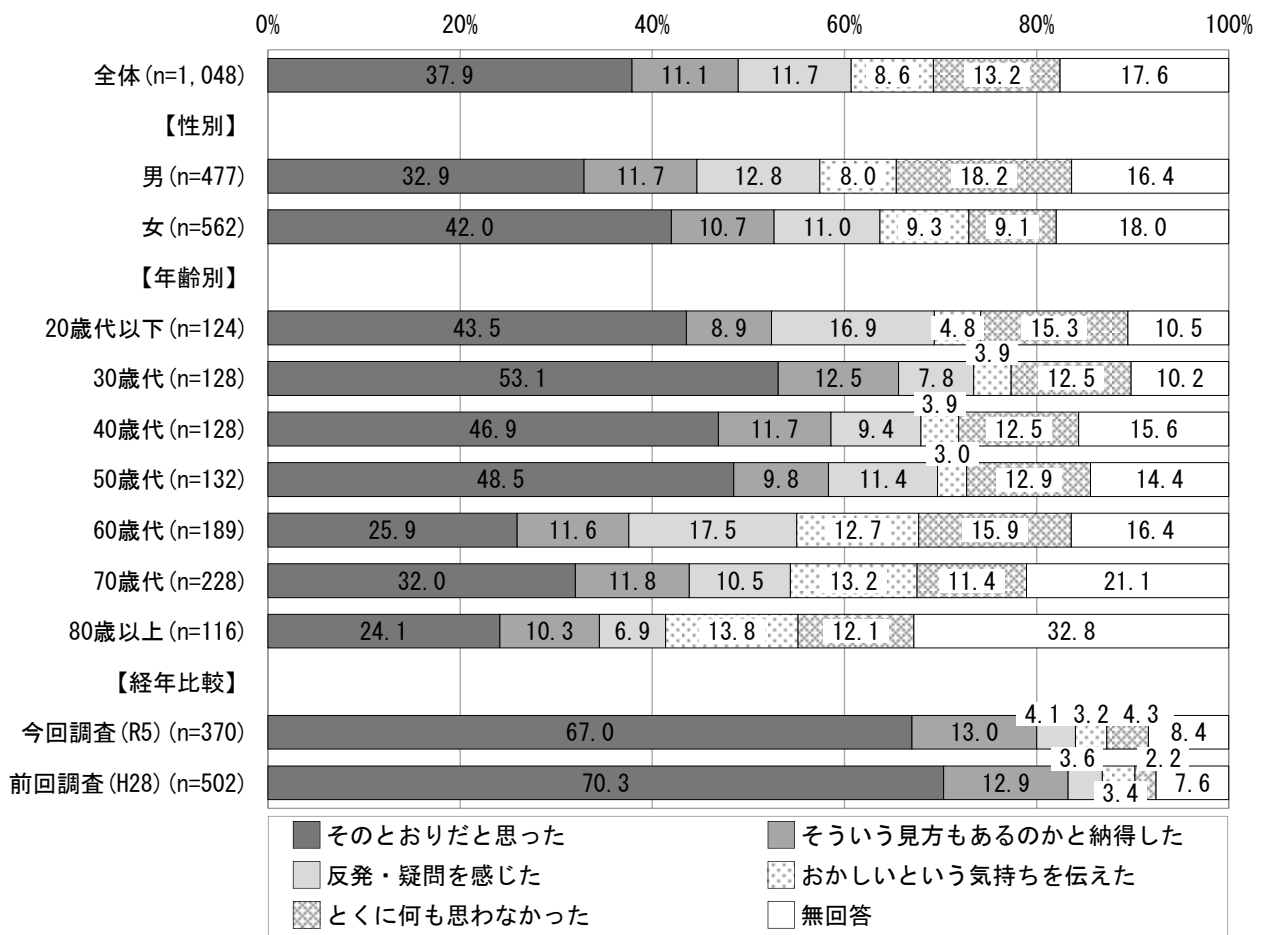
(4) 自分と見た目や考え方が違うという理由で、その人を差別することはよくない

③ どう感じたか

全体では、「そのとおりだと思った」が 37.9%と最も高く、「とくに何も思わなかった」が 13.2%、「反発・疑問を感じた」が 11.7%と続いている。

性別では「そのとおりだと思った」は、女（42.0%）が男（32.9%）を 9.1 ポイント上回っている。

年齢別では、30 歳代で「そのとおりだと思った」が 53.1%と高くなっている。



※今回調査(R5)は、「聞いたり教えられたりした」で「ある」と回答した方のみ抜粋

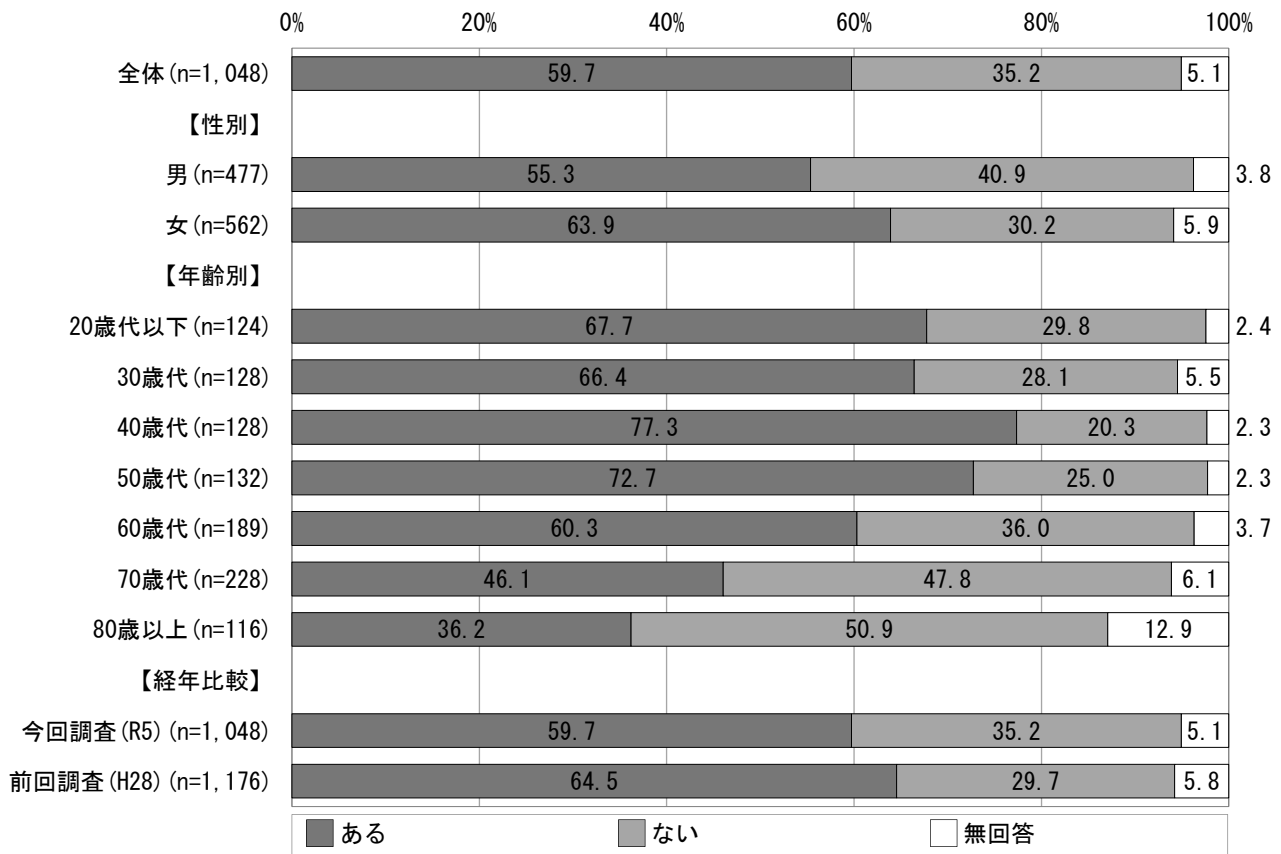
(5) 弱い者いじめをしてはいけない

①聞いたり教えられたりした

全体では、「ある」が 59.7%、「ない」が 35.2%となっている。

性別では「ある」は、女（63.9%）が男（55.3%）を 8.6 ポイント上回っている。

年齢別では、40 歳代で「そのとおりだと思った」が 77.3%と高くなっている。



(5) 弱い者いじめをしてはいけない

②誰からか

※①で「ある」と回答した方に質問

全体では、「家族」が 62.8%と最も高く、「学校の先生」が 53.4%、「友人」が 11.2%と続いている。

(%)	家族	学校の先生	友人	職場の人	親戚の人	近所の人	その他	無回答
全体 (n=626)	62.8	53.4	11.2	7.0	6.1	5.4	3.0	4.3
【性別】								
男 (n=264)	60.6	48.1	14.4	9.1	8.0	6.8	3.4	3.0
女 (n=359)	64.1	57.4	8.9	5.6	4.7	4.5	2.8	5.3
【年齢別】								
20歳代以下 (n=84)	56.0	63.1	9.5	3.6	4.8	2.4	3.6	8.3
30歳代 (n=85)	72.9	62.4	14.1	4.7	11.8	5.9	5.9	1.2
40歳代 (n=99)	60.6	66.7	6.1	7.1	6.1	3.0	3.0	3.0
50歳代 (n=96)	68.8	56.3	14.6	9.4	6.3	6.3	0.0	2.1
60歳代 (n=114)	62.3	47.4	7.9	7.0	7.0	2.6	1.8	5.3
70歳代 (n=105)	61.9	36.2	13.3	10.5	3.8	10.5	1.9	3.8
80歳以上 (n=42)	50.0	35.7	16.7	4.8	0.0	9.5	9.5	9.5
【経年比較】								
今回調査 (R5) (n=626)	62.8	53.4	11.2	7.0	6.1	5.4	3.0	4.3
前回調査 (H28) (n=759)	61.8	52.3	9.4	4.0	3.7	5.0	2.2	5.7

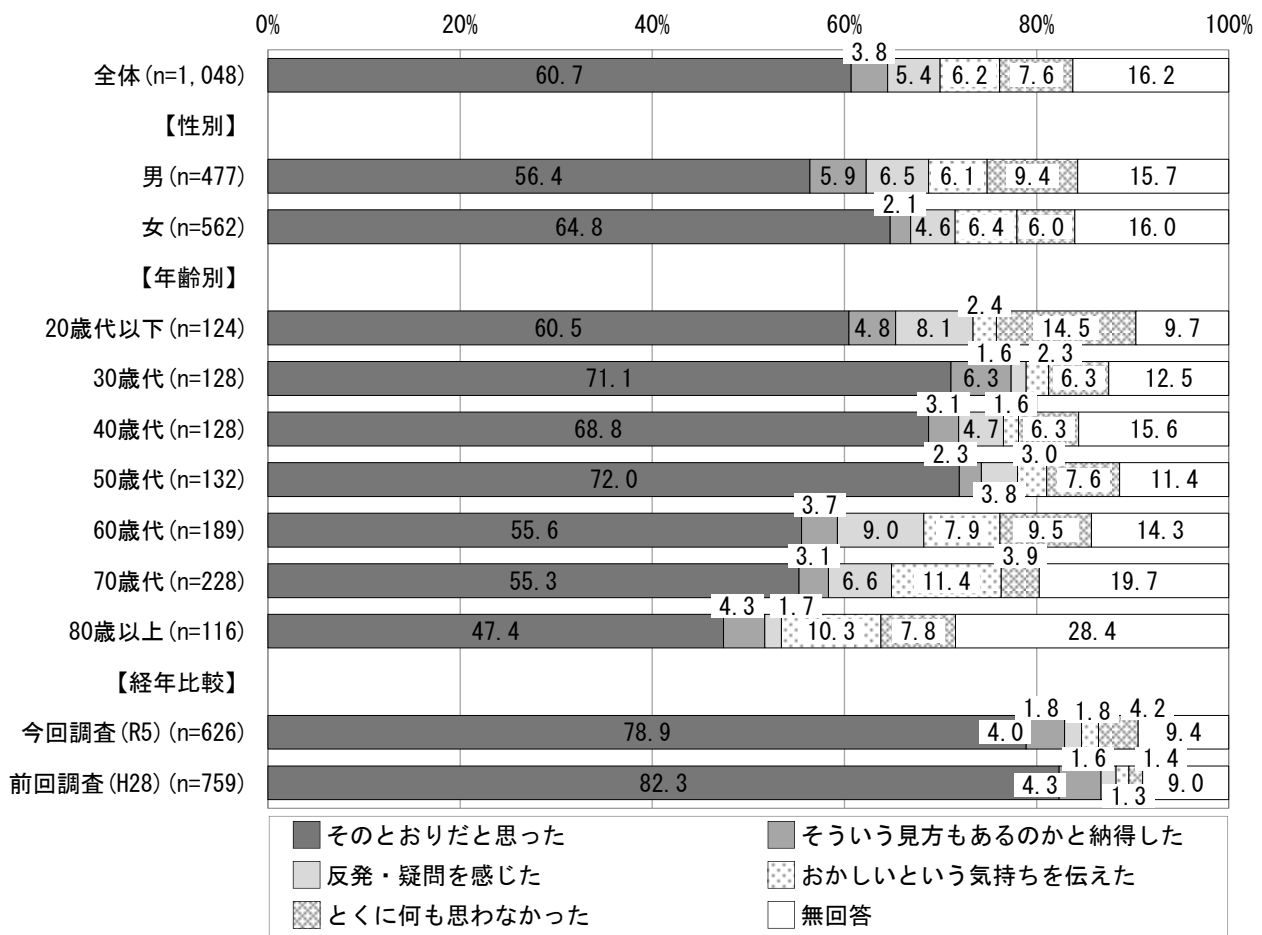
(5) 弱い者いじめをしてはいけない

③ どう感じたか

全体では、「そのとおりだと思った」が60.7%と最も高く、「とくに何も思わなかった」が7.6%、「おかしいという気持ちを伝えた」が6.2%と続いている。

性別では「そのとおりだと思った」は、女(64.8%)が男(56.4%)を8.4ポイント上回っている。

年齢別では、50歳代で「そのとおりだと思った」が72.0%と高くなっている。



※今回調査(R5)は、「聞いたり教えられたりした」で「ある」と回答した方のみ抜粋

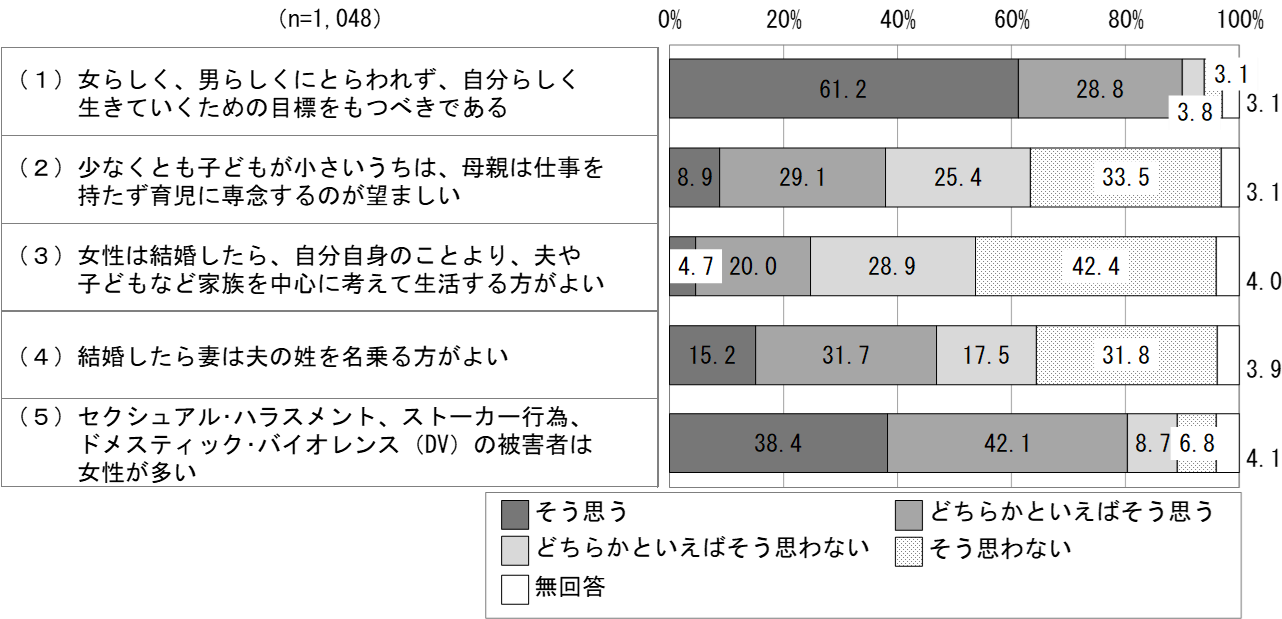
5. 個別の「人権」についておたずねします

女性の人権についておたずねします。

問 14 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) ～ (5) について、あてはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

「そう思う」が最も高いのは、＜(1) 女らしく、男らしくにとらわれず、自分らしく生きていくための目標をもつべきである＞で、61.2%となっている。

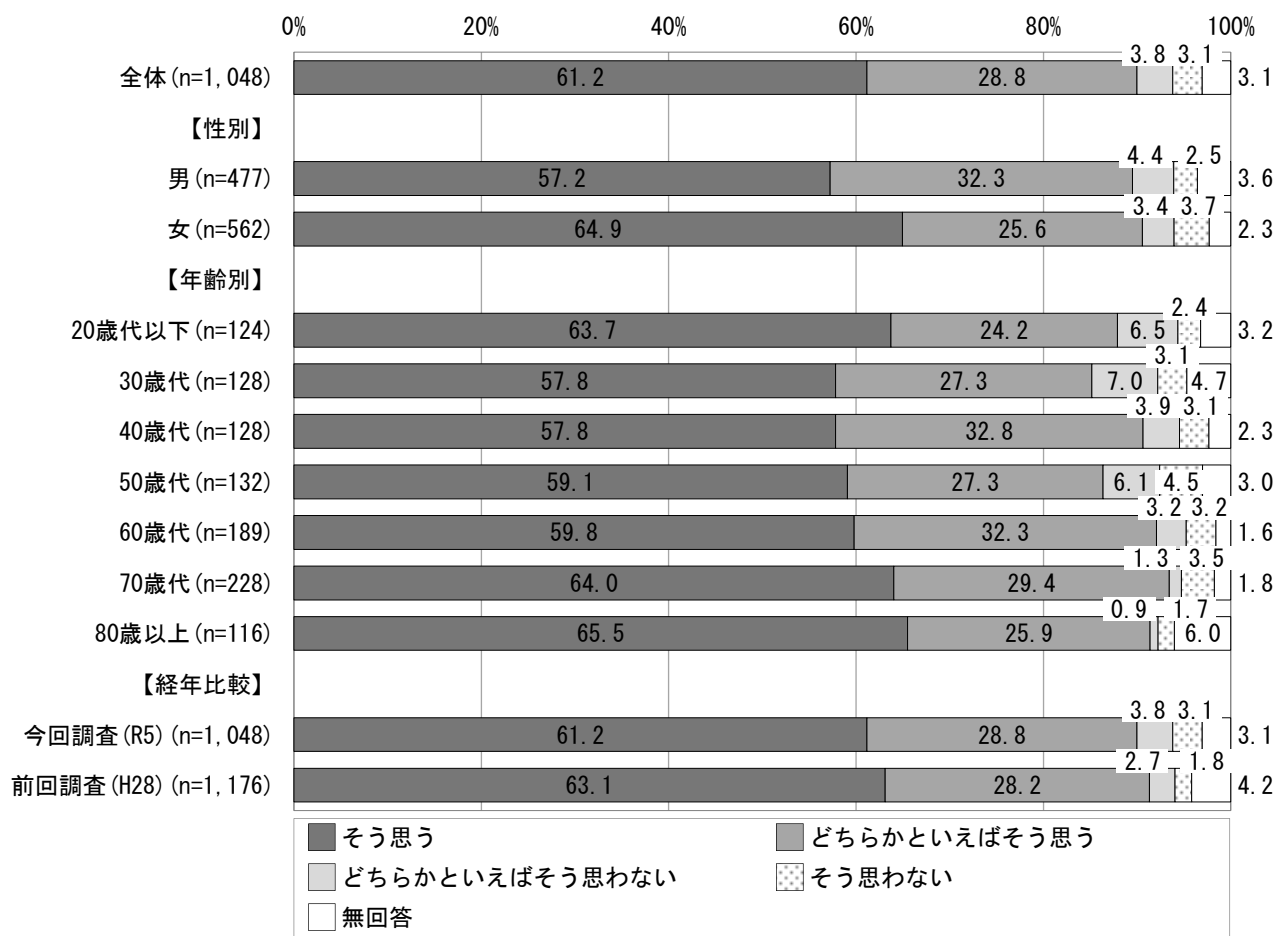


問 14 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) 女らしく、男らしくにとらわれず、自分らしく生きていくための目標をもつべきである

全体では、「そう思う」が61.2%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が28.8%、「どちらかといえばそう思わない」が3.8%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（64.9%）が男（57.2%）を7.7ポイント上回っている。



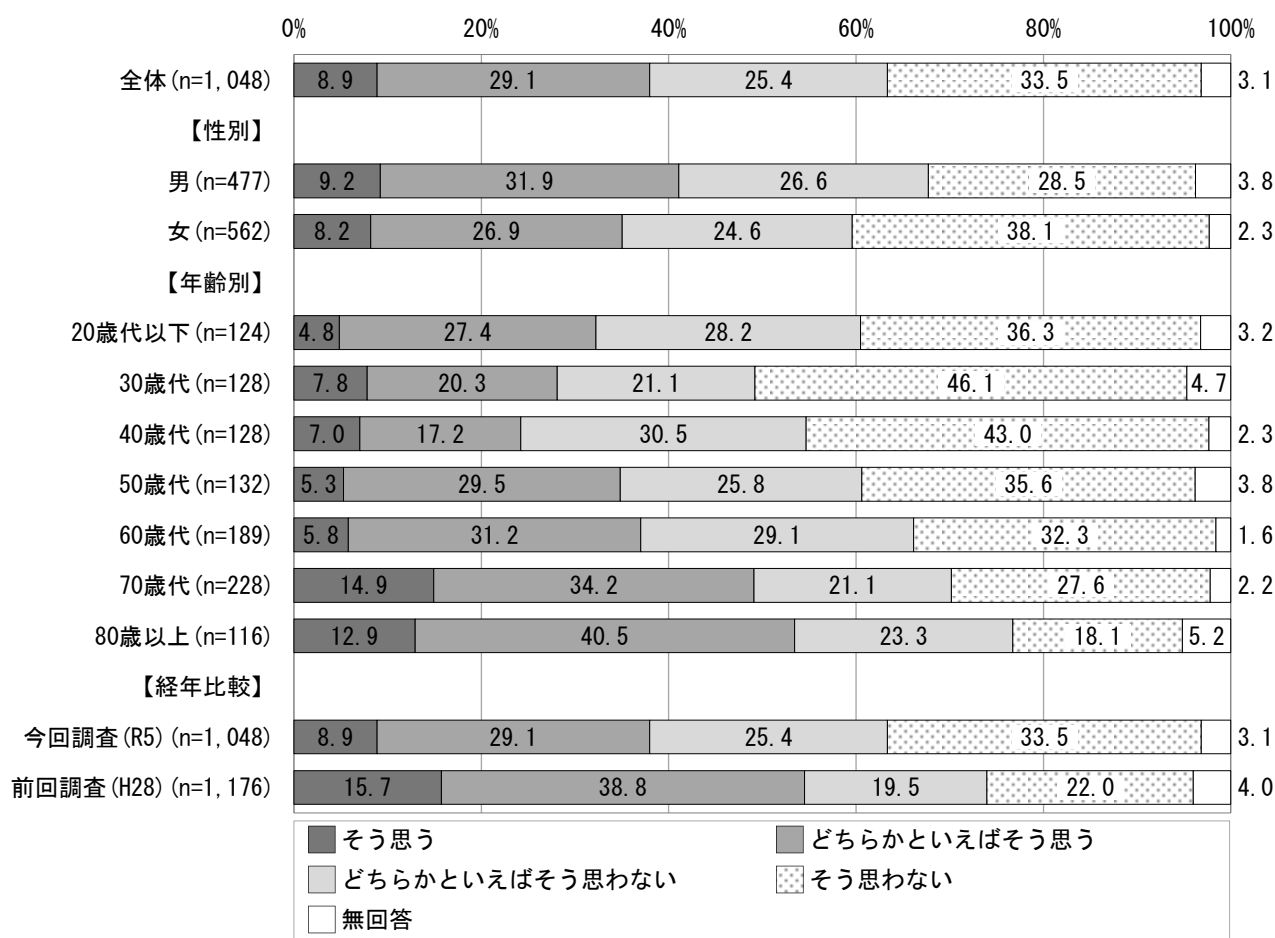
問 14 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(2) 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず育児に専念するのが望ましい

全体では、「そう思わない」が33.5%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が29.1%、「どちらかといえばそう思わない」が25.4%と続いている。

年齢別では、70歳で「そう思う」が14.9%と高くなっている。

経年比較では「そう思う」は、前回調査(H28) (15.7%) が今回調査(R5) (8.9%) を6.8ポイント上回っている。

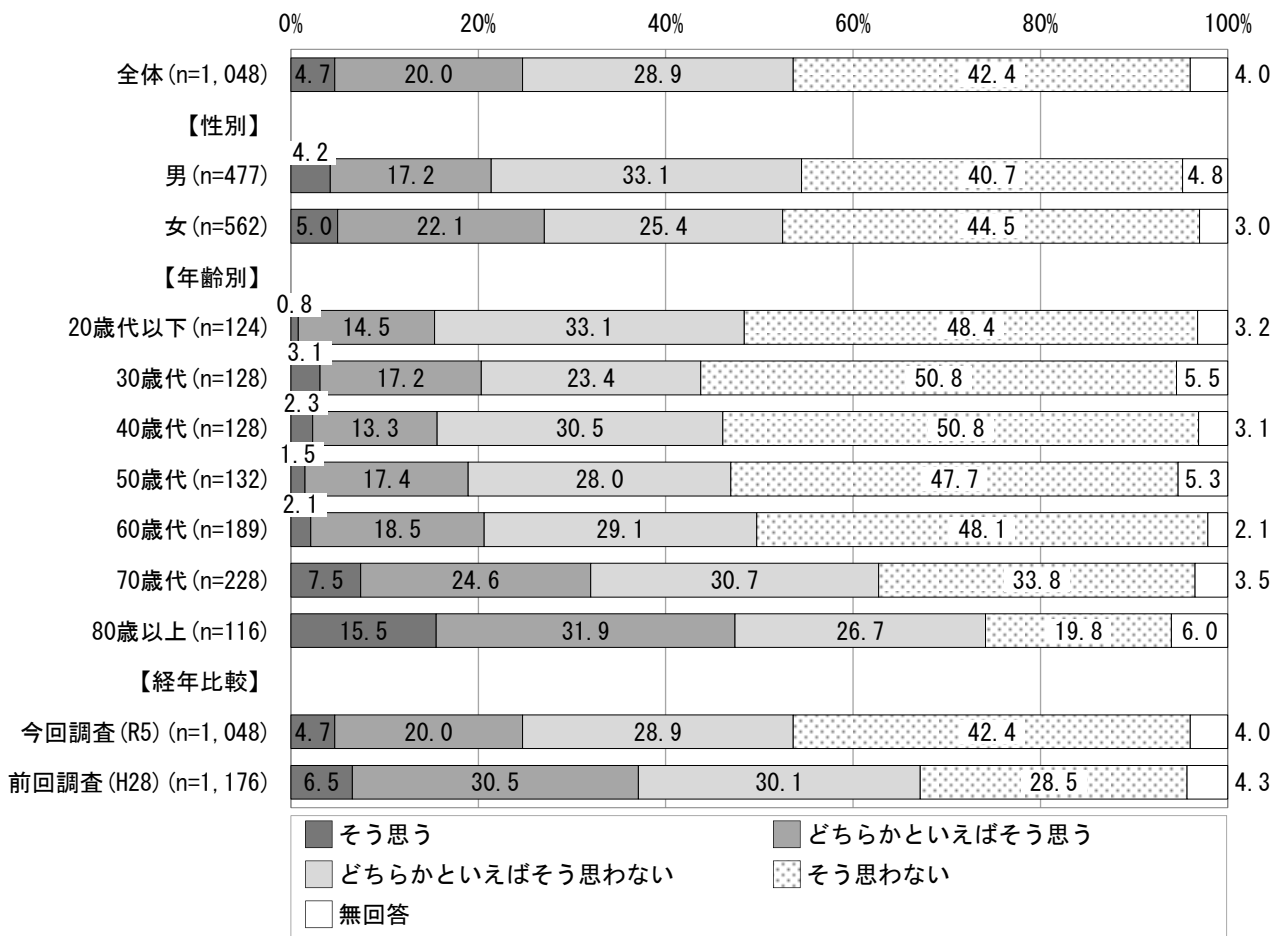


問 14 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活する方がよい

全体では、「そう思わない」が42.4%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が28.9%、「どちらかといえばそう思う」が20.0%と続いている。

年齢別では、80歳以上で「そう思う」が15.5%と高くなっている。



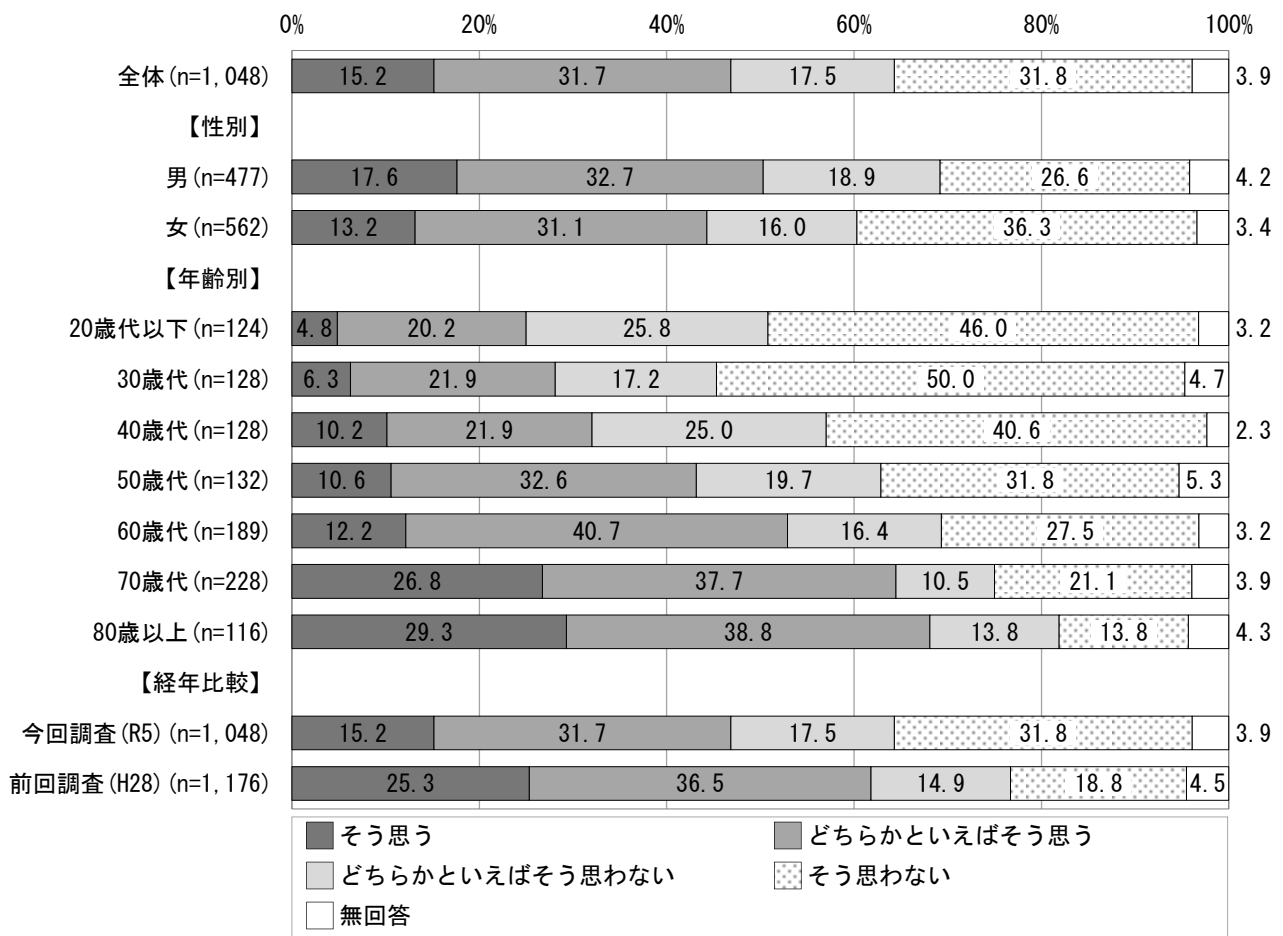
問 14 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(4) 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい

全体では、「そう思わない」が31.8%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が31.7%、「どちらかといえばそう思わない」が17.5%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「そう思う」の割合が高くなる傾向にある。

経年比較では「そう思う」は、前回調査(H28) (25.3%) が今回調査(R5) (15.2%) を10.1ポイント上回っている。

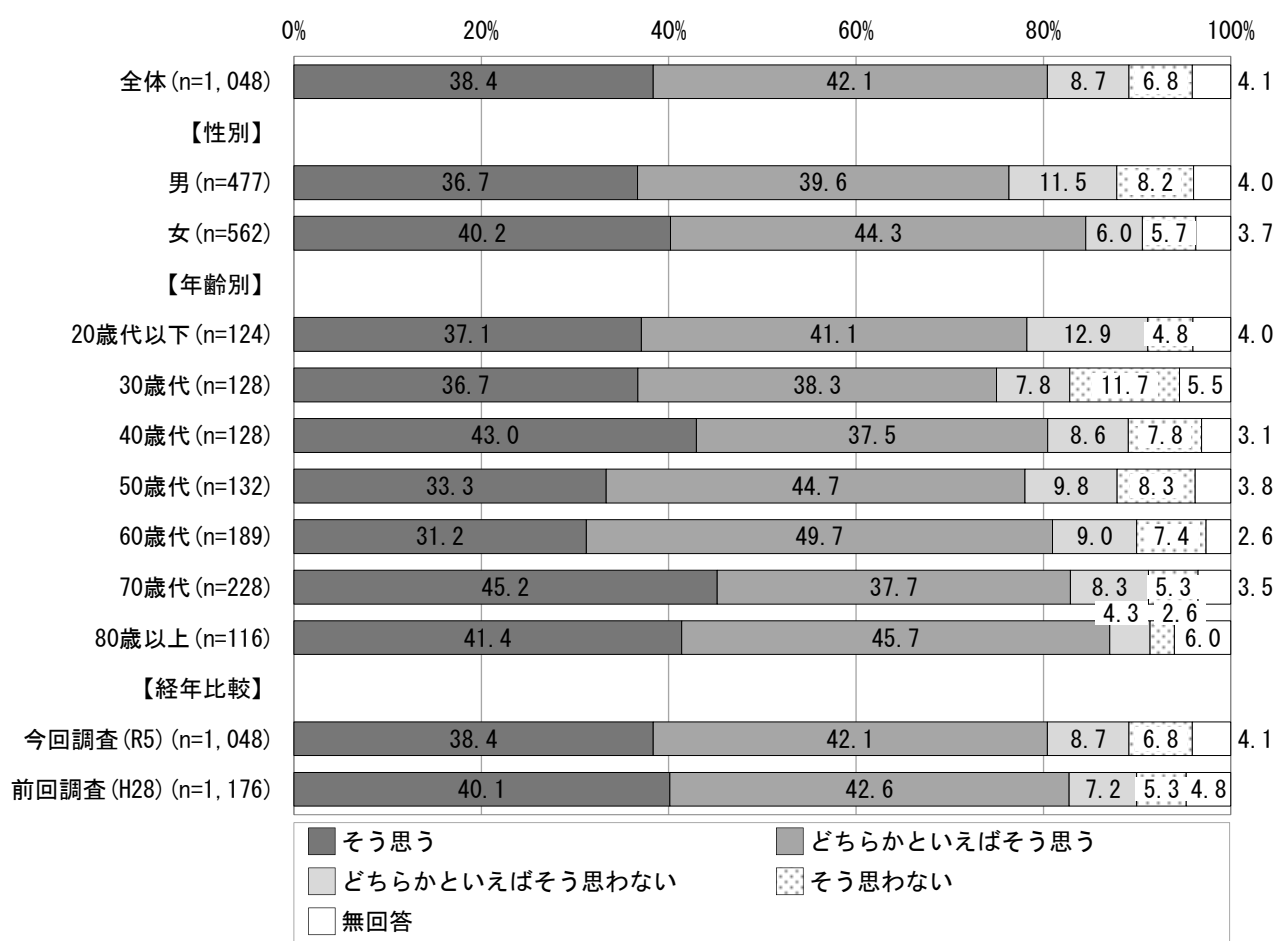


問 14 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(5) セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為、ドメスティック・バイオレンス (DV) の被害者は女性が多い

全体では、「どちらかといえばそう思う」が42.1%と最も高く、「そう思う」が38.4%、「どちらかといえばそう思わない」が8.7%と続いている。

年齢別では、70歳代で「そう思う」が45.2%と高くなっている。

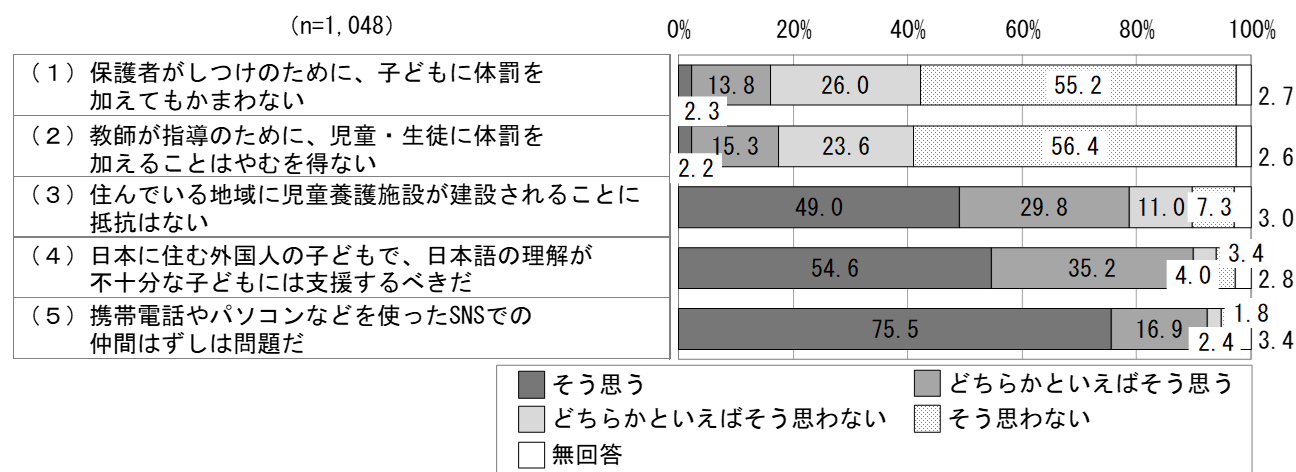


子どもの人権についておたずねします。

問 15 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) ～ (5) について、あてはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

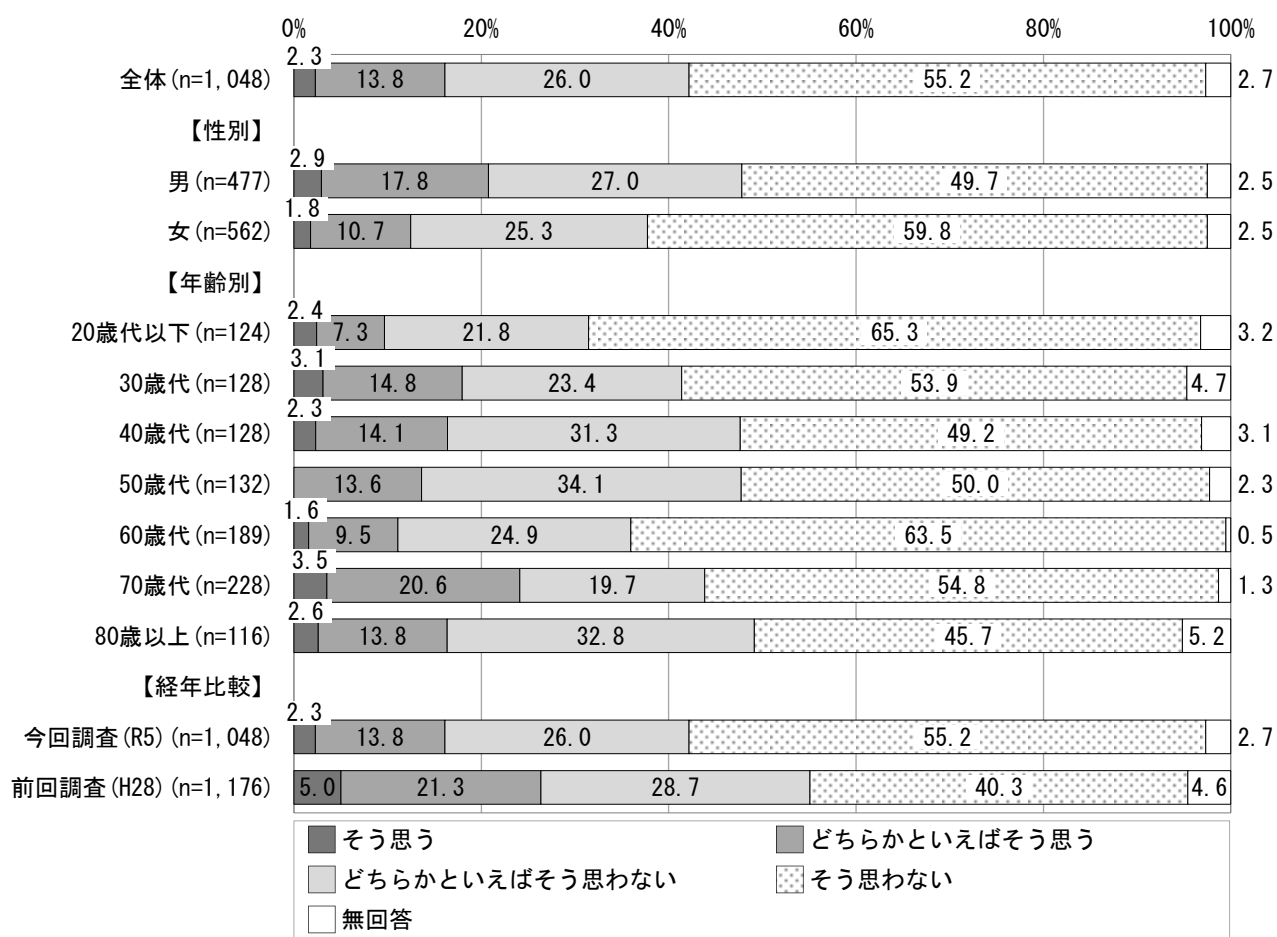
「そう思う」が最も高いのは、＜(5) 携帯電話やパソコンなどを使った SNS での仲間はずしは問題だ＞で、75.5%となっている。



問 15 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) 保護者がしつけのために、子どもに体罰を加えてもかまわない

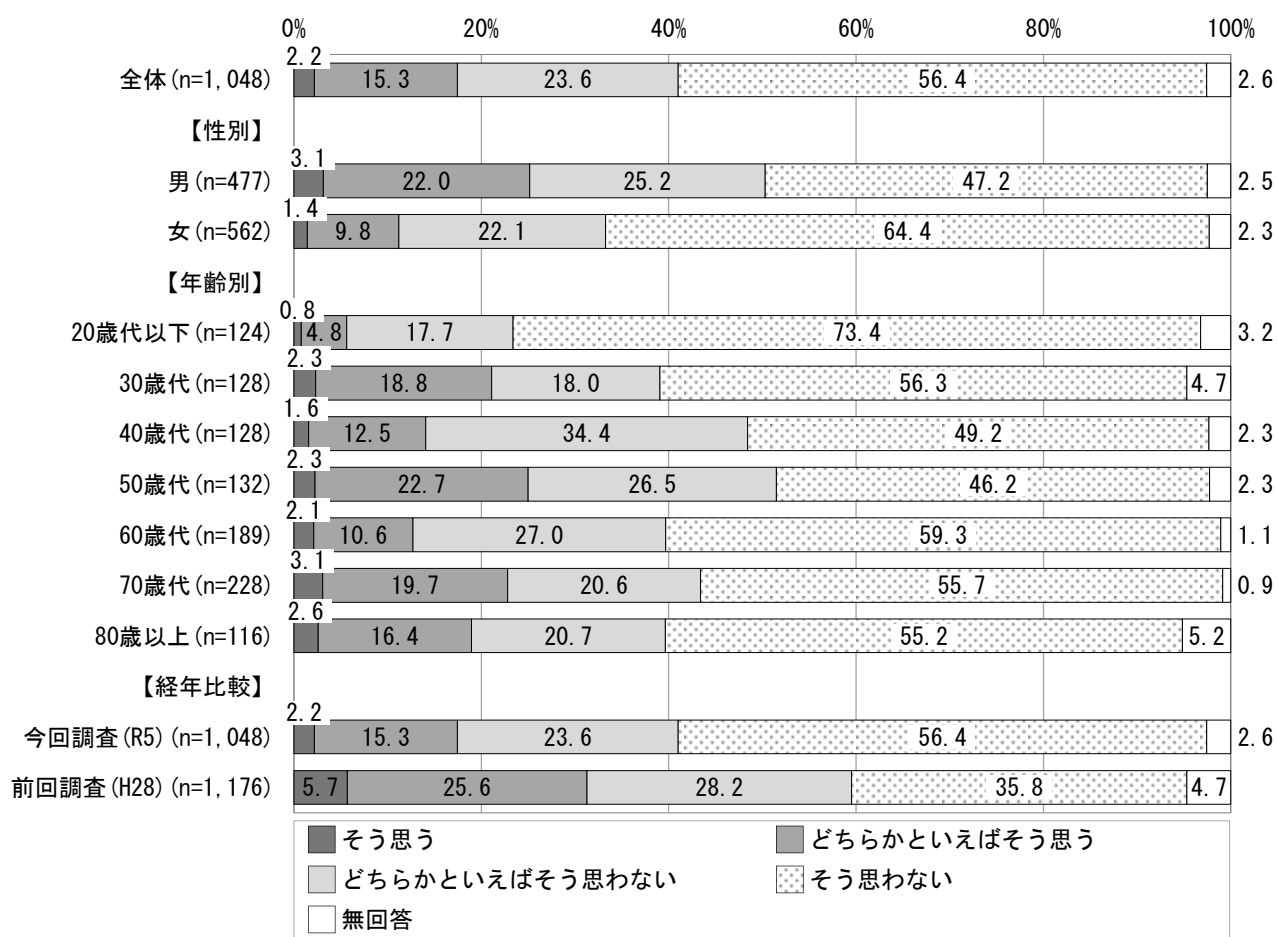
全体では、「そう思わない」が55.2%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が26.0%、「どちらかといえばそう思う」が13.8%と続いている。



問 15 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（２）教師が指導のために、児童・生徒に体罰を加えることはやむを得ない

全体では、「そう思わない」が 56.4%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が 23.6%、「どちらかといえばそう思う」が 15.3%と続いている。



問 15 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

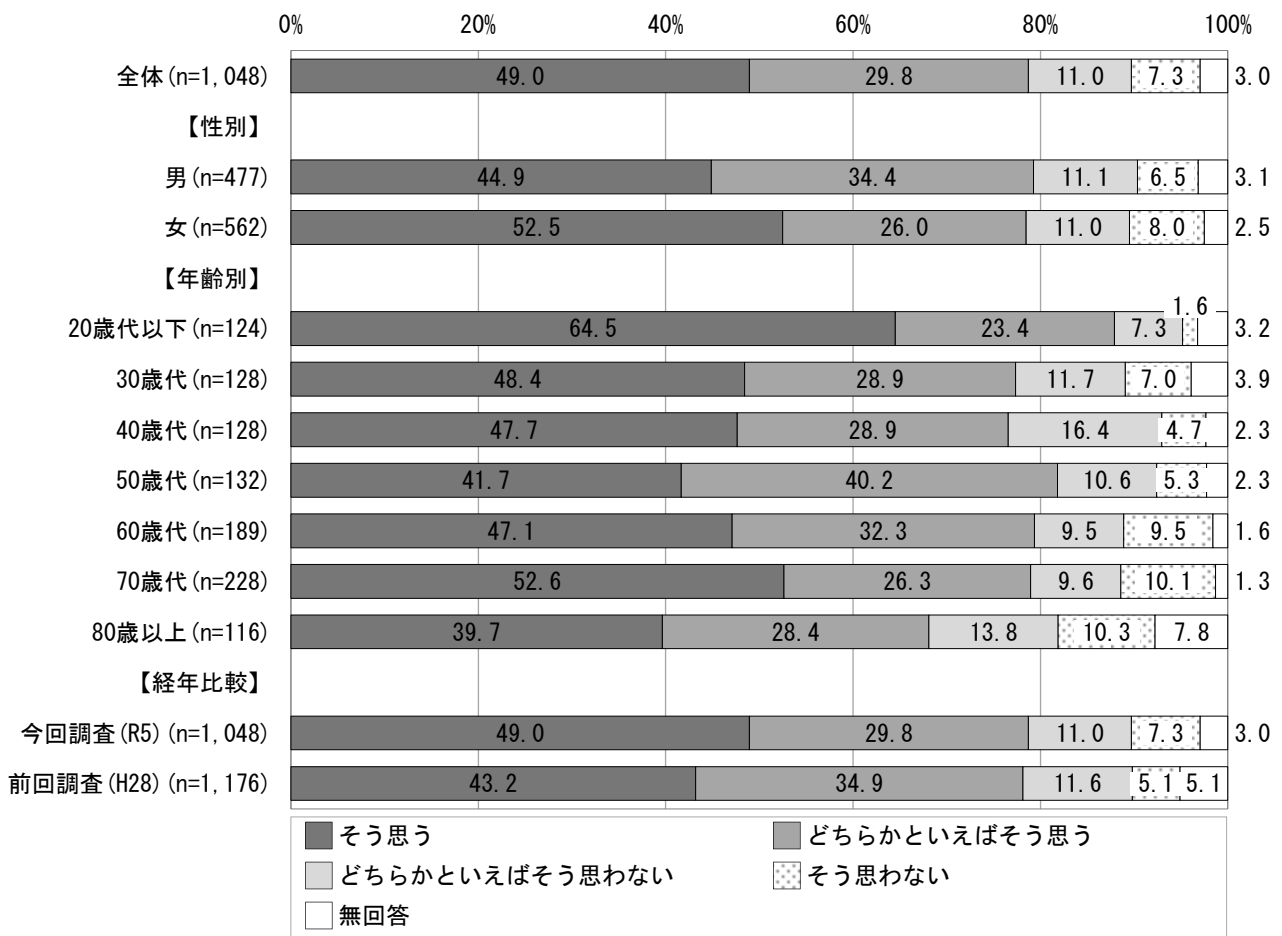
（３）住んでいる地域に児童養護施設が建設されることに抵抗はない

全体では、「そう思う」が 49.0%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 29.8%、「どちらかといえ
ばそう思わない」が 11.0%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（52.5%）が男（44.9%）を 7.6 ポイント上回っている。

年齢別では、20 歳代以下で「そう思う」が 64.5%と高くなっている。

経年比較では「そう思う」は、今回調査（R5）（49.0%）が前回調査（H28）（43.2%）を 5.8 ポイント上
回っている。



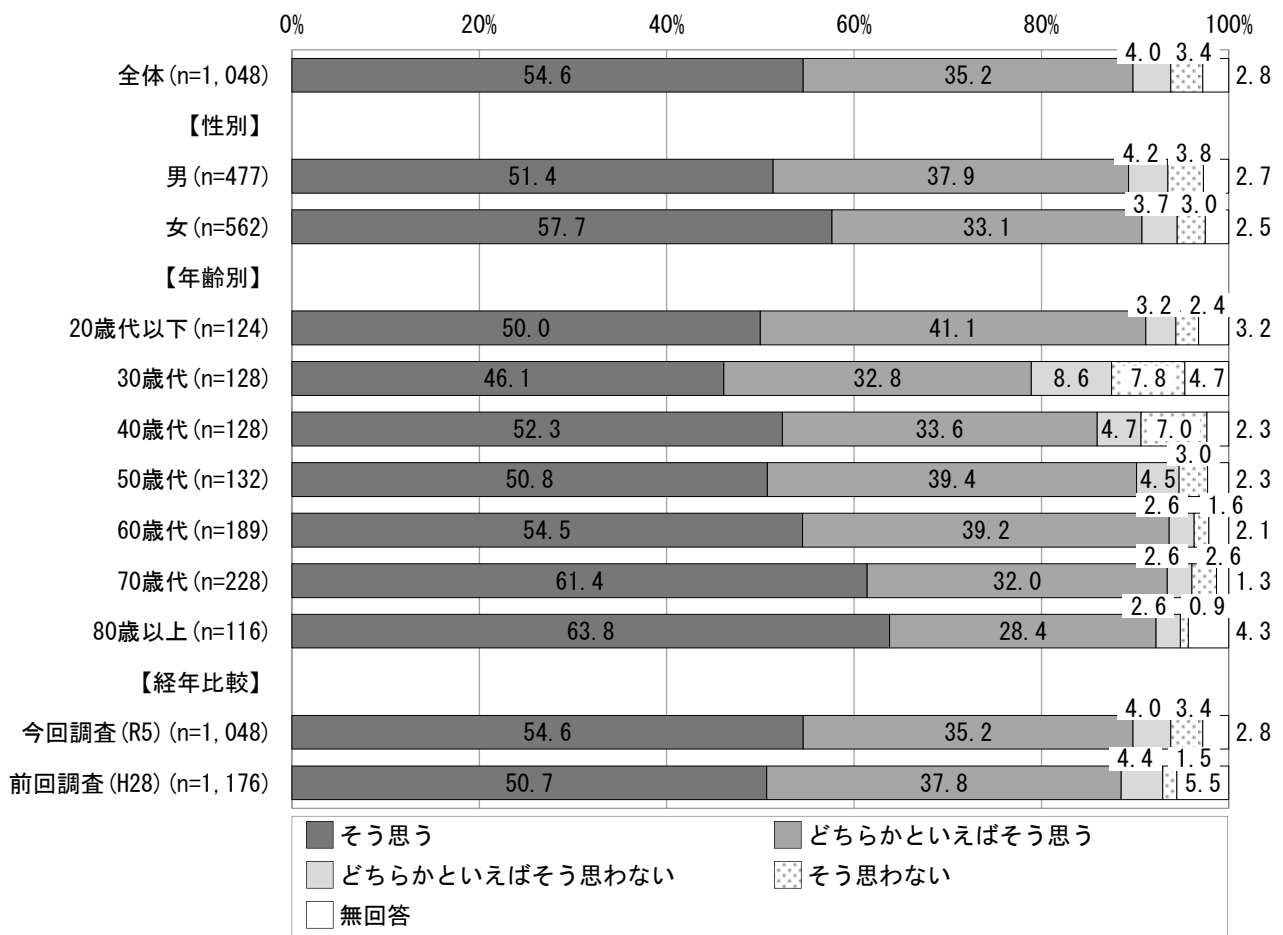
問 15 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（４）日本に住む外国人の子どもで、日本語の理解が不十分な子どもには支援するべきだ

全体では、「そう思う」が 54.6%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 35.2%、「どちらかといえ
ばそう思わない」が 4.0%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（57.7%）が男（51.4%）を 6.3 ポイント上回っている。

年齢別では、80 歳以上で「そう思う」が 63.8%と高くなっている。



問 15 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（５）携帯電話やパソコンなどを使った SNS での仲間はずしは問題だ

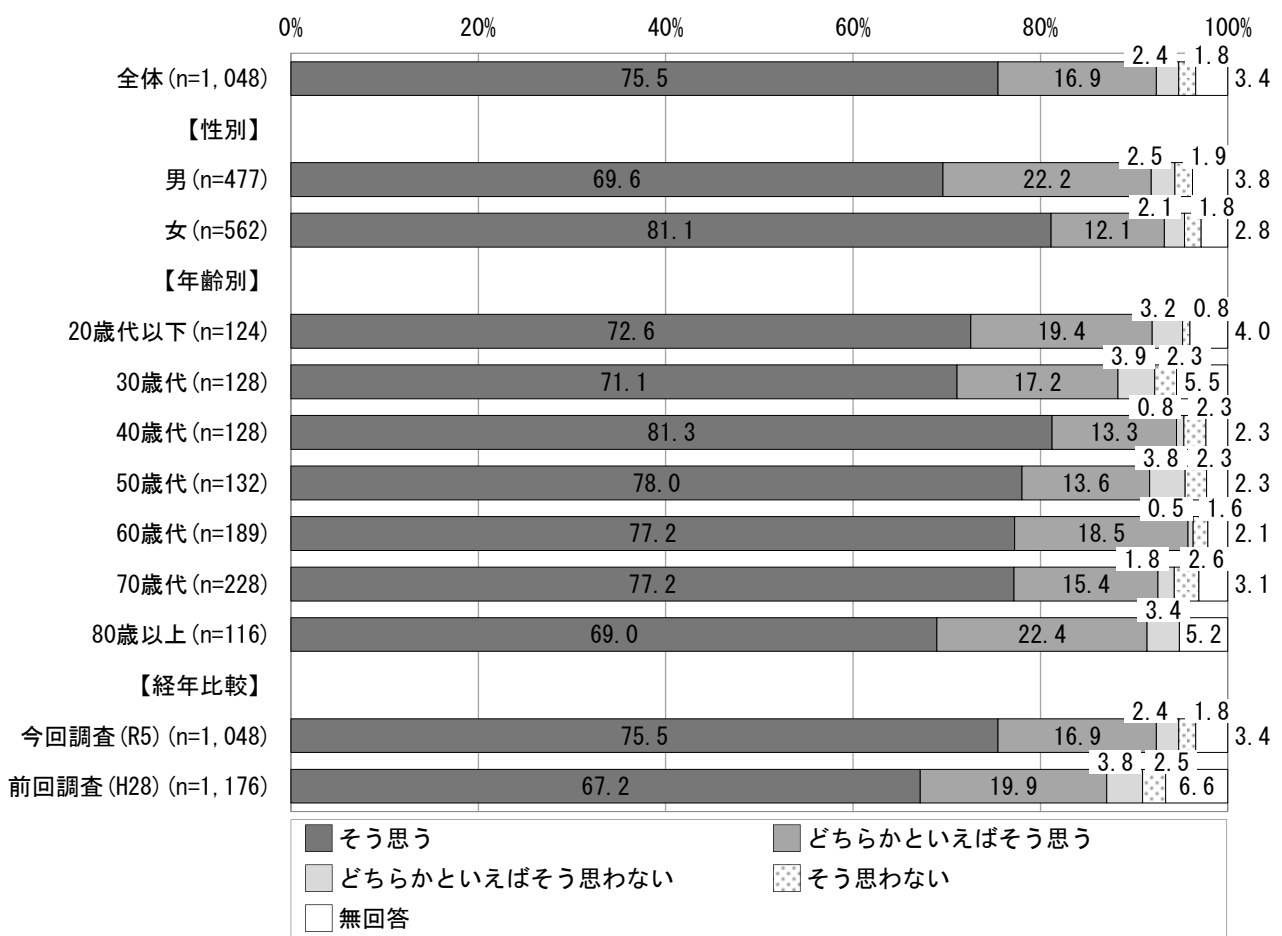
全体では、「そう思う」が 75.5%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 16.9%、「どちらかといえ

ばそう思わない」が 2.4%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（81.1%）が男（69.6%）を 11.5 ポイント上回っている。

年齢別では、40 歳代で「そう思う」が 81.3%と高くなっている。

性別では「そう思う」は、今回調査(R5)（75.5%）が前回調査(H28)（67.2%）を 8.3 ポイント上回っている。

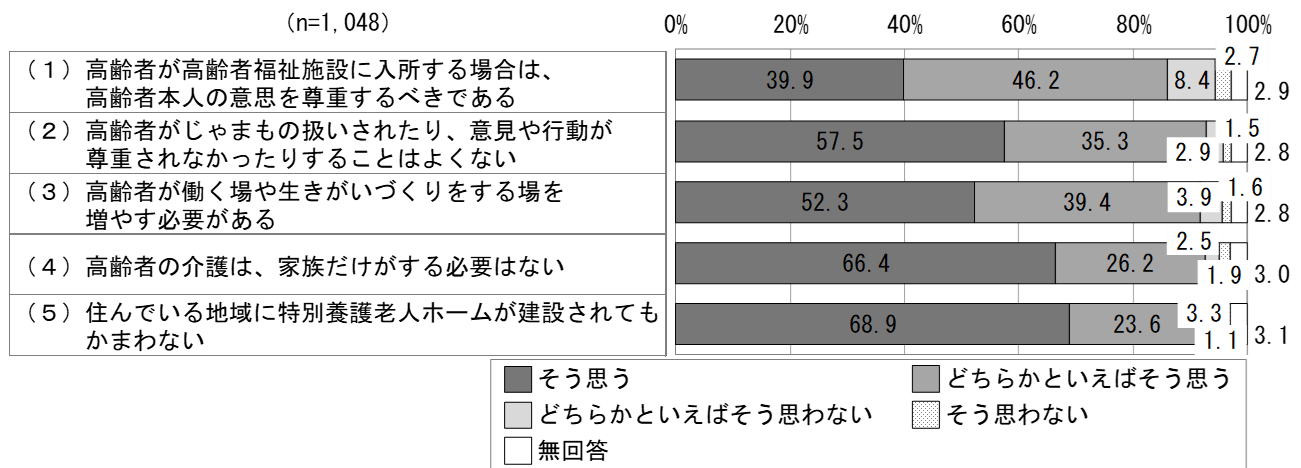


高齢者の人権についておたずねします。

問 16 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) ～ (5) について、あてはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

「そう思う」が最も高いのは、＜(5) 住んでいる地域に特別養護老人ホームが建設されてもかまわない＞で、68.9%となっている。



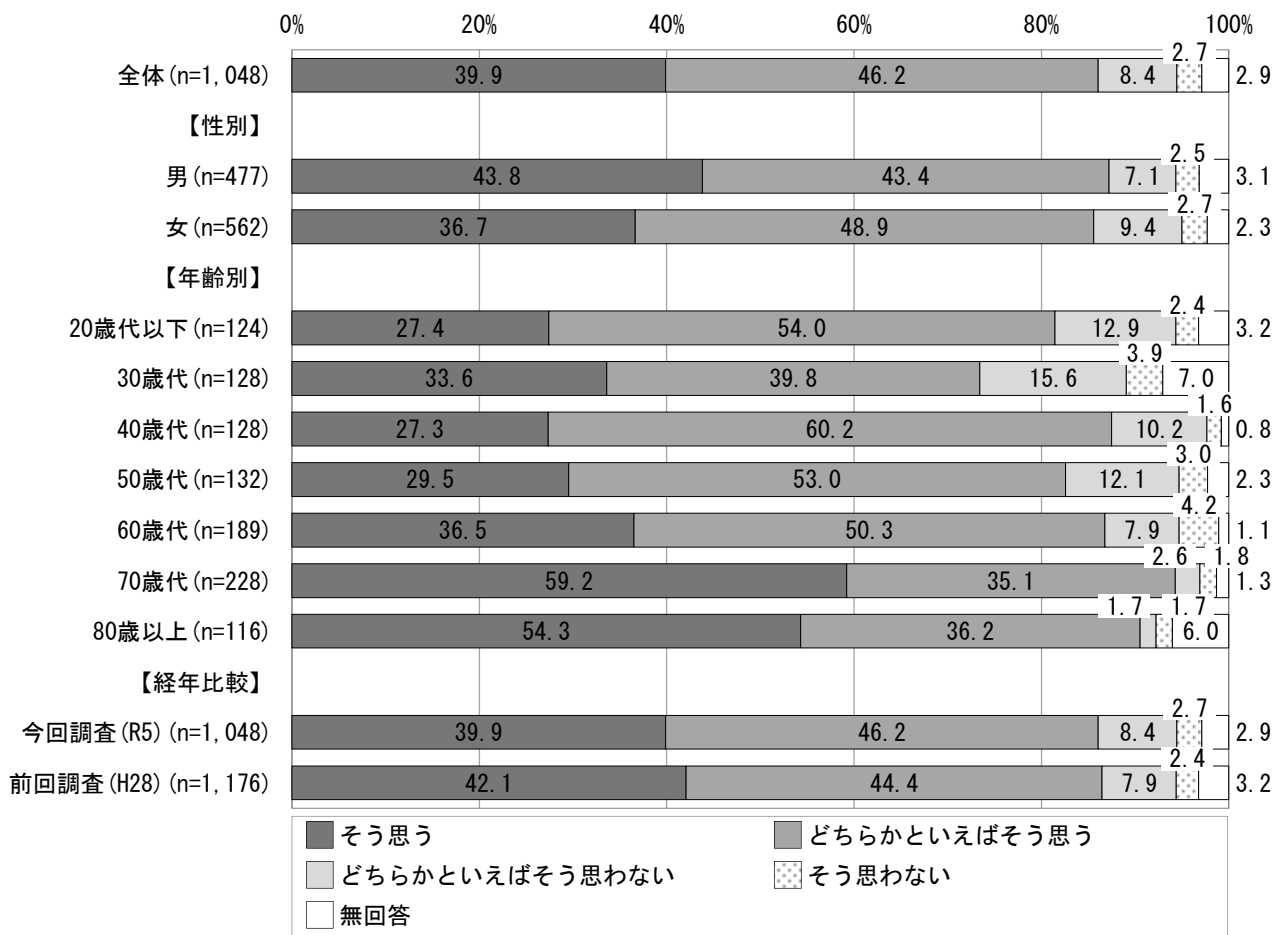
問 16 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) 高齢者が高齢者福祉施設に入所する場合は、高齢者本人の意思を尊重すべきである

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 46.2%と最も高く、「そう思う」が 39.9%、「どちらかとい
えばそう思わない」が 8.4%と続いている。

性別では「そう思う」は、男（43.8%）が女（36.7%）を 7.1 ポイント上回っている。

年齢別では、70 歳代で「そう思う」が 59.2%と高くなっている。

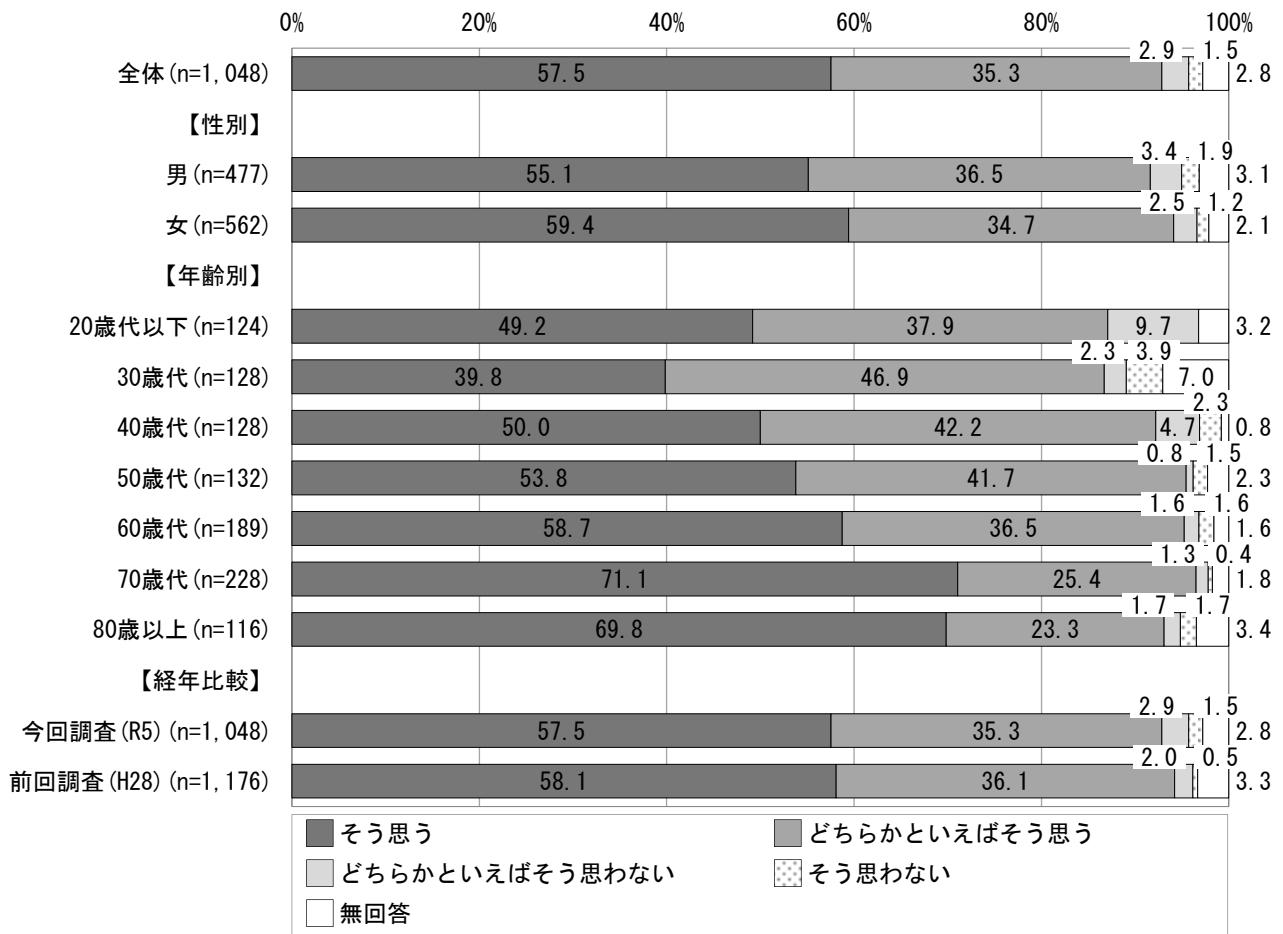


問 16 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(2) 高齢者がじゃまもの扱いされたり、意見や行動が尊重されなかったりすることはよくない

全体では、「そう思う」が57.5%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が35.3%、「どちらかといえばそう思わない」が2.9%と続いている。

年齢別では、70歳代で「そう思う」が71.1%と高くなっている。



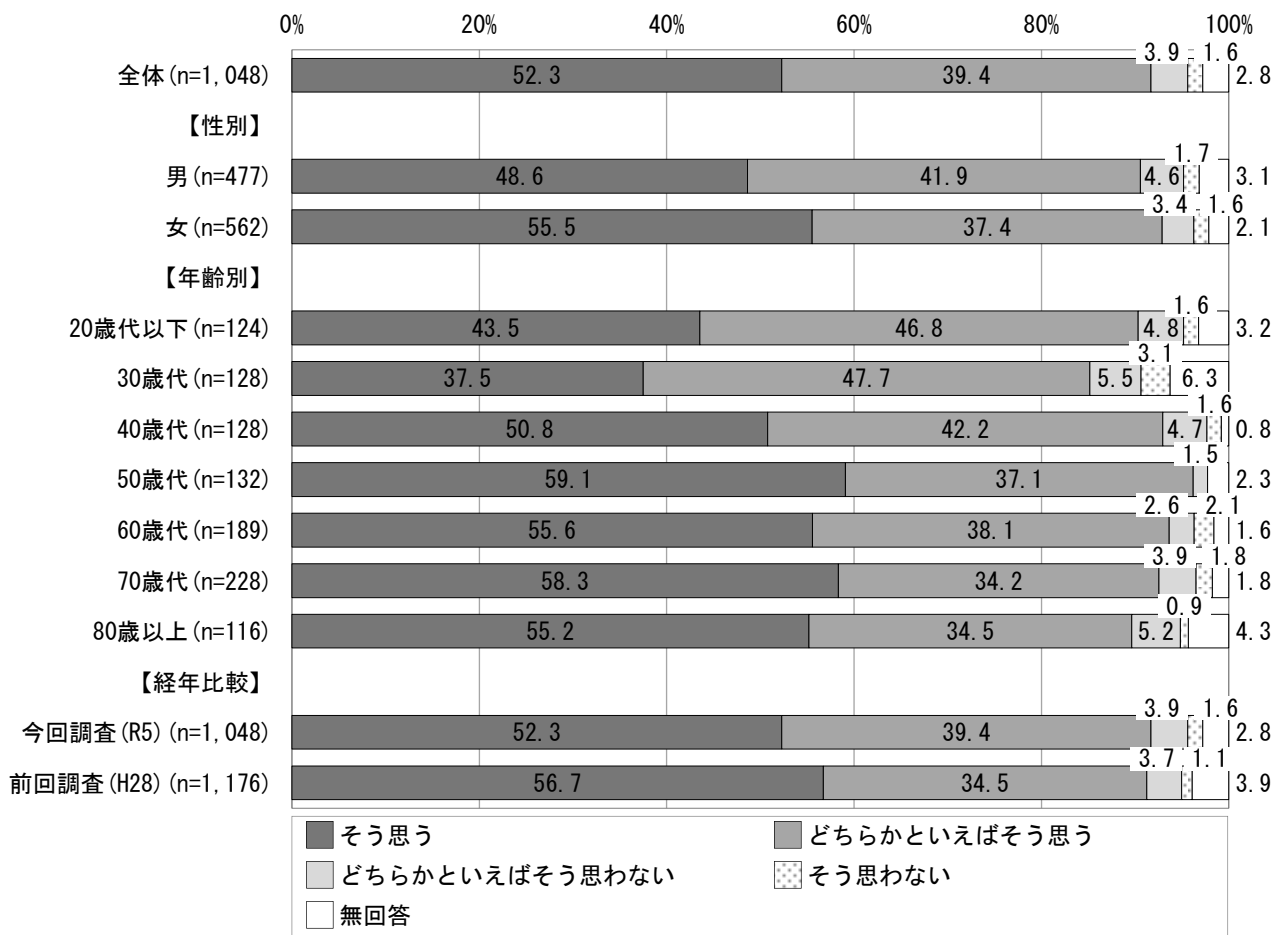
問 16 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（３）高齢者が働く場や生きがいづくりをする場を増やす必要がある

全体では、「そう思う」が52.3%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が39.4%、「どちらかといえばそう思わない」が3.9%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（55.5%）が男（48.6%）を6.9ポイント上回っている。

年齢別では、50歳代で「そう思う」が59.1%と高くなっている。



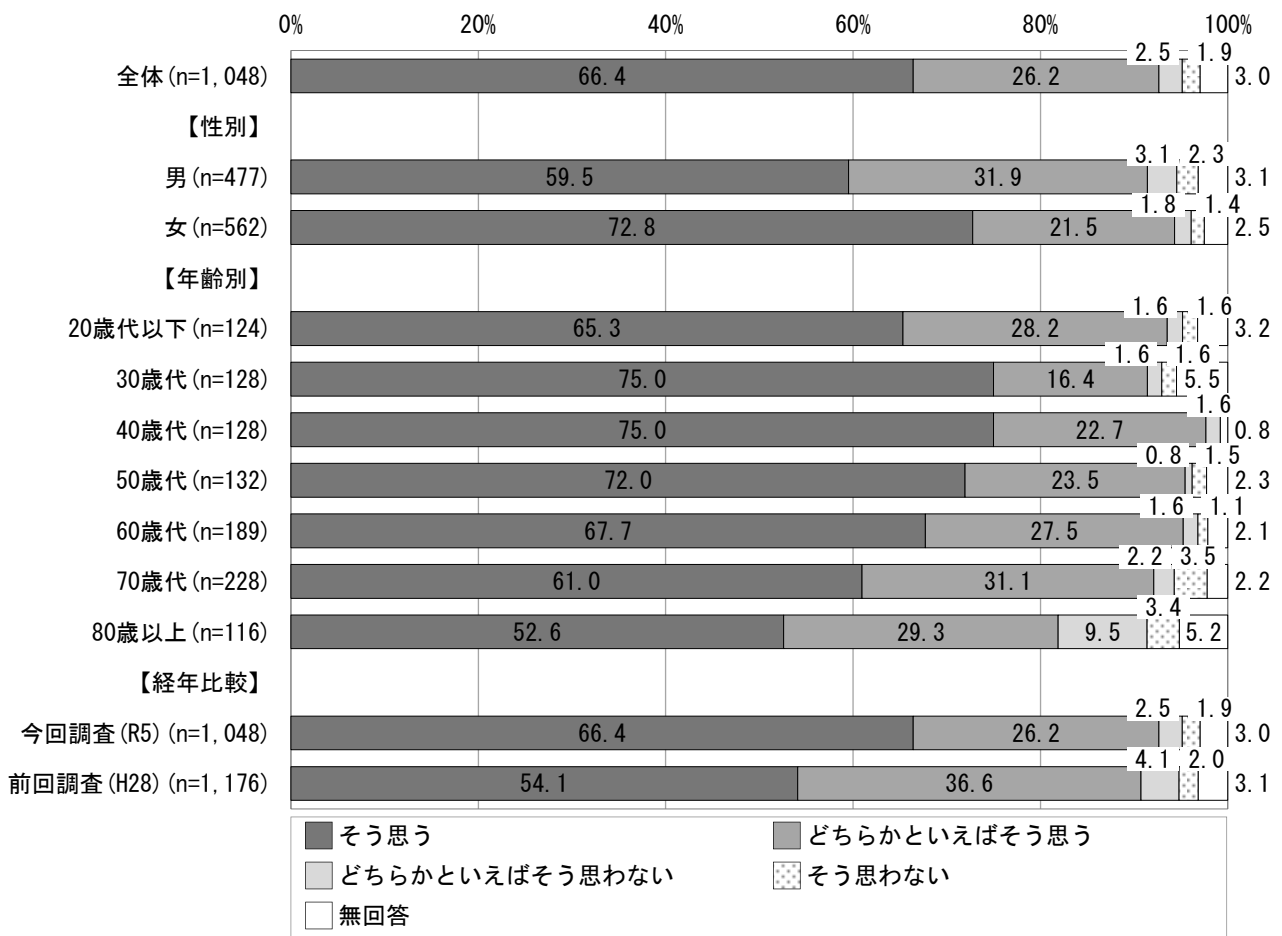
問 16 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（４）高齢者の介護は、家族だけがする必要はない

全体では、「そう思う」が66.4%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が26.2%、「どちらかといえばそう思わない」が2.5%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（72.8%）が男（59.5%）を13.3ポイント上回っている。

経年比較では「そう思う」は、今回調査(R5)（66.4%）が前回調査(H28)（54.1%）を12.3ポイント上回っている。



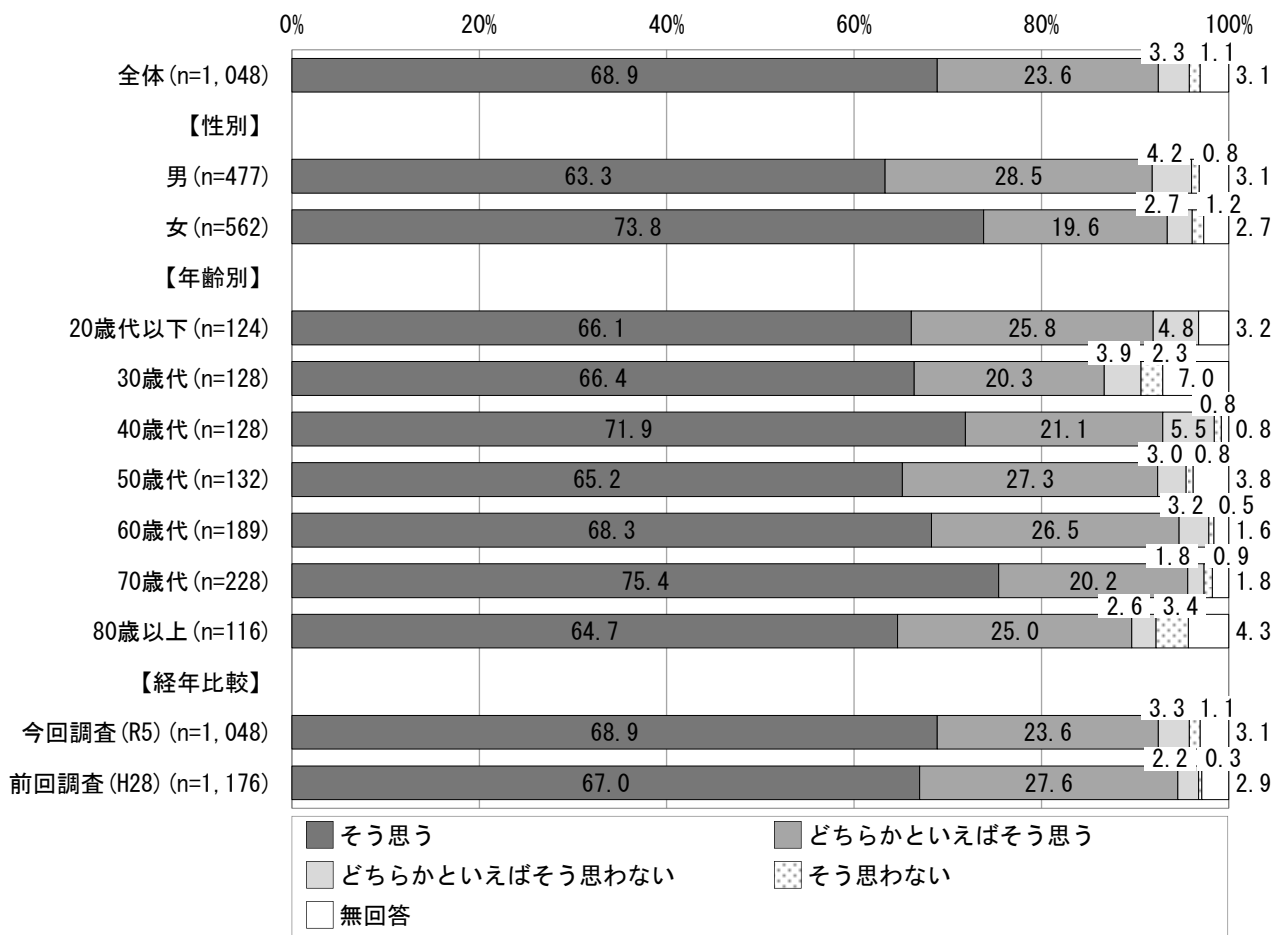
問 16 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(5) 住んでいる地域に特別養護老人ホームが建設されてもかまわない

全体では、「そう思う」が68.9%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が23.6%、「どちらかといえばそう思わない」が3.3%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（73.8%）が男（63.3%）を10.5ポイント上回っている。

年齢別では、70歳代で「そう思う」が75.4%と高くなっている。

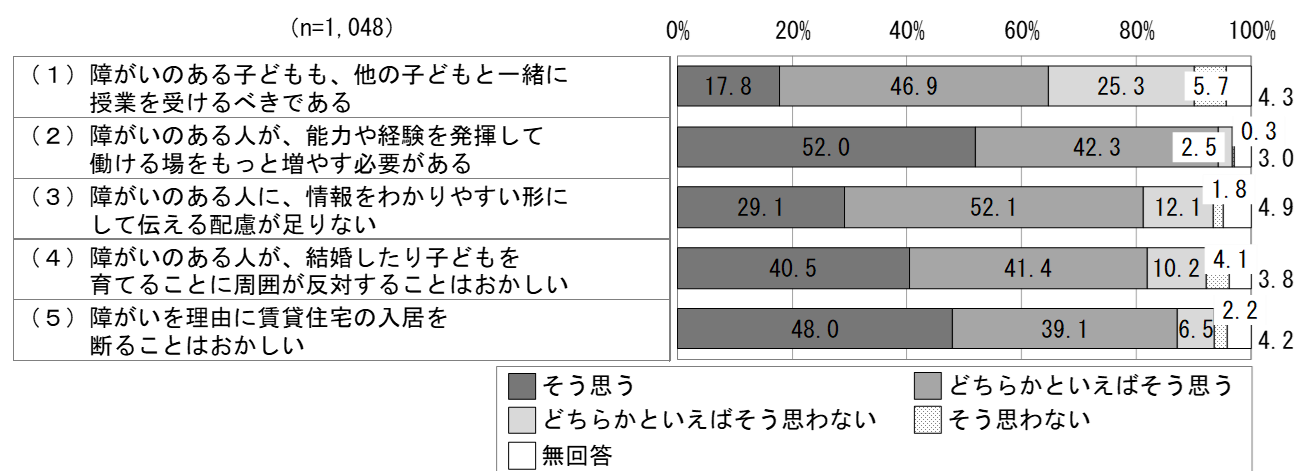


障がいのある人の人権についておたずねします。

問 17 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1)～(5)について、あてはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

「そう思う」が最も高いのは、＜(2)障がいのある人が、能力や経験を発揮して働ける場をもっと増やす必要がある＞で、52.0%となっている。

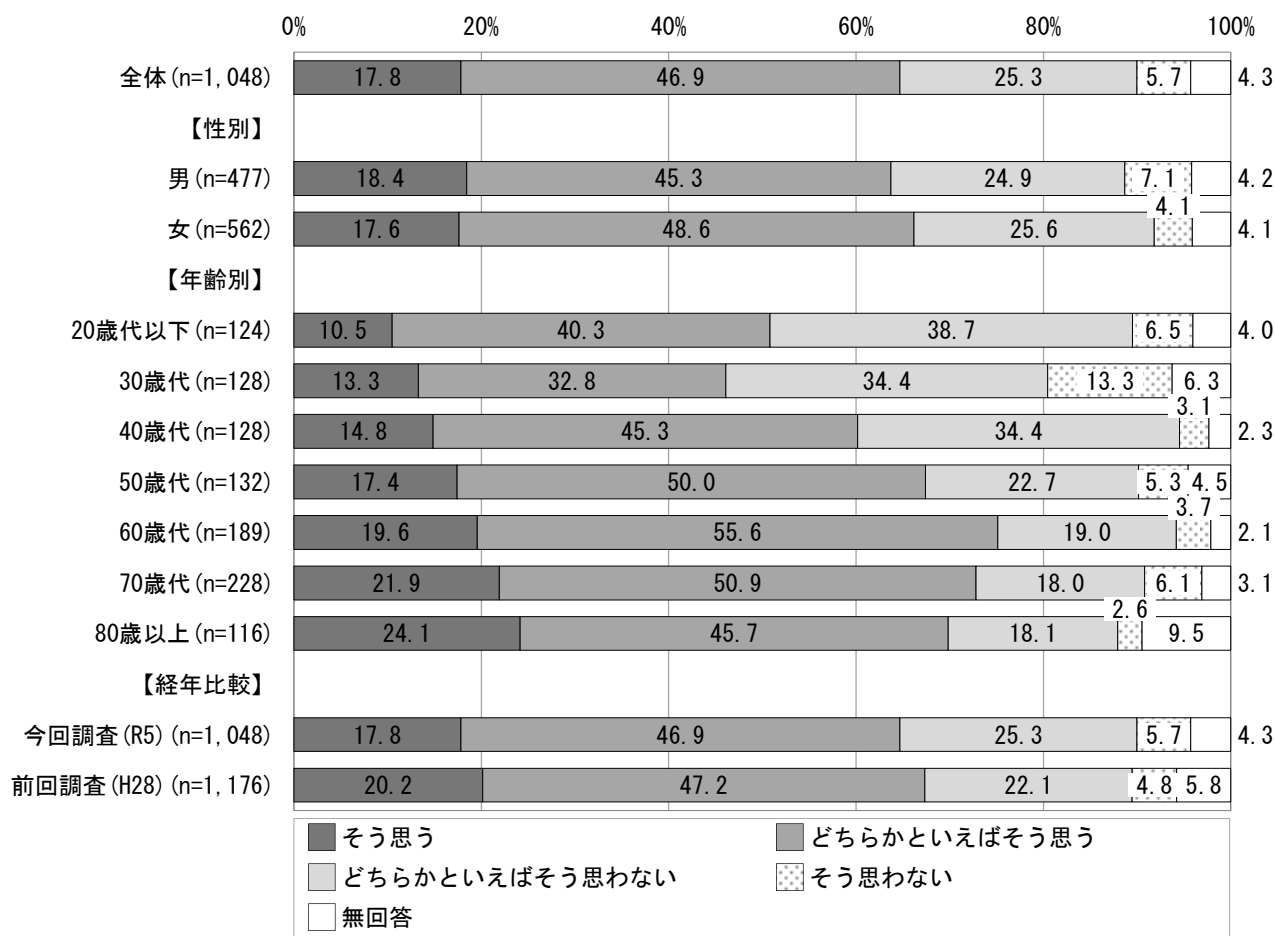


問 17 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) 障がいのある子どもも、他の子どもと一緒に授業を受けるべきである

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 46.9%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が 25.3%、「そう思う」が 17.8%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「そう思う」の割合が高くなる傾向にある。

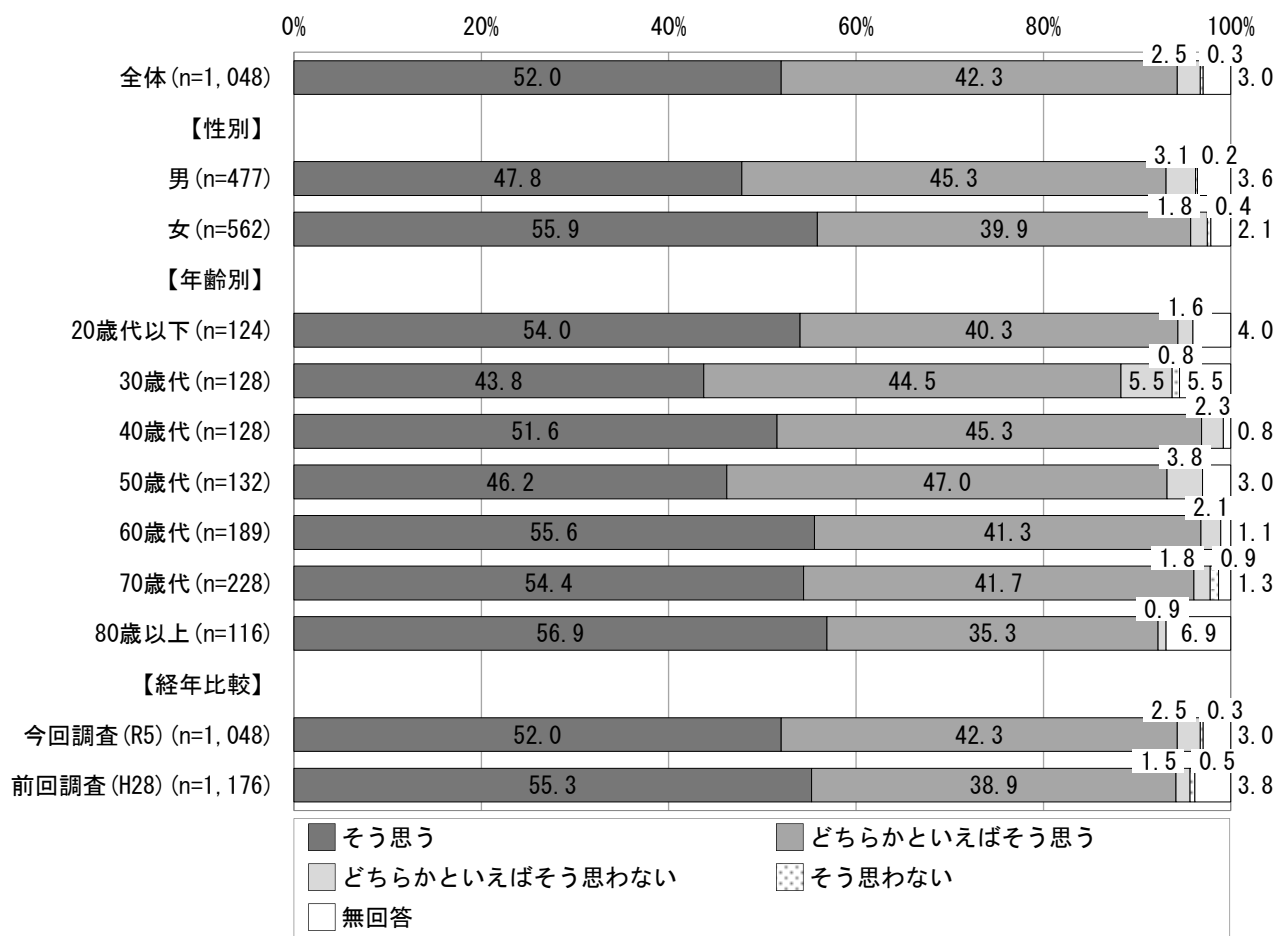


問 17 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（２）障がいのある人が、能力や経験を発揮して働ける場をもっと増やす必要がある

全体では、「そう思う」が52.0%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が42.3%、「どちらかといえばそう思わない」が2.5%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（55.9%）が男（47.8%）を8.1ポイント上回っている。

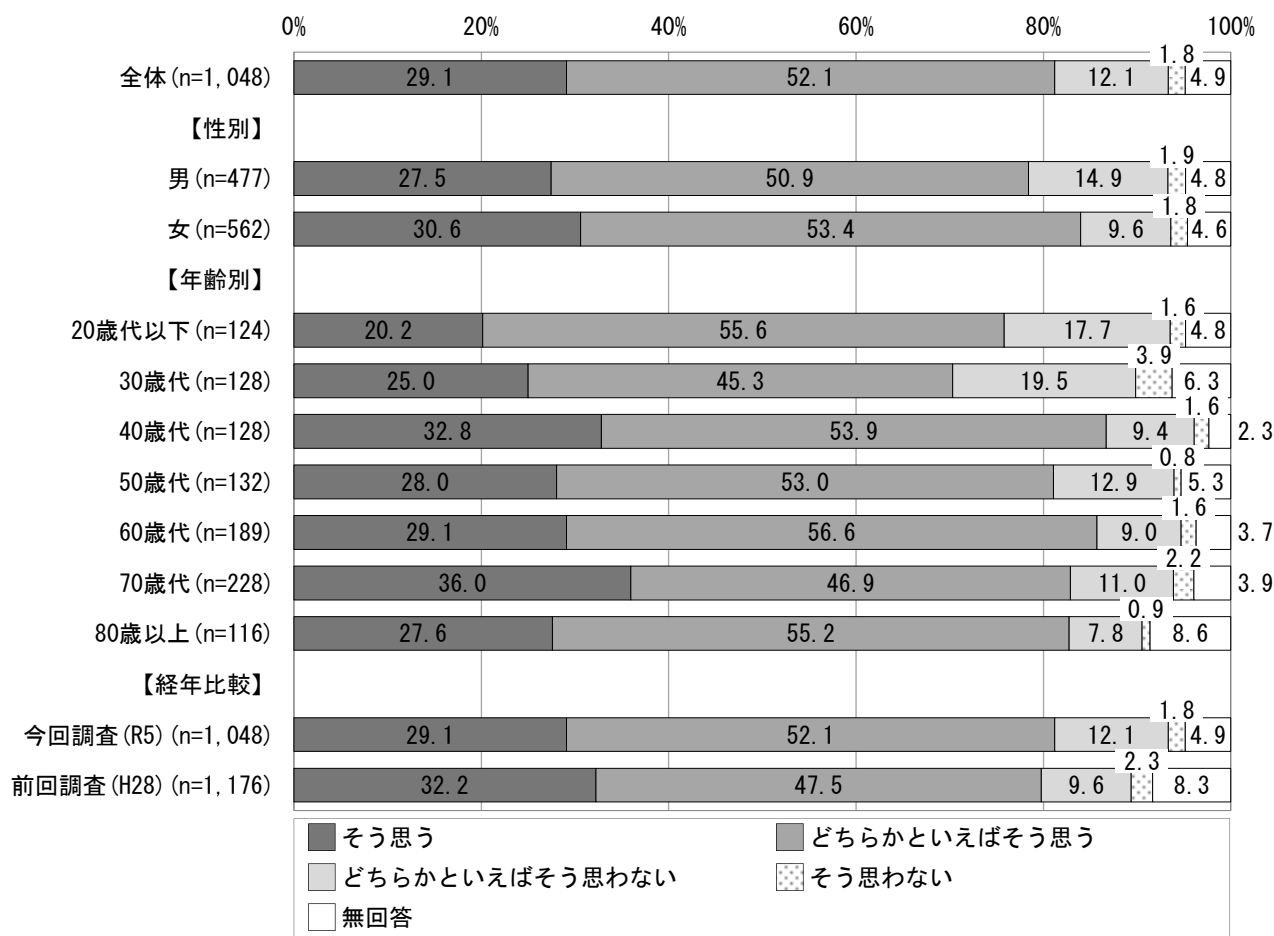


問 17 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(3) 障がいのある人に、情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りない

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 52.1%と最も高く、「そう思う」が 29.1%、「どちらかとい
えばそう思わない」が 12.1%と続いている。

年齢別では、70 歳代で「そう思う」が 36.0%と高くなっている。

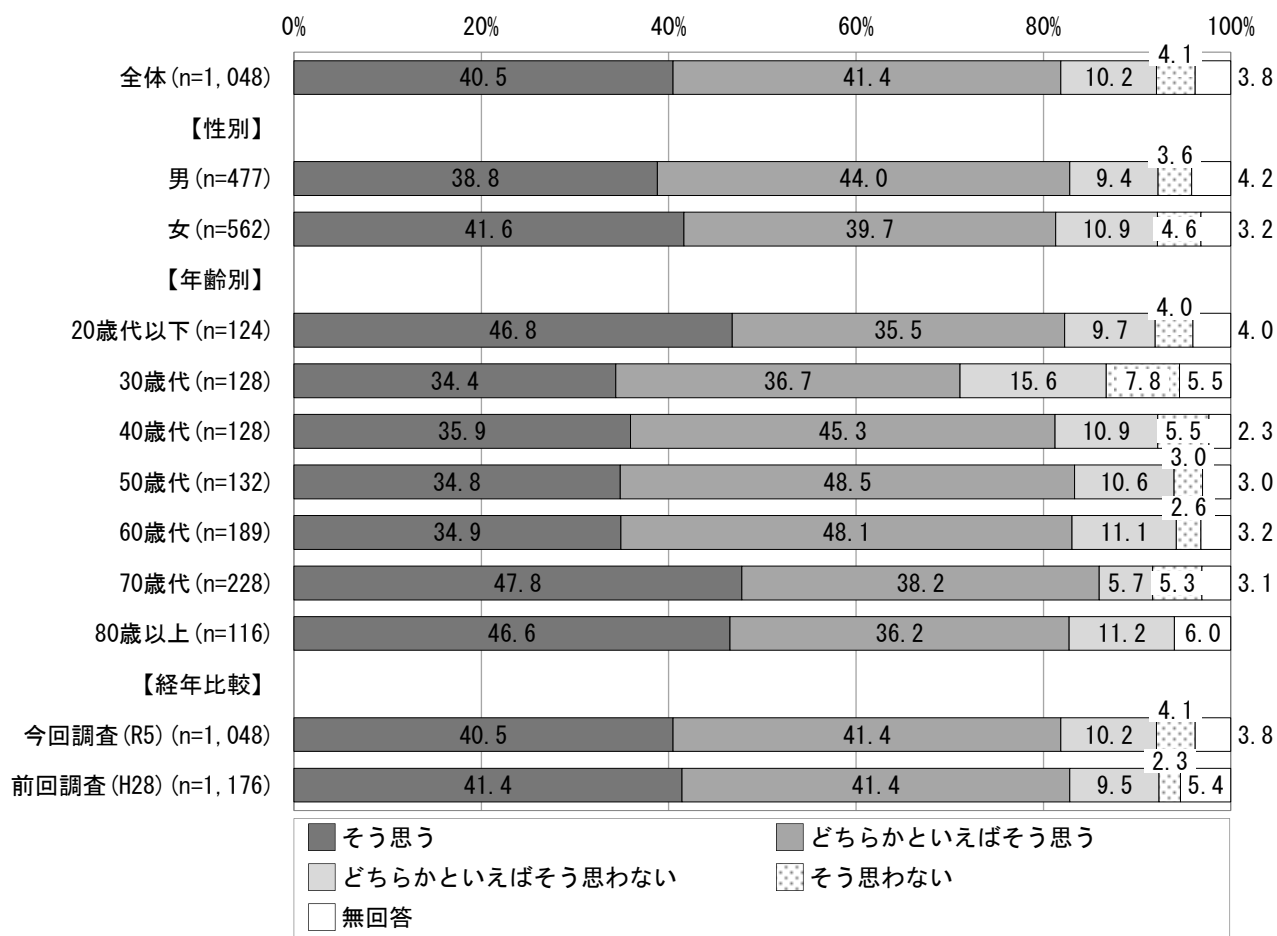


問 17 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（４）障がいのある人が、結婚したり子どもを育てることに周囲が反対することはおかしい

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 41.4%と最も高く、「そう思う」が 40.5%、「どちらかといえばそう思わない」が 10.2%と続いている。

年齢別では、70 歳代で「そう思う」が 47.8%と高くなっている。

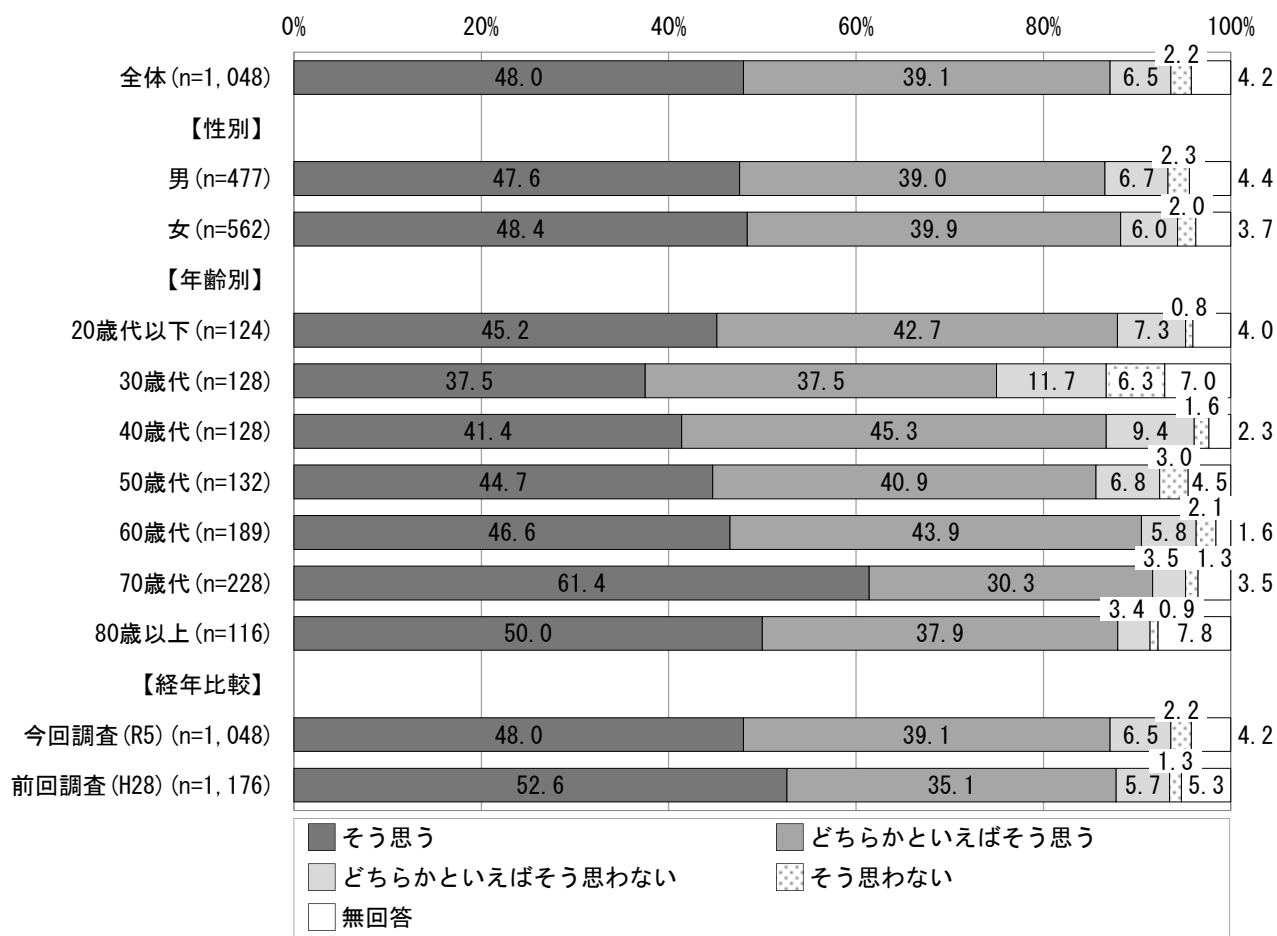


問 17 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(5) 障がい者を理由に賃貸住宅の入居を断ることはおかしい

全体では、「そう思う」が48.0%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が39.1%、「どちらかといえ
ばそう思わない」が6.5%と続いている。

年齢別では、70歳代で「そう思う」が61.4%と高くなっている。



6. 同和問題についておたずねします。

問 18 あなたがこれまでに、同和問題についてもっとも学習したと思われるのは、
どのような場ですか。

全体では、「小学校高学年の授業で」が 36.2%と最も高く、「住民学習会で」が 13.6%、「中学校の授業で」が 10.8%と続いている。

年齢別では、40 歳代で「小学校高学年の授業で」が 66.4%と高くなっている。

(%)	小学校高学年の授業で	住民学習会で	中学校の授業で	職場研修で	高校の授業で	P T A 研修で	短大・大学の授業で	その他	学習したことはない	無回答
全体 (n=1, 048)	36.2	13.6	10.8	6.0	4.3	2.9	1.2	2.7	12.5	9.8
【性別】										
男 (n=477)	35.8	13.8	10.9	8.6	3.8	1.0	1.0	2.3	14.7	8.0
女 (n=562)	36.8	13.2	10.7	3.9	4.8	4.3	1.4	2.8	10.9	11.2
【年齢別】										
20歳代以下 (n=124)	41.1	0.0	13.7	1.6	14.5	0.0	3.2	4.8	11.3	9.7
30歳代 (n=128)	48.4	0.8	7.8	1.6	2.3	0.8	0.8	3.1	25.0	9.4
40歳代 (n=128)	66.4	4.7	10.9	1.6	1.6	0.8	0.0	1.6	6.3	6.3
50歳代 (n=132)	62.1	6.1	7.6	5.3	3.0	0.8	0.0	1.5	6.1	7.6
60歳代 (n=189)	34.4	13.8	16.4	7.9	3.2	3.7	1.6	0.0	6.3	12.7
70歳代 (n=228)	7.9	28.9	9.6	12.3	3.5	4.4	2.2	3.9	18.9	8.3
80歳以上 (n=116)	12.9	30.2	7.8	6.0	3.4	8.6	0.0	4.3	12.1	14.7
【経年比較】										
今回調査 (R5) (n=1, 048)	36.2	13.6	10.8	6.0	4.3	2.9	1.2	2.7	12.5	9.8
前回調査 (H28) (n=1, 176)	34.6	19.9	10.6	8.0	3.4	3.7	0.9	2.9	11.3	4.6

問 19 同和問題の学習について、あなたは、どのような感想をもちましたか（もっていますか）。
（いくつでも）

※問 18 で「小学校高学年の授業で」「中学校の授業で」「高校の授業で」「短大・大学の授業で」「住民学習会で」「職場研修で」「PTA 研修で」「その他」と回答した方に質問

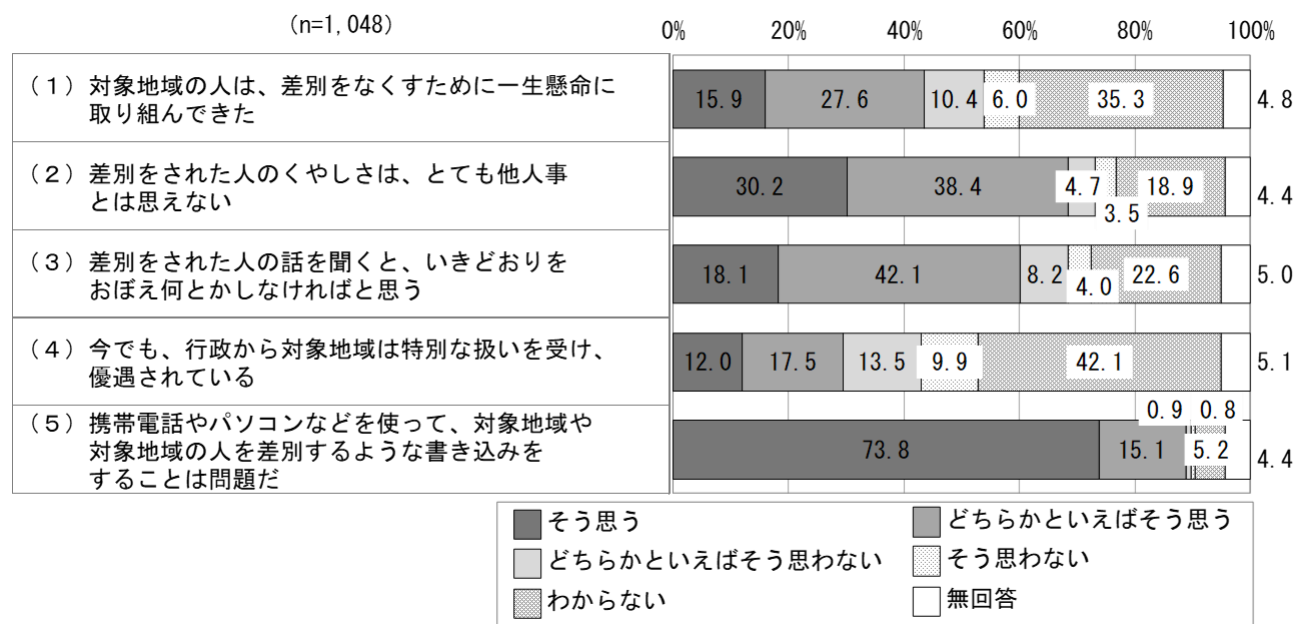
全体では、「同和問題が、いわれのない差別であるということがわかった」が 57.0%と最も高く、「同和問題（差別）は許せないと思う気持ちをもった」が 33.5%、「学習するから同和問題がなくならないと思った」が 22.0%と続いている。

(%)	同和問題が、 いわれのない差別 がわかった	同和問題（差別） は許せないと思う 気持ちをもった	学習するから同和 問題がなくなると 思った	同和問題を人権 学習の中心として 扱うことはおかし いと思った	あまり覚えてい ない	自分にはあまり 関係ないと思った	その他	無 回 答
全体 (n=814)	57.0	33.5	22.0	17.8	11.5	9.6	5.5	0.7
【性別】								
男 (n=369)	54.2	35.5	22.0	18.2	10.6	10.8	4.3	1.6
女 (n=438)	59.4	32.0	22.4	17.8	12.3	8.2	6.4	0.0
【年齢別】								
20歳代以下 (n=98)	56.1	33.7	9.2	3.1	19.4	13.3	3.1	0.0
30歳代 (n=84)	48.8	21.4	21.4	13.1	21.4	11.9	9.5	1.2
40歳代 (n=112)	50.0	31.3	28.6	12.5	12.5	9.8	4.5	0.9
50歳代 (n=114)	56.1	19.3	34.2	15.8	9.6	9.6	6.1	0.0
60歳代 (n=153)	60.8	38.6	21.6	17.6	9.8	4.6	5.9	0.0
70歳代 (n=166)	64.5	42.2	18.7	29.5	4.8	11.4	4.8	0.6
80歳以上 (n=85)	54.1	41.2	20.0	27.1	10.6	8.2	5.9	3.5
【経年比較】								
今回調査 (R5) (n=814)	57.0	33.5	22.0	17.8	11.5	9.6	5.5	0.7
前回調査 (H28) (n=1, 043)	55.5	32.4	23.2	20.9	9.0	9.1	4.7	6.1

問 20 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1)～(5)について、あてはまるものに○をつけてください。

「そう思う」が最も高いのは、＜(5)携帯電話やパソコンなどを使って、対象地域や対象地域の人を差別するような書き込みをすることは問題だ＞で、73.8%となっている。

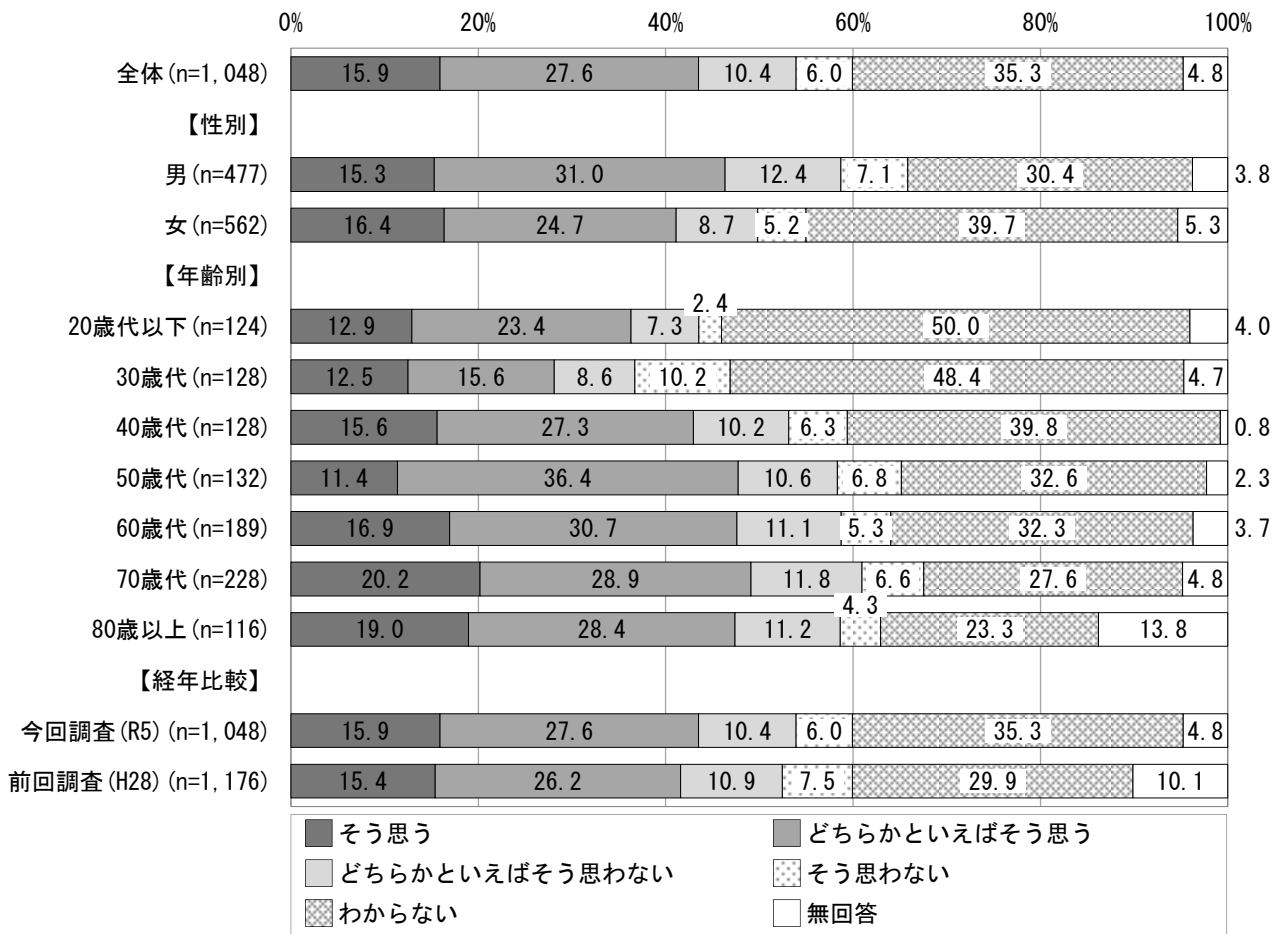


問 20 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) 対象地域の人は、差別をなくすために一生懸命に取り組んできた

全体では、「わからない」が 35.3%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 27.6%、「そう思う」が 15.9%と続いている。

年齢別では、70 歳代で「そう思う」が 20.2%と高くなっている。

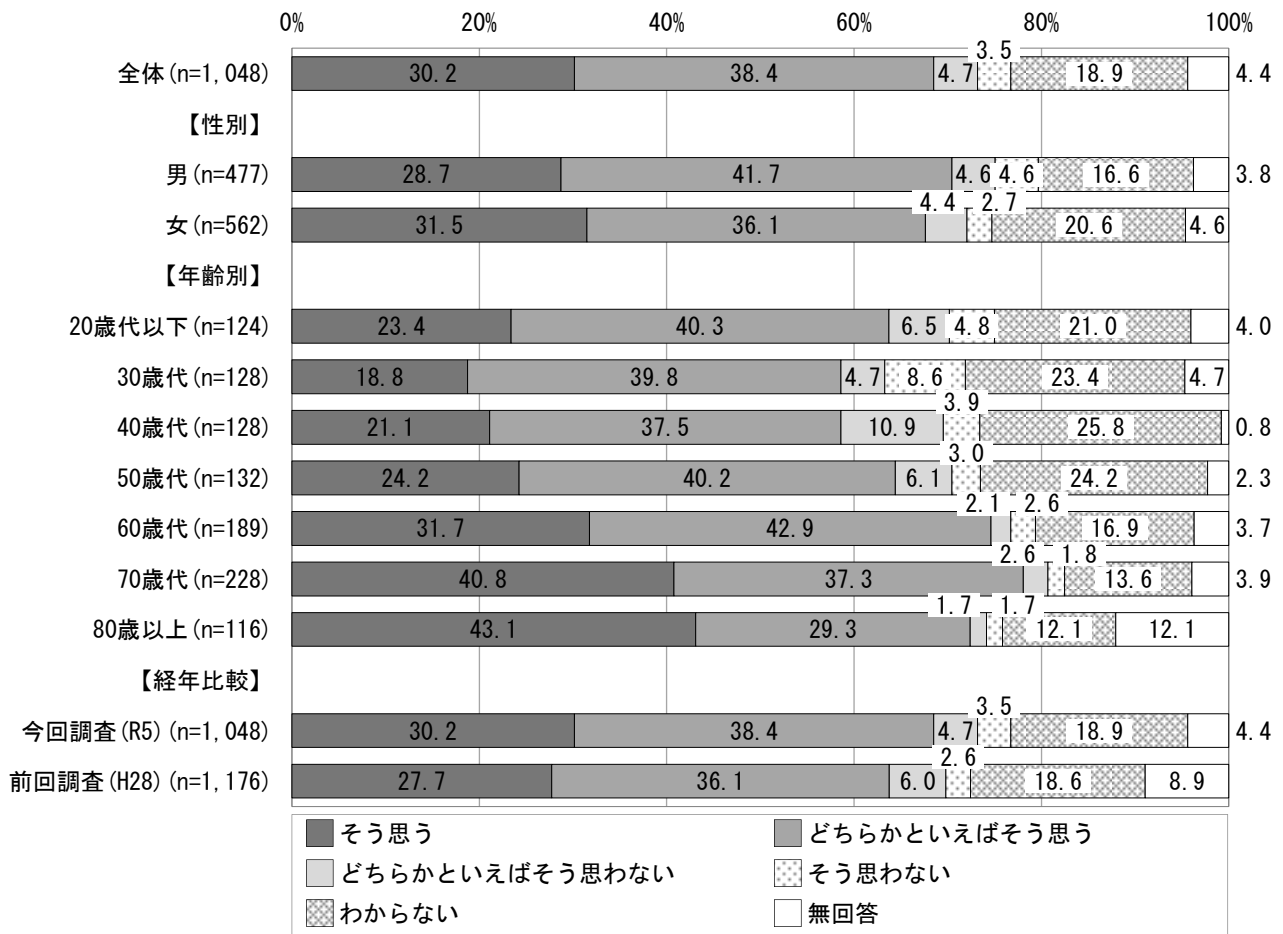


問 20 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(2) 差別をされた人のくやしさは、とても他人事とは思えない

全体では、「どちらかといえばそう思う」が38.4%と最も高く、「そう思う」が30.2%、「わからない」が18.9%と続いている。

年齢別では、80歳以上で「そう思う」が43.1%と高くなっている。

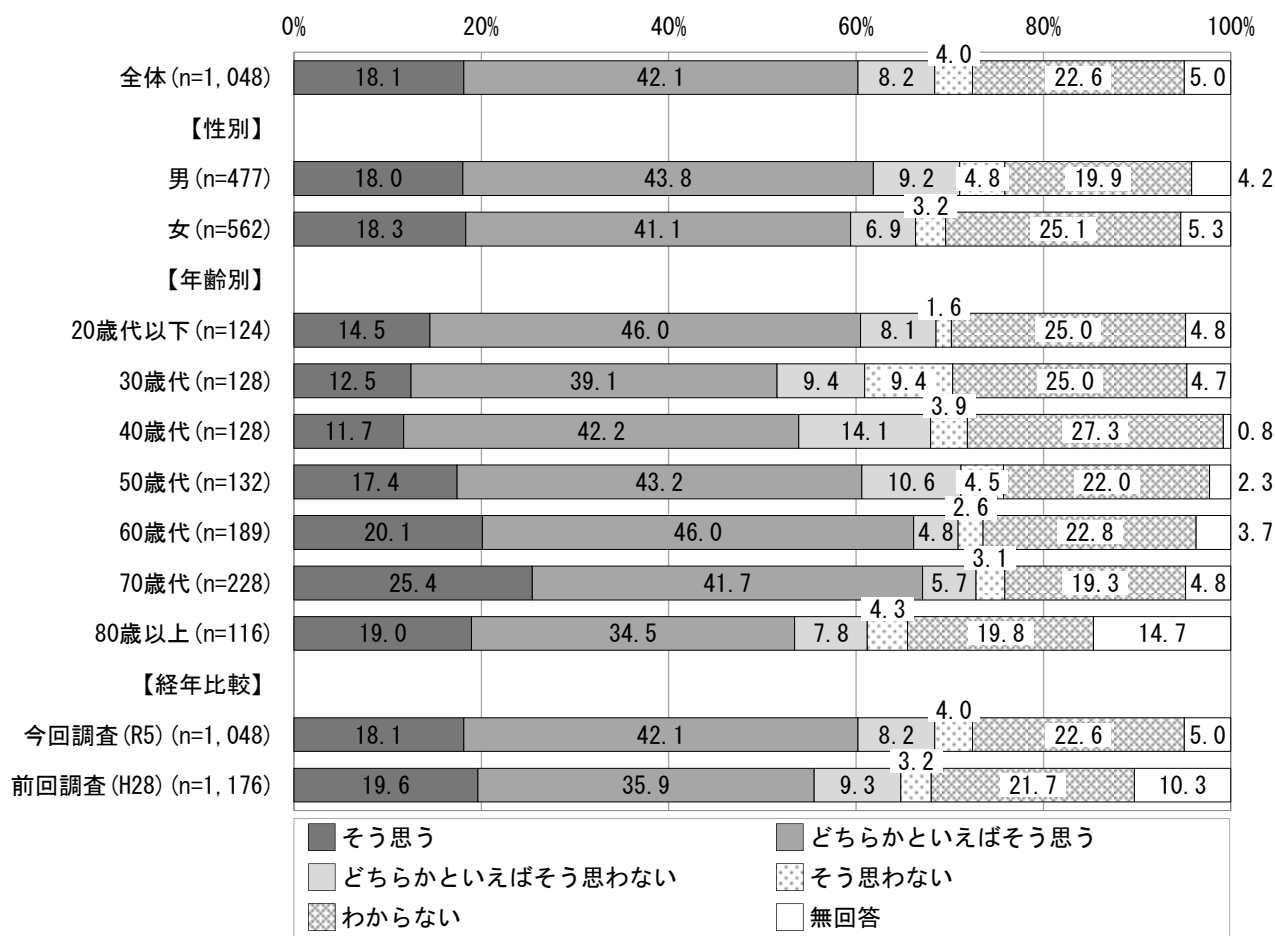


問 20 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(3) 差別をされた人の話を聞くと、いきどおりをおぼえ何とかしなければと思う

全体では、「どちらかといえばそう思う」が42.1%と最も高く、「わからない」が22.6%、「そう思う」が18.1%と続いている。

年齢別では、70歳代で「そう思う」が25.4%と高くなっている。

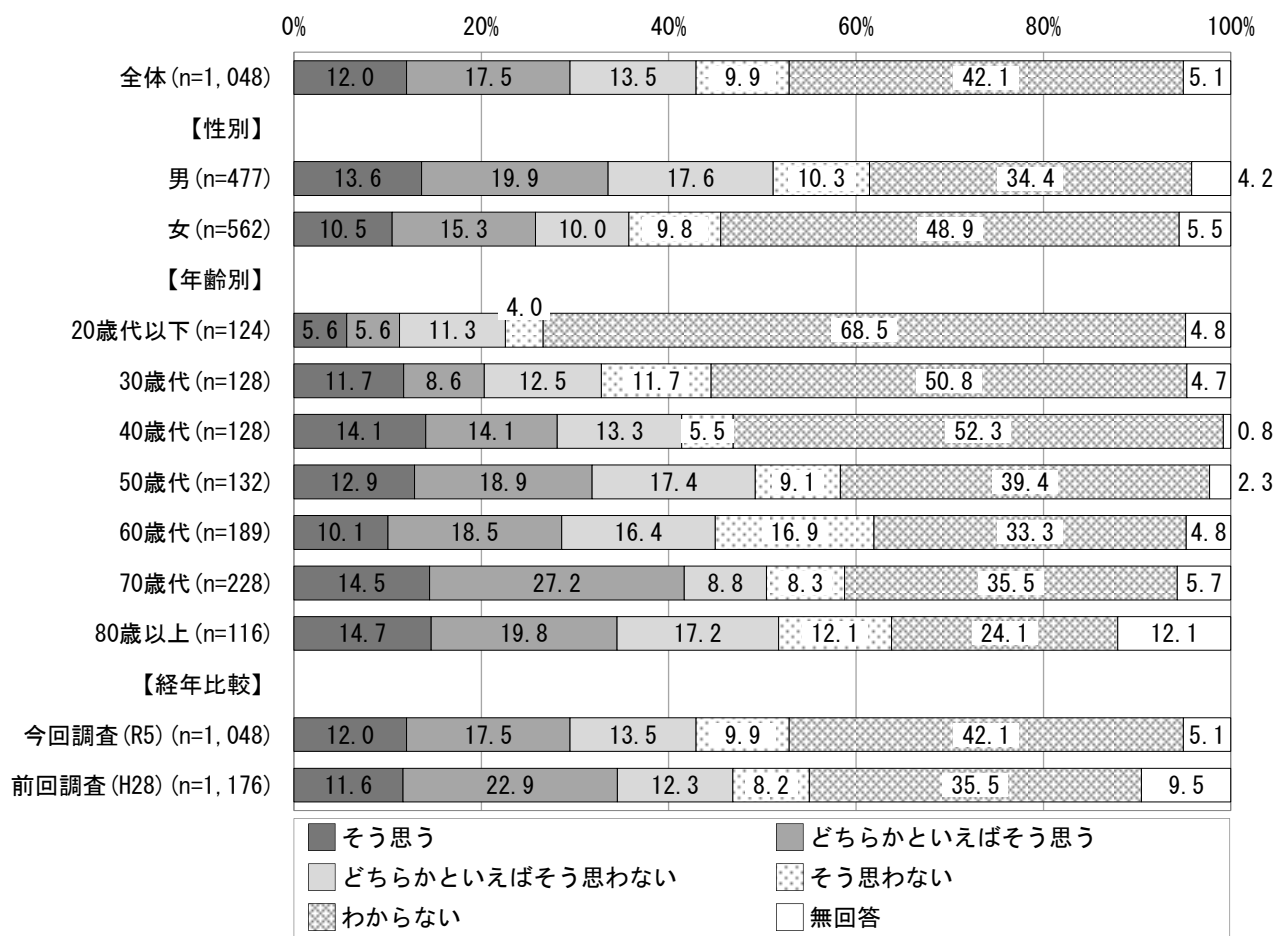


問 20 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(4) 今でも、行政から対象地域は特別な扱いを受け、優遇されている

全体では、「わからない」が 42.1%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 17.5%、「どちらかといえばそう思わない」が 13.5%と続いている。

年齢別では、80 歳以上で「そう思う」が 14.7%と高くなっている。

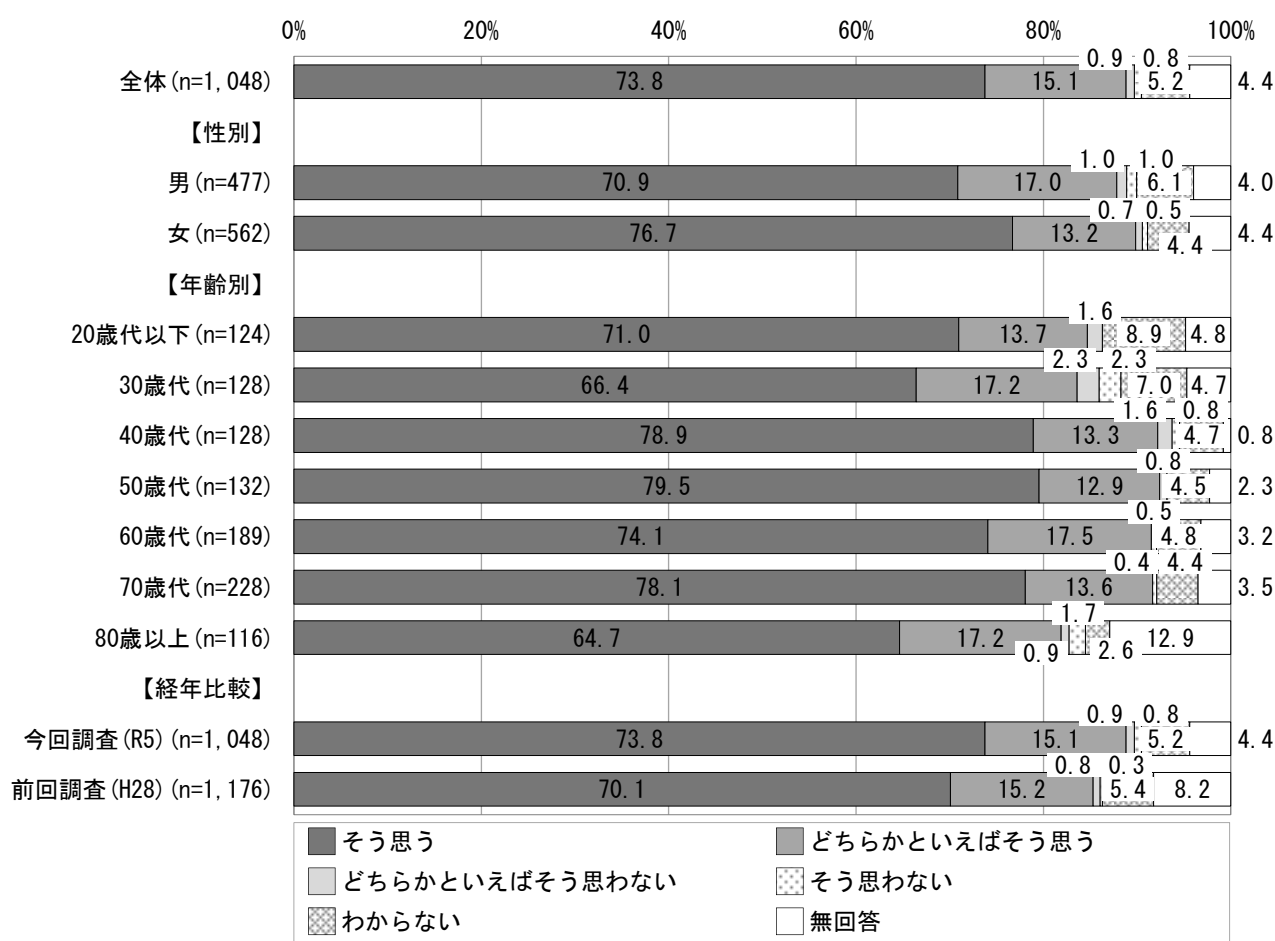


問 20 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(5) 携帯電話やパソコンなどを使って、対象地域や対象地域の人を差別するような書き込みをすることは問題だ

全体では、「そう思う」が73.8%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が15.1%、「わからない」が5.2%と続いている。

年齢別では、50歳代で「そう思う」が79.5%と高くなっている。

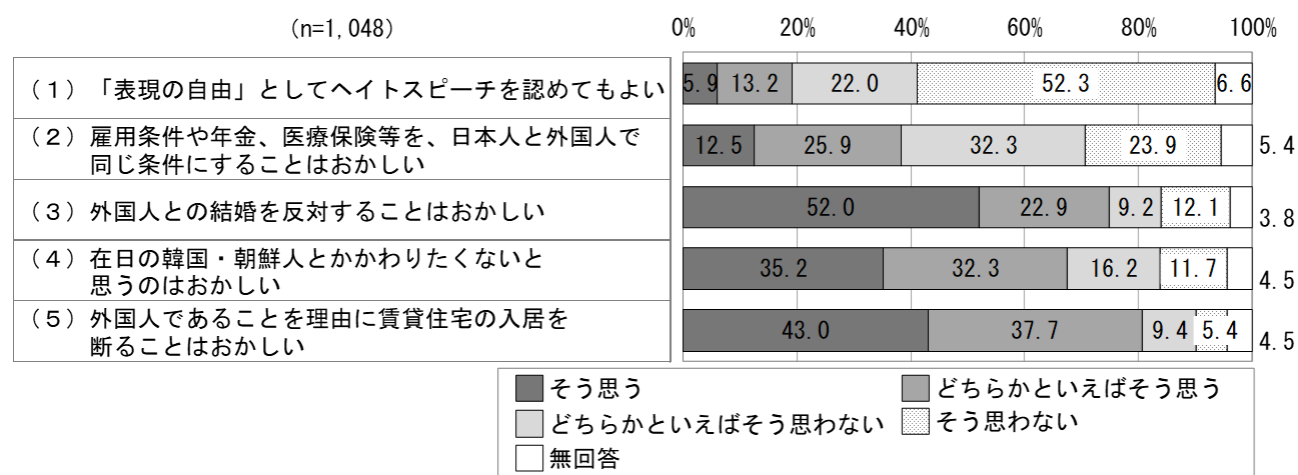


外国人の人権についておたずねします。

問 21 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1) ～ (5) について、あてはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

「そう思う」が最も高いのは、＜(3) 外国人との結婚を反対することはおかしい＞で、52.0%となっている。

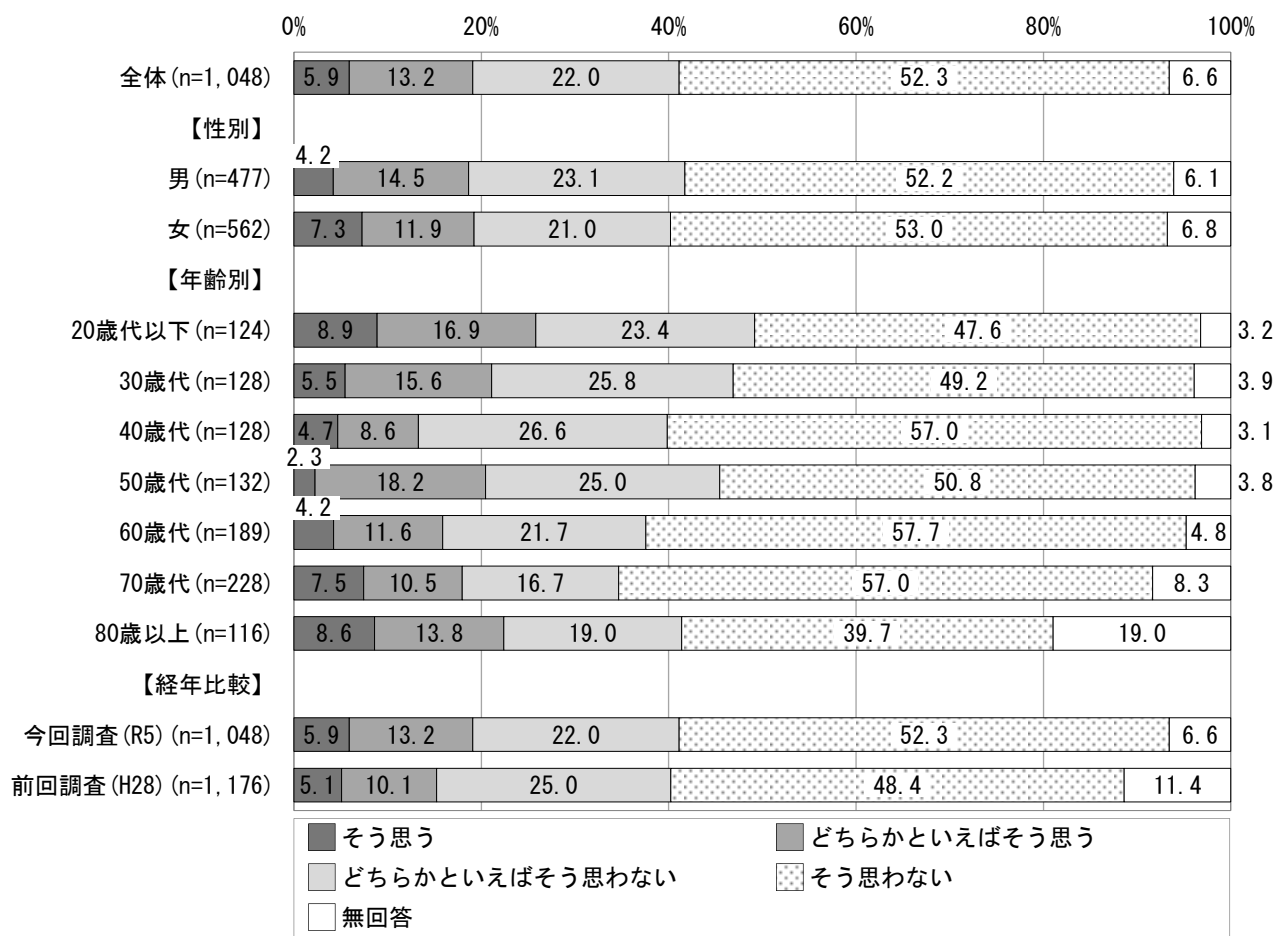


問 21 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1)「表現の自由」としてヘイトスピーチを認めてもよい

全体では、「そう思わない」が 52.3%と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」が 22.0%、「どちらかといえばそう思う」が 13.2%と続いている。

年齢別では、20 歳代以下で「そう思う」が 8.9%と高くなっている。

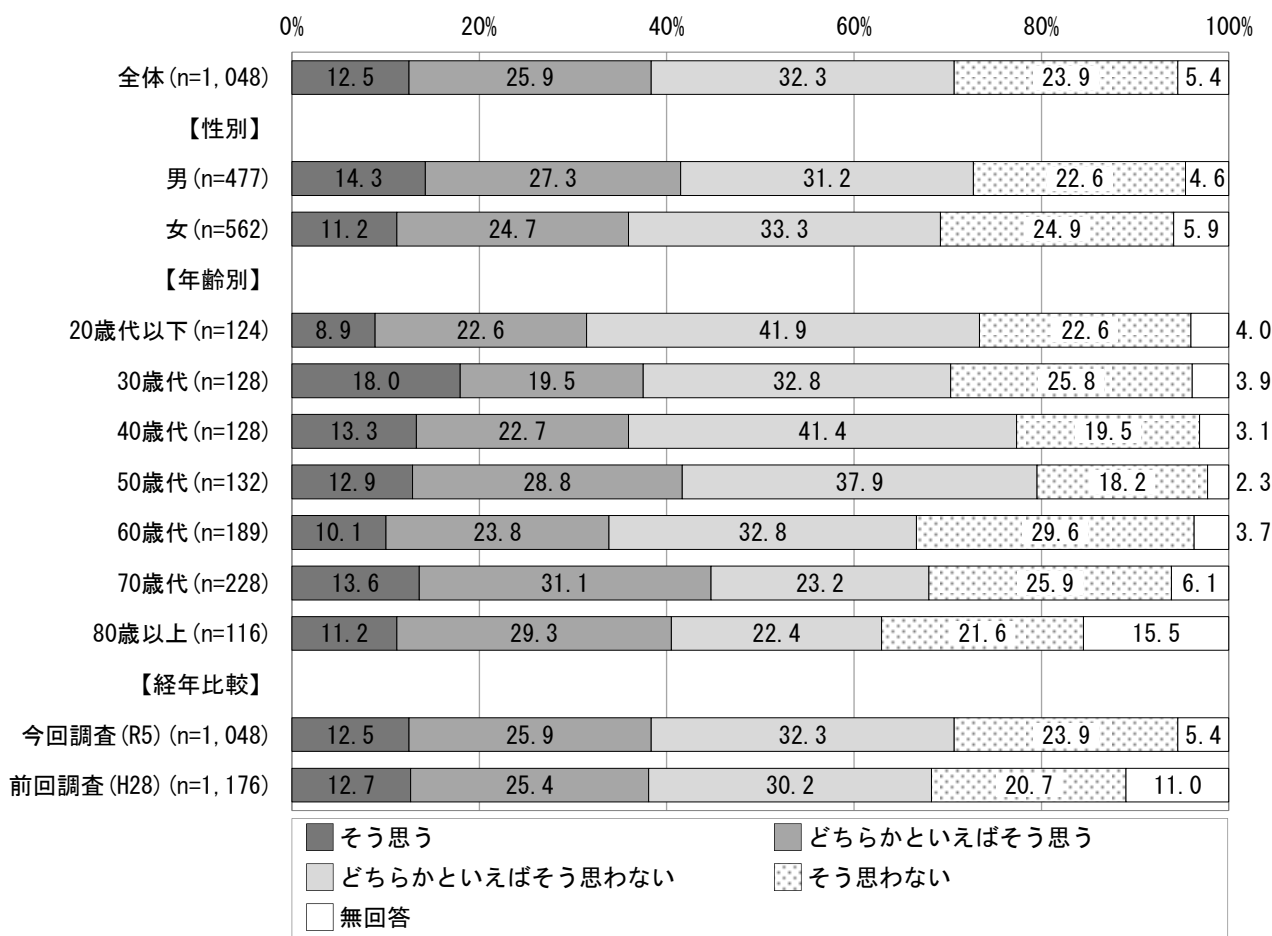


問 21 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

（２）雇用条件や年金、医療保険等を、日本人と外国人で同じ条件にすることはおかしい

全体では、「どちらかといえばそう思わない」が 32.3%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 25.9%、「そう思わない」が 23.9%と続いている。

年齢別では、30 歳代で「そう思う」が 18.0%と高くなっている。



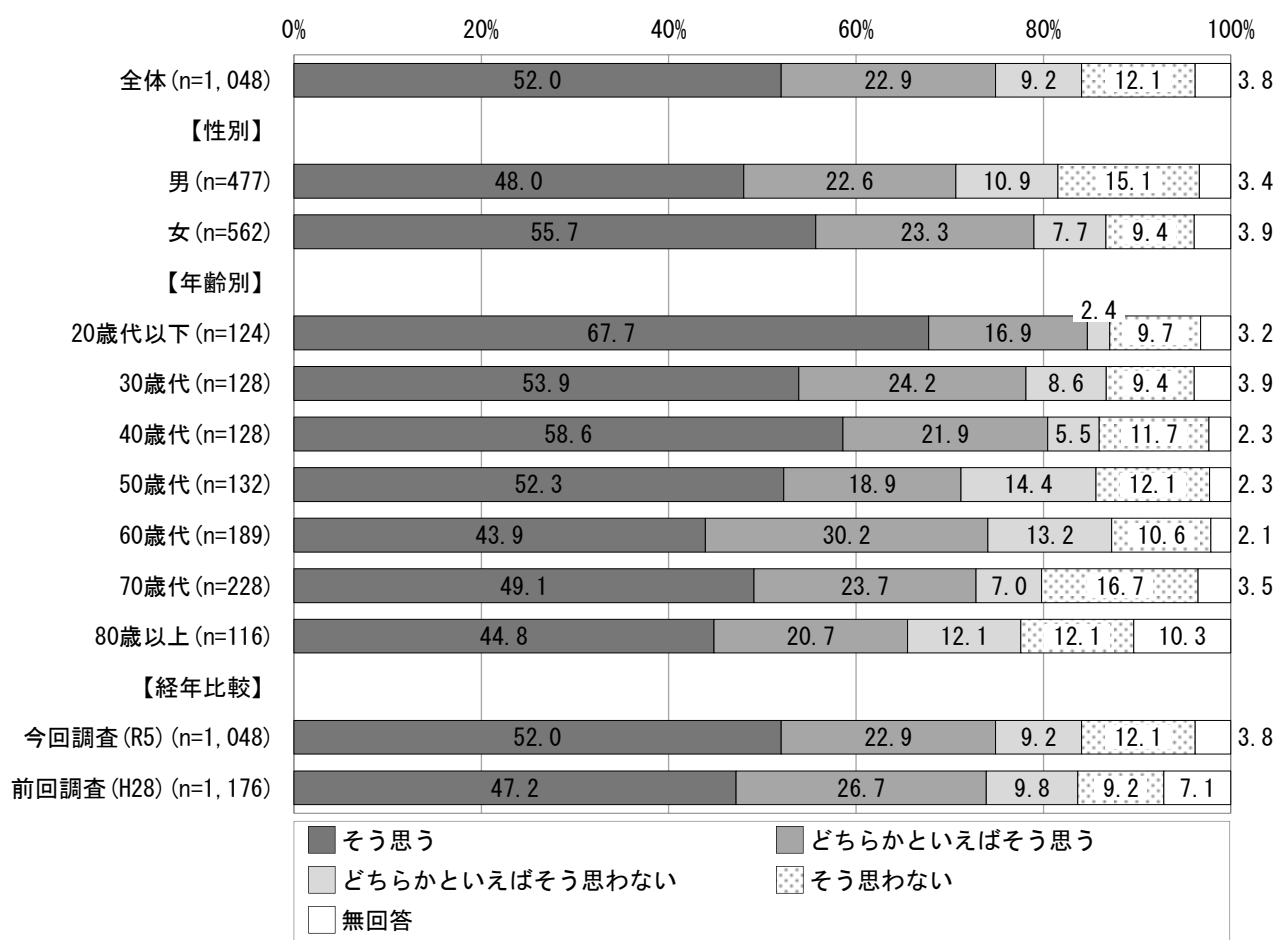
問 21 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(3) 外国人との結婚を反対することはおかしい

全体では、「そう思う」が 52.0%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 22.9%、「そう思わない」が 12.1%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（55.7%）が男（48.0%）を 7.7 ポイント上回っている。

年齢別では、20 歳代以下で「そう思う」が 67.7%と高くなっている。

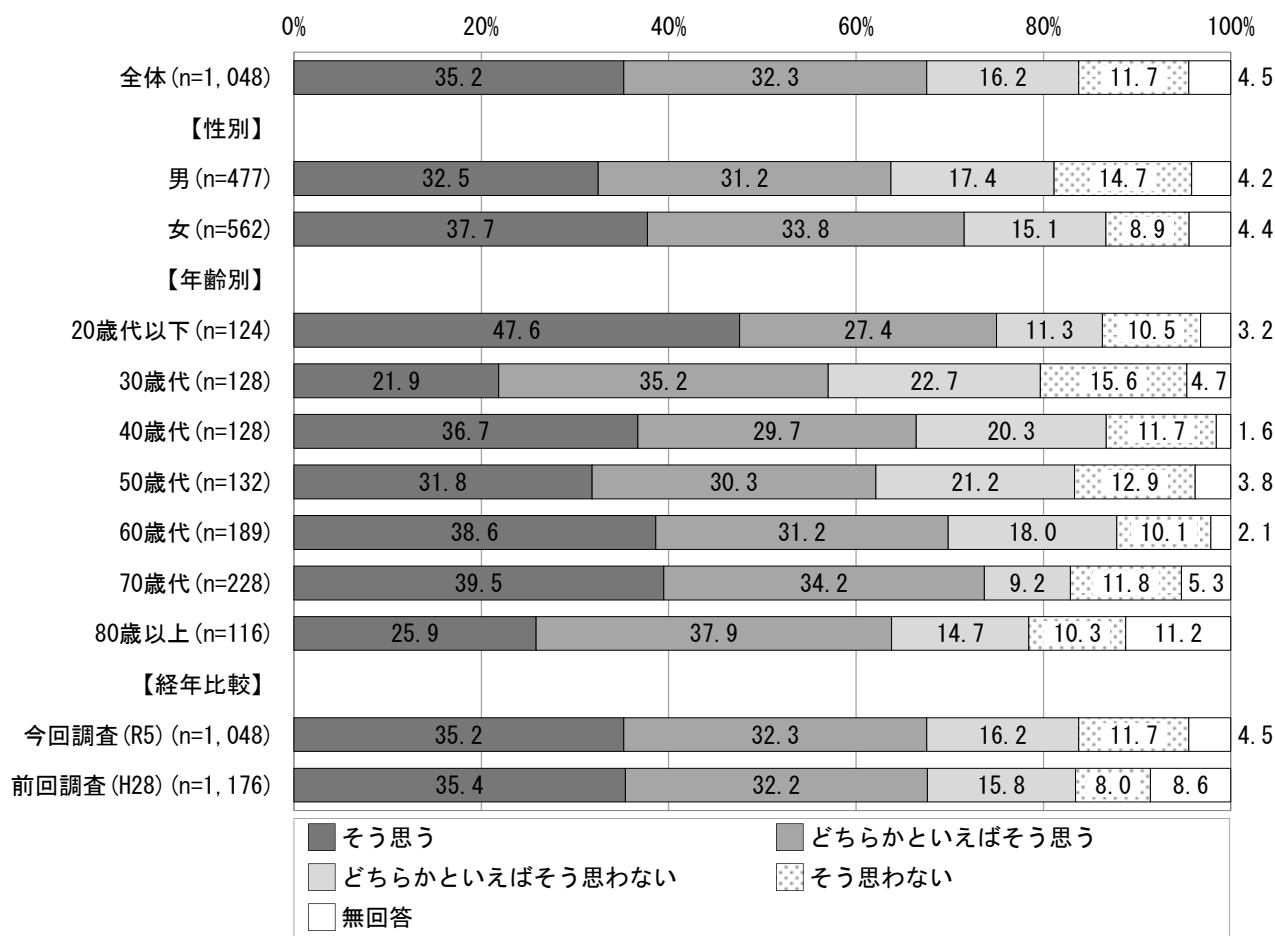


問 21 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(4) 在日の韓国・朝鮮人とかかわりたくないと思うのはおかしい

全体では、「そう思う」が 35.2%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 32.3%、「どちらかとい
えばそう思わない」が 16.2%と続いている。

年齢別では、20 歳代以下で「そう思う」が 47.6%と高くなっている。

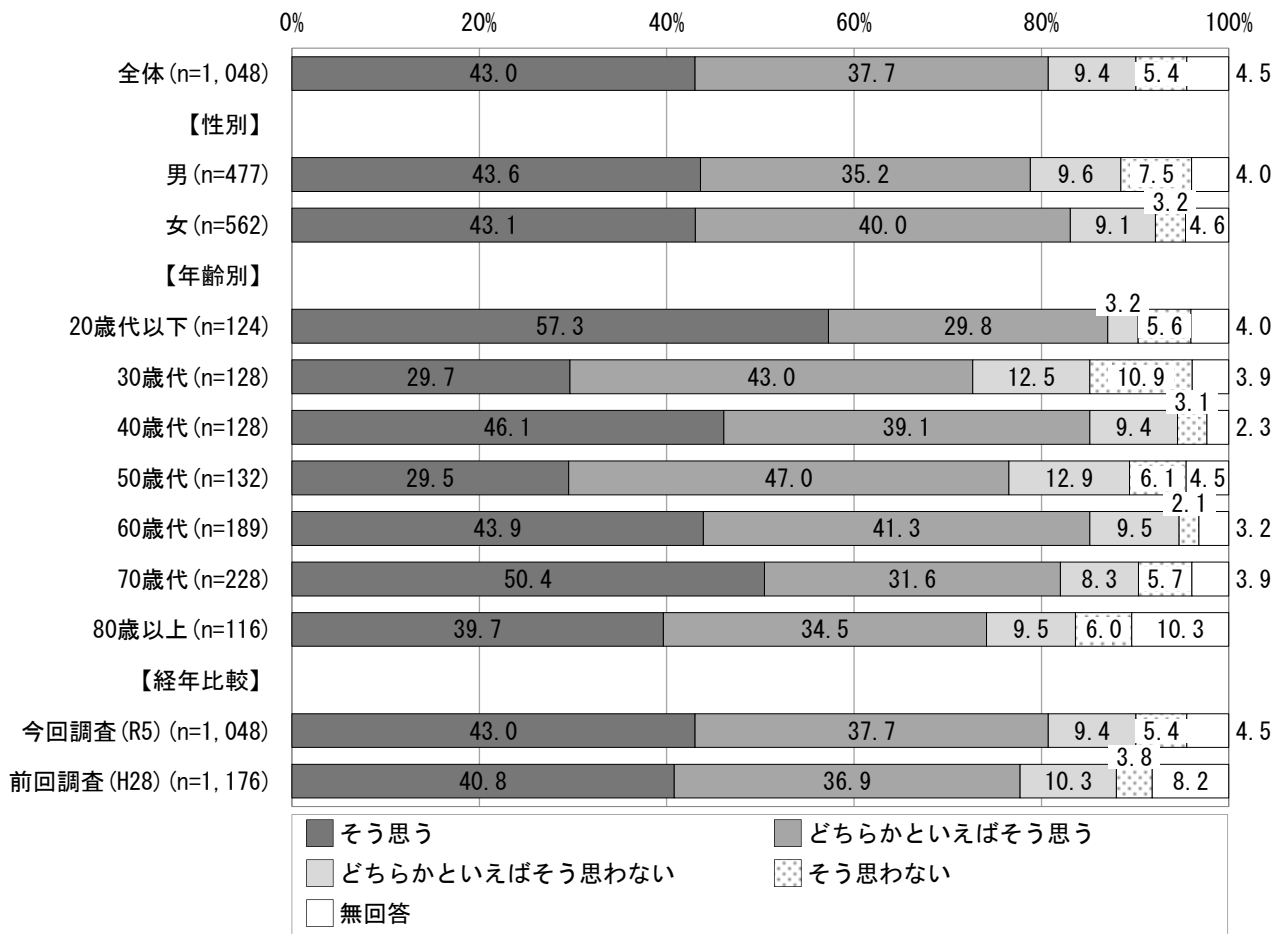


問 21 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(5) 外国人であることを理由に賃貸住宅の入居を断ることはおかしい

全体では、「そう思う」が43.0%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が37.7%、「どちらかとい
えばそう思わない」が9.4%と続いている。

年齢別では、20歳代以下で「そう思う」が57.3%と高くなっている。



問 22 結婚相手を考える時に、あなたが気になる（なった）ことはどんなことですか。（いくつでも）

全体では、「人柄」が 85.2%と最も高く、「経済力」が 44.8%、「容姿・身なり」が 36.3%と続いている。

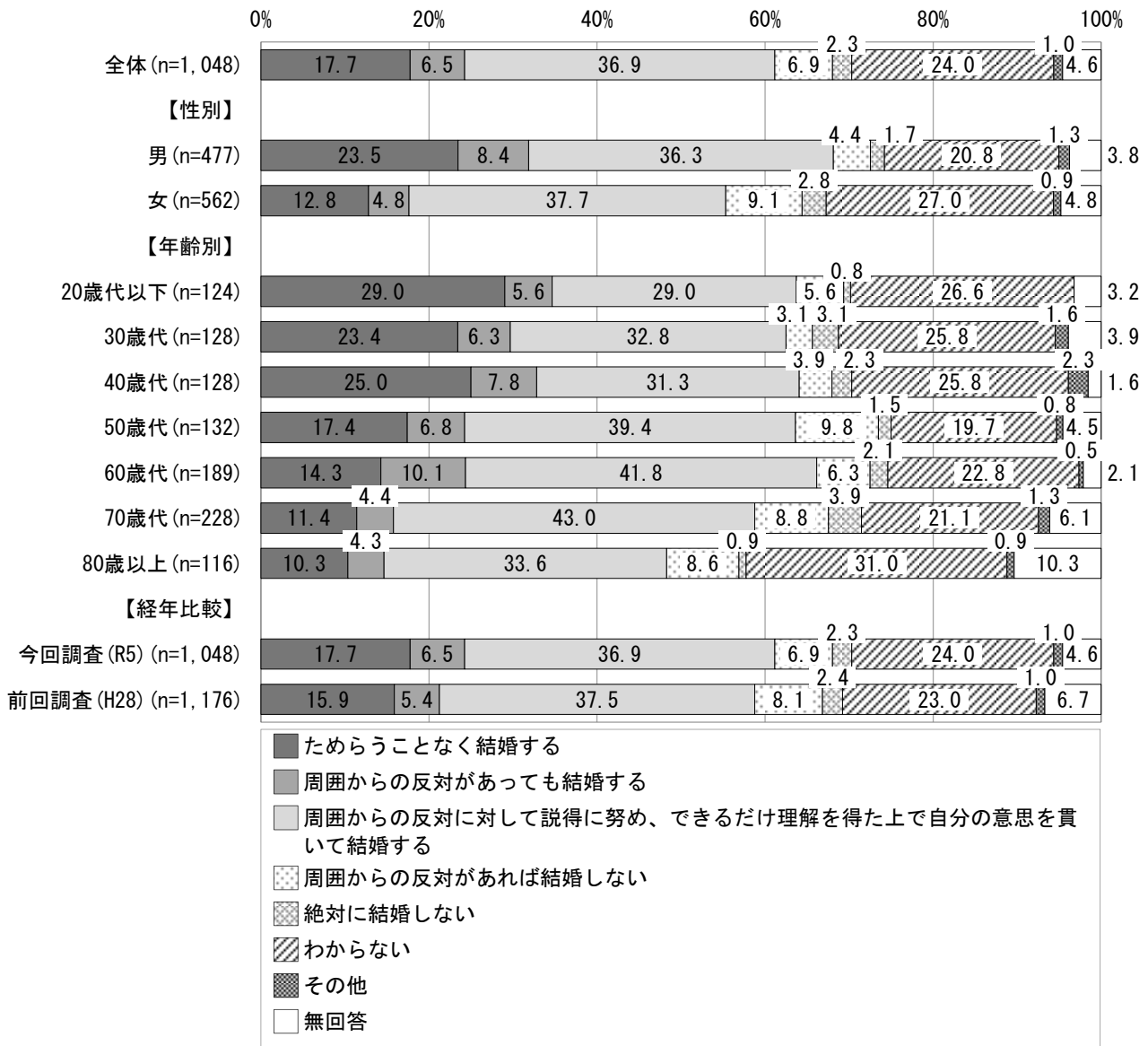
(%)	人柄	経済力	容姿・身なり	職業	相手や家族の犯罪歴の有無	思想・信条	相手や家族の宗教	離婚歴	学歴	家柄	国籍・民族	相手や家族の障がいの有無	対象地域出身かどうか	ひとり親家庭かどうか	無回答
全体 (n=1, 048)	85.2	44.8	36.3	29.8	26.8	26.2	22.8	18.7	13.5	13.3	10.5	9.2	7.4	3.4	4.9
【性別】															
男 (n=477)	83.0	25.8	41.1	20.8	22.2	23.7	20.8	16.6	10.5	12.6	11.5	8.4	5.2	2.9	5.9
女 (n=562)	87.4	61.4	32.4	37.7	31.1	28.6	24.9	20.8	16.4	14.1	9.8	10.0	9.3	3.9	3.7
【年齢別】															
20歳代以下 (n=124)	91.9	52.4	56.5	37.9	32.3	35.5	25.8	18.5	13.7	20.2	8.1	10.5	3.2	3.2	3.2
30歳代 (n=128)	83.6	47.7	50.8	37.5	31.3	36.7	30.5	33.6	14.8	18.8	13.3	12.5	4.7	6.3	4.7
40歳代 (n=128)	83.6	47.7	41.4	28.1	22.7	28.9	25.0	22.7	9.4	17.2	10.2	12.5	7.0	7.0	3.9
50歳代 (n=132)	85.6	44.7	38.6	25.0	24.2	21.2	25.8	19.7	8.3	10.6	8.3	7.6	7.6	0.0	6.1
60歳代 (n=189)	86.8	42.9	29.1	25.4	20.6	23.8	18.5	12.2	12.7	9.0	7.4	5.3	6.9	2.1	3.7
70歳代 (n=228)	85.1	40.4	25.4	25.4	27.6	22.4	19.7	15.4	16.7	8.3	13.6	8.8	11.8	3.1	5.3
80歳以上 (n=116)	79.3	43.1	23.3	34.5	31.9	19.0	18.1	13.8	17.2	14.7	11.2	8.6	6.9	2.6	6.9
【経年比較】															
今回調査 (R5) (n=1, 048)	85.2	44.8	36.3	29.8	26.8	26.2	22.8	18.7	13.5	13.3	10.5	9.2	7.4	3.4	4.9
前回調査 (H28) (n=1, 176)	83.9	47.7	28.1	29.1	20.9	23.7	17.2	15.2	13.9	11.0	8.5	7.7	8.1	1.9	7.7

問 23 たとえば、あなたが結婚しようとする相手が対象地域の人だとわかった場合、あなたはどうか
れますか。(既婚の場合は、未婚と仮定してお答えください。)

全体では、「周囲からの反対に対して説得に努め、できるだけ理解を得た上で自分の意思を貫いて結婚する」が36.9%と最も高く、「わからない」が24.0%、「ためらうことなく結婚する」が17.7%と続いている。

性別では「ためらうことなく結婚する」は、男(23.5%)が女(12.8%)を10.7ポイント上回っている。

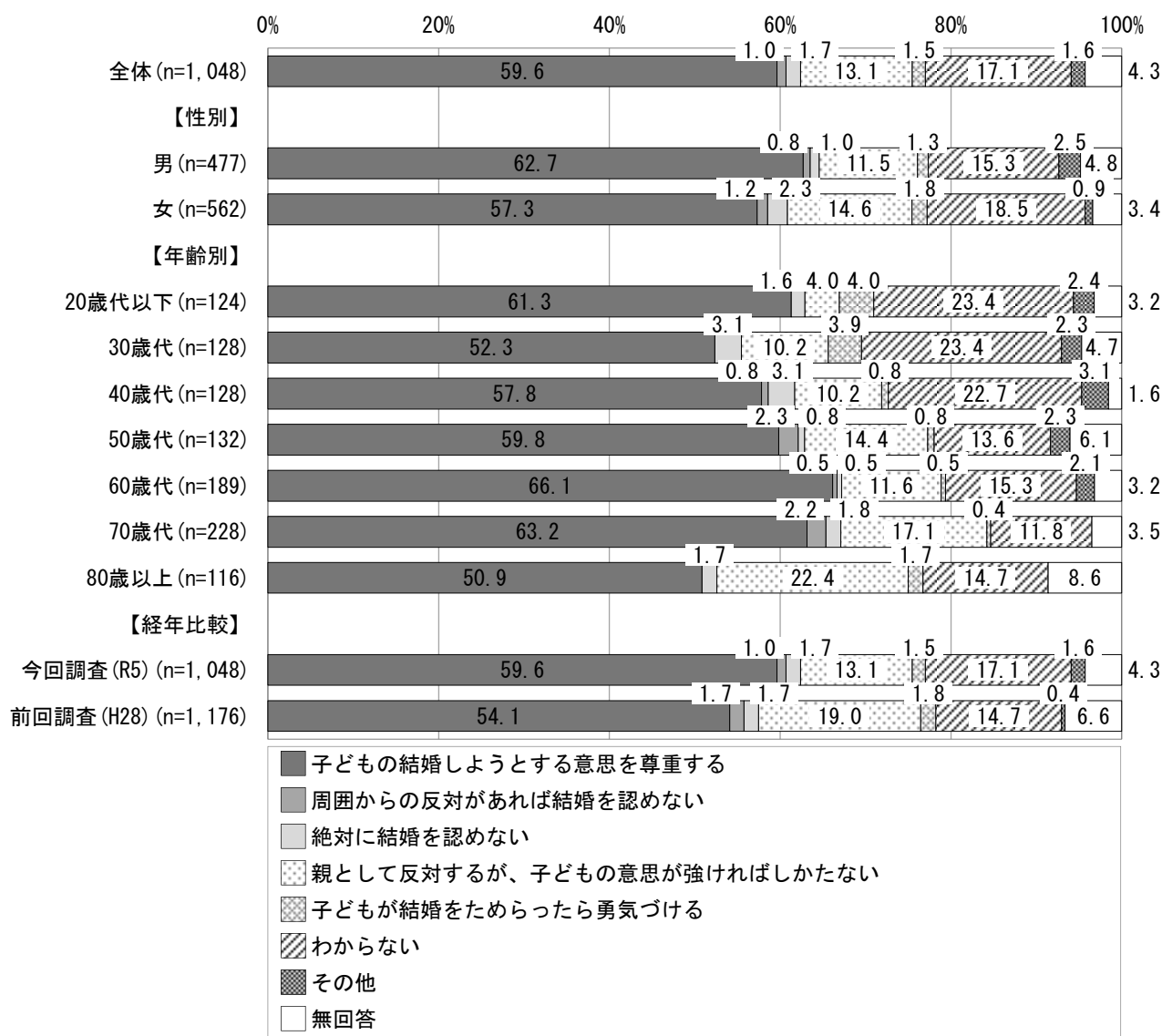
年齢別では、20歳代以下で「ためらうことなく結婚する」が29.0%と高くなっている。



問 24 たとえば、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が対象地域の人だとわかった場合、あなたはどのようにされますか。（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください。）

全体では、「子どもの結婚しようとする意思を尊重する」が59.6%と最も高く、「わからない」が17.1%、「親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない」が13.1%と続いている。

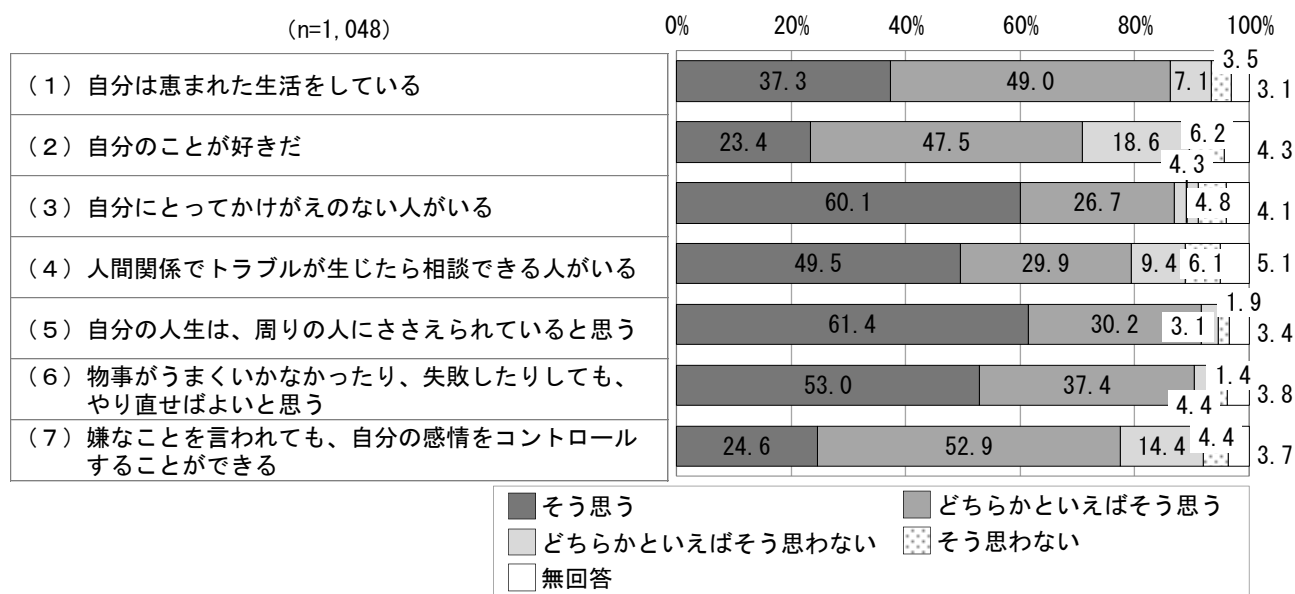
年齢別では、60歳代で「子どもの結婚しようとする意思を尊重する」が66.1%と高くなっている。



問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

(1) ~ (7) について、あてはまるものに○をつけてください。

「そう思う」が最も高いのは、＜(5) 自分の人生は、周りの人にささえられていると思う＞で、61.4%となっている。



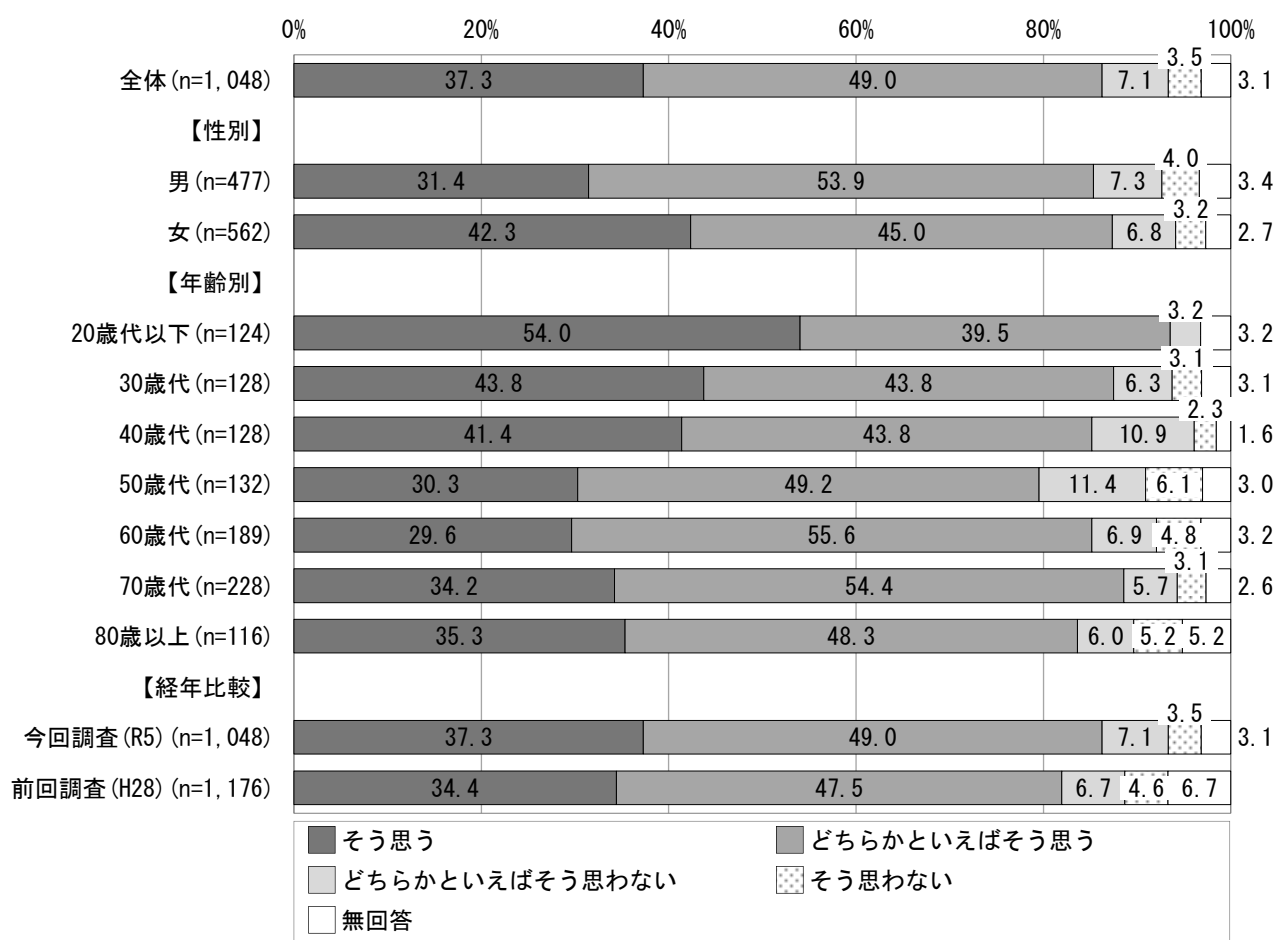
問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

(1) 自分は恵まれた生活をしている

全体では、「どちらかといえばそう思う」が49.0%と最も高く、「そう思う」が37.3%、「どちらかとい
えばそう思わない」が7.1%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（42.3%）が男（31.4%）を10.9ポイント上回っている。

年齢別では、20歳代以下で「そう思う」が54.0%と高くなっている。

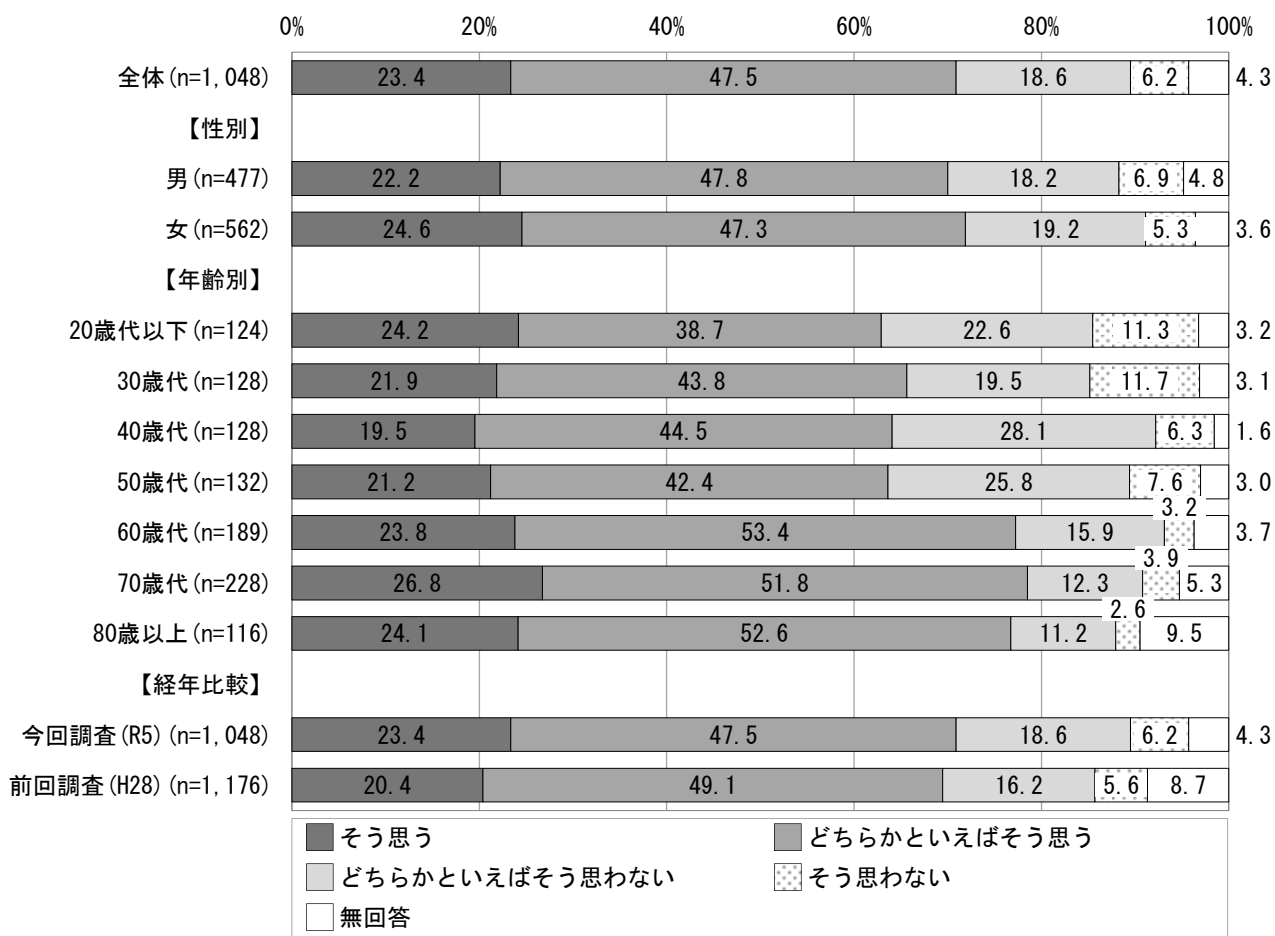


問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

(2) 自分のことが好きだ

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 47.5%と最も高く、「そう思う」が 23.4%、「どちらかとい
えばそう思わない」が 18.6%と続いている。

年齢別では、70 歳代で「そう思う」が 26.8%と高くなっている。



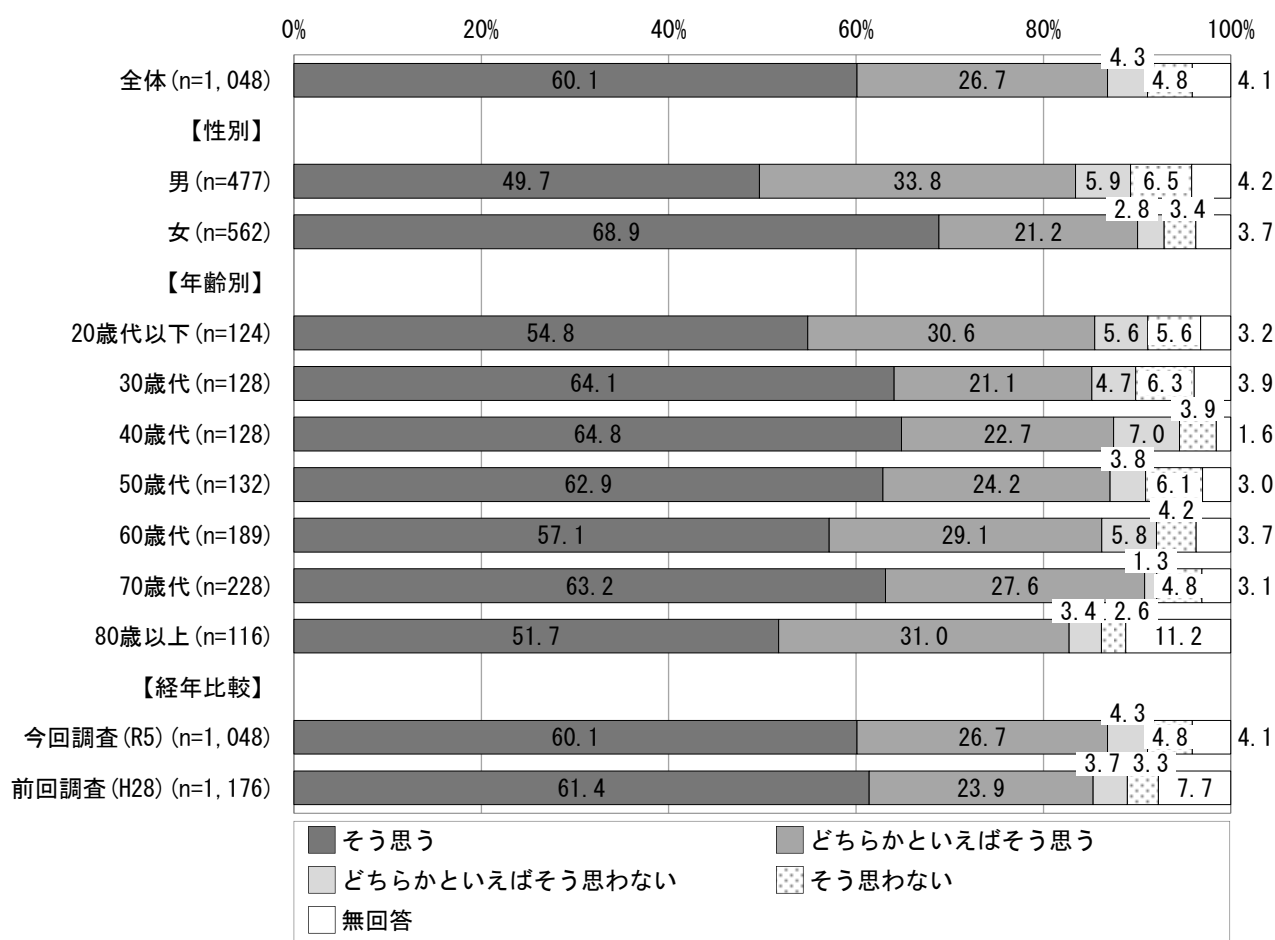
問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

（３）自分にとってかけがえのない人がある

全体では、「そう思う」が 60.1%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 26.7%、「そう思わない」が 4.8%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（68.9%）が男（49.7%）を 19.2 ポイント上回っている。

年齢別では、40 歳代で「そう思う」が 64.8%と高くなっている。

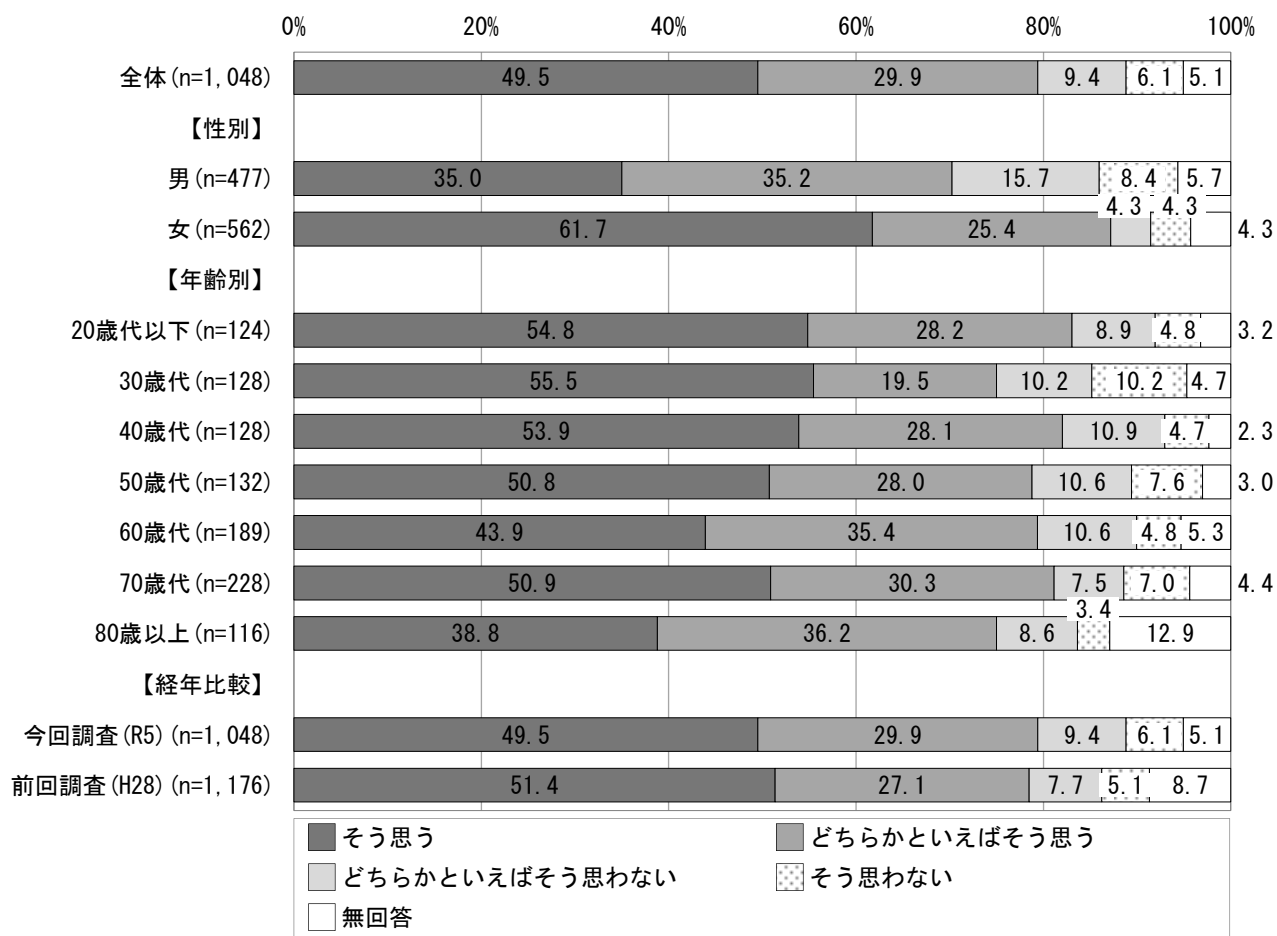


問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

（４）人間関係でトラブルが生じたら相談できる人がいる

全体では、「そう思う」が 49.5%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が 29.9%、「どちらかといえ
ばそう思わない」が 9.4%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（61.7%）が男（35.0%）を 26.7 ポイント上回っている。

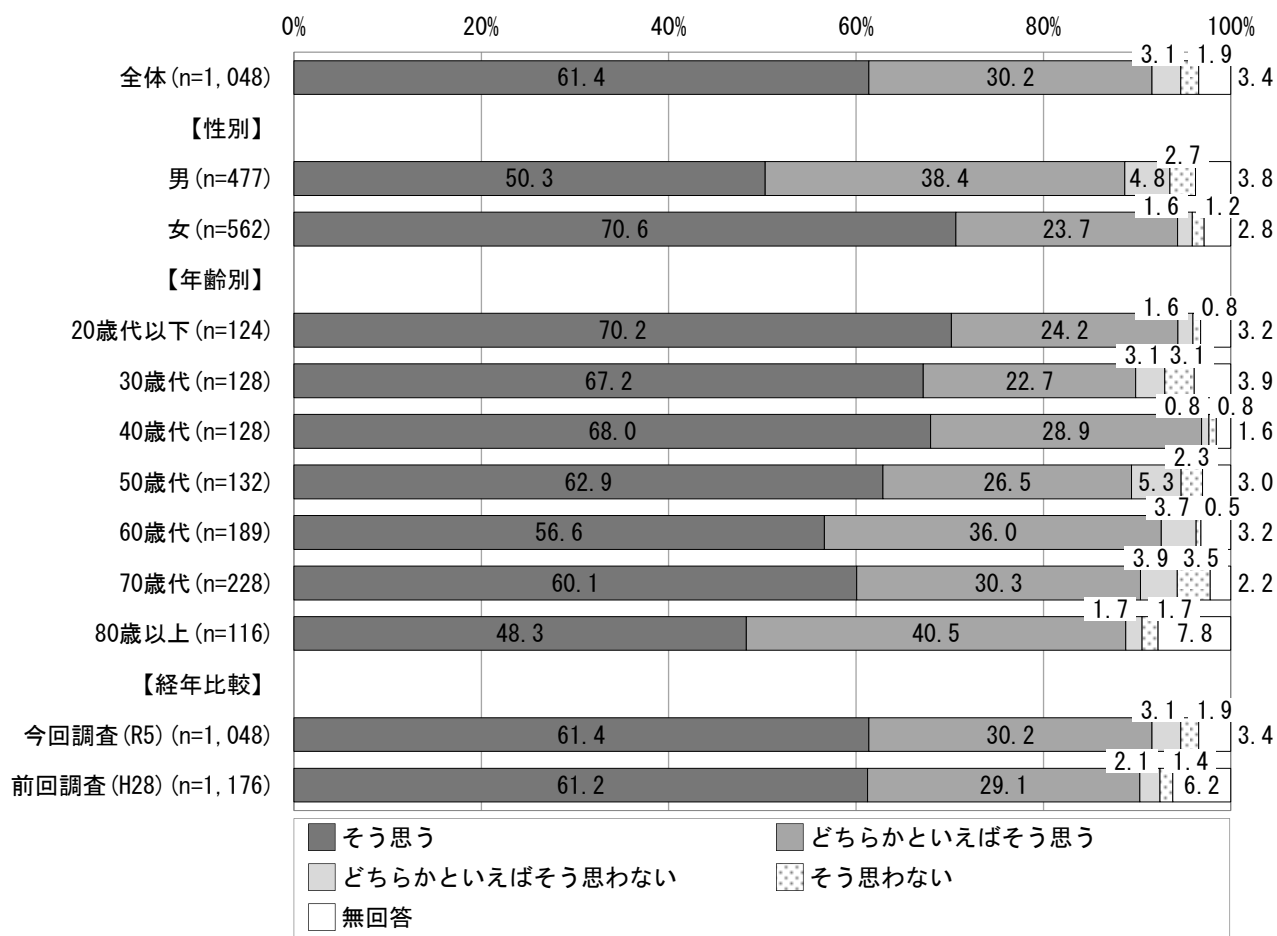


問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

(5) 自分の人生は、周りの人にささえられていると思う

全体では、「そう思う」が61.4%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が30.2%、「どちらかといえ
ばそう思わない」が3.1%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（70.6%）が男（50.3%）を20.3ポイント上回っている。

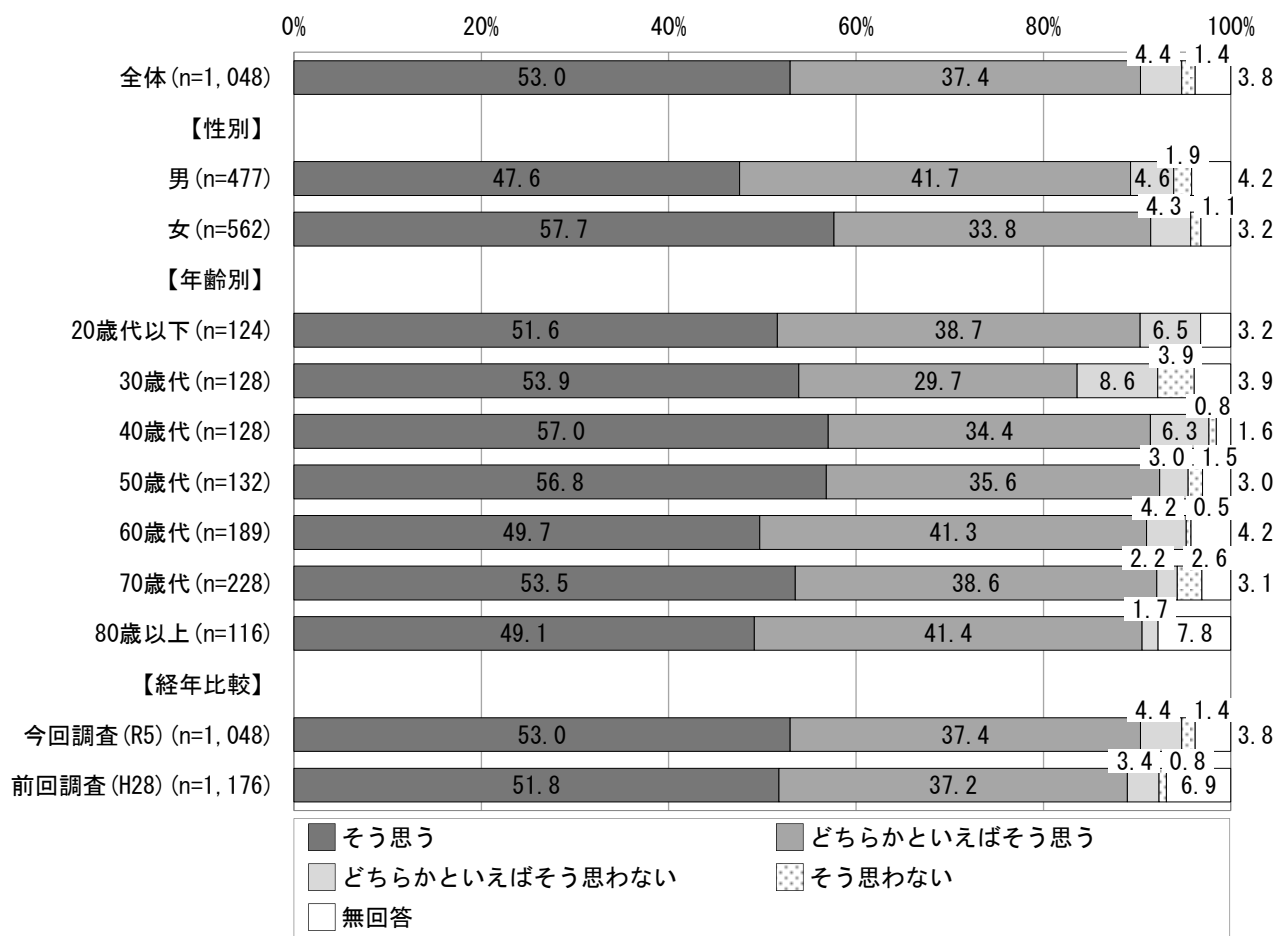


問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

（6）物事がうまくいかなかったり、失敗したりしても、やり直せばよいと思う

全体では、「そう思う」が53.0%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」が37.4%、「どちらかといえばそう思わない」が4.4%と続いている。

性別では「そう思う」は、女（57.7%）が男（47.6%）を10.1ポイント上回っている。

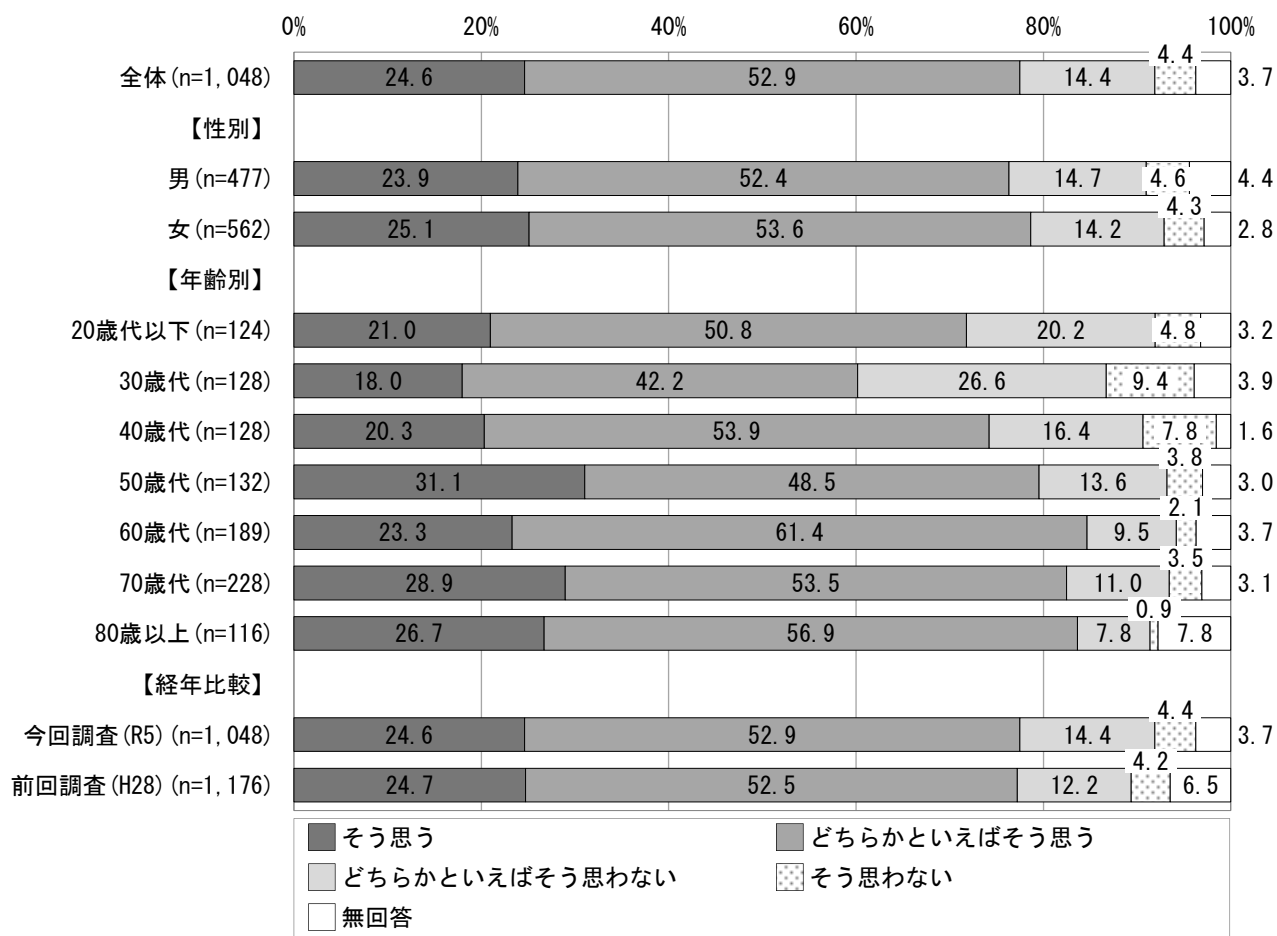


問 25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。

(7) 嫌なことを言われても、自分の感情をコントロールすることができる

全体では、「どちらかといえばそう思う」が 52.9%と最も高く、「そう思う」が 24.6%、「どちらかとい
えばそう思わない」が 14.4%と続いている。

年齢別では、50 歳代で「そう思う」が 31.1%と高くなっている。

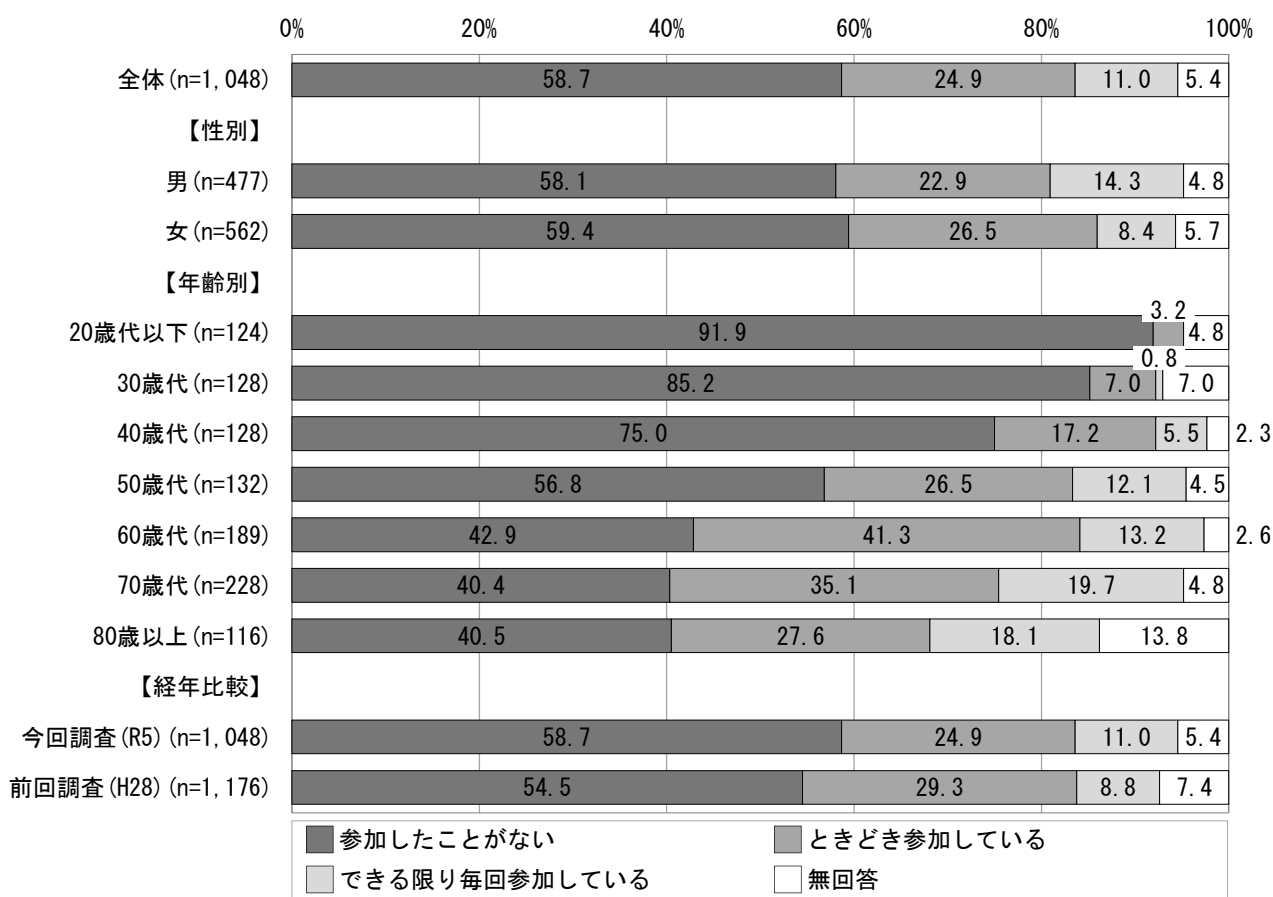


7. 人権学習・啓発についておたずねします

問 26 あなたは、住民学習会に参加されたことはありますか。

全体では、「参加したことがない」が 58.7%と最も高く、「ときどき参加している」が 24.9%、「できる限り毎回参加している」が 11.0%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「参加したことがない」の割合が高くなる傾向にある。



問 27 あなたが、住民学習会に参加しなかった理由はなんですか。(いくつでも)
 ※問 26 で「参加したことがない」「ときどき参加している」と回答した方に質問

全体では、「いつあるか知らない（案内がない）」が 34.2%と最も高く、「忙しくて行く時間がない」が 33.2%、「興味・関心がない」が 23.3%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「いつあるか知らない（案内がない）」の割合が高くなる傾向にある。

性別では「いつあるか知らない（案内がない）」は、今回調査(R5) (34.2%) が前回調査(H28) (24.9%) を 9.3 ポイント上回っている。

(%)	いつあるか知らない（案内がない）	忙しくて行く時間がない	興味・関心がない	行くのがめんどろ	人権のことは、会に参加しなくてもよく知っている	体調や年齢の関係で行けない	参加しても身になることがない	その他	無回答
全体 (n=876)	34.2	33.2	23.3	22.3	11.6	10.4	5.5	6.5	2.2
【性別】									
男 (n=386)	36.3	31.3	25.9	19.2	12.4	12.2	6.0	5.2	1.6
女 (n=483)	32.5	35.2	21.5	25.1	10.8	8.7	5.2	7.5	2.7
【年齢別】									
20歳代以下 (n=118)	64.4	28.0	33.1	26.3	5.9	5.1	2.5	5.9	0.0
30歳代 (n=118)	53.4	40.7	32.2	24.6	7.6	5.1	6.8	5.1	0.8
40歳代 (n=118)	36.4	39.8	21.2	27.1	5.1	3.4	4.2	8.5	0.0
50歳代 (n=110)	30.0	50.9	29.1	20.0	5.5	4.5	5.5	3.6	2.7
60歳代 (n=159)	24.5	30.8	18.9	25.8	14.5	4.4	8.2	9.4	4.4
70歳代 (n=172)	19.2	25.0	18.0	20.3	18.6	19.2	5.8	5.8	3.5
80歳以上 (n=79)	13.9	17.7	10.1	5.1	24.1	38.0	3.8	6.3	2.5
【経年比較】									
今回調査 (R5) (n=876)	34.2	33.2	23.3	22.3	11.6	10.4	5.5	6.5	2.2
前回調査 (H28) (n=1,072)	24.9	37.1	19.6	16.8	10.1	9.3	7.0	5.6	8.8

問 28 これまであなたが参加された人権学習でよかった学習はどんな内容でしたか。(いくつでも)

※問 26 で「ときどき参加している」「できる限り毎回参加している」と回答した方に質問

全体では、「ビデオ (DVD) などの映像を用いた学習」が 51.6%と最も高く、「学識者による講義や講演」が 23.4%、「差別を受けてきた人や差別に立ち向かってきた人から直接体験を聞く」が 18.1%と続いている。

性別では「ビデオ (DVD) などの映像を用いた学習」は、男 (58.2%) が女 (46.4%) を 11.8 ポイント上回っている。

経年比較では「ビデオ (DVD) などの映像を用いた学習」は、今回調査 (R5) (51.6%) が前回調査 (H28) (41.5%) を 10.1 ポイント上回っている。

(%)	ビデオ（DVD）などの映像を用いた学習	学識者による講義や講演	向かってきた人から直接体験を聞く	差別を受けてきた人や差別に立ち向かっていた人から直接体験を聞く	参加体験型の学習	人権に関する歴史などをたどる ファイルドワークによる学習	人権に関する施設などの見学	人権に関するイベントやフェスティバル	その他	無回答
全体 (n=376)	51.6	23.4	18.1	9.8	9.6	5.3	2.9	2.1	27.9	
【性別】										
男 (n=177)	58.2	26.6	19.8	11.9	12.4	7.9	4.0	1.7	24.3	
女 (n=196)	46.4	20.9	16.3	8.2	7.1	3.1	2.0	2.0	31.1	
【年齢別】										
20歳代以下 (n=4)	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	
30歳代 (n=10)	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	
40歳代 (n=29)	51.7	17.2	10.3	10.3	13.8	10.3	0.0	6.9	27.6	
50歳代 (n=51)	58.8	21.6	21.6	13.7	7.8	3.9	3.9	0.0	17.6	
60歳代 (n=103)	52.4	21.4	18.4	8.7	5.8	3.9	1.9	1.0	34.0	
70歳代 (n=125)	44.8	24.8	17.6	10.4	12.0	8.0	3.2	4.0	30.4	
80歳以上 (n=53)	64.2	30.2	20.8	7.5	11.3	0.0	5.7	0.0	17.0	
【経年比較】										
今回調査 (R5) (n=376)	51.6	23.4	18.1	9.8	9.6	5.3	2.9	2.1	27.9	
前回調査 (H28) (n=535)	41.5	19.4	17.6	9.2	6.9	5.6	3.7	2.8	42.1	

問 29 人権課題を解決するために、あなたが取り組んでいることはありますか。(いくつでも)

全体では、「ボランティア活動に参加するようにしている」が7.1%と最も高く、「さまざまな人権学習に参加するようにしている」が5.1%、「差別を受けている人との交流を深めるようにしている」が4.5%と続いている。

(%)	参加するボランティア活動に	参加するさまざまな人権学習に	交流を差別を受けている人との	参加する人権市民団体の活動に	その他	取り組んでいない	無回答
全体 (n=1, 048)	7.1	5.1	4.5	2.1	4.2	67.2	12.9
【性別】							
男 (n=477)	8.4	7.5	4.4	3.1	4.0	65.6	11.5
女 (n=562)	5.9	3.0	4.4	1.1	4.3	69.2	13.7
【年齢別】							
20歳代以下 (n=124)	5.6	1.6	4.0	0.0	4.0	81.5	3.2
30歳代 (n=128)	1.6	1.6	3.1	1.6	3.1	84.4	6.3
40歳代 (n=128)	5.5	4.7	1.6	0.0	2.3	81.3	6.3
50歳代 (n=132)	2.3	5.3	1.5	2.3	6.1	75.8	9.1
60歳代 (n=189)	8.5	5.8	5.8	2.1	4.2	57.1	19.6
70歳代 (n=228)	10.1	7.5	4.4	3.5	4.8	58.8	15.4
80歳以上 (n=116)	13.8	6.9	11.2	3.4	4.3	41.4	25.9
【経年比較】							
今回調査 (R5) (n=1, 048)	7.1	5.1	4.5	2.1	4.2	67.2	12.9
前回調査 (H28) (n=1, 175)	7.7	4.7	2.9	1.9	3.6	61.6	20.8

8. LGBTQ+についておたずねします。

問 30 LGBTQ+のことを知っていますか。知っている場合、どこで知りましたか。(いくつでも)

全体では、「ニュースで」が63.1%と最も高く、「SNSで」が17.3%、「ドラマで」が15.3%と続いている。

年齢別では、20歳代以下で「SNSで」が53.2%と高くなっている。

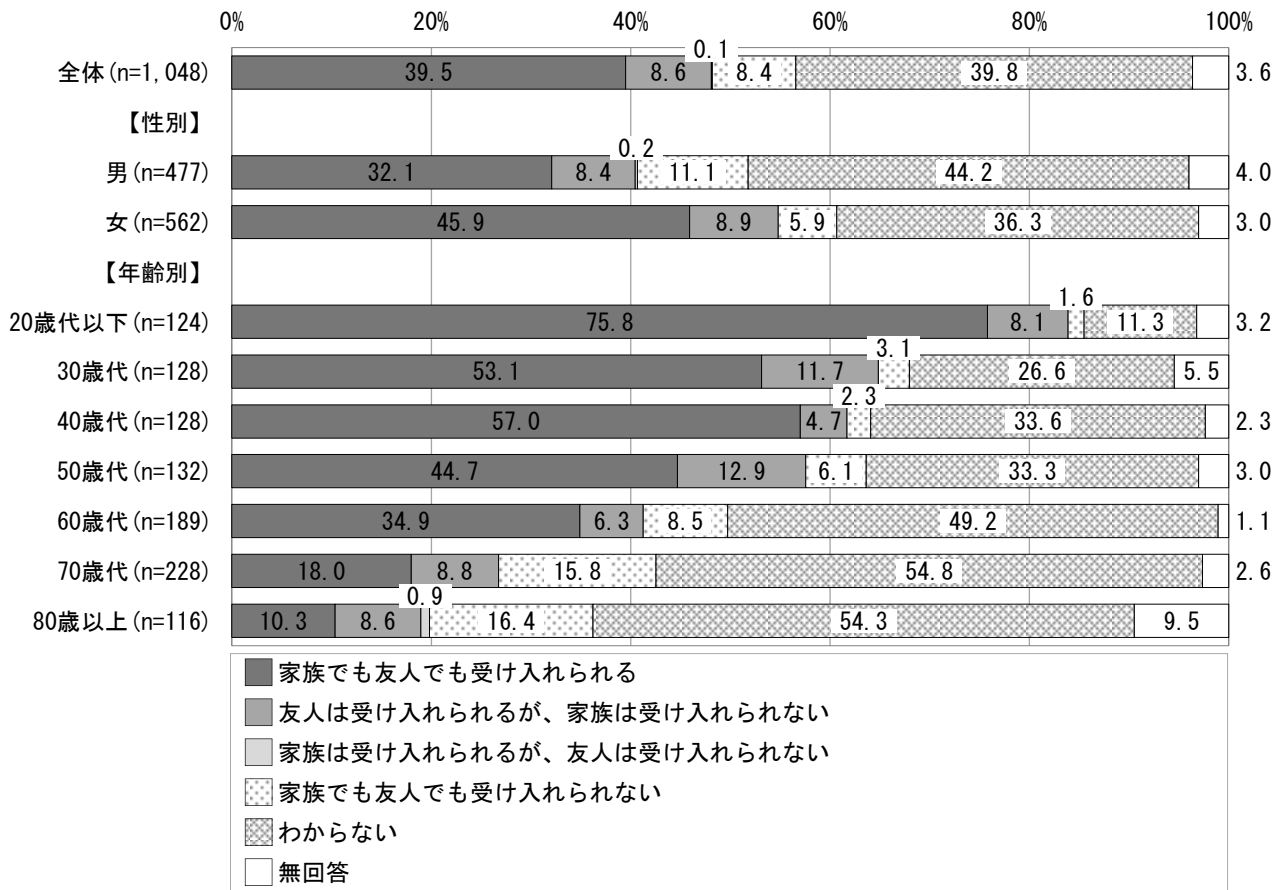
(%)	ニュースで	SNSで	ドラマで	知らない	学校の授業で	マンガで	アニメで	その他	無回答
全体 (n=1,048)	63.1	17.3	15.3	12.8	6.7	4.9	3.7	7.3	8.6
【性別】									
男 (n=477)	63.9	15.3	11.5	14.9	5.2	4.0	3.4	8.6	6.5
女 (n=562)	63.0	18.7	18.3	11.2	8.0	5.5	3.9	6.2	9.8
【年齢別】									
20歳代以下 (n=124)	51.6	53.2	20.2	4.0	38.7	12.9	10.5	4.8	4.0
30歳代 (n=128)	68.0	31.3	19.5	7.8	8.6	11.7	7.0	7.0	5.5
40歳代 (n=128)	71.9	24.2	19.5	7.8	2.3	8.6	7.0	10.9	1.6
50歳代 (n=132)	68.9	15.9	15.9	9.8	3.8	4.5	3.0	6.1	6.1
60歳代 (n=189)	72.0	9.0	13.2	13.2	0.5	0.5	0.5	6.9	5.8
70歳代 (n=228)	60.1	2.2	12.7	20.6	0.4	0.9	1.3	7.9	10.1
80歳以上 (n=116)	45.7	0.9	7.8	20.7	0.9	0.0	0.0	7.8	27.6

問 31 あなたの身近な人から、同性愛者であることを打ち明けられたら、受け入れられますか。

全体では、「わからない」が 39.8%と最も高く、「家族でも友人でも受け入れられる」が 39.5%、「友人は受け入れられるが、家族は受け入れられない」が 8.6%と続いている。

性別では「家族でも友人でも受け入れられる」は、女（45.9%）が男（32.1%）を 13.8 ポイント上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「家族でも友人でも受け入れられる」の割合が低くなる傾向にある。

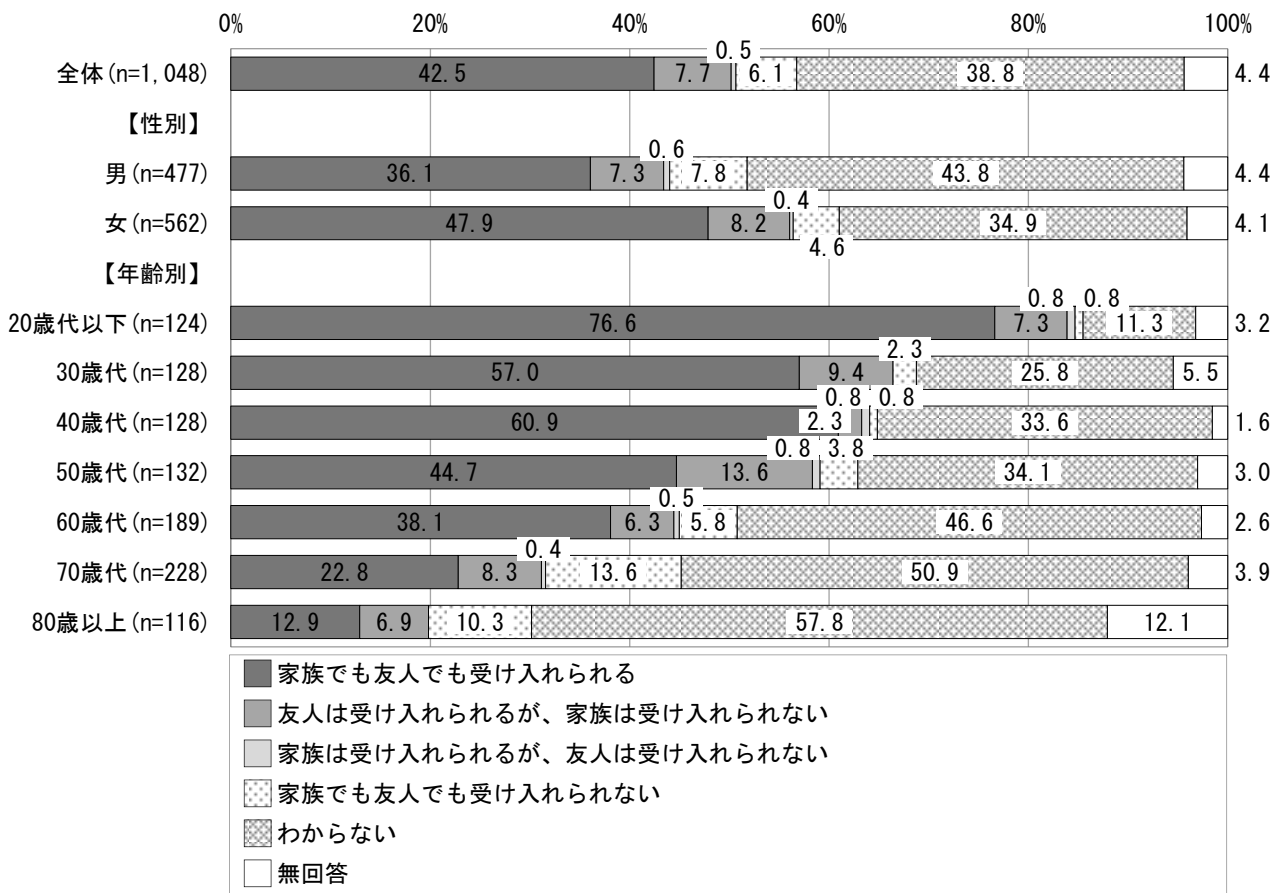


問 32 あなたの身近な人から、トランスジェンダーであることを打ち明けられたら、受け入れられますか。

全体では、「家族でも友人でも受け入れられる」が42.5%と最も高く、「わからない」が38.8%、「友人は受け入れられるが、家族は受け入れられない」が7.7%と続いている。

性別では「家族でも友人でも受け入れられる」は、女（47.9%）が男（36.1%）を11.8ポイント上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「家族でも友人でも受け入れられる」の割合が低くなる傾向にある。



問 33 あなたは LGBTQ+の方が生活しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(いくつでも)

全体では、「学校現場での取組（性の多様性に関する学習、制服やトイレ等の配慮）」が 44.6%と最も高く、「パートナーシップ制度の導入」が 33.8%、「相談窓口の設置」が 33.7%と続いている。

性別では「パートナーシップ制度の導入」は、女（40.6%）が男（26.2%）を 14.4 ポイント上回っている。

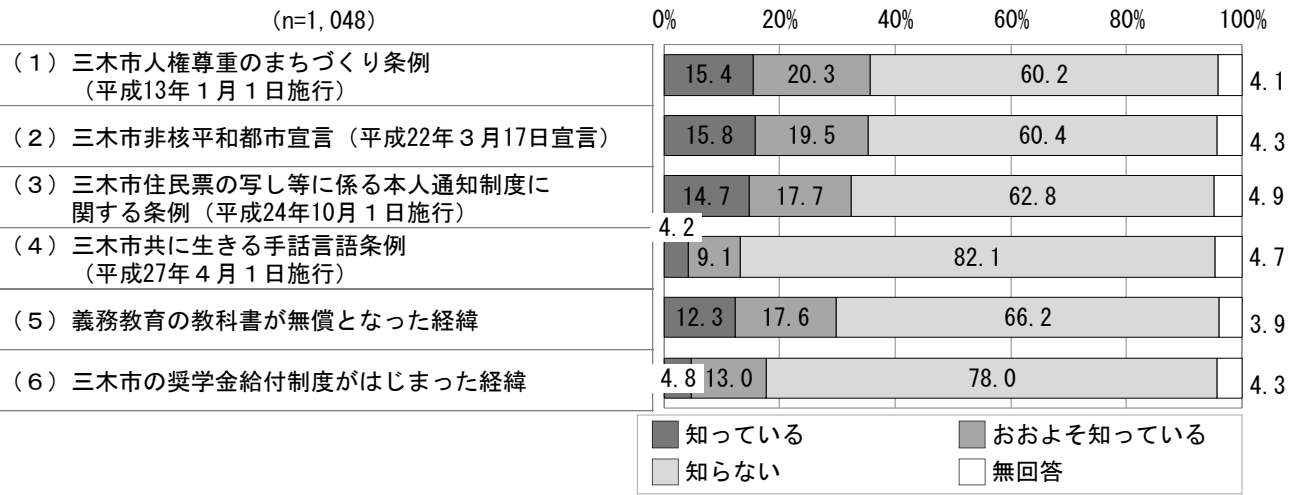
年齢別では、20 歳代以下で「パートナーシップ制度の導入」が 59.7%と高くなっている。

(%)	関する学校現場での取組（性の多様性に関する学習、制服やトイレ等の配慮）	パートナーシップ制度の導入	相談窓口の設置	公的施設や窓口での不便の解消	講演会等による広報・啓発活動、広報紙やホームページ、	行政職員や教員を対象とした研修の実施	その他	特 に な い	無 回 答
全体 (n=1,048)	44.6	33.8	33.7	31.6	23.7	18.3	3.1	13.6	7.0
【性別】									
男 (n=477)	39.4	26.2	33.3	27.9	25.6	17.8	2.5	18.4	6.1
女 (n=562)	49.5	40.6	34.5	35.2	22.1	18.9	3.6	9.6	7.3
【年齢別】									
20歳代以下 (n=124)	58.1	59.7	35.5	37.9	17.7	16.1	3.2	5.6	4.0
30歳代 (n=128)	52.3	40.6	31.3	26.6	16.4	14.8	5.5	14.1	5.5
40歳代 (n=128)	57.0	46.1	35.2	39.8	25.8	26.6	4.7	9.4	3.1
50歳代 (n=132)	42.4	34.1	34.8	24.2	18.9	19.7	2.3	20.5	4.5
60歳代 (n=189)	46.6	32.3	40.2	35.4	27.0	23.3	3.2	10.1	5.3
70歳代 (n=228)	35.5	21.9	30.3	34.6	32.0	14.9	2.2	15.4	7.5
80歳以上 (n=116)	25.0	10.3	28.4	17.2	19.0	12.9	1.7	21.6	19.8

9. 市の条例等についておたずねします

問 34 あなたは、次の条例等について知っていますか。
(1)～(6)について、あてはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

「知っている」が最も高いのは、＜(2) 三木市非核平和都市宣言(平成22年3月17日宣言)＞で、15.8%となっている。

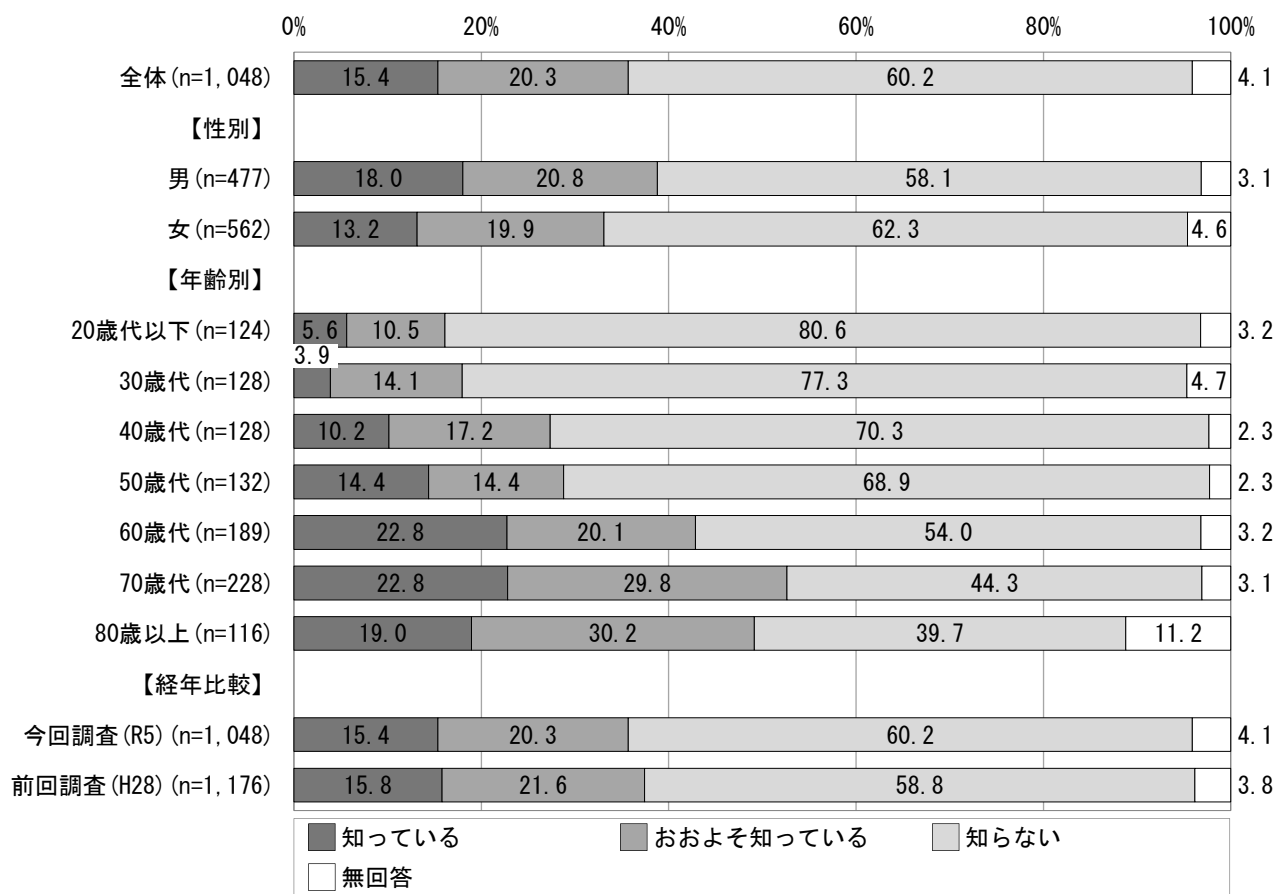


問 34 あなたは、次の条例等について知っていますか。

(1) 三木市人権尊重のまちづくり条例（平成 13 年 1 月 1 日施行）

全体では、「知らない」が 60.2%と最も高く、「おおよそ知っている」が 20.3%、「知っている」が 15.4%と続いている。

年齢別では、60 歳代と 70 歳代で「知っている」が 22.8%と高くなっている。



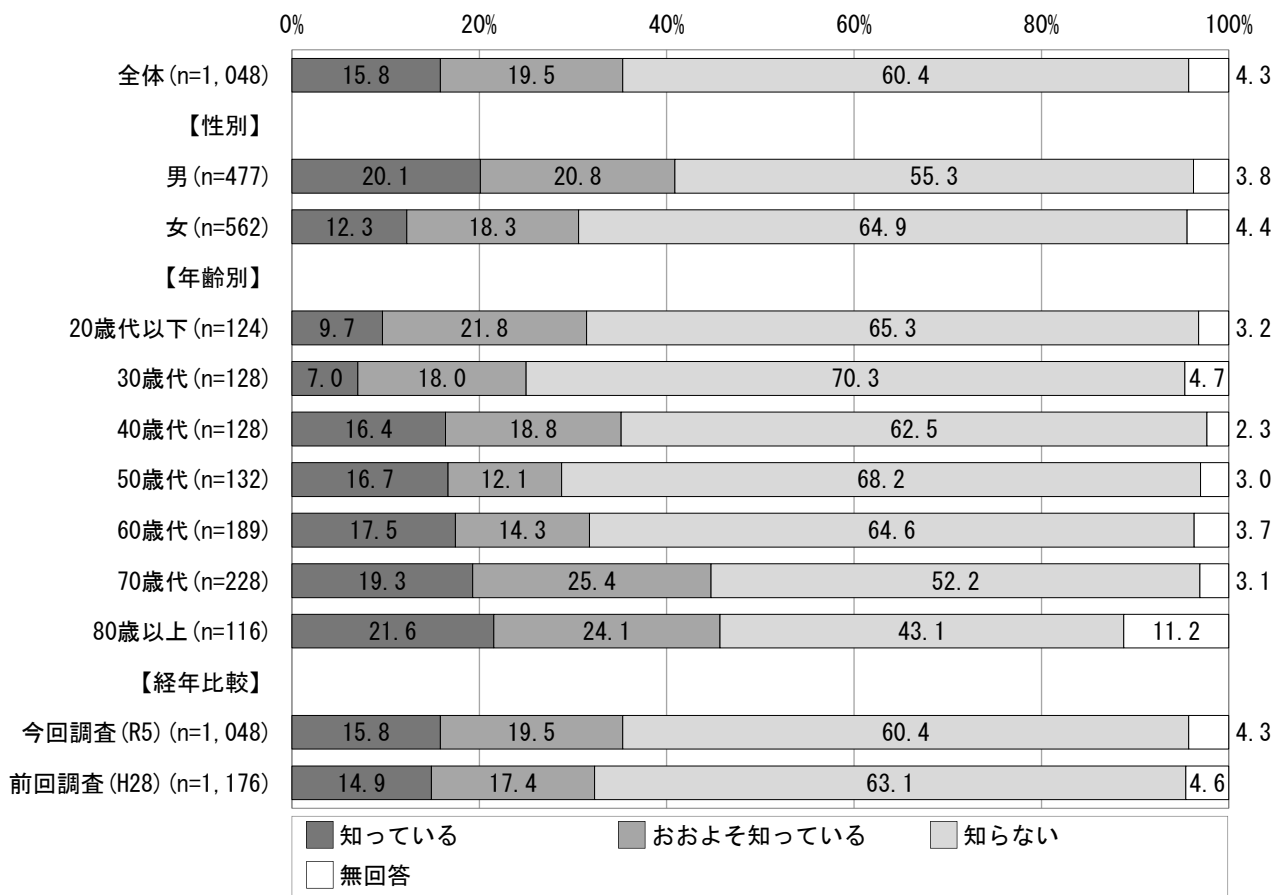
問 34 あなたは、次の条例等について知っていますか。

(2) 三木市非核平和都市宣言（平成 22 年 3 月 17 日宣言）

全体では、「知らない」が 60.4%と最も高く、「おおよそ知っている」が 19.5%、「知っている」が 15.8%と続いている。

性別では「知っている」は、男（20.1%）が女（12.3%）を 7.8 ポイント上回っている。

年齢別では、80 歳以上で「知っている」が 21.6%と高くなっている。



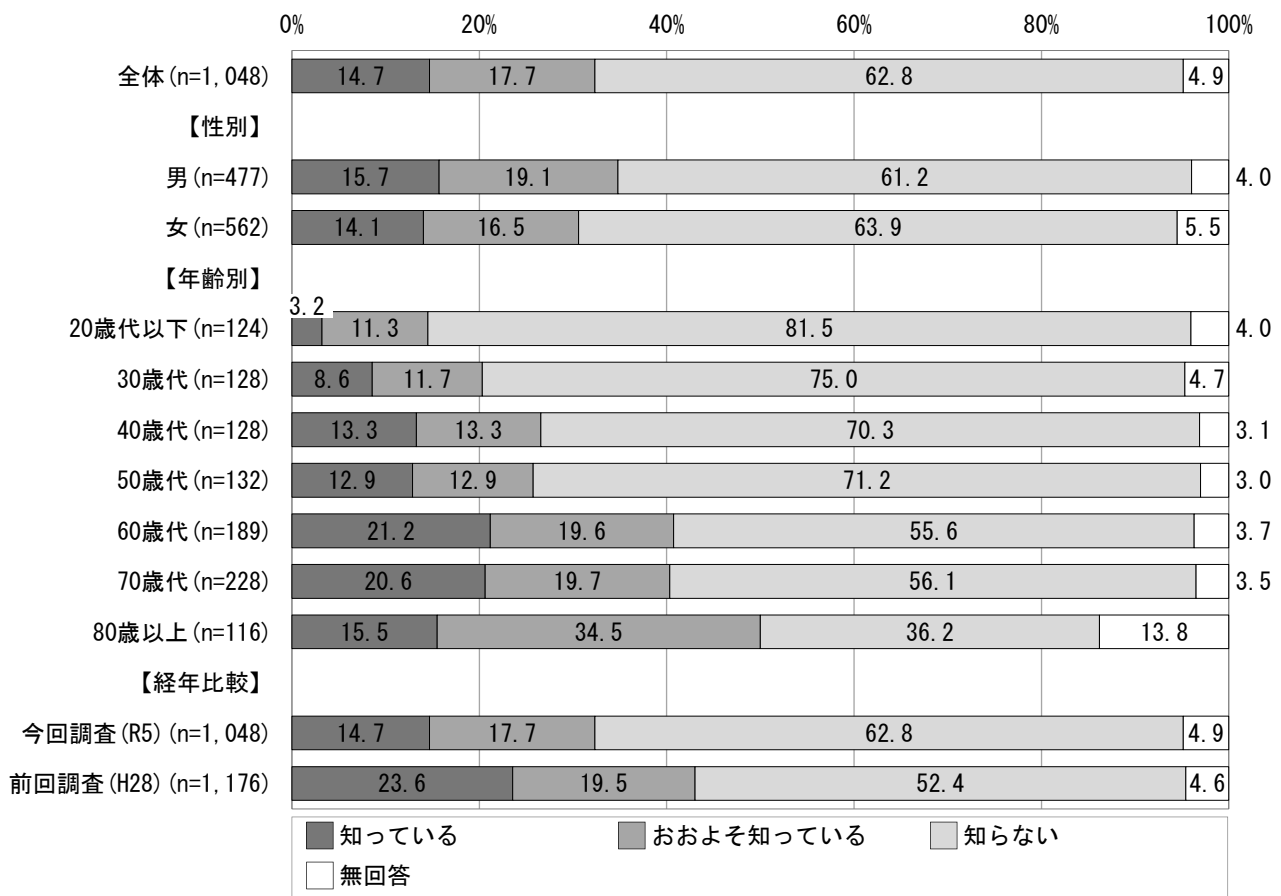
問 34 あなたは、次の条例等について知っていますか。

（３）三木市住民票の写し等に係る本人通知制度に関する条例（平成 24 年 10 月 1 日施行）

全体では、「知らない」が 62.8%と最も高く、「おおよそ知っている」が 17.7%、「知っている」が 14.7%と続いている。

年齢別では、60 歳代で「知っている」が 21.2%と高くなっている。

経年比較では「知っている」は、前回調査(H28)（23.6%）が今回調査(R5)（14.7%）を 8.9 ポイント上回っている。

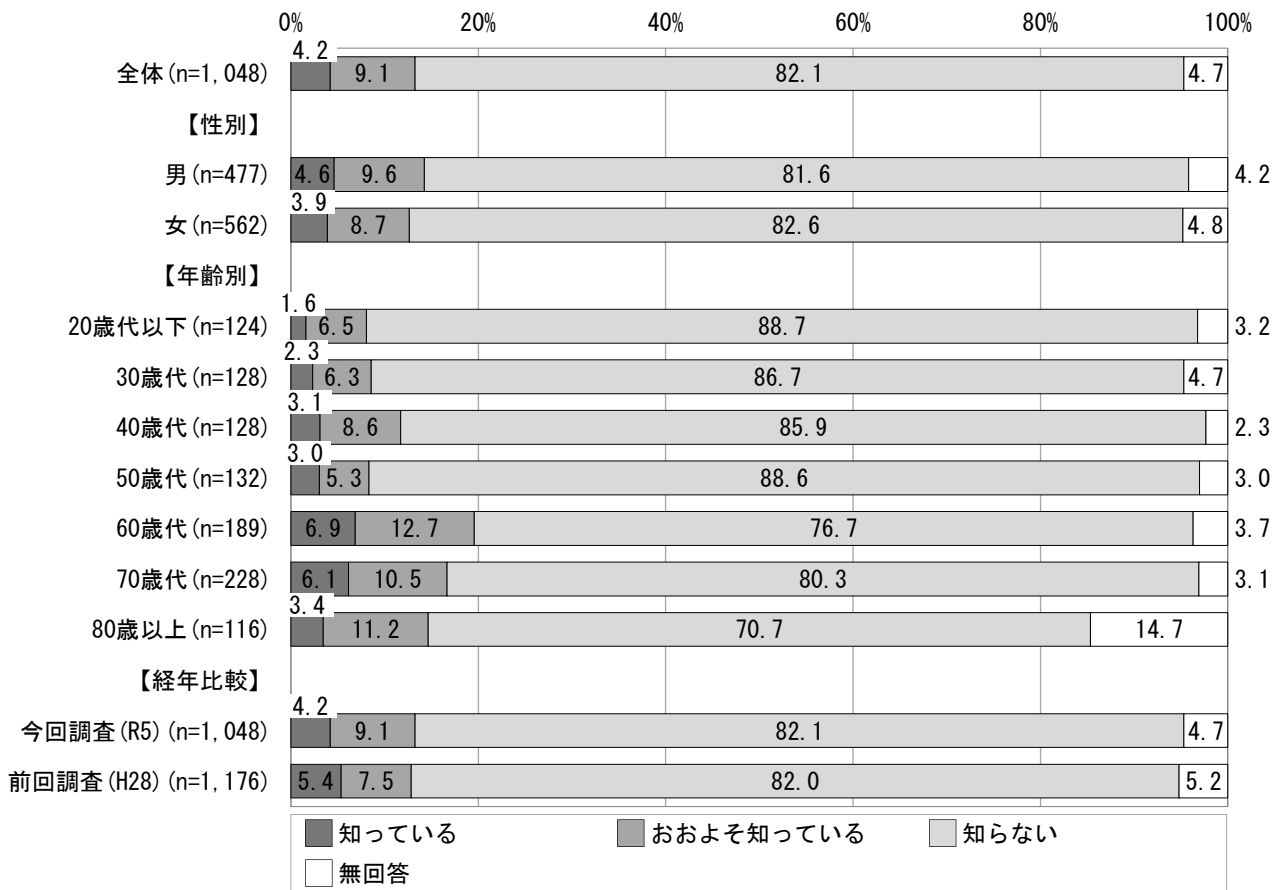


問 34 あなたは、次の条例等について知っていますか。

(4) 三木市共に生きる手話言語条例（平成 27 年 4 月 1 日施行）

全体では、「知らない」が 82.1%と最も高く、「おおよそ知っている」が 9.1%、「知っている」が 4.2%と続いている。

年齢別では、60 歳代で「知っている」が 6.9%と高くなっている。

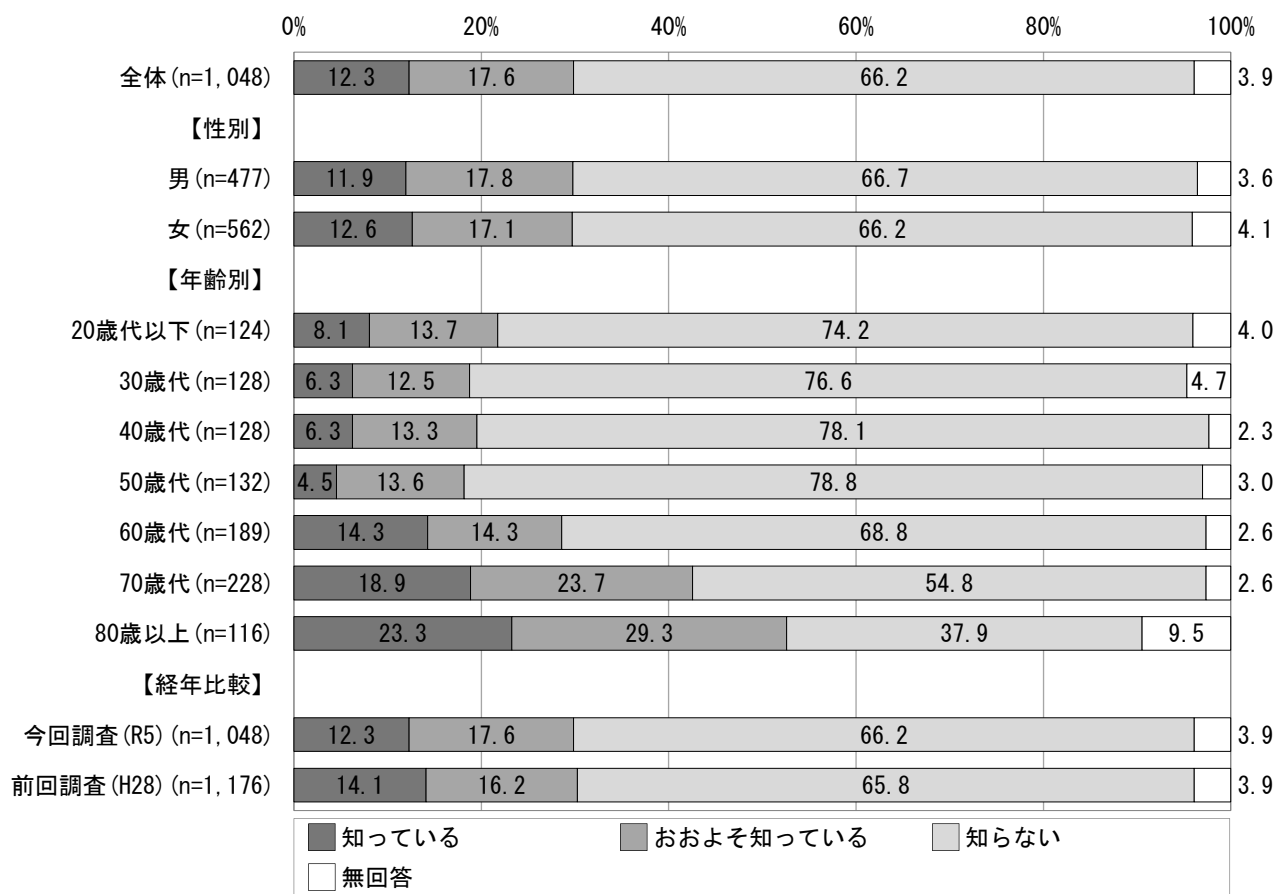


問 34 あなたは、次の条例等について知っていますか。

(5) 義務教育の教科書が無償となった経緯

全体では、「知らない」が 66.2%と最も高く、「おおよそ知っている」が 17.6%、「知っている」が 12.3%と続いている。

年齢別では、80 歳以上で「知っている」が 23.3%と高くなっている。

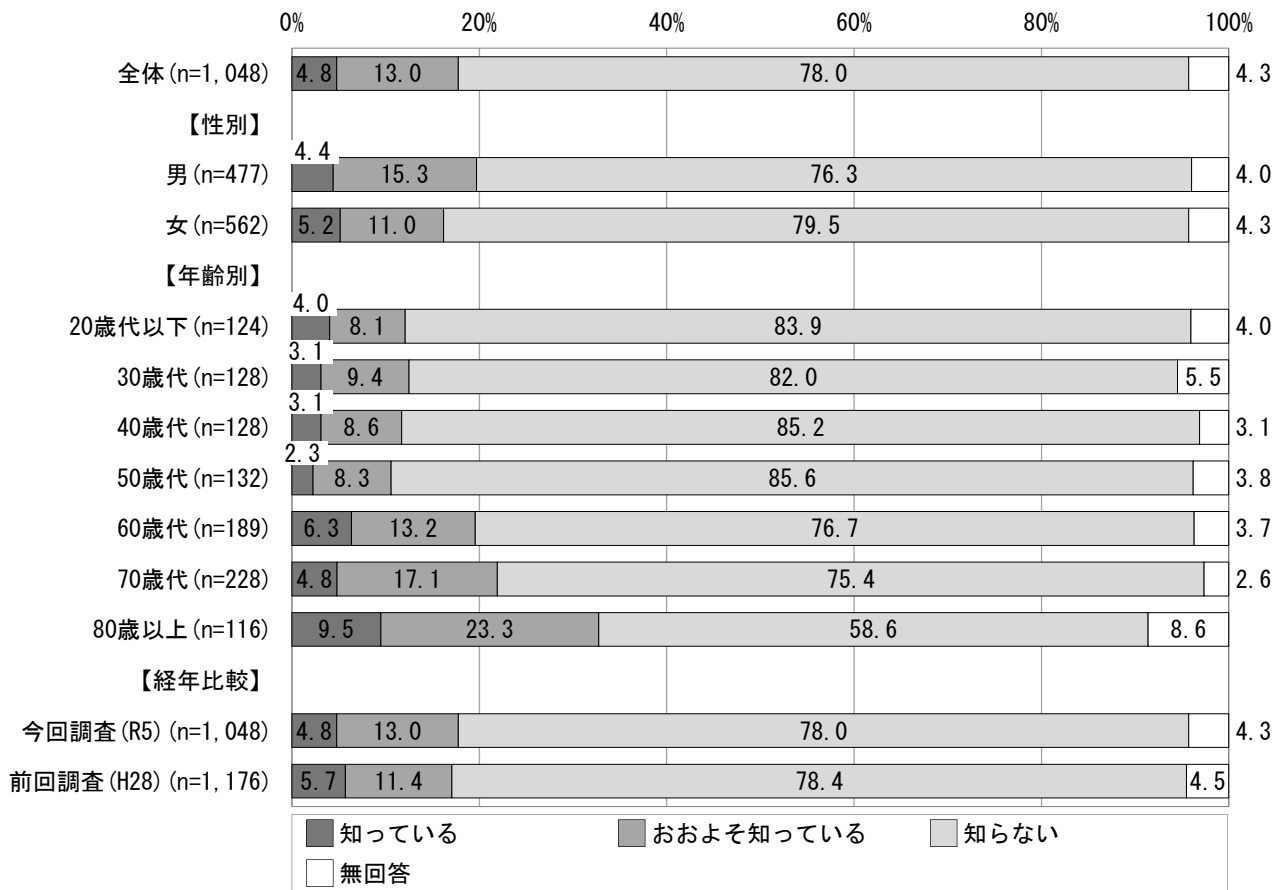


問 34 あなたは、次の条例等について知っていますか。

（６）三木市の奨学金給付制度がはじまった経緯

全体では、「知らない」が 78.0%と最も高く、「おおよそ知っている」が 13.0%、「知っている」が 4.8%と続いている。

年齢別では、80 歳以上で「知っている」が 9.5%と高くなっている。



人権問題について、日ごろ感じておられることなどをご自由にお書きください。

人権問題についての自由回答をみると、「人権や差別全般について」が 41 件と最も高く、「同和問題について」が 27 件、「人権教育・啓発について」が 21 件と続いている。

分類		件数
1	人権や差別全般について	41件
2	同和問題について	27件
3	人権教育・啓発について	21件
4	性的マイノリティの人権について	17件
5	在日外国人の人権について	12件
6	その他の人権課題について	10件
7	子どもの人権について	9件
8	三木市の人権施策について	8件
9	障がい者の人権について	7件
10	女性の人権について	5件
11	インターネットに関する人権侵害について	4件
12	高齢者の人権について	2件
13	今回の調査について	23件
14	その他	24件

第3章 調査結果に関する考察

1. 今回の調査からみてきたもの

今回の人権に関する市民意識調査の結果については、それぞれの設問ごとに調査結果を図表で示し、簡単なコメントを加えているが、ここでは2つの設問を取り上げ、その結果を詳しくみておくことにする。

まず、問10の人権侵害を受けた経験である。問10では、具体的に8つの人権侵害事象を示し、それらの被害を受けたことがあるか、ある場合、それについて相談したか、そして、その被害は解決したのかを問うている（18～42ページ）。

「過去に受けた」と回答した割合は、「(2) 学校などでのいじめ」が21.5%で最も高く、これに「(3) パワーハラスメント」(17.7%)がつづく。そして、「(1) 公的機関や企業・団体からの不当な扱い」と「(6) プライバシーの侵害」が6%台となっており、これら以外の4つの人権侵害事象は、「過去に受けた」という回答がいずれも6%未満である。一方、「今受けている」と回答したのは、「(3) パワーハラスメント」だけが1.6%で、その他の7つの人権侵害事象はいずれも1%未満である。その結果、人権侵害を過去に受けたり、現在受けていると回答したのは、「(2) 学校などでのいじめ」と「(3) パワーハラスメント」が2割前後と、とくに多くなっている。

被害を受けたり、現在受けていると回答した人に、その人権侵害について相談したかを問うと、「相談した」という回答が最も多いのが「(8) インターネットを利用した人権侵害」で31.8%、これ以外の7つの人権侵害については、いずれも20%台となっている。このように、人権侵害を受けたとしても、相談したのは多くて3割程度にとどまっており、人権侵害を受けても相談しない人が多いことがわかる。

他市での人権意識調査でも、これは同じで、自分が受けた人権侵害について「何もしなかった」「我慢した」などの回答が多い。今回の調査では、相談の相手について聞いていないが、他市の調査では家族や友人などの身近な人への相談が大半で、地方法務局や市役所などの公的な機関の相談窓口への相談が非常に少なくなっている。

自分が受けた人権侵害が解決したと回答したのは、「(2) 学校などでのいじめ」(46.0%)と「(4) 家庭内での暴力や虐待」(47.5%)が4割を超えており、「(7) セクシュアル・ハラスメント」が39.7%となっている。そして、残りの5つの人権侵害事象については、「解決した」はいずれも3割未満である。

今回の調査では、どのように解決したのか、その解決の内容については聞いていないので、解決したといっても、加害者が謝罪をして解決したというケースがどれほどあったのかはわからない。一方、「解決していない」の割合は、「(1) 公的機関や企業・団体からの不当な扱い」(57.7%)、「(3) パワーハラスメント」(50.5%)、「(6) プライバシーの侵害」(52.6%)の3つが5割を超え、「(2) 学校などでのいじめ」(34.1%)と「(4) 家庭内での暴力や虐待」(31.1%)が3割台となっている。

いずれにせよ、今回の調査では、さまざまな人権侵害事象の被害者が把握され、その多くは相談することなく、その事象が未だ解決していないというケースも多くみられる。人権侵害に関する相談体制の充実が大きな課題であるといえる。

つぎに取り上げるのは問13であるが、これは、「あなたは、これまでに身近な人から次のような発言を聞いたり、教えられたりしたことがありますか」と、5つの具体的な発言内容を示して問うたものである。ここでは、差別的な発言内容である「(1) 対象地域の人とつきあうのはよくない」「(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない」「(3) 障がいのある人とかかわるのはよくない」の3つについてみることにする（46～54ページ）。

身近な人から聞いたと回答したのは、「(1) 対象地域の人とつきあうのはよくない」は31.0%、「(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない」は10.8%、「(3) 障がいのある人とかかわるのはよくない」6.1%となっている。この3つのうち、「対象地域の人とつきあうのはよくない」と身近な人から聞いたという経験のある人が最も多く、約3割にのぼる。

年齢別にみると、「(1) 対象地域の人とつきあうのはよくない」では 50 歳代 (38.6%)、60 歳代 (38.6%)、70 歳代 (39.9%) で多い。「(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない」では 40 歳代 (16.4%)、50 歳代 (17.4%) が多く、「(3) 障がいのある人とかかわるのはよくない」では 40 歳代 (12.5%) が多くなっている。

今回の調査では、具体的な発言内容を示し、それを聞いたり、教えられたりしたとき、どう感じたのかを問うているが、「聞いたり教えられたりしたことがない方も聞いてどう感じるかお答えください」と、聞いた経験がない人にも、どう感じるのか、回答を求めている。そのため、48 ページ、51 ページ、54 ページの全体、性別、年齢別の図は、聞いたという経験の有無にかかわらず、調査対象者全員に問うた結果を示している。そこで、48 ページ、51 ページ、54 ページの経年比較の今回調査から、3 つの発言を聞いた経験があると回答した人がそれを聞いてどう感じたのかをみると、以下のようなものである。

「(1) 対象地域の人とつきあうのはよくない」については、「反発・疑問を感じた」(27.1%)、「おかしいという気持ちを伝えた」(15.7%) であり、その発言の問題性に気づいたのは合わせて 42.8% であった。これに対して、「そのとおりだと思った」(4.3%)、「そういう見方もあるのかと納得した」(33.8%)、「とくに何も思わなかった」(12.9%) であり、発言の問題性に気づかなかったという回答が 51.0% で、発言の問題性に気づいたという回答割合を 8 ポイントほど上回っている。

「(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない」については、「反発・疑問を感じた」(22.1%) と「おかしいという気持ちを伝えた」(13.3%) を合わせて 35.4% であり、「そのとおりだと思った」(11.5%)、「そういう見方もあるのかと納得した」(35.4%)、「とくに何も思わなかった」(12.4%) の 3 つを合わせると、59.3% となり、発言の問題性に気づかなかったという回答のほうがかなり多くなっている。

「(3) 障がいのある人とかかわるのはよくない」については、「反発・疑問を感じた」(18.8%) と「おかしいという気持ちを伝えた」(21.9%) を合わせて 40.7% であり、「そのとおりだと思った」(7.8%)、「そういう見方もあるのかと納得した」(28.1%)、「とくに何も思わなかった」(7.8%) の 3 つを合わせると、43.7% となり、発言の問題性に気づかなかったという回答のほうが 3 ポイント多くなっている。

いずれにせよ、差別的な内容の発言に出会うことは実際に起こっているものであり、その際に発言の問題性に気づかない人が多いのである。差別的な発言に対して、その場で発言者に対してその問題点を指摘できる人が増えれば、誤解や偏見をもつ発言者にとっては非常に有効な啓発となるといえよう。逆にその問題点に気づかないという人が多い状態が続くならば、差別的な発言が繰り返され、差別的な考え方が再生産されることになってしまう。したがって、こうした発言の問題性に気づく人を増やしていく人権教育・啓発を進めていくことが重要である。

2. 年齢別比較からみえてきたもの

これまで各地で実施されてきた人権意識調査では、年齢が若くなるほど人権意識が高くなるという傾向がみられることが多かった。つまり、中高年層よりも若年層のほうが人権意識が高いという傾向である。今回の調査においても、こうした傾向は認められた。

たとえば、問 14 の「(2) 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず育児に専念するのが望ましい」という意見に対して「そう思わない」と回答した割合は、80 歳以上 18.1%、70 歳代 27.6%、60 歳代 32.3%、50 歳代 35.6%、40 歳代 43.0%、30 歳代 46.1%、20 歳代以下 36.3% と、20 歳代以下で「そう思わない」の割合が少し低くなっているが、30 歳代にかけて年齢が若くなるにしたがって、「そう思わない」の割合は上昇している。つまり、「3 歳児神話」(子どもが 3 歳までは母親が育児に専念すべきであるという考え)を否定する人は、年齢が若くなるほど多くなっているのである (63 ページ)。

こうした傾向は、「(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活するほうがよい」や「(4) 結婚したら妻は夫の姓を名乗るほうがよい」についてもみられ、これらの意見に対して「そう思わない」と回答した割合は、年齢が若くなるほど上昇している (64~65 ページ)。さ

らには、問 31 の「あなたは身近な人から、同性愛者であることを打ち明けられたら、受け入れられますか」、問 32 の「あなたは身近な人から、トランスジェンダーであることを打ち明けられたら、受け入れられますか」という問いに対して、「家族でも友人でも受け入れられる」と回答した割合は、年齢が若くなるほど上昇している（115 ページ、116 ページ）。このように、いわゆる伝統的な家族観や性別役割分担に否定的な回答、そして、性的マイノリティのカミングアウト（性的マイノリティが自らを当事者であると、周囲の人たちに告げたり、社会に公表すること）を受け入れるという回答が若年層ほど多くなっているのである。

以前の人権意識調査では、こうした傾向がさまざまな人権課題についてみられたのであるが、今回の調査では、それとは逆の傾向がみられる設問が少なくなかったのである。

問 9 の「(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがいい」という意見に対して『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計。以下、同じ）と回答したのは、80 歳以上 22.5%、70 歳代 25.9%、60 歳代 29.6%、50 歳代 38.7%、40 歳代 42.9%、30 歳代 45.3%、20 歳代以下 40.3%と、年齢が若くなるほど『そう思う』の割合はおおむね上昇しているのである（17 ページ）。つまり、若年層ほど、刑を終えた人の社会復帰を阻むような意見を肯定しているのである。

問 16 の「(2) 高齢者がじゃまもの扱いされたり、意見や行動が尊重されなかったりすることはよくない」という意見に対して「そう思う」と回答した割合（75 ページ）、問 17 の「(1) 障がいのある子どもも、他の子どもと一緒に授業を受けるべきである」という意見に対して「そう思う」と回答した割合（80 ページ）、「(5) 障がいを理由に賃貸住宅の入居を断ることはおかしい」という意見に対して「そう思う」と回答した割合（84 ページ）、問 20 の「(2) 差別された人のくやしさは、とても他人事とは思えない」という意見に対して「そう思う」と回答した割合（89 ページ）は、それぞれ年齢が若くなるにしたがって、おおむね低下していく傾向が認められる。

刑を終えて出所した人の社会復帰を危険視し、高齢者や障がいのある人たちの権利の侵害を軽視したり、被差別者に対する共感が低い若年層が多くみられるのである。

また、問 9 の「(2) 大勢の人の考えに合わせたほうが無難だ」という意見に対して『そう思う』と回答した割合は、70 歳代から年齢が若くなるにしたがって、おおむね上昇し、20 歳代以下では、その割合が 5 割を超えている（12 ページ）。「大勢の人の考えに合わせたほうが無難だ」という考え方は、社会において力をもつ側に付き、結果的に差別に加担することにつながってしまうのではないだろうか。

以上みてきたように、年齢が若くなるほど人権意識が高くなるという傾向がみられない結果がいくつかの設問、項目で認められた。若年層の人たちは、そのほとんどが学校で人権教育を受けてきている。若年層にみられたこうした傾向は、人権教育の課題の大きさを示唆しているといえる。

ところで、問 20 の「(1) 対象地域の人々は、差別をなくすために一生懸命に取り組んできた」と「(4) 今でも、行政から対象地域は特別な扱いを受け、優遇されている」の 2 項目については、20 歳代以下で「わからない」の回答割合が 5～6 割と、際立って高くなっている（88 ページ、91 ページ）。これは同和問題に関する知識や情報が特に若年層で不足している結果であると考えられる。今後の人権教育における同和問題学習の課題といえる。

3. 前回調査との比較からみえてきたもの

2016 年に実施された前回調査との比較をとおして、この 7 年間の変化についてみることにする。

今回調査と前回調査を比較して、ほとんど差がみられなかった設問・項目も多かったが、比較的大きな差がみられたものを上げると、以下のようである。

問 9 の「(4) 人権問題は差別を受けている人にも問題がある」という意見については、『そう思う』の割合は、前回調査の 27.9%から今回調査では 21.0%と、6.9 ポイント低下している（14 ページ）。

問 14 の「(2) 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず、育児に専念するのが望ましい」という意見については、「そう思う」の割合が 15.7%から 8.9%へ、『そう思う』の割合も 54.5%から 38.0%へと、肯定回答が減少している。「(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活する方がよい」という意見については、『そう思う』の割合が 37.0%から 24.7%へ低下し、「(4) 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい」という意見では、「そう思う」の割合が 25.3%から 15.2%へ低下している（63～65 ページ）。

問 15 の「(1) 保護者がしつけのために、子どもに体罰を加えてもかまわない」という意見については、「そう思わない」の割合が 40.3%から 55.2%に増加し、「(2) 教師が指導のために、児童・生徒に体罰を加えることはやむを得ない」という意見についても「そう思わない」の割合が 35.8%から 56.4%に増加している（68 ページ、69 ページ）。

問 16 の「(4) 高齢者の介護は、家族だけがする必要はない」という意見については、「そう思う」の割合が 54.1%から 66.4%に増加している（77 ページ）。

このように、前回調査との比較では、いわゆる伝統的な家族観や性別役割分担、「3 歳児神話」などに対して批判的な回答が増加している。そして、子どもの虐待や教師による体罰に対する社会的関心の高まりを背景として、保護者や教師の体罰を否定する回答も増加しているのである。

4. 設問間のクロス集計からみえてきたもの

表 1 住民学習の参加状況別『そう思う』の割合（1）（%）

	総数 (人)	問 9				問 14		
		(1)	(2)	(4)	(7)	(2)	(3)	(4)
		が個人先 の権利 より、 地域 みんな の利益	大勢の 人の考 えにあ わせた ほうが	人権問 題は、 差別を 受けて いる人 に	犯罪が なく安 心に暮 らすた め、刑 を	母親が 望まし い	考え、 女性、 結婚し たら、 自分自 身のこ と	よ結婚 したら 妻は夫 の姓を 名乗る 方が
参加したことがない	615	40.3	38.2	18.8	36.6	36.3	23.1	43.6
ときどき参加している	261	35.3	31.4	23.0	32.9	39.4	26.4	52.8
できる限り毎回参加している	115	37.3	37.4	24.3	25.2	42.6	26.1	53.9

表 1 は、住民学習会への参加状況別に問 9 と問 14 のいくつかの項目について『そう思う』と回答した割合を示したものである。

これによると、問 9 の「(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがいい」とについては、『そう思う』の割合が「できる限り毎回参加している」のほうが「参加したことがない」を 11 ポイントほど下回っているものの、問 9 の「(4) 人権問題は差別を受けている人にも問題がある」、問 14 の「(2) 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず、育児に専念するのが

望ましい」、「(4) 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい」では、『そう思う』の割合が「できる限り毎回参加している」のほうが「参加したことがない」よりも5～10ポイントも高くなっている。

刑を終えた人の社会復帰を阻むような意見に対しては批判的であるが、差別の原因を差別される側にも求める意見や、「3歳児神話」、いわゆる伝統的な家族観などを肯定する回答が住民学習会に「できる限り毎回参加している」人のほうに多くみられるのである。

表2 住民学習会の参加状況別『そう思う』の割合(2) (%)

	総数 (人)	問15		問17	問20	問21	
		(1)	(2)	(4)	(4)	(2)	(5)
		保護者が加えてもかまわない、子どもに	教師が指導のために、児童・生徒に	とも障がいのある人が、周囲が反対する子ども	扱今でも、受け、行政から対象地域は特別な	は本雇用条件や年金、同じ医療保険等を、こと日	の外国人であることは理由に賃貸住宅
参加したことがない	615	17.7	17.1	82.1	24.4	38.0	81.4
ときどき参加している	261	14.2	17.6	84.2	38.7	41.0	83.5
できる限り毎回参加している	115	14.8	20.9	85.3	40.0	37.4	85.3

表2は、住民学習会への参加状況別に問15、問17、問20、問21のいくつかの項目について『そう思う』と回答した割合を示したものである。

これによると、問20の「(4) 今でも、行政から対象地域は特別な扱いを受け、優遇されている」について、『そう思う』の割合が「できる限り毎回参加している」で40.0%と、「参加したことがない」よりも15ポイントほど高くなっている。2002年に国の同和対策事業に係る法律が終了したのであるが、それを十分に理解していない人が「できる限り毎回参加している」のほうに多いのである。問15では「(1) 保護者がしつけのために、子どもに体罰を加えてもかまわない」という意見を肯定する回答が「参加したことがない」で少し高く、「(2) 教師が指導のために、児童・生徒に体罰を加えることはやむを得ない」という意見を肯定する回答が「できる限り毎回参加している」で少し高くなっているが、問17の「(4) 障がいのある人が、結婚したり子どもを育てることに周囲が反対することはおかしい」と問21の「(2) 雇用条件や年金、医療保険等を、日本人と外国人で同じ条件にすることはおかしい」「(5) 外国人であることを理由に賃貸住宅の入居を断ることはおかしい」については、「できる限り毎回参加している」と「参加したことがない」とのあいだに大きな差はみられない。

なお、表1と表2では、問9、問14、問15、問17、問20、問21のうち、人権意識のありようを判断できると考えられる項目を示した。表にあげた以外にも、それに適した項目があったが、住民学習会の参加状況による差は大きくはなかった。

表 3 住民学習の参加状況別「家族でも友人でも受け入れられる」の割合 (%)

	総数 (人)	問31	問32
		入ああ れるること れまを打ち ますか明 けられ、同 性愛者で ないか	れジあ たらエ 、ンた 受ー身 け入で れある れこと まを打 すかち 明 け ら
参加したことがない	615	47.2	50.6
ときどき参加している	261	35.2	37.5
できる限り毎回参加している	115	21.7	27.0

表 3 は、住民学習会の参加状況別に問 31 と問 32 で「家族でも友人でも受け入れられる」と回答した割合を示したものである。

これによると、問 31、問 32 とも、性的マイノリティであると打ち明けられた場合、受け入れられると回答したのは、「参加したことがない」ほうに多く、「できる限り毎回参加している」ほうに少ない。両者のあいだの差は、問 31 で 25.5 ポイント、問 32 で 23.6 ポイントにもなっている。

問 31 と問 32 の回答結果を年齢別にみると（115 ページ、116 ページ）、性的マイノリティのカミングアウトを受け入れるのは、年齢が若い人ほど多かった。そして、問 26 で住民学習会に「できる限り毎回参加している」と回答した 115 人のうち、60 歳以上が 79.1%を占める。一方、住民学習会に「参加したことがない」と回答した 615 人のうち、50 歳未満は 52.0%を占める。すなわち、表 3 にみられる大きな差は、性的マイノリティに対する理解の年齢別格差がそのままあらわれているのであり、こうした理解の年齢別格差を住民学習会が解消できていないことを示しているといえる。

このように、住民学習会に「できる限り毎回参加している」という人の人権意識が「参加したことがない」という人のそれに比べて高いとはいえない点がいくつかみられるのである。

表4 問9の回答別『そう思う』の割合

(%)

			総数 (人)	問14			問15	
				(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
				の母少 が親なく 望はくとも まし仕事 い子ども 持たずが 育小 児さ にいう 専念す は、	考よ女 えり性 て、は 生夫結 活や婚 す子し るとた 方もら がな、 よど自 い家分 族自 を身 中 のこ にと	よ結 い婚 した ら妻 は夫 の姓 を名 乗る 方が	体保 罰護 を加 えし ても けの ため に、 子 ども に	体教 罰師 を加 え導 るの ため には、 や む児 童・ 生 徒に
問9 (1)	個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである	そう思う	94	53.2	41.4	58.5	19.1	15.9
		どちらかといえばそう思う	314	43.6	33.1	58.3	21.0	20.4
		どちらかといえばそう思わない	271	33.6	18.5	41.7	12.9	15.3
		そう思わない	239	30.9	16.7	37.6	15.0	15.5
問9 (4)	人権問題は、差別を受けている人にも問題がある	そう思う	65	47.7	41.6	55.4	38.5	38.3
		どちらかといえばそう思う	155	52.9	34.2	63.2	32.9	29.7
		どちらかといえばそう思わない	229	37.5	21.4	50.2	10.9	15.7
		そう思わない	429	31.9	19.8	37.3	8.4	10.5
問9 (7)	犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがよい	そう思う	116	49.2	32.7	44.0	21.6	26.7
		どちらかといえばそう思う	239	45.2	28.0	48.5	18.8	20.1
		どちらかといえばそう思わない	260	34.2	23.1	49.2	17.7	15.0
		そう思わない	241	33.6	19.1	46.9	12.4	17.0

表4は、問9で「(1) 個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである」「(4) 人権問題は差別を受けている人にも問題がある」「(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがよい」という意見に対する回答別に問14、問15のいくつかの項目において『そう思う』と回答した割合を示したものである。

これによると、「(1) 個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである」「(4) 人権問題は差別を受けている人にも問題がある」「(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがよい」という意見に対して否定的な回答をした人ほど、問14の「(2) 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず、育児に専念するのが望ましい」「(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活する方がよい」「(4) 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい」という意見に否定回答をする人が多いことがわかる。個人の権利を尊重し、差別を被差別者の責任にはせず、刑を終えた人の社会復帰を肯定する人ほど、「3歳児神話」や性別役割分担、いわゆる伝統的家族観を否定する傾向が明瞭にみられるのである。また、「(4) 人権問題は差別を受けている人にも問題がある」「(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほう

がいい」という意見に対して否定的な回答をした人についても、保護者や教師の体罰を容認しないという傾向がみられる。

表5 問9の回答別『そう思う』と「家族でも友人でも受け入れられる」の割合 (%)

			総数 (人)	問17	問20	問21	問31	問32
				(4)	(4)	(2)		
				とも障 はをが はお育 かしお しいい	扱今 いでも をを受 け、行 政、優 遇から 対象地 域は特 別な	は本雇 お人と かし外 国人や 人で金 、同 じ医 療保 険等 を、 こと日	入ある れあなた のこと の身 近な 人か ら、 同 性、 愛 者 け で	れジあ たエな たの ーの 身 近 な 人 か ら、 ト ラ ン ス ら
問9 (1)	個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである	そう思う	94	80.8	40.5	40.4	26.6	27.7
		どちらかといえばそう思う	314	82.2	34.1	43.0	33.8	36.9
		どちらかといえばそう思わない	271	83.1	29.1	40.2	44.3	48.0
		そう思わない	239	83.3	24.7	36.4	50.2	53.6
問9 (4)	人権問題は、差別を受けている人にも問題がある	そう思う	65	67.7	56.9	52.3	29.2	29.2
		どちらかといえばそう思う	155	76.8	48.4	53.6	30.3	34.2
		どちらかといえばそう思わない	229	86.9	26.6	37.1	38.9	40.6
		そう思わない	429	86.3	21.7	33.1	47.3	51.7
問9 (7)	犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがよい	そう思う	116	69.8	42.2	45.7	40.5	42.2
		どちらかといえばそう思う	239	83.2	32.7	48.6	43.5	44.8
		どちらかといえばそう思わない	260	83.1	28.5	35.0	39.2	44.6
		そう思わない	241	88.8	28.2	31.5	39.0	43.2

※問17、20、21は『そう思う』の割合、問31、32は「家族でも友人でも受け入れられる」の割合

表5は、表4と同じく問9で「(1) 個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである」「(4) 人権問題は差別を受けている人にも問題がある」「(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがよい」という意見に対する回答別に問17、問20、問21のいくつかの項目において『そう思う』と回答した割合と、問31と問32で「家族でも友人でも受け入れられる」と回答した割合を示したものである。

これによると、差別の原因を被差別者にも求める意見と刑を終えた人の社会復帰を阻むような意見を否定する人ほど、障がいのある人の結婚や育児を肯定し、同和対策事業の終了を理解しており、在日外国人の就労や生活の権利を尊重するという傾向がみられる。そして、個人の権利よりも地域の利益を優先

させる意見や、差別の原因を被差別者にも求める意見を否定する人ほど、性的マイノリティのカミングアウトを受け入れる傾向にあるといえる。

このように、個人の権利を尊重し、差別の原因を被差別者に求めず、刑を終えた人の社会復帰を阻む自己責任論に否定的な人ほど、さまざまな人権課題についても理解しているという傾向がみられたのである。つまり、権利や差別をどのように理解し、自己責任論に対してどのような態度をとるかということは、さまざまな人権課題への理解と連動しているのである。したがって、権利や差別についての理解を深め、自己責任論の問題点を明らかにしていく教育・啓発が、さまざまな人権課題に対する理解を高めることにつながるといえる。

5. 自由記述からみえてきたもの

今回の調査では、調査票の最終ページに「人権問題について、日ごろ感じられておられることなどをご自由にお書きください」という「自由記入欄」を設けた。記述があった調査票は144票で、全体の13.7%を占める。記入者の内訳は、男性57人、女性86人、性別無記入1人で、年齢は、20歳代以下14人、30歳代22人、40歳代21人、50歳代28人、60歳代19人、70歳代31人、80歳以上9人であり、有効回答数の性別・年齢別構成からみて、女性と50歳代が多くなっている。

記入内容は多岐にわたっているが、大きく分類すると、125ページに示した表のようである。件数の合計は210件と、記入者数144人を大きく上回るが、これは自由記入欄にさまざまな人権課題や行政の人権施策など、複数の事項に関して記述された調査票があったためである。

人権課題別でみると、同和問題が27件と、最も多く、ついで性的マイノリティに関する記述（17件）がつづく。同和問題については、あとで詳述するが、性的マイノリティに関する記述が多かったのは、昨年のLGBT理解増進法制定の際に議論になった「女性専用スペースの安全性への懸念」に関する記述がいくつかあがったためである。このような懸念は、性的マイノリティに対する忌避意識につながるおそれがあり、こうした懸念の払しょくは、これからの人権教育・啓発の大きな課題といえる。

同和問題に関する記述が多かったのは、同和問題は自然となくなっていくので、教育や啓発はしないほうがよいとする、いわゆる「寝た子を起こすな」という内容の記述が11件あがったことによる。具体的には、「なぜ同和教育をするのでしょうか。余計、差別や同和地区が知られてしまうと思う」（50歳代女性）、「部落差別の学習とかは教えない方が自然と消滅すると思うので、あまりいつまでも言わない方がよいと思う」（70歳代女性）などの記述がみられた。

同和問題学習についての感想を問うた問19では、「学習するから同和問題がなくならないと思った」という回答が22.0%あった（86ページ、複数回答）。そして、5.5%の回答があった「その他」の記入欄には、「今の若い世代にはそういう意識（差別）がないので、学習する必要はない」（50歳代男性）、「同和問題を知らない者に、わざわざ教える必要があるのか」（80歳以上女性）など、「寝た子を起こすな」という趣旨の記述が6件みられた。

このように、「寝た子を起こすな」という考え方は、市民のなかで多数派を占めているわけではないものの、根強く存在しつづけているといえる。現在の社会で対象地域に対する偏見や誤解が一切ないのであれば、同和問題について教える積極的な意義はないかもしれないが、現実に対象地域に対する偏見や誤解は存在するのである。このことは、「寝た子を起こすな」と主張する人たちも認めるところであろう。

同和問題に関する教育をまったく受けず、同和問題に関して何の知識や情報ももたないままであれば、いまの社会に根強く存在する対象地域に対する偏見や誤解に接した際、その偏見や誤解を批判することなく、それらを鵜呑みにしてしまうかもしれない。現に問13でみたように、身近な人から「対象地域の人とつきあうのはよくない」と聞いたり、教えられたりしたことがあるという回答は31.0%あった。そして、それを聞いたと回答した人に、聞いたときどう感じたのかを問うと、「その通りだと思った」4.3%、

「そういう見方もあるのかと納得した」33.8%、「反発・疑問を感じた」27.1%、「おかしいという気持ちを伝えた」15.7%、「特に何も思わなかった」12.9%で、反発・疑問を感じたり、おかしいと相手に指摘した人（42.8%）と、そのとおりだと思ったり、納得したり、何も思わなかったという人（51.0%）がほぼ同じ割合となっているのである（45～48 ページ）。

同和問題に関する正しい知識や情報をもたなければ、対象地域や対象地域出身者に対する偏見や誤解を受け入れ、それらをさらに広げてしまうおそれがあるといえる。それゆえ、偏見や誤解を正しく批判できる力をつけ、差別的な発言に出会った際に反発・疑問を感じ、それを相手に伝えることができる人を増やしていくためにも、同和問題について教育し、啓発する必要がある。そして同時に、「寝た子を起こすな」という考えをもつ人たちがその考えの間違いに気づくことができるような啓発をしていかなければならないのである。

問 20 でみたように、「今でも行政から対象地域は特別な扱いを受け、優遇されている」という意見を肯定する回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）は 29.5%であった。2002 年に同和対策事業が終了したにもかかわらず、対象地域が優遇されているという見方は、なくなっていない。今回の自由記述でも、こうした内容の記述がみられたが、今回の調査結果の特徴として、一部の人たちが優遇されているという見方が同和問題に限らず、他の人権課題についてもみられたということである。

たとえば、「障がい者、弱者、LGBTQ のことばかり優遇されたり特別な対応を受けられるのはどうなのか？ 普通に生きている人、普通に見える人にだって悩みや苦しみはたくさんある」（30 歳代女性）、「社会や会社は弱いものばかりを守り、弱者の言い分ばかりを鵜呑みにし、強者の言い分に耳を傾けようとすらしめない」（30 歳代女性）、「部落、外国人（納税者は除く）に不必要な生活保護等全くいらない」（50 歳代男性）、「差別される側の人のほうが何がしかの優遇措置を受けている事自体、国が差別をしている。外国人の労働者にしても日本の人は認めることは出来ないでしょう」（70 歳代男性）などの記述がみられた。

こうした内容の記述は、数としては多くはないとはいえ、三木市が取り組む人権施策の意義を否定するものである。いまの社会に多様なかたちで存在する人権課題について、その問題解決のためにどうして行政が取り組まなければならないのか、その意義を広く市民に伝えていく啓発が重要であるといえる。

第 4 章 参考資料

調査票

「三木市人権に関する市民意識調査」調査票

◆最初にあなた自身のことについておたずねします

★あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

① あなたの性別を教えてください。

1 男 2 女 3 その他

② あなたのお住まいの地域を教えてください。

1 三木 2 三木南 3 別所 4 志染
5 細川 6 口吉川 7 緑が丘 8 自由が丘
9 青山 10 吉川

③ あなたの年齢を教えてください。(令和5[2023]年11月1日現在)

1 19歳以下 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳以上

④ あなたの家族構成について教えてください。

1 単身(一人暮らし) 2 夫婦のみ 3 二世世代家族(親子家庭)
4 三世世代家族(親子孫家庭) 5 その他()

⑤ どのような形態で働いていますか？

1 正社員
2 非正規社員(パート・アルバイト・派遣・日雇い等)
3 会社経営・団体役員 4 自営業
5 自営業の手伝い 6 無職 →問⑦へ
7 学生(受験勉強中の人を含む) →問⑦へ 8 その他()

⑥ どのような仕事をしていますか？

1 農林水産・鉱業 2 建設業 3 製造業 4 卸・小売業・飲食業
5 金融・保険業 6 不動産業 7 運輸・通信業 8 サービス業
9 専門技術職(医師、弁護士、会計士等) 10 公務員 11 教育職員
12 福祉・医療関係職員 13 その他()

⑦ あなたは三木市に住んで何年になりますか？

1 1年未満 2 1年～10年
3 11年～20年 4 21年～30年
5 31年～40年 6 41年～50年
7 51年以上

◆人権などに対する考え方についておたずねします

⑧ あなたは「人権が尊重される」ということは、どのようなことだと思いますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと
- 2 みんなと仲良くできること
- 3 個人の持つ可能性を発揮する機会を与えられること
- 4 いろいろな生き方が認められること
- 5 権利が保障され、自由に生活できること
- 6 差別に対する救済の手だてがあること
- 7 その他（具体的に：

)

⑨ 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？

(1)～(7)のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

⑨ 次のような意見について、あなたはどのように思いますか？	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
(1) 個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである	1	2	3	4	5
(2) 大勢の人の考えにあわせたほうが無難だ	1	2	3	4	5
(3) 単に合理的だという理由で、地域の伝統や慣習を変えることはよくない	1	2	3	4	5
(4) 人権問題は、差別を受けている人にも問題がある	1	2	3	4	5
(5) 携帯電話やパソコンなどを使って、裸の写真を掲載することや、相手が嫌がる性的な書き込みをすることは問題である	1	2	3	4	5
(6) HIV（エイズ）感染者、特定疾患※注の人に対して悪いわさや誤解、偏見がある	1	2	3	4	5
(7) 犯罪がなく安心して暮らすため、刑を終えた人の社会復帰を安易にさせないほうがよい	1	2	3	4	5

※注 難病のうち、治療方法の確立されていないもの、後遺症のために社会復帰が困難になるものなど厚生労働省が特に定めたもの。

◆人権侵害についておたずねします

10 次のような人権侵害を受けたことがありますか。または、今受けていますか。

(1)～(8)のそれぞれにあてはまるものに○をつけてください。

「過去に受けた」「今受けている」に○をつけられた方は右の問いにお答えください。

[illegible]

11 あなたは今までに他の人の人権を侵害したことがありますか。
いずれか1つに○をつけてください。

- 1 ないと思う
- 2 あると思う
- 3 自分では気づかなかったが、あるかもしれない
- 4 わからない

12 あなたは、目の前で、知人が他の人を差別するような言動をとった時、どうしますか。いずれか1つに○をつけてください。

- 1 差別はいけないとはっきり注意する
- 2 気分を害しないようにさりげなく、差別はいけないことを伝える
- 3 人間関係が気まづくなると困るので、何も言わない
- 4 人が何を言おうと、自分には関係ない
- 5 その他（ ）

◆過去に経験した事柄についておたずねします

13 あなたは、これまでに身近な人から次のような発言を聞いたり、教えられたりしたことがありますか。 (1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。	聞いた り 教え られ たり した	ア だ れ か ら で す か	イ ど う 感 じ ま し た か ※聞いたり教えられたりしたことがない方も聞いてどう感じるかお答えください。
(1) 対象地域※注の人とつきあうのはよくない	1 ある →アとイハ 2 ない →イハ	1 家族 2 親戚の人 3 近所の人 4 友人 5 職場の人 6 学校の先生 7 その他 ()	1 そのとおりだと思った 2 そういう見方もあるのかと納得した 3 反発・疑問を感じた 4 おかしいという気持ちを伝えた 5 とくに何も思わなかった
(2) 在日の外国人とつきあうのはよくない	1 ある →アとイハ 2 ない →イハ	1 家族 2 親戚の人 3 近所の人 4 友人 5 職場の人 6 学校の先生 7 その他 ()	1 そのとおりだと思った 2 そういう見方もあるのかと納得した 3 反発・疑問を感じた 4 おかしいという気持ちを伝えた 5 とくに何も思わなかった
(3) 障がいのある人とかかわるのはよくない	1 ある →アとイハ 2 ない →イハ	1 家族 2 親戚の人 3 近所の人 4 友人 5 職場の人 6 学校の先生 7 その他 ()	1 そのとおりだと思った 2 そういう見方もあるのかと納得した 3 反発・疑問を感じた 4 おかしいという気持ちを伝えた 5 とくに何も思わなかった
(4) 自分と見た目や考え方が違うという理由で、その人を差別することはよくない	1 ある →アとイハ 2 ない →イハ	1 家族 2 親戚の人 3 近所の人 4 友人 5 職場の人 6 学校の先生 7 その他 ()	1 そのとおりだと思った 2 そういう見方もあるのかと納得した 3 反発・疑問を感じた 4 おかしいという気持ちを伝えた 5 とくに何も思わなかった
(5) 弱い者いじめをしてはいけない	1 ある →アとイハ 2 ない →イハ	1 家族 2 親戚の人 3 近所の人 4 友人 5 職場の人 6 学校の先生 7 その他 ()	1 そのとおりだと思った 2 そういう見方もあるのかと納得した 3 反発・疑問を感じた 4 おかしいという気持ちを伝えた 5 とくに何も思わなかった

※注 同和対策事業等を実施してきた地域

◆個別の「人権」についておたずねします

★ 女性の人権についておたずねします。

14 次のような意見について、あなたはどのように 思いますか。 (1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○を つけてください。	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
(1) 女らしく、男らしくにとらわれず、自分らしく生きていく ための目標をもつべきである	1	2	3	4
(2) 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず 育児に専念するのが望ましい	1	2	3	4
(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど 家族を中心に考えて生活する方がよい	1	2	3	4
(4) 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい	1	2	3	4
(5) セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為、ドメス ティック・バイオレンス(DV)の被害者は女性が多い	1	2	3	4

★ 子どもの人権についておたずねします。

15 次のような意見について、あなたはどのように 思いますか。 (1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○を つけてください。	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
(1) 保護者がしつけのために、子どもに体罰を加えてもかま わない	1	2	3	4
(2) 教師が指導のために、児童・生徒に体罰を加えることは やむを得ない	1	2	3	4
(3) 住んでいる地域に児童養護施設※注1 が建設されること に抵抗はない	1	2	3	4
(4) 日本に住む外国人の子どもで、日本語の理解が不十分な 子どもには支援するべきだ	1	2	3	4
(5) 携帯電話やパソコンなどを使った SNS※注2 での仲間 はずしは問題だ	1	2	3	4

※注1 親の病気や経済的理由、親からの虐待など、何らかの理由で家庭生活を続けることが困難となった
子どもたちが利用する施設。

※注2 「人同士のつながり」を電子化するサービス。主なものは、「ライン」「ツイッター」「フェイスブ
ック」などがある。

★ 高齢者の人権についておたずねします。

16	次のような意見について、あなたはどのように 思いますか。 (1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○を つけてください。	そう 思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない
(1)	高齢者が高齢者福祉施設に入所する場合は、高齢者本人の意思を尊重するべきである	1	2	3	4
(2)	高齢者がじゃまもの扱いされたり、意見や行動が尊重されなかったりすることはよくない	1	2	3	4
(3)	高齢者が働く場や生きがいづくりをする場を増やす必要がある	1	2	3	4
(4)	高齢者の介護は、家族だけがする必要はない	1	2	3	4
(5)	住んでいる地域に特別養護老人ホームが建設されてもかまわない	1	2	3	4

★ 障がいのある人の人権についておたずねします。

17	次のような意見について、あなたはどのように 思いますか。 (1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○を つけてください。	そう 思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない
(1)	障がいのある子どもも、他の子どもと一緒に授業を受けるべきである	1	2	3	4
(2)	障がいのある人が、能力や経験を発揮して働ける場をもっと増やす必要がある	1	2	3	4
(3)	障がいのある人に、情報をわかりやすい形にして伝える配慮が足りない	1	2	3	4
(4)	障がいのある人が、結婚したり子どもを育てることに周囲が反対することはおかしい	1	2	3	4
(5)	障がいを理由に賃貸住宅の入居を断ることはおかしい	1	2	3	4

★ 同和問題についておたずねします。

18 あなたがこれまでに、同和問題についてもっとも学習したと思われるのは、どのような場ですか。いずれか1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 小学校高学年の授業で | 2 中学校の授業で |
| 3 高校の授業で | 4 短大・大学の授業で |
| 5 住民学習会※注 で | 6 職場研修で |
| 7 PTA研修で | 8 その他（ ） |
| 9 学習したことはない → 問20へ | |

※注 自治会ごとに開催される人権学習会のこと

19 同和問題の学習について、あなたは、どのような感想をもちましたか（もっていますか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 同和問題が、いわれのない差別であるということがわかった
- 2 同和問題（差別）は許せないと思う気持ちをもった
- 3 自分にはあまり関係ないと思った
- 4 学習するから同和問題がなくならないと思った
- 5 同和問題を人権学習の中心として扱うことはおかしいと思った
- 6 あまり覚えていない
- 7 その他（ ）

20 次のような意見について、あなたはどのように思いますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
(1) 対象地域※注 の人は、差別をなくすために一生懸命に取り組んできた	1	2	3	4	5
(2) 差別をされた人のくやしさは、とても他人事とは思えない	1	2	3	4	5
(3) 差別をされた人の話を聞くと、いきどおりをおぼえ何とかしなければと思う	1	2	3	4	5
(4) 今でも、行政から対象地域は特別な扱いを受け、優遇されている	1	2	3	4	5
(5) 携帯電話やパソコンなどを使って、対象地域や対象地域の人を差別するような書き込みをすることは問題だ	1	2	3	4	5

※注 同和対策事業等を実施してきた地域

★ 外国人の人権についておたずねします。

21 次のような意見について、あなたはどのように
思いますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○を
つけてください。

	そう 思う	ど ちら か と い え ば そ う 思 う	ど ちら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
(1) 「表現の自由」としてヘイトスピーチ※注 を認めても よい	1	2	3	4
(2) 雇用条件や年金、医療保険等を、日本人と外国人で同 じ条件にすることはおかしい	1	2	3	4
(3) 外国人との結婚を反対することはおかしい	1	2	3	4
(4) 在日の韓国・朝鮮人とかかわりたくないと思うのはお かしい	1	2	3	4
(5) 外国人であることを理由に賃貸住宅の入居を断るこ とはおかしい	1	2	3	4

※注 人種や宗教、性別、性的指向などを理由に、暴力や差別をあおるような主張や行動をすること。

◆結婚観等についておたずねします

22 結婚相手を考える時に、あなたが気になる(なった)ことはどんなことですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------|
| 1 学歴 | 2 経済力 | 3 職業 |
| 4 容姿・身なり | 5 人柄 | 6 離婚歴 |
| 7 家柄 | 8 思想・信条 | 9 国籍・民族 |
| 10 相手や家族の障がいの有無 | 11 相手や家族の宗教 | |
| 12 ひとり親家庭かどうか | 13 対象地域※注出身かどうか | |
| 14 相手や家族の犯罪歴の有無 | | |

※注 同和対策事業等を実施してきた地域

- 23** たとえば、あなたが結婚しようとする相手が対象地域※注の人だとわかった場合、あなたはどうされますか。(既婚の場合は、未婚と仮定してお答えください。)
- いずれか1つに○をつけてください。 ※注 同和対策事業等を実施してきた地域
- 1 ためらうことなく結婚する
 - 2 周囲からの反対があっても結婚する
 - 3 周囲からの反対に対して説得に努め、できるだけ理解を得た上で自分の意思を貫いて結婚する
 - 4 周囲からの反対があれば結婚しない
 - 5 絶対に結婚しない
 - 6 わからない
 - 7 その他 ()

- 24** たとえば、あなたのお子さんが結婚しようとする相手が対象地域の人だとわかった場合、あなたはどうされますか。(お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください。) いずれか1つに○をつけてください。
- 1 子どもの結婚しようとする意思を尊重する
 - 2 周囲からの反対があれば結婚を認めない
 - 3 絶対に結婚を認めない
 - 4 親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない
 - 5 子どもが結婚をためらったら勇気づける
 - 6 わからない
 - 7 その他 ()

25 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか。	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1) 自分は恵まれた生活をしている	1	2	3	4
(2) 自分のことが好きだ	1	2	3	4
(3) 自分にとってかけがえのない人がある	1	2	3	4
(4) 人間関係でトラブルが生じたら相談できる人がある	1	2	3	4
(5) 自分の人生は、周りの人にささえられていると思う	1	2	3	4
(6) 物事がうまくいかなかったり、失敗したりしても、やり直せばよいと思う	1	2	3	4
(7) 嫌なことを言われても、自分の感情をコントロールすることができる	1	2	3	4

◆人権学習・啓発についておたずねします

26 あなたは、住民学習会※注に参加されたことはありますか。
いずれか1つに○をつけてください。 ※注 自治会ごとに開催される人権学習会のこと

- 1 参加したことがない → 問 27・29へ
- 2 とくとき参加している → 問 27へ
- 3 できる限り毎回参加している → 問 28へ

27 あなたが、住民学習会に参加しなかった理由はなんですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 興味・関心がない
- 2 行くのがめんどろ
- 3 忙しくて行く時間がない
- 4 体調や年齢の関係で行けない
- 5 いつあるか知らない（案内がない）
- 6 参加しても身になることがない
- 7 人権のことは、会に参加しなくてもよく知っている
- 8 その他（ ）

※ 問 26で「1 参加したことがない」と回答された方は、問 29へ

28 これまであなたが参加された人権学習でよかった学習はどんな内容でしたか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 学識者による講義や講演
- 2 差別を受けてきた人や差別に立ち向かってきた人から直接体験を聞く
- 3 ビデオ（DVD）などの映像を用いた学習
- 4 参加体験型※注1の学習
- 5 人権に関する施設などの見学
- 6 人権に関する歴史などをたどるフィールドワーク※注2による学習
- 7 人権に関するイベントやフェスティバル
- 8 その他（ ）

※注1 参加者が互いに学び合いながら、様々な気づきや発見をする学習のこと。

※注2 実際に現地を訪れ、直接観察したり聞き取ったりする学習方法のこと。

29 人権課題を解決するために、あなたが取り組んでいることはありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 差別を受けている人との交流を深めるようにしている
- 2 人権市民団体の活動に参加するようにしている
- 3 ボランティア活動に参加するようにしている
- 4 さまざまな人権学習に参加するようにしている
- 5 その他（ ）
- 6 取り組んでいない

◆LGBTQ+についておたずねします。

30 LGBTQ+のことを知っていますか。知っている場合、どこで知りましたか
(いくつでも○)

- 1 学校の授業で 2 アニメで 3 ドラマで 4 マンガで
5 SNSで 6 ニュースで 7 知らない 8 その他()

LGBTQ+について

「LGBTQ」は Lesbian (レズビアン：恋愛感情や性的欲求を女性にもつ女性、女性同性愛者)、Gay (ゲイ：恋愛感情や性的欲求を男性にもつ男性、男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル：恋愛感情や性的欲求を男性にも女性にももつ人、両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー・戸籍上の性別と、自分で認識している性別が違う人)、Questioning (クエスチョニング・自分の性別をどのように認識しているかや、恋愛感情や性的欲求をどの性別の人にもつかが定まっていな人、またはあえて定めていない人)の頭文字をとった言葉。性的マイノリティはその他の分類できない性のあり方を含んでいるため、全ての性的マイノリティの相称として「LGBTQ+」と表します。

31 あなたの身近な人から、同性愛者であることを打ち明けられたら、受け入れられますか。(○は1つ)

- 1 家族でも友人でも受け入れられる
2 友人は受け入れられるが、家族は受け入れられない
3 家族は受け入れられるが、友人は受け入れられない
4 家族でも友人でも受け入れられない
5 わからない

32 あなたの身近な人から、トランスジェンダーであることを打ち明けられたら、受け入れられますか。(○は1つ)

- 1 家族でも友人でも受け入れられる
2 友人は受け入れられるが、家族は受け入れられない
3 家族は受け入れられるが、友人は受け入れられない
4 家族でも友人でも受け入れられない
5 わからない

33 あなたはLGBTQ+の方が生活しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

- 1 広報誌やホームページ、講演会等による広報・啓発活動
2 学校現場での取組(性の多様性に関する学習、制服やトイレ等の配慮)
3 相談窓口の設置 4 公的施設や窓口での不便の解消
5 行政職員や教員を対象とした研修の実施 6 パートナーシップ制度
*の導入 7 その他() 8 特にない

*パートナーシップ制度：お互いを人生のパートナーとして日常生活を営むことを約束した、LGBTQ+等である同性の2人に対して、市が公的に2人の関係性を証明する制度

◆市の条例等についておたずねします

34 あなたは、次の条例等について知っていますか。 (1)～(6)のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。	知っている	知っている おおよそ	知らない
(1) 三木市人権尊重のまちづくり条例 (平成 13 年 1 月 1 日施行)	1	2	3
(2) 三木市非核平和都市宣言 (平成 22 年 3 月 17 日宣言)	1	2	3
(3) 三木市住民票の写し等に係る本人通知制度に関する条例 (平成 24 年 10 月 1 日施行)	1	2	3
(4) 三木市共に生きる手話言語条例 (平成 27 年 4 月 1 日施行)	1	2	3
(5) 義務教育の教科書が無償となった経緯※注 1	1	2	3
(6) 三木市の奨学金給付制度がはじまった経緯※注 2	1	2	3

※注 1 小・中学生が使う教科書は、部落差別解消のための運動がきっかけとなり、昭和 38 年度から順次無償化が開始され、昭和 44 年度に小・中学校の全学年で無償となった。

※注 2 同和対策事業として始まった三木市の奨学金給付制度は、平成 18 年に進学を希望する市内全体の生徒を支援する制度へと拡充された。

【自由記入欄】人権問題について、日ごろ感じておられることなどをご自由にお書きください。

たくさんの設問にご回答いただき、ありがとうございました。

三木市人権に関する 市民意識調査報告書

発行日／令和6年3月
発行／三木市
